

令和5年度 第1回文京区アカデミー推進本部 次第

(日時) 令和5年7月5日(水)午前9時30分～

(会場) 庁議室

1 開 会

2 議 題

(1) 文京区アカデミー推進計画の点検・評価について

3 閉 会

【配付資料】

資料第1号_アカデミー推進計画の点検・評価について (案)

資料第1号_別紙_協議会委員名簿

資料第1-1号_令和4年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価 (案)

資料第1-2号_令和4年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価 (案) (別冊)

令和5年7月5日
アカデミー推進課

アカデミー推進計画の点検・評価について（案）

1 概要

令和4年3月に改定した「文京区アカデミー推進計画」について、令和5年度より、計画期間において前年度に実施した事業の実施状況の点検及び評価を行う。

2 協議会の構成

16人の委員で構成する。構成員は「別紙のとおり」

3 今後のスケジュール

令和5年7月5日	第1回アカデミー推進本部
7月18日	第1回アカデミー推進協議会 全体会：進行等について説明
7月下旬 ～8月上旬	アカデミー推進協議会分科会 5分野ごとに点検・評価（各1～2回）
9月	第2回アカデミー推進協議会
10月	第2回アカデミー推進本部
11月	議会報告「アカデミー推進計画の点検・評価について」

文京区アカデミー推進協議会委員名簿（令和5年度）

	分野	氏名	団体等
1	学識経験者	山田 徹雄	跡見学園女子大学名誉教授
2	学識経験者	田中 雅文	日本女子大学人間社会学部教授
3	学識経験者	青木 和浩	順天堂大学スポーツ健康科学部教授
4	学識経験者	垣内 恵美子	政策研究大学院大学文化政策プログラムディレクター 客員教授、名誉教授
5	生涯学習関係団体	増田 純	文京アカデミア学習推進委員会
6	生涯学習関係団体	三浦 武裕	文京アカデミア生涯学習支援者の会
7	スポーツ関係団体	井上 充代	文京区スポーツ推進委員会
8	スポーツ関係団体	脇 弥恵子	文京区体育協会
9	文化芸術関係団体	高澤 芳郎	シエナ・ウインド・オーケストラ
10	文化芸術関係団体	牧野 恒良	公益社団法人 宝生会
11	観光関係団体	小能 大介	一般社団法人文京区観光協会
12	商工団体	関 誠	東京商工会議所文京支部
13	国内交流団体	内藤 雅義	津和野町東京事務所
14	国際関係団体	山田 健一	公益財団法人 アジア学生文化協会
15	区民	東田 英輔	区民公募委員
16	区民	石田 廣行	区民公募委員
17	区民	五十嵐 幸輝	区民公募委員
18	区民	近藤 裕子	区民公募委員
19	区民	塩澤 雅代	区民公募委員

**令和4年度
文京区アカデミー推進計画の
点検・評価**

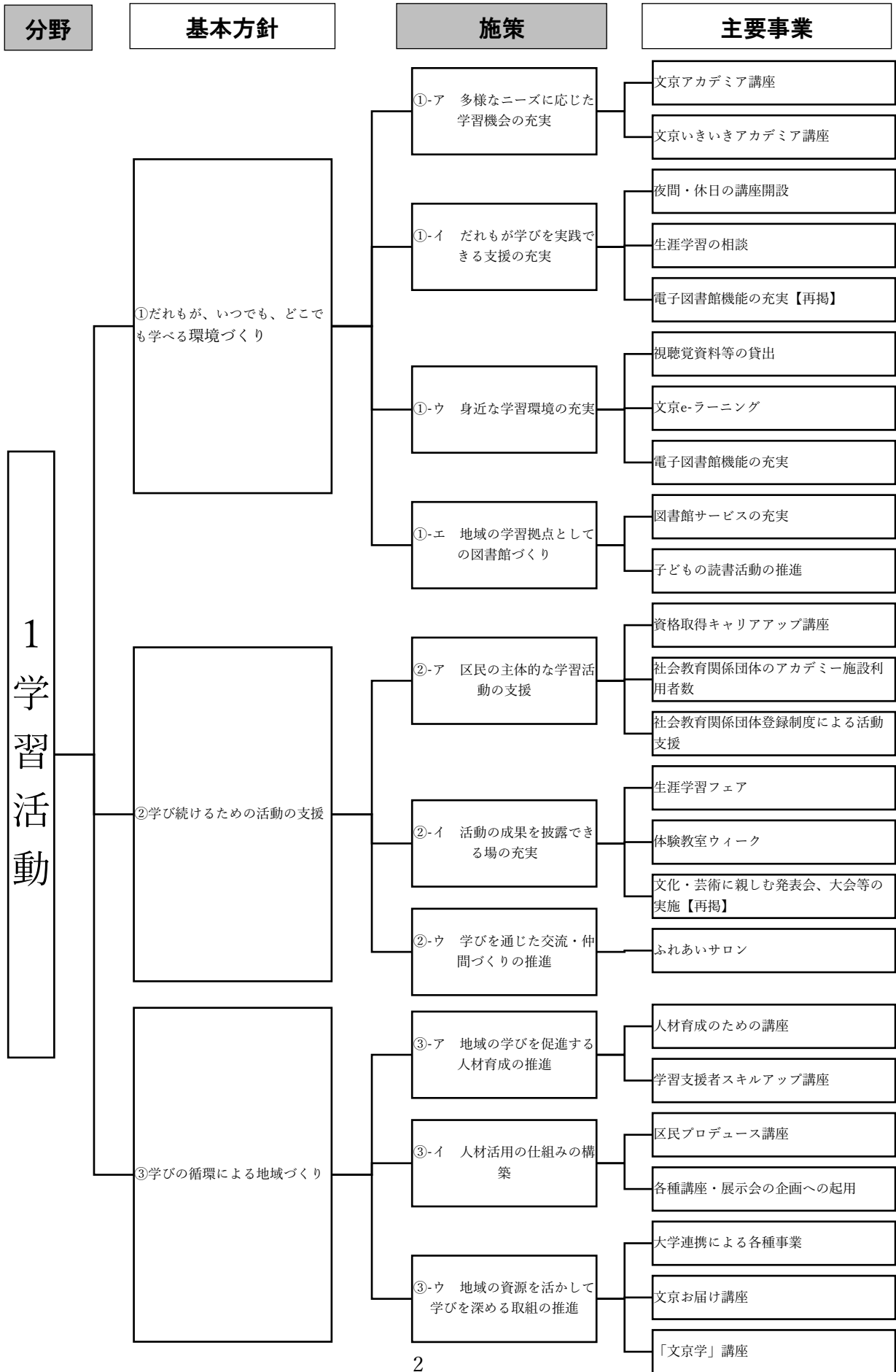
(案)

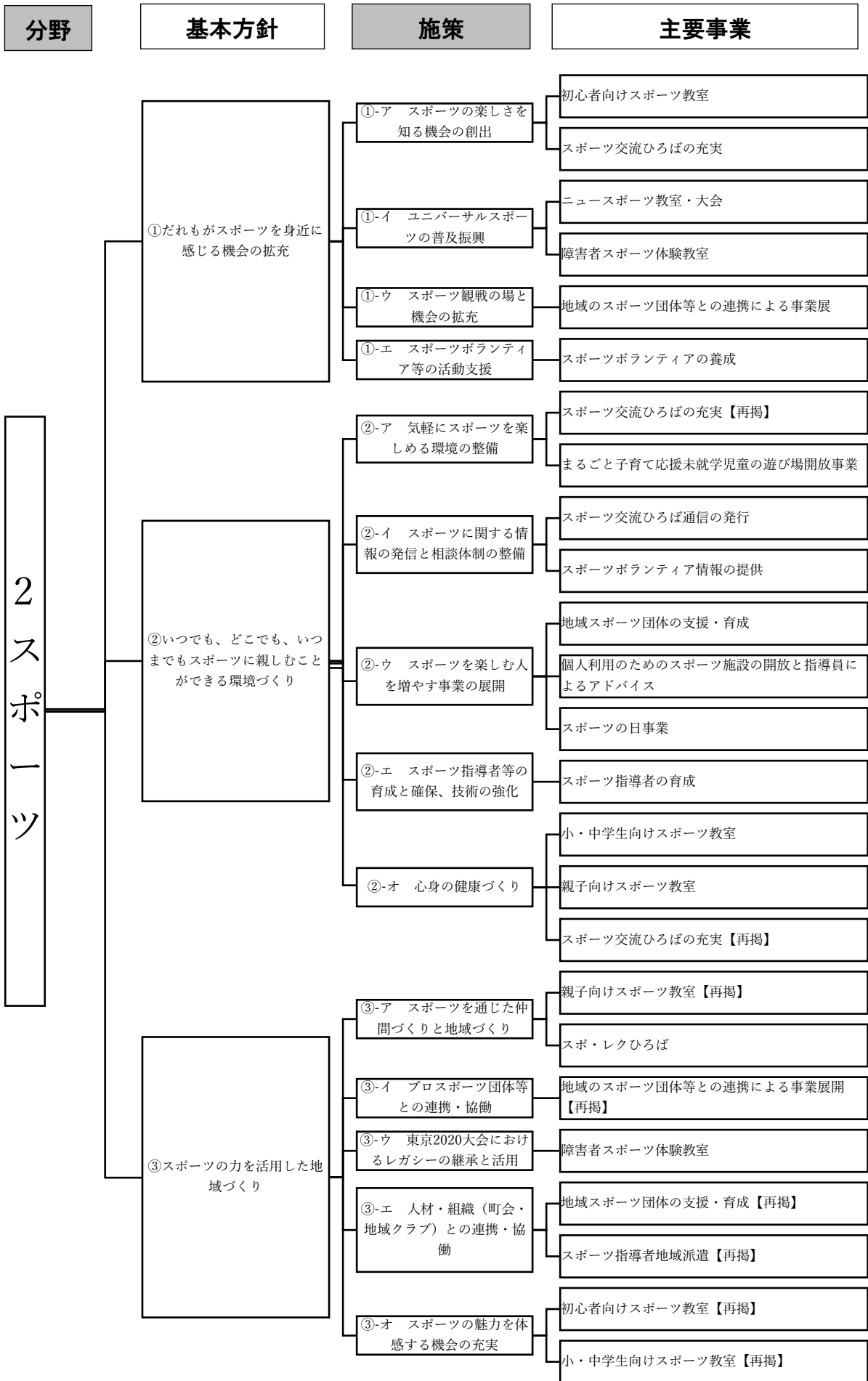
令和5年 月

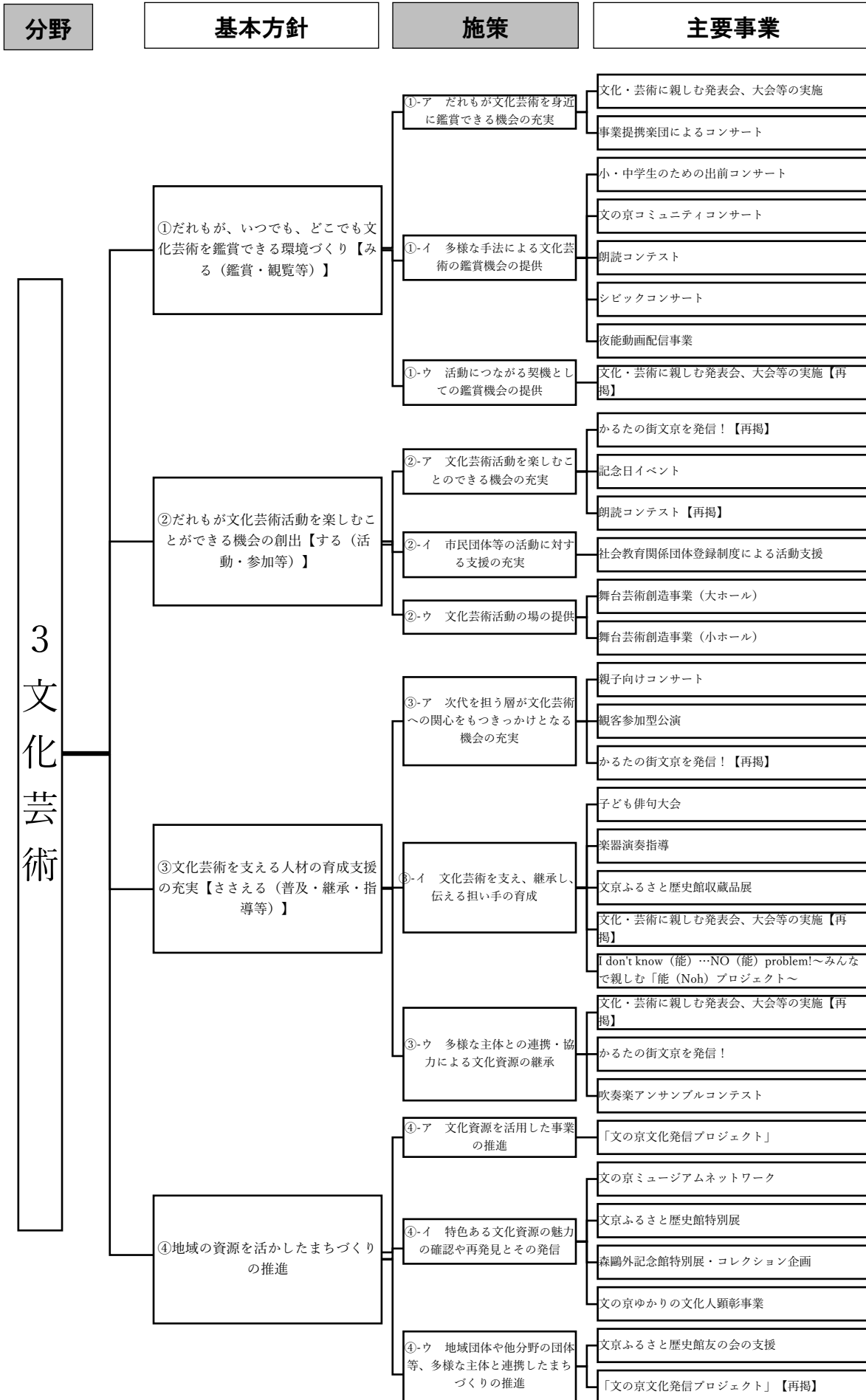
目次

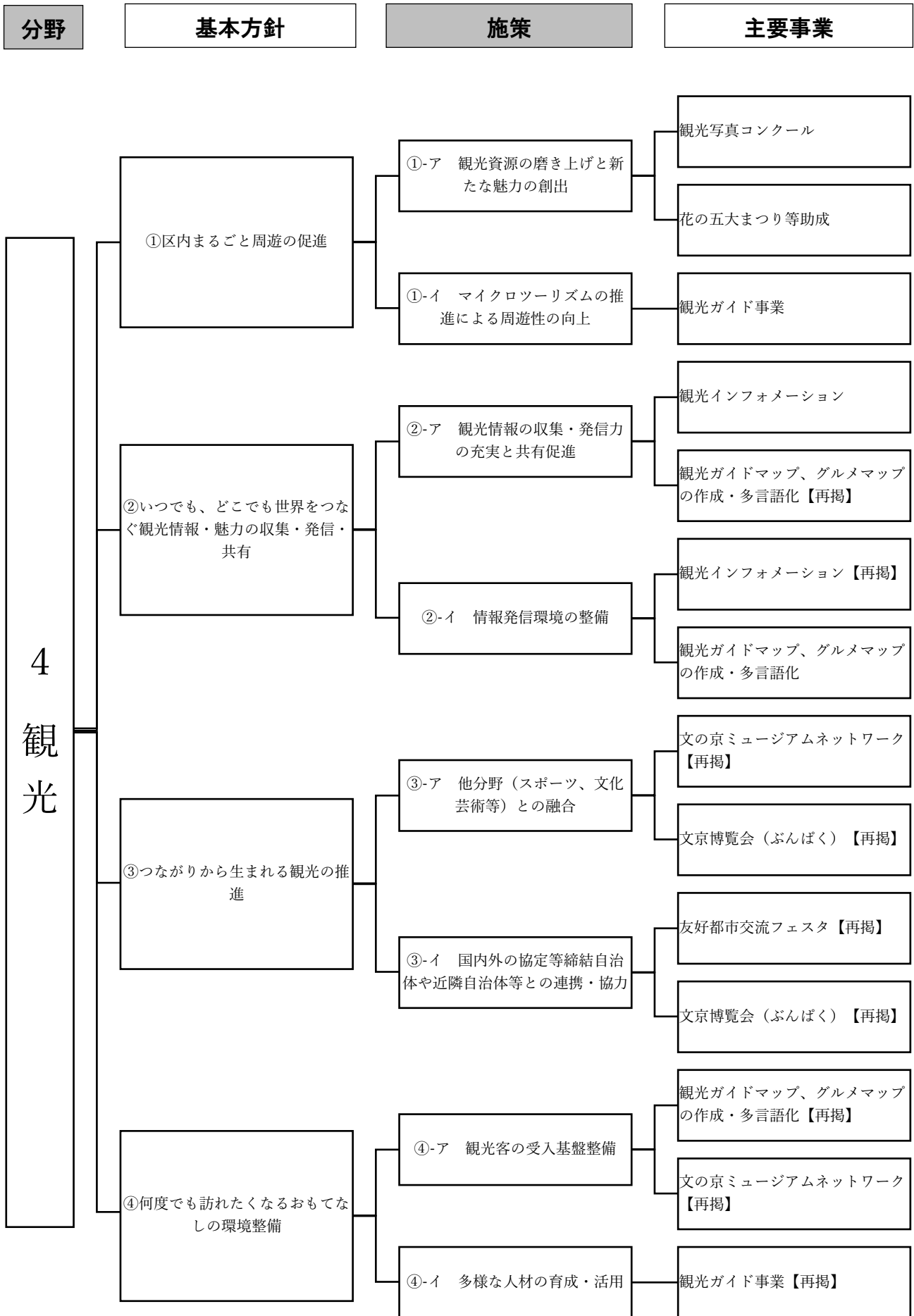
第1章 計画の体系	
第2章 事業の点検・評価の考え方	
1. 概要.....	
2. 体制と手法.....	
3. 新型コロナウイルスについて.....	
第3章 学習活動分野の点検・評価	
1. 学習活動分野の評価.....	
2. 主要事業一覧.....	
3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況.....	
4. 主要事業の成果に対する評価.....	
第4章 スポーツ分野の点検・評価	
1. スポーツ分野の評価.....	
2. 主要事業一覧.....	
3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況.....	
4. 主要事業の成果に対する評価.....	
第5章 文化芸術分野の点検・評価	
1. 文化芸術分野の評価.....	
2. 主要事業一覧.....	
3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況.....	
4. 主要事業の成果に対する評価.....	
第6章 観光分野の点検・評価	
1. 観光分野の評価.....	
2. 主要事業一覧.....	
3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況.....	
4. 主要事業の成果に対する評価.....	
第7章 国内・国際交流分野の点検・評価	
1. 国内・国際交流分野の評価.....	
2. 主要事業一覧.....	
3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況.....	
4. 主要事業の成果に対する評価.....	
第8章 事業実施状況調査の調査結果(別冊)	

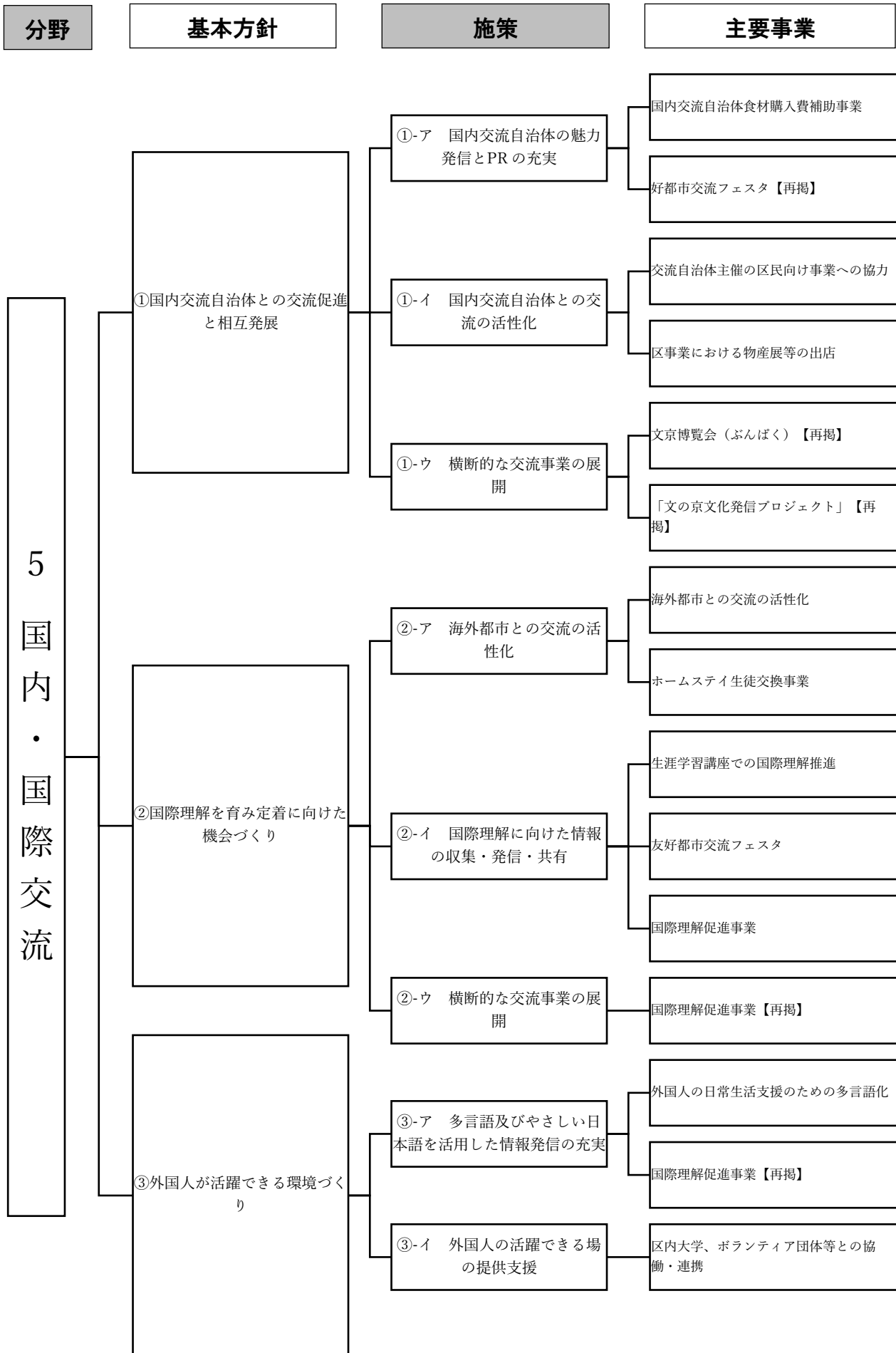
第1章 計画の体系











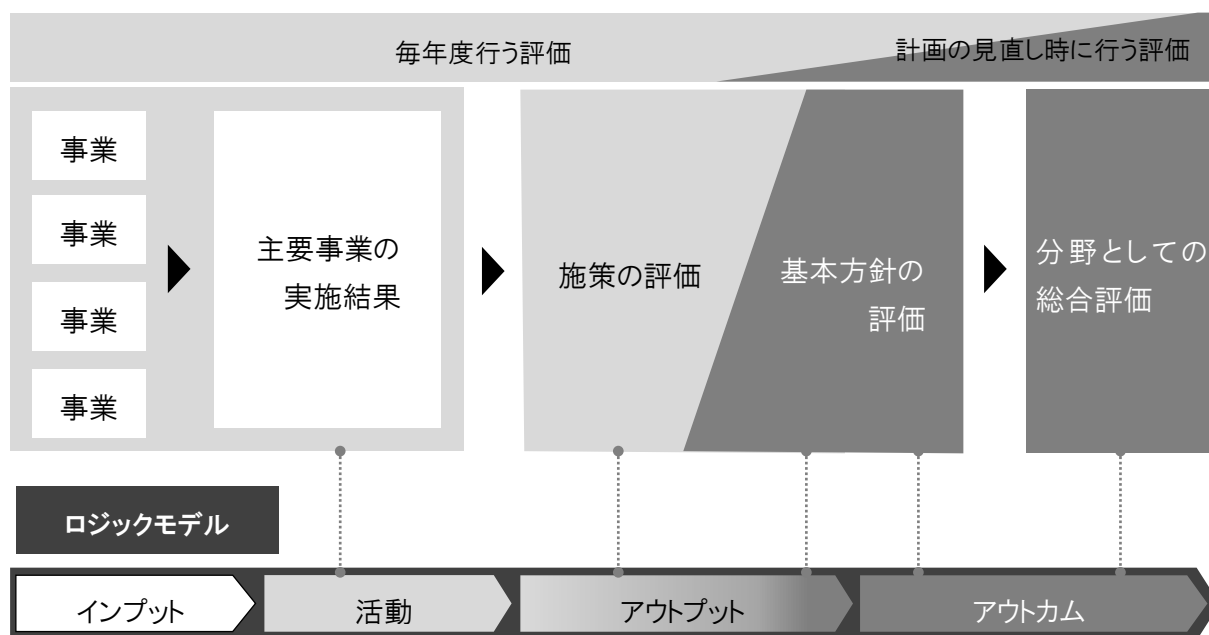
第2章 事業の点検・評価の考え方

1. 概要

評価の枠組み

令和3年度に策定したアカデミー推進計画の点検・評価は、策定時に構築したロジックモデル(詳細は次ページ参照)を踏まえて、毎年度行う評価と、計画の見直し時に行う評価とを組み合わせる。毎年度行う評価は、あらかじめ各分野の事業の中から選定しておいた主要事業の実施結果を取りまとめ、施策ごとに評価を行うものとする。計画の見直し時に行う評価は、毎年度行う評価に加えて、基本方針ごとに掲げた指標に基づいて評価を行い、分野としての総合評価を行うものとする。

アカデミー推進計画の評価フレーム



(用語解説)

主要事業.....施策を評価する上でより重要度の高い事業。所管課が任意で選定。

(分野別基本方針を支える主な事業、各施策の主な取り組みに基づく)

インプット.....予算、人員など行政活動を実施するために投入する資源。

活動.....モノ、サービスを提供するために行う行政活動。

アウトプット.....行政活動の結果、産み出されたモノ、サービス。

(例)アカデミア講座の実施回数

アウトカム.....政策(施策、事業)が目指す成果(初期、中期、長期と段階あり)。

(例)アカデミア講座の参加者数(初期)、

1年間に学習活動を行った人の割合(中期)、基本理念の実現(長期)

2. 体制と手法

(1) 点検・評価の体制

点検・評価は、学識経験者、関係団体及び区民等で構成する協議会にて実施した。

■ 令和元年度 文京区アカデミー推進協議会経過

会議名	開催日	主な検討内容
第1回アカデミー推進協議会	令和5年 7月18日	アカデミー推進計画の点検・評価について
第1回分科会(学習活動)	令和5年 8月3日	学習活動分野の点検・評価について
第1回分科会(スポーツ)	令和5年 8月9日	スポーツ分野の点検・評価について
第1回分科会(文化芸術)	令和5年 8月8日	文化芸術分野の点検・評価について
第1回分科会(観光)	令和5年 7月27日	観光分野の点検・評価について
第1回分科会(国内・国際交流)	令和5年 7月28日	国内・国際交流分野の点検・評価について
第2回アカデミー推進協議会	令和5年 9月●日	協議会としての点検・評価について

(2) 点検・評価手法

協議会に5つの分科会を設置し、各分野別基本方針ごとに点検・評価を行った。

評価は、令和4年度実施した主要事業(分野別基本方針を支える主な事業、各施策の主な取り組みに基づく)の実績調査結果及び事務局が作成した点検・評価を資料配付し、主要事業の成果に対する評価について意見を聴取した。

分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況については、分科会での協議内容を踏まえ、各分科会の座長が総括して点検・評価を行った。

各分科会の委員から出された意見・要望及び座長の意見等について、第2回協議会で報告し、審議を行った後、令和4年度事業の点検・評価とした。

(3) 主要な事業の選定と指標・目標の設定について

5分野における主要事業の選定と指標・目標の設定は以下により行った。

また、社会情勢の変化に応じた区民ニーズに柔軟に対応するため、主要事業の選定と指標・目標の設定は、毎年度確認・見直しを行いながら進めることとする。

① 指標の設定と毎年度の目標・実績を把握できる事業

分野ごとに評価・点検を行うには、基本方針毎に設定した指標の現状を把握することが重要であるが、アンケート調査に拠らなくては確認できない指標もある。しかし、アンケート調査は、計画策定に向けて実施してきた経緯があり、毎年度実施することは現実的ではない。そこで現状評価の基礎となる事業として、指標を設定し、年度ごとの目標と実績を確認できる事業を選定することが望ましい。一方で短期的な数値の変動で評価することが馴染まない事業や、天候等により変動の大きい事業があることも考慮する必要がある。

② 定量的目標を設定できる事業

目標の設定にあたっては、客観的に評価しやすい定量的な方法を採用できる事業が望ましい。事業の性質により、定性的な目標を掲げる場合には、評価主体により評価内容に大きな差が生じないように、目標として掲げる状態を具体的にすることが重要である。

③ 基本方針、施策の実現に向けた重要性が高い事業

基本方針や施策に掲げた事項の充実が計画の推進において重要な事項である。事業の選定にあたっては、基本方針、施策の実現に向けた重要性が高い指標・目標を設定できるものであることを考慮するものとする。

④ 計画の推進にあたって重視する3つの視点

計画の推進にあたって「人」「環境づくり」「資源活用」の3つの視点を重視しているため、これらの視点を加味して指標を設定することが望ましい。

⑤ 継続的に実績を評価できる事業

目標は過去から未来への実績を踏まえ、継続的に評価することで、信頼性や妥当性を確保することができる。一方で、新規事業や社会情勢の変化に等により、評価の優先順位が経年により変化する可能性にも留意する必要がある。

(4) 事業の目標数値の考え方について

各事業の目標数値は、計画期間中に10%増を達成することを基準とする。(10%は「文の京」総合戦略(令和2年度～令和5年度)における将来人口推計による令和6年度までの直近5年の人口増加率9.2%を上回るもの)なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、実際の人口の増加は推計を下回っていることに留意する必要がある。

また、事業の性質や目標の設定方法により、現状の維持継続が望ましい事業や、さらに高度な目標設定が望ましい事業も想定できる。

3. 新型コロナウイルス感染症の影響について

令和元年12月発症とされる新型コロナウイルス感染症について、日本では令和2年4月から令和3年9月末までに4回の「緊急事態宣言」が出され、各都道府県において「まん延等重点措置」が度々適用される状況となりました。新型コロナウイルス感染症の拡大は、世界的に歯止めがかからない状況が続き、人々の生活や社会経済活動に大きな影響を及ぼしました。

このような状況の中、文化芸術・交流・スポーツ関連のイベントは軒並み中止、延期、規模縮小を余儀なくされたことで、区民の鑑賞や参加の機会等が失われ、心の豊かさに大きな影響を与えました。しかし、コロナ禍による制約等のある一方、生活様式の変化によって新たに生まれ、普及した仕組みも多くあります。テレワークや教育現場等でのタブレット端末の活用、キャッシュレス決済、また文化芸術・学習面においては、リモートコンサートやオンライン講座の実施など、この間、デジタル・トランスフォーメーションが急速に進んでおります。また、持続可能な社会への関心が高まり、様々な場面でSDGsへの取り組みも見られるようになってきました。その結果、テレワークやWeb会議が定着し、動画配信サイト等を活用した文化・スポーツ体験など新しい楽しみ方も生まれています。

これからの文京区では、文化芸術・スポーツ等を楽しむ機会を通じ、暮らしの中に安心と豊かさを感じることができるよう、様々な施策を推進していく必要があります。地域における様々な活動が再開し、コミュニティの活性化が図られるよう、新型コロナウイルス感染症の影響で縮小・休止していたイベント等へ支援を行ってまいります。

しかし、今後も変異株の流行等により、事業の中止や縮小等の可能性が完全に払拭されたわけではありません。今後は新たな生活様式を踏まえつつ、本アカデミー推進計画を着実に前へ進めていけるよう、普段から迅速かつ的確な対応に努め、感染症等により事業への影響があった場合においても、今までの経験を踏まえ、可能な範囲で事業を継続し、その際には、本計画における適切な点検・評価方法を検討してまいります。

第3章 学習活動分野の点検・評価

1. 学習活動分野の評価

文京区アカデミー推進協議会委員(学識経験者)

学習活動分科会座長 ●● ○○

2. 主要事業一覧

分野別基本方針①だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくり		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 多様なニーズに応じた学習機会の充実				
1	文京アカデミア講座	○		
2	文京いきいきアカデミア講座	○		
イ だれもが学びを実践できる支援の充実				
3	夜間・休日の講座開設	○		
4	生涯学習の相談	○		
5	電子図書館機能の充実【再掲】	○	○	
ウ 身近な学習環境の充実				
6	視聴覚資料等の貸出	○		
7	文京e-ラーニング	○		
8	電子図書館機能の充実	○	○	
エ 地域の学習拠点としての図書館づくり				
9	図書館サービスの充実	○		
10	子どもの読書活動の推進	○		
分野別基本方針②学び続けるための活動の支援		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 区民の主体的な学習活動の支援				
11	資格取得キャリアアップ講座	○		
12	社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数			
13	社会教育関係団体登録制度による活動支援	○		
イ 活動の成果を披露できる場の充実				
14	生涯学習フェア	○		
15	体験教室ウィーク			
16	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	○		
ウ 学びを通じた交流・仲間づくり				
17	ふれあいサロン	○	○	
分野別基本方針③学びの循環による地域づくり		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 地域の学びを促進する人材育成の推進				
18	人材育成のための講座	○		
19	学習支援者スキルアップ講座	○		
イ 人材活用の仕組みの構築				
20	区民プロデュース講座	○		
21	各種講座・展示会の企画への起用	○		
ウ 地域の資源を活かして学びを深める取組の推進				
22	大学連携による各種事業	○		
23	文京お届け講座	○		
24	「文京学」講座	○		

※総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略(令和2年度～令和5年度)に掲載されている事業。

※重点の欄は、令和4年度に文京区の重点施策として選定された事業。

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくり ア 多様なニーズに応じた学習機会の充実

1-①-ア 文京アカデミア講座					
事業概要					
区民の学習を支援するため、地域、文学、歴史・社会、自然科学、芸術、くらし、語学、健康・スポーツなど、バラエティに富んだ講座を提供します。					
指標:受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,802	2,000	2,250	2,500	2,500
実績(D)	1,646				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	年間を通じ、幅広い分野の講座の提供が叶ったほか、アカデミアサポーターの協力により、充実した講座運営に繋がりました。一方で定員割れの講座については、設定時期や時間の関係、或いはコロナ禍による影響もあったものと思われます。		一部、定員に満たない講座もあったことから、講座内容や周知方法の工夫により、受講者の増加を図ります。		

1-①-ア 文京いきいきアカデミア講座					
事業概要					
高齢者を対象とした2年制講座。1年次は教養課程で共通科目を履修し、2年次の専門課程に進みます。専門課程は、共通科目と選択科目を受講し、所定の受講回数(単位)をもって卒業認定とします。					
指標:受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	40	40	60	60	60
実績(D)	40				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	第8期の初年度として40名が教養課程を受講し、履修により、広く基礎を学んだ37名が進級しました。様々な事業がある中でも単位を修得し、進級・卒業できるようサポートする必要があります。		受講生同士のコミュニケーションを密にするほか、モチベーションの維持・向上について工夫していきます。		

イ だれもが学びを实践できる支援の充実

1-①-イ 夜間・休日の講座開設					
事業概要					
平日の昼間に講座を受講することが困難な方のために、平日夜間や休日にも講座を開設します。					
指標:受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	439	500	500	500	500
実績(D)	370				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	文京アカデミア講座において27講座を平日の夜間や休日に実施し、アンケートで高い評価を得ることができました。一方で、社会情勢などを的確に捉えた講座選定等を行う必要があります。		アカデミア講座全体のバランスを考慮しつつ、アンケート結果を分析し、ニーズに合わせた講座を検討・企画していきます。		

1-①-イ 生涯学習の相談					
事業概要					
区民がそれぞれのニーズや目的に応じて生涯学習に取組めるよう総合的に紹介等を行います。					
指標:相談件数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	180	180	190	200	200
実績(D)	171				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	原則、週3回、生涯学習司による「生涯学習相談」を通年で実施し、広く相談を受け付けたほか、区内の生涯学習サークルの活動や情報も紹介しました。また、コロナ禍で外出を自粛したことと合わせ、生涯学習活動の不活性があったものと推測される一方で、区民プロデュースに関しては多くの相談があり、魅力ある講座が提案されました。		令和5年度より週2回に変更となりましたが、現在の体系を維持するとともに、より本事業の周知に注力し、事業周知の範囲とアプローチの手法についても検討していきます。		

1-①-イ 電子図書館機能の充実【再掲】					
事業概要					
電子書籍やオーディオブックといった電子媒体資料や、デジタル化した地域資料を提供することにより、図書館に来館することが困難な方も含め、様々な利用者の読書活動を推進します。					
指標：電子書籍の貸出数(点)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	28,120	28,500	29,000	29,500	30,000
実績(D)	28,120				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	電子書籍については、資料の特性や利用動向を考慮した選定を行い、提供しました。文の京デジタル文庫に、大正期の小石川植物園の図版、人口統計資料など、郷土資料及び行政資料を追加しました。		電子書籍等については、魅力ある蔵書とするため、計画的に選定・収集するとともに、特集を組むなど周知を強化し、一層の利用促進を図ります。また、地域資料のデジタル化を進め、広報に努めます。		

ウ 身近な学習環境の充実

1-①-ウ 視聴覚資料等の貸出					
事業概要					
学習や地域活動に必要な視聴覚学習資料を地域の幼稚園、小・中学校、社会教育登録団体、個人等に貸出しを行います。					
指標：貸出件数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	160	160	160	160	160
実績(D)	200				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	各団体等に対し、広く貸出に対応したほか、ニーズに合わせて新規に資料を購入しました。また、視聴覚ライブラリー目録の改訂版を発行しました。個人利用が増加したこととともに、町内会組織等による利用については、コロナの一定の収束に伴い、活動が再開されたことに起因するものと推測されます。		18ミリをはじめ、フィルムの適正な保存環境の整備と映写技術者の確保・育成について、検討を進めます。		

1-①-ウ 文京e-ラーニング					
事業概要					
外出困難な人や時間に制約のある人などを対象に、時間や場所に関係なく各種講座等を受講できるように、インターネットを活用した講座を配信します。					
指標: アクセス数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	7,000	8,000	9,000	10,000	10,000
実績(D)	6,649				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	新たに、特別公開講座を含めて27番組収録・配信したほか、これまでに実施した講座も継続して配信し、ライフスタイルに応じた視聴環境の提供につなげました。しかし、掲載していたメニューが著作権の承認期間の経過により、公開を終了したことが、目標値に達しなかった大きな要因の一つと思われます。		配信する主体や講座内容の拡充と並行し、インターネット配信に適した講座について検討します。また、アカデミア講座「十八の町物語」をアーカイブ化し公開することで、新たな視聴者層の獲得に努めます。		

1-①-ウ 電子図書館機能の充実					
事業概要					
電子書籍やオーディオブックといった電子媒体資料や、デジタル化した地域資料を提供することにより、図書館に来館することが困難な方も含め、様々な利用者の読書活動を推進します。					
指標: 電子書籍の貸出数(点)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	28,120	28,500	29,000	29,500	30,000
実績(D)	28,120				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	電子書籍については、資料の特性や利用動向を考慮した選定を行い、提供しました。文の京デジタル文庫に、大正期の小石川植物園の図版、人口統計資料など、郷土資料及び行政資料を追加しました。		電子書籍等については、魅力ある蔵書とするため、計画的に選定・収集するとともに、特集を組むなど周知を強化し、一層の利用促進を図ります。また、地域資料のデジタル化を進め、広報に努めます。		

エ 地域の学習拠点としての図書館づくり

1-①-エ 図書館サービスの充実					
事業概要					
図書館資料やレファレンスサービス等の充実を図るほか、各種行事や資料の特集展示などを行い、図書館の利用促進と区民の読書活動の推進を図ります。					
指標:総貸出数(冊・点)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	3,846,252	3,911,000	3,977,000	4,045,000	4,114,000
実績(D)	3,846,252				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	図書館資料の充実を図るとともに、時節に応じた特集展示を区立図書館全体で年間1,200回実施しました。また、森鷗外没後100年、樋口一葉生誕150年記念事業を含む様々な行事にも取り組み、区民の読書活動の推進を図りました。		図書館資料の充実を進め、利用者の興味関心を引き出す様々なテーマの行事や特集展示を実施するほか、令和5年度においては「藩校サミット」関連事業などにも取り組むことにより、区民の身近な学習拠点として多様なニーズに対応した資料提供と情報発信を図ります。		

1-①-エ 子どもの読書活動の推進					
事業概要					
子どもたちが生涯にわたり読書習慣を身につけられるよう、発達段階に応じた行事や読書支援を行います。また、保護者への啓発や地域団体等との連携により、子どもの読書環境の整備に取り組みます。					
指標:児童図書貸出数(冊)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,252,301	1,273,000	1,295,000	1,317,000	1,339,000
実績(D)	1,252,301				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	「子ども読書活動推進計画」に基づく読書環境の整備と読書活動の充実を図るため、ブックリストの作成や、図書の充実、保護者や子どもへの啓発を行い、区立図書館の利用促進を図りました。読み聞かせやおはなし会などの行事を実施し、親子や子どもが本に親しむ機会を提供しました。		引き続き、「子ども読書活動推進計画」に掲げる37の事業について、関係機関との連携のもと、着実に実施します。図書館においては、子どもの発達段階に応じたブックリストの作成・紹介や各種行事を実施し、子どもたちに多くの読書機会を提供するとともに保護者向け講演会等を行い、啓発を行います。さらに、地域の保育園、幼稚園、小・中学校への図書の貸出や出張おはなし会等を実施し、地域の読書活動を支援します。		

(2)分野別基本方針② 学び続けるための活動の支援

ア 区民の主体的な学習活動の支援

1-②-ア 資格取得キャリアアップ講座					
事業概要					
区民の資格取得やキャリアアップを支援するため、区内大学と連携し、大学で開講する講座を区民が受講する際に一部補助を行い、区民の資格取得やキャリアアップを支援します。					
指標:受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	70	70	70	70	70
実績(D)	31				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>平時から連携している区内大学による資格取得に直結した講座により、能力の習熟に繋がりました。しかし、定員に満たない講座があったことから、受講者数を増やすための取組が必要です。</p>		<p>ラインナップの充実と合わせ、内容や日時のほか、タイトルや導入文にも工夫を重ねるなど、広報にも工夫し受講者の増加につなげます。</p>		

1-②-ア 社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数					
事業概要					
区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、その団体の施設利用を支援します。					
指標:社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	102,057	135,000	150,000	160,000	167,000
実績(D)	102,057				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>多くの社会教育関係団体によるアカデミー施設の利用があり、学習活動を通じて交流できる場を提供することで、区民の主体的な活動を支援することができました。</p>		<p>新型コロナウイルス感染症の影響で活動を控える団体が多かったですが、令和8年度の167,000人の利用を目標に、引続き社会教育関係団体登録制度と並行して、活動の場を提供します。</p>		

1-②-ア 社会教育関係団体登録制度による活動支援	
事業概要	
区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。	
令和8年度に向けた目標(P)	
登録団体の活動内容を正確に把握し、広く区民に周知することで、団体活動の活性化と区民に各種活動への参加機会を提供し、区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を支援します。	
	成果・評価(D・C)
R4	登録団体名簿の関連施設への配架及びホームページへの掲載により、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動の促進につながりました。 また、3年に一度の更新を実施し、活動している団体をより正確に把握することができました。
	次年度に向けた取組等(A)
	引続き、区民の自主的な活動促進のため、登録団体名簿を更新し、関連施設へ配架の上、ホームページへ掲載します。登録団体の活動内容を正確に把握し、区民へ活動実績の周知を図ります。

イ 活動の成果を披露できる場の充実

No.	14	担当課	アカデミー推進課		
1-②-イ 生涯学習フェア					
事業概要					
文京アカデミア講座や区内大学生涯学習センターの紹介、講座受講相談を実施し、区民に対し生涯学習活動への参加を促す機会をつくとともに、区内サークルの活動紹介や体験コーナー、ステージでの活動発表等を行うことにより、学習成果披露の場や区民同士の交流の機会を提供します。					
指標: 来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	590	1,100	1,200	1,300	1,400
実績(D)	590				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	アカデミア講座や区内大学生涯学習センター、区内で活動する生涯学習サークルの活動紹介のほか、ステージ発表等により、区民の学びを表現する場を設けることで、学習意欲の向上を図りました。		引き続き、学習成果の発表機会提供と団体間の交流を図るとともに、活動意欲向上、及び新たな一歩を踏み出す契機に繋がるよう、団体との連携や広報に工夫をします。		

1-②-イ 体験教室ウィーク					
事業概要					
地域におけるコミュニティの育成と生涯学習活動の支援を目的として、各地域アカデミーで活動する生涯学習団体を区民に紹介するとともに、生涯学習団体の活動に区民が参加する機会を創出し、団体活動を支援します。					
指標:参加団体数(団体)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	47	49	50	51	52
実績(D)	47				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>年2回開催する体験教室ウィークについては、コロナ禍による参加団体の低減が予想された中、想定以上の団体の参加がありました。</p> <p>なお、アカデミー湯島の1回目は、開催期間が改修工事と重なり、止む無く中止しました。</p>		<p>(公財)文京アカデミーのホームページや広報紙による周知に加え、各館において、各団体への案内を積極的に行うことで、参加団体の増加に努めます。</p>		

1-②-イ 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】					
事業概要					
文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。					
指標:事業参加者数の合計(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000
実績(D)	29,680				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>各事業の参加者数の合計を成果指標としています。コロナ禍で再開できない事業もありましたが、コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値23,900人の6割の14,340人を目標としました。</p> <p>令和4年度単年度事業「文の京ミュージックネット施設入館料助成」をのべ16,398人が利用したこともあり、目標を大きく超える実績となりました。</p>		<p>令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。全国藩校サミットや文の京ミュージックネット加入施設周遊デジタルスタンプアリーナなどの新規事業に取り組み、周知活動にも力を入れ、文化事業への参加者を増やします。</p>		

ウ 学びを通じた交流・仲間づくりの推進

1-②-ウ ふれあいサロン	
事業概要	
地域活動センターにおいて、幅広い年代の区民が参加する各種イベントや様々な教室を開催し、生きがいづくりや区民間の交流の支援、地域のさらなる活性化を目指します。	
令和8年度に向けた目標(P)	
各地域の特色を生かしながら、住民の相互交流を促進し、地域活動を担う人材発掘と育成につながる講座を実施していきます。	
	成果・評価(D・C)
R4	新型コロナウイルス感染拡大以降、実施回数を縮減していましたが、令和4年度は感染対策を徹底しながら昨年度実績の2倍を上回る講座を実施することができました。
	次年度に向けた取組等(A)
	アフターコロナを見据え、実施回数をさらに増やすとともに、時事に即した事業を実施し、幅広い層の参加を促進していきます。

(3)分野別基本方針③ 学びの循環による地域づくり

ア 地域の学びを促進する人材育成の推進

1-③-ア 人材育成のための講座					
事業概要					
区や（公益）文京アカデミー等と協働して事業を行う人材を育成するため、「文の京生涯学習司」、「文の京地域文化インタープリター」「文京アカデミアサポーター」の3つの養成講座を実施します。					
指標:受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	39	45	45	45	45
実績(D)	41				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	区内大学、及び文京アカデミアサポーターの会の協力を得て、「文の京生涯学習司養成講座（隔年）」「サポーター養成講座」を実施し、地域人材の掘り起こしと新たな認定者の確保に繋がりました。また、講座運営には一定の人数を確保する必要があり、途中で参加を取り止める受講者も想定し、かつ講座運営が可能な人数の受講としたため、実績が目標を上回りました。		講座の継続のほか、生涯学習団体等と積極的な情報交換を行い、人材の育成・確保に努めます。		

1-③-ア 学習支援者スキルアップ講座					
事業概要					
(公財) 文京アカデミーと協働して事業を行う「文京アカデミアサポーター」「文の京生涯学習司」「文の京地域文化インタープリター」などの生涯学習支援者を対象としたスキルアップ講座を実施し、より多角的な活動が行える技能等を学習する機会を提供します。					
指標: 受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	50	70	70	70	70
実績(D)	46				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	より生涯学習支援活動に欠かせなくなりつつあるパソコン講座など、支援者のニーズを踏まえた講座や、支援者の企画運営する講座を実施し、効果的なスキルアップに繋がりました。		活動に必要なスキルを学ぶほか、関心の高い事象に関して情報共有を図ることで、充実した学習機会を提供します。		

イ 人材活用の仕組みの構築

1-③-イ 区民プロデュース講座					
事業概要					
区民の学習成果を活かし、地域に根差した生涯学習を推進するため、個人・NPO等の団体が企画する講座を公募して実施します。					
指標: 受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	202	300	300	300	300
実績(D)	186				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	生涯学習司による手厚い相談体制により、地域の人材から広く提案され、特色ある講座の開講に繋がりました。その一方で、コロナ禍から目標・実績ともに影響を受ける結果となりました。		相談体制を継続するとともに、新たな提案の創出に向けて、周知を行う範囲とアプローチの手法について検討していきます。		

1-③-イ 各種講座・展示会の企画への起用					
事業概要					
インタープリターや生涯学習司等の活躍を支援し、区の文化事業に活かしていく事業（企画展等）を展開していきます。					
指標:生涯学習支援者企画講座開催数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	30	30	30	30	30
実績(D)	30				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	アカデミア講座の選定のほか、イベント・公開講座の開催等、生涯学習支援者の協力を得て、多様なニーズに対し区民目線から質の高い学習機会を提供できました。		生涯学習支援者との連携を密にした積極的な意見交換により、活動の活性と講座の充実に向け、継続的に支援していきます。		

ウ 地域の資源を活かして学びを深める取組の推進

1-③-ウ 大学連携による各種事業					
事業概要					
区民のニーズにあった生涯学習機会を提供するため、大学と連携した事業を展開します。					
指標:受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,231	1,300	1,400	1,500	1,500
実績(D)	974				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	高度かつ専門的な学習機会提供のため、アカデミア講座、学長講演会、資格取得キャリアアップ講座等、人材、キャンパスを活用した講座を実施しました。また、オンライン・オンデマンドにより実施もしましたが、定員に満たなかったことが多かったため、継続的に内容や日時のほか、タイトルや導入文にも工夫を重ねます。		多くの方へ学習機会の提供が叶うよう、大学と連携した広報や、担当者とのコミュニケーションに努めます。		

1-③-ウ 文京お届け講座					
事業概要					
区民の自主的な学習活動を支援するとともに、区の職員が地域の団体の要望に応じて講師として職務に関する話をする事で、職員の意識改革と住民との協働関係の醸成を図ります。					
指標:実施講座数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	18	19	19	20	20
実績(D)	18				
	成果・評価(D・C)			次年度に向けた取組等(A)	
R4	一年を通して18件の講座申込があり、計455名の方が参加しました。これにより、区民の自主的な学習活動を支援し、区の施策等に対する理解を深めることができました。			新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での講座を控える団体も多く、いくつかの講座はZoomで実施しました。引き続き、区民の要望を正確に捉え、学習活動の支援を行います。	

No.	24	担当課	アカデミー推進課		
1-③-ウ 「文京学」講座					
事業概要					
文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミア講座の中で地域に関する講座を実施し、文京区の歴史・文化・自然を学び、地域文化を考えるための学習機会を提供します。					
指標:受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	120	120	120	120	120
実績(D)	110				
	成果・評価(D・C)			次年度に向けた取組等(A)	
R4	生涯学習支援者等の協力を得て、幅広い分野の人材による、地域に関する講座を提供しました。引き続き、講座内容の充実を図っていく必要があります。			地域に関する情報や人材の深掘りにより、新たな切り口からの講座が実施できるよう、生涯学習司等との連携をより強めます。	

2. 主要事業一覧

分野別基本方針①だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア スポーツの楽しさを知る機会の創出				
25	初心者向けスポーツ教室	○		
26	スポーツ交流ひろばの充実	○		
イ ユニバーサルスポーツの普及振興				
27	ニュースポーツ教室・大会	○		
28	障害者スポーツ体験教室	○	○	
ウ スポーツ観戦の場と機会の拡充				
29	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	○		
エ スポーツボランティア等の活動支援				
30	スポーツボランティアの養成	○	○	
分野別基本方針②いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備				
31	スポーツ交流ひろばの充実【再掲】	○		
32	まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業	○		
イ スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備				
33	スポーツ交流ひろば通信の発行	○		
34	スポーツボランティア情報の提供	○		
ウ スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開				
35	地域スポーツ団体の支援・育成	○		○
36	個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス	○		
37	スポーツの日事業	○		
エ スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化				
38	スポーツ指導者の育成	○		
オ 心身の健康づくり				
39	小・中学生向けスポーツ教室	○		
40	親子向けスポーツ教室	○		
41	スポーツ交流ひろばの充実【再掲】	○		
分野別基本方針③スポーツの力を活用した地域づくり		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア スポーツを通じた仲間づくりと地域づくり				
42	親子向けスポーツ教室【再掲】	○		
43	スポ・レクひろば	○		
イ プロスポーツ団体等との連携・協働				
44	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開【再掲】	○		
ウ 東京2020大会におけるレガシーの継承と活用				
45	障害者スポーツ体験教室	○	○	
エ 人材・組織(町会・地域クラブ)との連携・協働				
46	地域スポーツ団体の支援・育成【再掲】	○		○
47	スポーツ指導者地域派遣	○		

オ スポーツの魅力を感じてもらう機会の充実				
48	初心者向けスポーツ教室【再掲】	○		
49	小・中学生向けスポーツ教室【再掲】	○		

※総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略(令和2年度～令和5年度)に掲載されている事業。

※重点の欄は、令和4年度に文京区の重点施策として選定された事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1) 分野別基本方針① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充

指標	現状値	目標値
スポーツ実施率【スポーツをする】	54.9% (令和元年度)	60.0%
スポーツ観戦率【スポーツを見る】	23.7% (直接観戦) (令和元年度)	30.0%
スポーツボランティアの参加率【スポーツを支える】	10.7% (令和元年度)	20.0%

【分野別基本方針①だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充の状況】

スポーツの楽しさを知る機会の創出では、ウォーキング教室や小・中学生向けスポーツ教室、親子参加事業、子どもや高齢者、障害者等広く区民が参加できる事業を実施し、誰もが身近にスポーツを「する」機会を拡充しました。

ユニバーサルスポーツの普及振興では、年齢や性別、体力、障害の有無等に関わらず、誰もが気軽に参加できる、『ユニバーサルスポーツフェスタ』やボッチャ大会の実施により、パラスポーツの認知を広めるとともに、インクルーシブスポーツの普及を促進しました。また、事業の実施に当たり「支える」スポーツの担い手として、スポーツボランティアを活用し、活動件数は前年度を大きく上回る結果となりました。(18件、延べ86人)

スポーツ観戦の場と機会の拡充では、区と相互協力協定を締結する読売巨人軍やアルバルク東京の試合観戦や、日本サッカー協会との共同主催による、FIFAワールドカップ カタール2022 パブリックビューイング等を実施し、多くの区民に「見る」スポーツの機会を提供しました。

これらの取組を着実に進めることで、誰もがスポーツを身近に感じられる機会を拡充していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

(2)分野別基本方針② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり

指標	現状値	目標値
「スポーツ活動を支える環境を整備すること」への満足度	36.3% (令和元年度)	45.0%

指標	現状値 (令和元年度)	目標値	実績値 (令和4年度)
スポーツ指導者(スポーツ推進委員・スポーツリーダー)派遣の実績件数	120 件	135 件	85 件

【分野別基本方針② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりの状況】

スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開では、文京区体育協会加盟団体等、地域スポーツ団体を対象として、『スポーツRE:スタート支援事業補助金』を新設し、コロナ禍で活動が休止・停滞した各種スポーツ団体が実施する活動を支援しました。(支援実績 11事業)

スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化では、いつでも、どこでもスポーツに親しむことができるアウトリーチ型の取組として、地域にスポーツ指導者を85名派遣しました。また、スポーツ指導者(スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ交流ひろばの指導員等)を対象に、その資質向上を図るため、普通救命講習、初級障害者スポーツ指導者講習会等の各種研修や、筑波大学の教授を招いた講演会等を実施しました。

心身の健康づくりでは、スポーツ交流ひろば事業により、区立小・中学校の体育館や校庭を区民の身近なスポーツ活動の場として活用し、各種スポーツを実施できる環境を整備しました。また、各スポーツ施設では、児童や障害者、高齢者を対象とした事業や、ひとりで始めるきっかけを作ることが難しい競技の、初心者向け教室を実施しました。

これらの取組により、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、自らの健康の維持・増進に資することができる環境づくりを整備していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

(3)分野別基本方針③ スポーツの力を活用した地域づくり

指標	現状値 (令和元年度)	目標値	実績値 (令和4年度)
スポーツ団体等との連携事業数	20 件	23 件	10 件
関係団体（パラスポーツ団体含む）との連携事業数	5 件	7件	5 件

指標	現状値	目標値
事業参加者の満足度	-	80%

【分野別基本方針③ スポーツの力を活用した地域づくりの状況】

スポーツを通じた仲間づくりと地域づくりでは、区内専門学校の学生が、スポーツ推進委員会の事業（この指とまれクラブ）や愛の手帳保有者対象のスポーツ・レクリエーション活動（スポ・レクひろば）に参画し、年齢や障害に関わらない多様な人々の交流を促進することができました。

プロスポーツ団体等との連携・協働では、区内に拠点をもつスポーツ団体（読売巨人軍、アルバルク東京、CLUB LB& BRB等）や企業（トヨタ自動車、文化シヤッター等）との協働事業を10件実施し、スポーツをきっかけにしたシビックプライドの醸成に取り組みました。

また、東京2020大会におけるレガシーの継承と活用では、パラスポーツの認知を広めるため、区内のまつり等におけるポッチャブースの出展で、多くの来場者にパラスポーツ・ポッチャに触れる機会を提供しました。また、文京スポーツセンターが東京2020大会におけるハンドボール競技の公式練習会場として使用されたことから、区内小中学校において、日本ハンドボール協会によるハンドボール出前授業を行いました。

今後も、区の強みである『スポーツ資源』を活用した事業を実施することにより、スポーツの力を活用した、魅力的な地域づくりを展開していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充 ア スポーツの楽しさを知る機会の創出

2-①-ア 初心者向けスポーツ教室					
事業概要					
区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	371	380	390	400	408
実績(D)	371				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	個人で簡単に始めることができないスポーツについて、初心者でも気軽に体験できる機会を作ることができました。 種目：アーチェリー、合気道、弓道		初心者向けスポーツ教室を受講した後も、引き続きスポーツを継続できるよう、実施団体等と継続方法等について協議します。		

2-①-ア スポーツ交流ひろばの充実					
事業概要					
区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	23,878	24,474	25,070	25,666	26,265
実績(D)	23,878				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	区立小・中学校18校にて実施しました。参加者数については、徐々にですが、コロナ禍前の水準に戻りつつあります。		スポーツ交流ひろばに加えて、コロナ禍で中止とされていたプール一般開放の再開について、関係機関と検討していきます。		

イ ユニバーサルスポーツの普及振興

2-①-イ ニュースポーツ教室・大会

事業概要					
障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるドッチビーやポッチャ等の各種ニュースポーツ教室や大会を実施します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	243	249	255	261	267
実績(D)	243				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>コロナ禍でも、スポーツ推進委員会を中心に区内大学・専門学校の生徒やスポーツボランティアといった地域の資源と協力し、感染拡大防止対策を講じた上で、規模を縮小しながら実施しました。</p>		<p>パラスポーツのポッチャを一つのきっかけとして、可能性があれば他にも新たな種目による教室事業等を実施し、区民に広くニュースポーツに触れる機会を提供していきます。</p>		

2-①-イ 障害者スポーツ体験教室

事業概要					
障害のある方が気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,069	1,100	1,120	1,150	1,175
実績(D)	1,069				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>東京2020大会の終了後も、ポッチャやブラインドサッカー等パラスポーツを知る教室事業や体験会を行い、広く区民に参加いただきました。</p> <p>また、障害のある方でも気軽に参加できるよう内容を工夫した上で、区民誰もが安心して一緒に参加できるイベントを実施しました。</p>		<p>まつり等の場で継続的にパラスポーツに触れ、楽しいと思える機会を区民に提供することにより、パラスポーツの認知度を高めます。</p> <p>年齢、性別、体力、障害の有無に左右されことなく、誰でも参加できるインクルーシブ要素を取り入れたスポーツ事業を、今後展開します。</p>		

ウ スポーツ観戦の場と機会の拡充

2-①-ウ 地域のスポーツ団体等との連携による事業展開					
事業概要					
区内に拠点をもつスポーツ団体等との協力・連携により、スポーツ体験教室や大会等を実施します。					
指標:連携事業数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	10	15	18	21	23
実績(D)	10				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	サッカーW杯ではJFAと共同でパブリックビューイングを主催し、区一丸となって大会を盛り上げました。その他、読売巨人軍やアルバルク東京、東京ユナイテッドFCといった関係団体との協働事業も実施し、多くの区民に参加いただきました。		関係団体との協働を広く発信し、連携を強化しながら事業を実施し、区民にとって魅力的で参加しやすいスポーツ事業を計画・実施していきます。		

エ スポーツボランティア等の活動支援

2-①-エ スポーツボランティアの養成					
事業概要					
地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進するため、「支えるスポーツ」の担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣します。					
指標:派遣実績数(単位)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	18	18	19	19	20
実績(D)	18				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	スポーツボランティアの登録者数が増え、活動回数も前年度の倍になりました。健常者も障害者も一緒に活動できる機会も増やすことができました。		特別な能力が必要なく誰もができるのがスポーツボランティアであり、養成するには多様なボランティアとともに従事、交流するOJTが一番です。そのため、1回当たりの従事者の受け入れ数増加を図ります。		

(2)分野別基本方針② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり

ア 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備

2-②-ア スポーツ交流ひろばの充実【再掲】					
事業概要					
区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	23,878	24,474	25,070	25,666	26,265
実績(D)	23,878				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	区立小・中学校18校にて実施しました。参加者数については、徐々にですが、コロナ禍前の水準に戻りつつあります。		スポーツ交流ひろばに加えて、コロナ禍で中止としていたプール一般開放の再開について、関係機関と検討していきます。		

2-②-ア まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業					
事業概要					
子どもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設（六義公園運動場及び後楽公園少年野球場）を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供します。（あおぞらすくすく広場、親子すくすく教室、園児すくすくプログラム）					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	4,561	4,675	4,789	4,903	5,017
実績(D)	4,561				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	屋外スポーツ施設について、空きが多い時間帯を有効活用しながら、未就学児童の外遊びの機会を提供することができました。		引き続き、自由に遊ぶ場所が不足している未就学児童を対象に外遊びの機会を提供していきます。		

イ スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備

2-②-イ スポーツ交流ひろば通信の発行					
事業概要					
スポーツ交流ひろばの指導者に向けて、スポーツ振興に関する情報等を発信します。					
指標:通信の発行回数(回)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	12	12	12	12	12
実績(D)	12				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	「スポーツ交流ひろば通信」を通じて、必要な情報等を区、区立小中学校及び連絡指導員が共有することで、円滑な事業運営ができました。		引き続き、地域スポーツを普及・振興するため、地域スポーツ情報を提供していきます。		

2-②-イ スポーツボランティア情報の提供					
事業概要					
スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信します。					
指標:スポーツボランティア協力事業件数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	18	18	19	19	20
実績(D)	18				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	ホームページ等の発信にとどまらず、各種イベント等でスポーツボランティアの情報を発信しました。区主催の各種事業に、ボランティアとして多くの方に参加していただくことができました。		定量的な評価のみならず、ボランティア従事内容を充実させたり、障害のある人も一緒に活動できる機会を増やすなど、定性的な指標も取り組んでいきます。		

ウ スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開

2-②-ウ 地域スポーツ団体の支援・育成					
事業概要					
地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成します。					
指標: インクルーシブ推進事業補助金申請件数(件) ※令和4年度のみ「REスタート補助金」					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	11	20	20	20	20
実績(D)	11				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	REスタート補助金の申請件数が11件ありました。各スポーツ事業の再興へ貢献しました。		補助金の趣旨や申請方法等、周知活動に力を入れ目標以上の申請となるよう取り組みます。		

2-②-ウ 個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス					
事業概要					
卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ビーチボール、合気道、弓道、アーチェリー、柔道、剣道、ミニテニスなどの種目について、指導員を配置し、個人向けにスポーツ施設を開放します。					
指標: 3体育館の一般開放参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	22,994	23,568	24,142	24,716	25,293
実績(D)	22,994				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	スポーツセンター、総合体育館及び江戸川橋体育館で実施し、多くの区民等にスポーツする機会を提供することができました。		指導員を配置するとともに、地域の身近なスポーツ施設として、多くの区民に利用してもらえる機会を創出していきます。		

2-②-ウ スポーツの日事業					
事業概要					
子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、スポーツの日事業を開催します。					
指標:事業の合計延べ参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	4,212	4,317	4,422	4,527	4,633
実績(D)	4,212				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	実施日：令和4年10月10日（木・祝）9時～17時 会場：区内スポーツ施設（8か所） 令和4年度は雨天の影響もあり、参加者数に影響が 出ました。		より多くの区民に、スポーツを身近に感じたり楽しさを知ってもらうための機会を創出していきます。		

エ スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化

2-②-エ スポーツ指導者の育成					
事業概要					
スポーツ指導者の資質向上を図るため、スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ交流ひろばの指導員等を対象に各種研修会を実施します。					
指標:各種指導者講習会、実技研修等参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	62	64	66	68	69
実績(D)	62				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	スポーツ推進委員の自主性も尊重しながら普通救命講習、ボッチャ研修、筑波大学山田教授を招いた講演会等、各種研修を実施し、スポーツ推進委員、スポーツ交流ひろばの指導員等の指導・育成スキルの向上に寄与することができました。		任期の途中から委嘱されるスポーツ推進委員もいるため、すぐに周りの委員と同様な活動ができるよう研修等の充実を図る必要があります。		

オ 心身の健康づくり

2-②-オ 小・中学生向けスポーツ教室					
事業概要					
子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、水泳、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	158	162	166	170	174
実績(D)	158				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	文京区ローラースポーツ連盟、文京区少年サッカー連盟・JFAと協働でジュニア向けスポーツ教室を実施しました。初心者も楽しめる教室とし、スポーツをはじめのきっかけづくりとなりました。		協働団体と連携・相談を密にし、その他競技のスポーツ教室が実施できないか検討します。		

2-②-オ 親子向けスポーツ教室					
事業概要					
親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催する。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	522	535	548	561	575
実績(D)	522				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	ジャイアンツアカデミーやトヨタヴェルブリッツ等、計6の協働団体と親子教室を実施し、参加者アンケートでは9割以上から肯定的な評価をいただきました。		新型コロナウイルス感染症に鑑み、参加者を制限した事業もあり、落選者が多数となってしまいました。多くの方が参加できるよう、事業を計画していきます。		

2-②-オ スポーツ交流ひろばの充実【再掲】					
事業概要					
区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	23,878	24,474	25,070	25,666	26,265
実績(D)	23,878				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	区立小・中学校18校にて実施しました。参加者数については、徐々にですが、コロナ禍前の水準に戻りつつあります。		スポーツ交流ひろばに加えて、コロナ禍で中止としていたプール一般開放の再開について、関係機関と検討していきます。		

(3)分野別基本方針③ スポーツの力を活用した地域づくり ア スポーツを通じた仲間づくりと地域づくり

2-③-ア 親子向けスポーツ教室【再掲】					
事業概要					
親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催する。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	522	535	548	561	575
実績(D)	522				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	ジャイアンツアカデミーやトヨタヴェルブリッツ等、計6の協働団体と親子教室を実施し、参加者アンケートでは9割以上から肯定的な評価をいただきました。		新型コロナウイルス感染症に鑑み、参加者を制限した事業もあり、落選者が多数となってしまいました。多くの方が参加できるよう、事業を計画していきます。		

2-③-ア スポ・レクひろば					
事業概要					
知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通じて、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	245	251	257	263	270
実績(D)	245				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	令和3年度は4回の開催であったが、令和4年度は一度も中止することがなく全12回実施できました。また、リゾート&スポーツ専門学校の学生がボランティアとして運営に加わり、参加者と交流を深めました。		令和4年度は4区合同レクリエーションがリモート形式での交流でとどまりました。今後は対面での交流を図り、参加者が様々な人と交流できる機会を設けていきます。		

イ プロスポーツ団体等との連携・協働

2-③-イ 地域のスポーツ団体等との連携による事業展開【再掲】					
事業概要					
区内に拠点をもつスポーツ団体等との協力・連携により、スポーツ体験教室や大会等を実施します。					
指標:連携事業数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	10	15	18	21	23
実績(D)	10				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	サッカーW杯ではJFAと共同でパブリックビューイングを主催し、区一丸となって大会を盛り上げました。その他、読売巨人軍やアルバルク東京、東京ユナイテッドFCといった関係団体との協働事業も実施し、多くの区民に参加いただきました。		関係団体との協働を広く発信し、連携を強化しながら事業を実施し、区民にとって魅力的で参加しやすいスポーツ事業を計画・実施していきます。		

ウ 東京2020大会におけるレガシーの継承と活用

2-③-ウ 障害者スポーツ体験教室					
事業概要					
障害のある方が気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,069	1,100	1,120	1,150	1,175
実績(D)	1,069				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	東京2020大会の終了後も、ボッチャやブラインドサッカー等パラスポーツを知る教室事業や体験会を行い、多くの区民に参加いただきました。 また、障害のある方でも気軽に参加できるよう内容を工夫した上で、区民誰もが安心して一緒に参加できるイベントを実施しました。		まつり等の場で継続的にパラスポーツに触れ、楽しいと思える機会を区民に提供することにより、パラスポーツの認知度を高めます。 年齢、性別、体力、障害の有無に左右されことなく、誰でも参加できるインクルーシブ要素を取り入れたスポーツ事業を、今後展開します。		

エ 人材・組織(町会・地域クラブ)との連携・協働

2-③-エ 地域スポーツ団体の支援・育成【再掲】					
事業概要					
地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成します。					
指標:インクルーシブ推進事業補助金申請件数(件)※令和4年度のみ「REスタート補助金」					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	11	20	20	20	20
実績(D)	11				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	REスタート補助金の申請件数が11件ありました。各スポーツ事業の再建へ貢献しました。		REスタート補助金の反省を踏まえて、周知活動に力を入れ目標以上の申請となるよう取り組みます。		

2-③-エ スポーツ指導者地域派遣					
事業概要					
区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援します。					
指標:派遣者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	85	100	115	125	135
実績(D)	85				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	コロナウイルス感染症が終息しつつあり、地域のクラブが活動を再開し始めました。それに伴い申請件数が増加し、クラブ活動の補助を行いました。		申請があった種目に偏りがあるため、その他の種目の申請も増加するよう周知に取り組みます。		

オ スポーツの魅力を体感する機会の充実

2-③-オ 初心者向けスポーツ教室【再掲】					
事業概要					
区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	371	380	390	400	408
実績(D)	371				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	個人で簡単に始めることができないスポーツについて、初心者でも気軽に体験できる機会を作ることができました。 種目：アーチェリー、合気道、弓道		初心者向けスポーツ教室を受講した後も、引き続きスポーツを継続できるよう、実施団体等と継続方法等について協議します。		

2-③-オ 小・中学生向けスポーツ教室【再掲】					
事業概要					
子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、水泳、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	158	162	166	170	174
実績(D)	158				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	文京区ローラースポーツ連盟、文京区少年サッカー連盟・JFAと協働でジュニア向けスポーツ教室を実施しました。初心者も楽しめる教室とし、スポーツをはじめのきっかけづくりとなりました。		協働団体と連携・相談を密にし、その他競技のスポーツ教室が実施できないか検討します。		

2. 主要事業一覧

分野別基本方針①だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実				
50	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	○	○	
51	事業提携楽団によるコンサート	○	○	
イ 多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供				
52	小・中学生のための出前コンサート	○	○	
53	文の京コミュニティコンサート	○	○	
54	朗読コンテスト	○	○	
55	シビックコンサート	○	○	
56	夜能動画配信事業	○	○	
ウ 活動につながる契機としての鑑賞機会の提供				
57	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	○	○	
分野別基本方針②だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 文化芸術活動を楽しむことのできる機会の充実				
58	かるたの街文京を発信！【再掲】	○	○	
59	記念日イベント	○		
60	朗読コンテスト【再掲】	○	○	
イ 市民団体等の活動に対する支援の充実				
61	社会教育関係団体登録制度による活動支援【再掲】	○		
ウ 文化芸術活動の場の提供				
62	舞台芸術創造事業(大ホール)	○	○	
63	舞台芸術創造事業(小ホール)	○	○	
分野別基本方針③文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 次代を担う層が文化芸術への関心をもつきっかけとなる機会の充実				
64	親子向けコンサート	○	○	
65	観客参加型公演	○		
66	かるたの街文京を発信！【再掲】	○	○	
イ 文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成				
67	子ども俳句大会	○		
68	楽器演奏指導	○		
69	文京ふるさと歴史館収蔵品展	○	○	
70	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	○	○	
71	I don't know(能)…NO(能)problem!～みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト～	○	○	
ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の継承				
72	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	○	○	
73	かるたの街文京を発信！	○	○	
74	吹奏楽アンサンブルコンテスト	○	○	

分野別基本方針④地域の資源を活かしたまちづくりの推進		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 文化資源を活用した事業の推進				
75	「文の京文化発信プロジェクト」	○		
イ 特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信				
76	文の京ミュージアムネットワーク	○	○	
77	文京ふるさと歴史館特別展	○	○	
78	森鷗外記念館特別展・コレクション企画	○		
79	文の京ゆかりの文化人顕彰事業	○	○	
ウ 地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進				
80	文京ふるさと歴史館友の会の支援	○		
81	「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】	○		

※総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略(令和2年度～令和5年度)に掲載されている事業。

※重点の欄は、令和4年度に文京区の重点施策として選定された事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1) 分野別基本方針① だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】

指標	現状値	目標値
1年間に文化芸術を鑑賞した人の割合	81.2% (令和元年度)	83.0%

指標	現状値 (令和元年度)	目標値	実績値 (令和4年度)
文化事業への参加者・来場者数	22,595 人	25,000 人	29,990 人

【分野別基本方針①だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】の状況】

だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実では、文化・芸術に親しむ発表会、大会等を開催し、コロナ禍前の2年間の平均値の6割、14,340人の参加を目標としたところ、令和4年度単年度事業「文の京ミュージックネット施設入館料助成」をのべ16,398人が利用したこともあり、目標を大きく超える29,990人の参加がありました。また事業提携楽団によるコンサート事業では、区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結ぶシエナ・ウインド・オーケストラの協力によりコンサートを開催しました。

多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供では、小・中学生のための出前コンサートを開催し、プロのアーティストによる生演奏を初めて鑑賞する児童・生徒もあり、高い評価を得ました。また「文の京コミュニティコンサート」では、区民にとって身近な施設においてプロのアーティストの演奏を気軽に楽しむ機会を提供することができました。「朗読コンテスト」は跡見学園女子大学との大学連携により平成24年度から年1回開催していますが、令和4年度は森鷗外没後100年記念事業として鷗外の作品を課題として開催し、出場者17人及び観覧者113人の参加がありました。コンテストの様子は文京CATVで収録・放映されました。シビックコンサートはシビックセンター改修工事により会場の「区民ひろば」が使用不可のため、事業を休止しました。また夜能動画配信事業では、4番組に876人の応募があり、全員に視聴権を贈呈しました。

活動につながる契機としての鑑賞機会の提供では、文京区秋の文化祭、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊)、区民能楽鑑賞会等を実施して、のべ29,990人が参加されました。

だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくりの指標である文化事業への参加者数、来場者数は、29,990人と令和8年度目標の25,000人を上回りました。

【アカデミー推進協議会の意見】

(2)分野別基本方針② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】

指標	現状値	目標値
1年間に文化芸術活動をした人の割合	32.4% (令和元年度)	40.0%

【分野別基本方針② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】の状況】

文化芸術を楽しむことのできる機会の充実では、「かるたの街文京を発信！」として文京区にゆかりのある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント及びかるた教室等を開催しました。また「記念日イベント」で森鷗外に関する記念日に講演会、イベント及び来館者サービス等を行い、例年の2倍以上の集客がありました。また「朗読コンテスト」では鷗外の作品を課題として跡見学園女子大学プロッサムホールにて開催し、文京CATVの収録・放映も行いました。

市民団体等の活動に対する支援の充実では、社会教育関係団体登録制度による活動支援を行い、登録団体名簿の関連施設への配架及びホームページへの掲載により、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動の促進につながりました。また3年に一度の更新を実施し、活動している団体をより正確に把握することができました。

文化芸術活動の場の提供では、舞台芸術創造事業において優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供し、大ホールを利用した事業では新型コロナウイルス感染拡大により中止となった令和2年度の参加者による「カルメン」の再演を計画し、無事開催することができました。小ホールを利用した事業では5カ月のワークショップを通して参加者のエピソードを舞台化し、参加者自身が演じる形での公演を開催しました。

【アカデミー推進協議会の意見】

(3)分野別基本方針③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】

指標	現状値 (令和元年度)	目標値	実績値 (令和4年度)
若年層(20歳未満)の文化祭・各種つどい・大会への出品及び出演者数	-	200人	228人
区文化事業への若年層(20歳未満)の参加者数	-	1,500人	1,006人

【分野別基本方針③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】の状況】

次世代を担う層が文化芸術への関心を持つきっかけとなる機会の充実では、親子向けコンサート事業では「フルーツの国のおんがくパーティー♪」を開催し、観客から高い評価を得ました。また観客参加型公演として区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結ぶ太鼓芸能集団「鼓童」の協力により実施している観客参加型の交流公演とワークショップでは、公演前のワークショップに17人の親子が参加しました。リニューアルした小ホールにて、多くの親子が鼓童の公演を鑑賞しました。

文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成では、区内中学校在学学生を対象に子ども俳句大会を開催し、入選句を財団ホームページ及び歌壇・俳壇作品集等に掲載しました。また楽器演奏指導事業では、区立中学校において事業提携を結ぶシエナ・ウィンド・オーケストラ団員による吹奏楽部部員を対象とした個別演奏指導を実施し、高い評価を得ました。また文京ふるさと歴史館収蔵品展では、館蔵の寄贈資料をもとに区内に住んだ精神病学者とその交友関係を描いた展示を開催し、1,537人が観覧しました。テーマとなる人物を知らなくても興味深い展示であったという感想が多く、地域に魅力を感じる人が多かったという成果が得られました。また「I don't know(能)…NO(能)problem!～みんなで親しむ能(Noh)プロジェクト～」では、公益社団法人宝生会と連携して「鑑賞」と「体験」を交えた子ども向けの事業を実施し、アンケートでは90%の参加者が「おもしろかった」と評価しました。

多様な主体との連携・協力による文化資源の継承では、文京ふるさと歴史館友の会の自主的な運営の支援を行い、会員の増・事業参加者の増につながりました。また文の京文化発信プロジェクトではコロナ禍前の2年間の平均値の6割である374人の事業参加を目標としましたが、例年500人近い参加者がいる石見神楽公演の中止の影響もあり、達成率は6割でした。

文化芸術を支える人材の育成支援の充実の指標である若年層の文化祭・各種つどい・大会への出品及び出演者数は228人で、令和8年度目標の200人を上回りました。

【アカデミー推進協議会の意見】

(4)分野別基本方針④ 地域の資源を活かしたまちづくりの推進

指標	現状値	目標値
文京ふるさと歴史館と森鷗外記念館の区民認知度	-	70.0%
文京ふるさと歴史館と森鷗外記念館来館者の展示に関する満足度	82.3% (令和3年度)	90.0%

【分野別基本方針④ 地域の資源を活かしたまちづくりの推進の状況】

文化資源を活用した事業の推進では、文京ふるさと歴史館及び森鷗外記念館の特別展などで、文京区の文化資源をテーマに展示し、観覧していただくことができました。今後とも、様々な視点から掘り下げた展示を行い、内容に興味を覚えて満足を感じる方が多くなるよう、引き続き資料の研究や展示に尽力します。

特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信については、文の京ゆかりの文化人顕彰として、朗読コンテスト・史跡めぐり・歴史講演会・文化人の顕彰リーフレットという発信方法を使用しました。参加した方・リーフレットを読まれた方が文化人の業績に触れることで文京区の魅力の確認や再発見をすることができました。今後より多くの方が事業に参加できるよう、周知方法等を工夫していきます。

地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進では、文京ふるさと歴史館友の会の事業に協力しました。今後とも長期的に安定した運営ができるよう、支援を行います。また、町会や学校、近隣の団体等と友好的な関係を保ち、まちの魅力を発信していきます。

地域の資源を生かしたまちづくりのためには、地域の方々を始め、外部の方にもまちの魅力を知って訪れていただく必要があります。そのために様々なテーマや手法を用いて事業を進めていきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】

ア だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実

3-①-ア 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施					
事業概要					
文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）企画展、区民能楽鑑賞会等を実施します。					
指標：事業参加者数の合計(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000
実績(D)	29,990				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	各事業の参加者数の合計を成果指標としています。コロナ禍で再開できない事業もありましたが、コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値23,900人の6割の14,340人を目標としました。 令和4年度単年度事業「文の京ミュージックネット施設入館料助成」をのべ16,398人が利用したこともあり、目標を大きく超える実績となりました。		令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。全国藩校サミットや文の京ミュージックネット加入施設周遊デジタルスタンプアリーなどの新規事業に取り組み、周知活動にも力を入れ、文化事業への参加者を増やします。		

3-①-ア 事業提携楽団によるコンサート					
事業概要					
区及び（公財）文京アカデミーと事業提携を結ぶ、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウインド・オーケストラの協力により文化・芸術の振興を図ります。					
指標：来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,386	6,179	6,179	6,179	6,179
実績(D)	988				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	令和4年度は年度の途中までシビックホールが休館していたため、シエナ・ウインド・オーケストラによるコンサートのみ開催しました。新型コロナウイルスによる入場制限はなくなったが、休館によりシリーズ公演が休止したことが影響し目標値に届かなかったと考えます。		令和5年度、東京フィルハーモニー交響楽団によるシリーズ公演を再開し、ホール休館前に行っていたすべてのシリーズ公演を開催します。より多くの方々に鑑賞いただけるよう効果的な宣伝活動を行い、文化・芸術の振興を図ります。		

イ 多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供

3-①-イ 小・中学生のための出前コンサート					
事業概要					
子どもたちが身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、区及び（公財）文京アカデミーが事業提携する団体による区立小中学校への出前コンサートを行います。					
指標：実施した回数（回）					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	4	4	4	4	4
実績(D)	4				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	アーティスト及び開催校の理解・協力により新型コロナウイルス感染対策を講じた上で、区立の小・中学校各2校で予定通り開催しました。プロのアーティストによる生演奏を初めて鑑賞する児童・生徒もあり、担当教諭から高い評価をいただきました。		より深い興味・関心を持っていただけるよう、児童・生徒の感想や学校の要望に応じた演奏曲の選定や児童・生徒が参加するプログラムを取り入れていきます。		

3-①-イ 文の京コミュニティコンサート					
事業概要					
文京ミュージズネット等、区内文化施設において、施設の雰囲気や特長を活かしたミニ・コンサートを行い、音楽等を気軽に楽しむ機会を提供します。					
指標：実施した回数（回）					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	2	2	2	2	2
実績(D)	2				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	アーティスト及び森鷗外記念館など実施会場の理解・協力により、新型コロナウイルス感染対策を講じた上で予定通り開催しました。区民にとって身近な施設においてプロのアーティストの演奏を気軽に楽しむ機会を提供することができました。		来場者アンケート等を参考に、出演者の協力を得ながら演奏曲や演出等を見直し、より魅力的な内容としていきます。		

3-①-イ 朗読コンテスト					
事業概要					
文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。					
指標: 観覧者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	200	200	200	200	200
実績(D)	113				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	平成24年度から年1回開催しています。令和4年度は森鷗外没後100年記念事業として鷗外の作品を課題としました。 本選：11月13日 出場者：17人 観覧者：113人 会場：跡見学園女子大学プロッサムホール CATV収録・放映 観覧者席の間を空ける等の感染症対策を行いました。		会場観覧者数について目標値に近づくよう、主管の跡見学園女子大学と詳細に打ち合わせを行うなかで、会場観覧者募集方法、期間、周知先について工夫します。		

3-①-イ シビックコンサート					
事業概要					
クラシック・ポップス・ジャズなどの名曲を、管弦楽アンサンブルや声楽にのせて区内の大学及び専門学校生等がお届けするランチタイムコンサートを実施します。					
指標: 実施した回数(回)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	0	12	12	12	12
実績(D)	0				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	令和4年度は、区民ひろばが使用不可のため事業を休止しました。令和5年度の事業再開に向け、お茶の水女子大学、東邦音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校と出演月、演目等について調整しました。		区内の音楽系大学・専門学校等と協力し、毎月1回、ランチタイムコンサートを再開します。		

3-①-イ 夜能動画配信事業					
事業概要					
公益社団法人宝生会による有料動画配信を利用し、区民が能楽動画を観賞できるようにすることで、コロナ禍における文化施策の一つとして、自宅等にいながらも宝生流の能楽を観賞し、区の有する貴重な文化資源に触れる機会を創出します。					
指標:実施回数(回)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	4	4	4	4	4
実績(D)	4				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	4番組に876人の応募があり、全員に視聴権を贈呈しました。 コロナ禍においても大勢の方に芸術鑑賞の機会を提供することができました。		場所や時間の制約を受けずに伝統芸能を鑑賞できる動画視聴権の贈呈事業は、従来の愛好家層以外にも伝統芸能に親しむ人を増やす効果が期待できます。コロナ禍以降も継続し、番組を提供していきます。		

ウ 活動につながる契機としての鑑賞機会の提供

3-①-ウ 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】					
事業概要					
文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。					
指標:事業参加者数の合計(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000
実績(D)	29,990				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	各事業の参加者数の合計を成果指標としています。コロナ禍で再開できない事業もありましたが、コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値23,900人の6割の14,340人を目標としました。 令和4年度単年度事業「文の京ミュージックネット施設入館料助成」をのべ16,398人が利用したこともあり、目標を大きく超える実績となりました。		令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。全国藩校サミットや文の京ミュージックネット加入施設周遊デジタルスタンプアリーナなどの新規事業に取り組み、周知活動にも力を入れ、文化事業への参加者を増やします。		

(2)分野別基本方針② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】

ア 文化芸術活動を楽しむことのできる機会の充実

3-②-ア かるたの街文京を発信！【再掲】	
事業概要	
文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。	
令和8年度に向けた目標(P)	
事業の新設やPRの強化を行うことで実績を増加させ、競技かるたが区の文化資源として内外に認知されること、区内に競技かるたに親しむ人が増えることを目標とします。	
	成果・評価(D・C)
R4	<p>競技かるた最上位の対決「名人・クイーンドリームマッチ」を開催し、動画配信も行って、内外に「かるたの街文京」をPRしました。</p> <p>競技者を増やす事業として、学校への講師派遣やかるた教室の開催（共催）を実施しました。</p>
	次年度に向けた取組等(A)
	<p>4年度に実施した「名人・クイーンドリームマッチ」を継続して開催するとともに、大学生大会も新設して、区と競技かるたとのつながりをさらに発信していきます。</p> <p>また学校への講師派遣数を増加させ、競技かるたに触れるこどもの数を増やすように努めます。</p>

3-②-ア 記念日イベント					
事業概要					
森鷗外に関する記念日に講演会、イベント、来館者サービスを行い鷗外に関して親しみを持てる取り組みを行います。					
指標：記念日入館者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	400	400	400	400	400
実績(D)	971				
	成果・評価(D・C)			次年度に向けた取組等(A)	
R4	令和4年度は森鷗外没後100年記念年であったため鷗外忌（鷗外の命日7月9日492人）、誕生記念（1月19日479人）は区民観覧無料などを実施し、7事業全ての集客は例年の2倍以上となりました。			無料入館以外にイベントや講演会を開催し幅広い層の誘客を目指し計画します。人数は曜日によっても変動するため充実した内容を立案し多角的に広報します。	

3-②-ア 朗読コンテスト【再掲】					
事業概要					
文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。					
指標:観覧者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	200	200	200	200	200
実績(D)	113				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	平成24年度から年1回開催しています。令和4年度は森鷗外没後100年記念事業として鷗外の作品を課題としました。 本選：11月13日 出場者：17人 観覧者：113人 会場：跡見学園女子大学プロッサムホール CATV収録・放映 観覧者席の間を空ける等の感染症対策を行いました。		会場観覧者数について目標値に近づくよう、主管の跡見学園女子大学と詳細に打ち合わせを行うなかで、会場観覧者募集方法、期間、周知先について工夫します。		

イ 市民団体等の活動に対する支援の充実

3-②-イ 社会教育関係団体登録制度による活動支援【再掲】		
事業概要		
区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。		
令和8年度に向けた目標(P)		
区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を支援するため、登録団体名簿を周知します。また、団体の活動内容を正確に把握するため、令和7年度の更新に向けて、登録団体へ広く周知します。		
	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	登録団体名簿の関連施設への配架及びホームページへの掲載により、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動の促進につながりました。 また、3年に一度の更新を実施し、活動している団体をより正確に把握することができました。	引続き、区民の自主的な活動の促進のため、登録団体名簿を更新し、関連施設への配架、ホームページへ掲載します。また、団体の活動内容を正確に把握するため、活動実績の提出を求めるとともに、区民への周知を図ります。

ウ 文化芸術活動の場の提供

3-②-ウ 舞台芸術創造事業(大ホール)					
事業概要					
区民を対象にオペラ等の公演を目標とする講習会を実施し、優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	59	112	112	112	112
実績(D)	47				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった令和2年度の参加者による「カルメン」の再演を計画し、無事開催することができました。アンケートから、参加者は2年越しで公演を実現することができ大きな満足を得たことがわかりました。		令和5年度からは、より多くの区民が参加できるよう通常の形での開催を予定しています。参加者の募集について、区報および(公財)文京アカデミー広報紙、ホームページ等を活用し、広く周知を図ります。		

3-②-ウ 舞台芸術創造事業(小ホール)					
事業概要					
区民を対象に演劇等の舞台技術を学ぶ機会を提供し、活動を通じて優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	15	15	15	15	15
実績(D)	7				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	令和4年度は、5カ月のワークショップを通して、参加者のエピソードを舞台化し、参加者自身が演じる形での公演を開催しました。公演後、参加者から「自らのエピソードを自らが演じたことで大きな満足感が得られた。」との声が寄せられました。		令和5年度の区民演劇については、参加者がさらにモチベーションを高められるよう、ワークショップの講師と協議の上、内容を工夫していきます。		

(3)分野別基本方針③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】

ア 次代を担う層が文化芸術への関心をもつきっかけとなる機会の充実

3-③-ア 親子向けコンサート					
事業概要					
幼少期から保護者等と一緒に生の音楽等に触れる機会を提供します。					
指標: 来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	495	1,029	1,029	1,029	1,029
実績(D)	509				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	令和4年度は、年度途中までシビックホールが休館のため、「フルーツの国のおんがくパーティー♪」のみ開催した。(公財)文京アカデミーの自主制作による公演であり、観客のアンケートでも高い評価をいただきました。		令和5年度については、「フルーツの国のおんがくパーティー♪」に加え、「東京フィル 親子で楽しむはじめてのオーケストラ」を開催します。宣伝活動を積極的に行い、多くの親子に生の音楽に触れる機会を提供します。		

3-③-ア 観客参加型公演					
事業概要					
区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結ぶ、太鼓芸能集団鼓童の協力により、観客参加型の交流公演とワークショップを実施します。					
指標: 来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	284	284	284	284	284
実績(D)	291				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	公演前に「親子で楽しむ太鼓ワークショップ」を開催し、17人の親子が参加しました。例年、公演の中でも「太鼓演奏体験」を行ってきましたが、令和4年度は新型コロナウイルスの影響により「太鼓演奏体験」の実施は見送りました。リニューアルした小ホールにて、多くの親子が鼓童の公演を鑑賞しました。		社会状況を見ながら出演者と協力し、観客が実際に太鼓を演奏する機会を提供できるようワークショップおよび太鼓演奏体験の実施を計画します。		

3-③-ア かるたの街文京を発信！【再掲】	
事業概要	
文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。	
令和8年度に向けた目標(P)	
事業の新設やPRの強化を行うことで実績を増加させ、競技かるたが区の文化資源として内外に認知されること、区内に競技かるたに親しむ人が増えることを目標とします。	
成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4 競技かるた最上位の対決「名人・クイーンドリームマッチ」を開催し、動画配信も行って、内外に「かるたの街文京」をPRしました。 競技者を増やす事業として、学校への講師派遣やかるた教室の開催（共催）を実施しました。	4年度に実施した「名人・クイーンドリームマッチ」を継続して開催するとともに、大学生大会も新設して、区と競技かるたとのつながりをさらに発信していきます。 また学校への講師派遣数を増加させ、競技かるたに触れるこどもの数を増やすように努めます。

イ 文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成

3-③-イ 子ども俳句大会					
事業概要					
区内中学校在学学生を対象に、日本の伝統的文化のひとつである俳句を通じて自然や四季、日本語の美しさ、俳句の楽しさを体験します。					
指標：応募数(句)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	730	900	1,000	1,000	1,200
実績(D)	818				
成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)				
R4 全入選句（特選10句・入選20句）について（公財）文京アカデミーのホームページ及び歌壇・俳壇作品集に掲載したとともに、特選に選ばれた10句は、財団広報誌スクエア及び区報ぶんきょうにも掲載しました。	応募作品数増につなげるには学校の協力が不可欠であることから、事業趣旨への理解や投句への協力について丁寧に説明し、協力を求めます。				

3-③-イ 楽器演奏指導					
事業概要					
区立中学校吹奏楽部員の演奏技術向上及び文化芸術への関心を高めるため、事業提携を結ぶシエナ・ウィンド・オーケストラ団員による楽器演奏指導を行います。					
指標:実施回数(回)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	30	30	30	30	30
実績(D)	29				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	全ての区立中学校においてシエナ・ウィンド・オーケストラ団員による吹奏楽部部員を対象とした個別演奏指導を実施しましたが、受講予定生徒の都合により1回中止となりました。その他については、新型コロナウイルス感染対策を講じた上で実施し、顧問教員や生徒から高い評価を得ました。		引き続き、区立中学校吹奏楽部およびシエナ・ウィンド・オーケストラの協力を得て、事業を継続します。		

3-③-イ 文京ふるさと歴史館収蔵品展					
事業概要					
文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた館蔵資料を中心とした収蔵品展を開催します。					
指標:アンケートの満足回答の割合(%)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	79	80	80	80	80
実績(D)	79				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	アンケート項目は「テーマ設定=良い」「わかりやすさ=わかりやすい」を選択した割合の平均値です。館蔵の寄贈資料をもとに、区内に住んだ精神病学者とその交友関係を描いた「杉田直樹と仲間たち 文三・潤一郎・茂吉」を開催しました。 会期 2月11日～3月19日 入館者数 1,537人 テーマとなる人物を知らなくても興味深い展示であったという感想が多く、地域に魅力を感じる人が多かったという成果が得られました。		今後とも、館蔵資料の研究成果をもとに、地域の魅力を様々な形で紹介していきます。展示内容に興味を覚えて満足を感じる回答の割合が多くなるよう、引き続き資料を研究し展示を行います。		

3-③-イ 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】					
事業概要					
文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡）企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。					
指標：事業参加者数の合計(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000
実績(D)	29,990				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>各事業の参加者数の合計を成果指標としています。コロナ禍で再開できない事業もありましたが、コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値23,900人の6割の14,340人を目標としました。</p> <p>令和4年度単年度事業「文の京ミュージックネット施設入館料助成」をのべ16,398人が利用したこともあり、目標を大きく超える実績となりました。</p>		<p>令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。全国藩校サミットや文の京ミュージックネット加入施設周遊デジタルスタンプアリーナなどの新規事業に取り組み、周知活動にも力を入れ、文化事業への参加者を増やします。</p>		

3-③-イ I don't know(能)…NO(能)problem!～みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト」～					
事業概要					
公益社団法人宝生会と連携し、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施します。					
指標：アンケートで「おもしろかった」と答えた人の割合(%)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	80	80	80	80	80
実績(D)	90				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>応募数 761人 応募者数 189人（倍率4倍） 参加者数 129人</p> <p>感染防止の観点から、楽器や着付け体験の内容を一部変更・中止して開催しましたが、参加者アンケートでは高い評価をいただきました。</p>		<p>コロナ禍で変更したプログラムのうち、好評だったものは継続しながら以前と同等の内容で体験会が実施できるよう検討していきます。</p>		

ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の継承

3-③-ウ 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】					
事業概要					
文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。					
指標：事業参加者数の合計（人）					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000
実績（D）	29,990				
	成果・評価（D・C）		次年度に向けた取組等（A）		
R4	各事業の参加者数の合計を成果指標としています。コロナ禍で再開できない事業もありましたが、コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値23,900人の6割の14,340人を目標としました。 令和4年度単年度事業「文の京ミュージックネット施設入館料助成」をのべ16,398人が利用したこともあり、目標を大きく超える実績となりました。		令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。全国藩校サミットや文の京ミュージックネット加入施設周遊デジタルスタンプアリーナなどの新規事業に取り組み、周知活動にも力を入れ、文化事業への参加者を増やします。		

3-③-ウ かるたの街文京を発信！		
事業概要		
文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。		
令和8年度に向けた目標（P）		
事業の新設やPRの強化を行うことで実績を増加させ、競技かるたが区の文化資源として内外に認知されること、区内に競技かるたに親しむ人が増えることを目標とします。		
	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	競技かるた最上位の対決「名人・クイーン・ドリームマッチ」を開催し、動画配信も行って、内外に「かるたの街文京」をPRしました。 競技者を増やす事業として、学校への講師派遣やかるた教室の開催（共催）を実施しました。	4年度に実施した「名人・クイーン・ドリームマッチ」を継続して開催するとともに、大学生大会も新設して、区と競技かるたとのつながりをさらに発信していきます。 また学校への講師派遣数を増加させ、競技かるたに触れるこどもの数を増やすように努めます。

3-③-ウ 吹奏楽アンサンブルコンテスト					
事業概要					
公募したアンサンブル団体の演奏に、シエナ・ウインド・オーケストラ団員が講評・表彰等を行います。プロの講評を受け、演奏技術向上につなげます。					
指標:参加団体数(団体)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	0	27	27	27	27
実績(D)	0				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	令和4年度は、改修工事に伴うシビックホール休館のため休止となりました。		令和5年度に事業を再開します。多くの参加が得られるよう、チラシ配布に加え、SNS等を活用した参加団体募集を行います。		

(4)分野別基本方針④ 地域の資源を活かしたまちづくりの推進
ア 文化資源を活用した事業の推進

3-④-ア 「文の京文化発信プロジェクト」					
事業概要					
文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働（共催）により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。					
指標:事業参加者数の合計(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	374	498	623	623	623
実績(D)	228				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	1事業を除き事業を再開しました。 コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値623人（終了事業の実績を除く）の6割である374人の参加を目標としましたが、例年500人近い参加者がある石見神楽公演の中止の影響もあり、達成率は6割でした。		令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。 盛岡市と友好都市提携5周年を迎えるため、両自治体で互いの文化を発信する事業を開催し、交流を活発化させます。ミスさんさ派遣委託等の事業を開催して区民に盛岡市の文化に触れる機会を提供していきます。		

イ 特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信

3-④-イ 文の京ミュージアムネットワーク	
事業概要	
区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」（文京ミュージズネット）として連携し、各施設の特色や個性を発信します。	
令和8年度に向けた目標(P)	
区の貴重な文化資源として積極的に周知し、連携を深めていきます。	
成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4 例年実施している事業（全体会議、文京ミュージズネットマップの作成、ミュージズフェスタの開催）のほか、単年度事業として入館料助成キャンペーンを行い、2か月間で16,398件もの利用がありました。これに伴いミュージズネットマップ日本語版も作成した35,000部すべてが配布終了するなど、文の京ミュージズネットの区民認知度が大きく向上したと考えられます。	R5年度は施設改修工事のためミュージズフェスタの開催を中止します。代替事業としてミュージズ施設をめぐるデジタルスタンプラリーを実施し、ミュージズフェスタの活動を盛り上げます。

3-④-イ 文京ふるさと歴史館特別展					
事業概要					
文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた特別展を開催します。					
指標: アンケートの満足回答の割合(%)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	85	80	80	80	80
実績(D)	85				
成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)				
R4 アンケート項目は「テーマ設定=良い」「わかりやすさ=わかりやすい」を選択した割合の平均値です。区内の国名勝及び史跡として文化財指定された東京大学大学院理学系研究科附属植物園の歴史や文化を取り上げる「小石川植物園異聞 白山御殿跡いま・むかし」を開催しました。 会期 10月29日～12月11日 入館者数 2,344人 区内の名所である小石川植物園をテーマとして、縄文時代から現在に至るまでの歴史、植物園を舞台とした文学作品の紹介など、多角的に展示し、好評を得ました。	今後とも、文京区の歴史や文化について様々な視点から掘り下げた展示を行います。内容に興味を覚えて満足を感じる回答の割合が多くなるよう、引き続き資料の研究や展示に尽力します。				

3-④-イ 森鷗外記念館特別展・コレクション企画					
事業概要					
森鷗外の作品や人生に関することをテーマに、資料収集、調査研究した成果を、特別展及び館蔵品を中心としたコレクション企画として実施します。					
指標: アンケートの満足回答の割合(%)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	80	80	80	80	80
実績(D)	96				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	展示に関する満足度調査(満足・やや満足)の合計は96%(内訳: 満足71%、やや満足25%)今後さらに充実した展覧会を目指し運営を行います。		展覧会に対して常に満足いただけるよう、テーマや思考を変えた企画を充実させます。		

3-④-イ 文の京ゆかりの文化人顕彰事業					
事業概要					
文京区に足跡を残した文化人を顕彰し、多様な文化的資源の継承、発掘及び情報発信を進めます。年度ごとに生誕没後などの記念の年にあたる文化人を中心に、朗読コンテスト、講演会等の顕彰事業を実施します。					
指標: 朗読コンテスト(参加及び観覧)、史跡めぐり、講演会応募者数の合計(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	558	600	600	600	600
実績(D)	558				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>①朗読コンテスト</p> <p>跡見学園女子大学と共催し実施しました。没後100年を迎えた森鷗外の作品を課題作とし、朗読の応募者256人、観覧応募者は146人でした。</p> <p>②史跡めぐり</p> <p>本郷・西片の樋口一葉が暮らした風景をたどるというテーマで55人の応募がありました。</p> <p>③歴史講演会</p> <p>一葉作品にみる明治の出版と挿絵という演題で、101人の応募がありました。</p> <p>また、文化人の業績について紹介するリーフレットを作成配付したことで、より多くの方々に文京区及びゆかりの文化人を周知し興味を持っていただくきっかけづくりができました。</p>		申込受付方法、募集方法、会場の収容人数などを関係各所と打ち合わせ、応募者増につながる工夫を行います。		

ウ 地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進

3-④-ウ 文京ふるさと歴史館友の会の支援	
事業概要	
文京ふるさと歴史館友の会の自主的な活動を支援し、地域の現状や歴史・文化を知るための学習機会の充実を図ります。協働による事業の実施や「文京まち案内」ボランティアガイドの活動支援を行います。	
令和8年度に向けた目標(P)	
文京ふるさと歴史館友の会の会員が増加し、協働による事業の参加者数も増加させていきます。	
成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4 月1回の友の会役員会に同席し、情報共有を行いました。区の事業（史跡めぐり）への協力を受けました。また、まち案内を希望する団体とガイドとの連絡を行いました。会の自主的な運営を支援することで、会員の増・事業参加者の増につながりました。	引き続き情報を共有します。また、より長期的に安定的な運営ができるよう、活動支援を行います。

3-④-ウ 「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】					
事業概要					
文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働（共催）により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。					
指標：事業参加者数の合計(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	374	498	623	623	623
実績(D)	228				
成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)				
R4 1事業を除き事業を再開しました。コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値623人（終了事業の実績を除く）の6割である374人の参加を目標としましたが、例年500人近い参加者がある石見神楽公演の中止の影響もあり、達成率は6割でした。	令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。 盛岡市と友好都市提携5周年を迎えるため、両自治体で互いの文化を発信する事業を開催し、交流を活発化させます。ミスさんさ派遣委託等の事業を開催して区民に盛岡市の文化に触れる機会を提供していきます。				

2. 主要事業一覧

分野別基本方針①区内まるごと周遊の促進		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出				
82	観光写真コンクール	○		
83	花の五大まつり等助成	○	○	
イ マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上				
84	観光ガイド事業	○	○	
分野別基本方針②いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 観光情報の収集・発信力の充実と共有促進				
85	観光インフォメーション	○	○	
86	観光ガイドマップ、グルメマップの作成・多言語化【再掲】	○	○	
イ 情報発信環境の整備				
87	観光インフォメーション【再掲】	○	○	
88	観光ガイドマップ、グルメマップの作成・多言語化	○	○	
分野別基本方針③つながりから生まれる観光の推進		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 他分野(スポーツ、文化芸術等)との融合				
89	文の京ミュージアムネットワーク【再掲】	○	○	
90	文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】	○		
イ 国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力				
91	友好都市交流フェスタ【再掲】	○	○	
92	文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】	○		
分野別基本方針④何度でも訪れたいくなるおもてなしの環境整備		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 観光客の受入基盤整備				
93	観光ガイドマップ、グルメマップの作成・多言語化【再掲】	○	○	
94	文の京ミュージアムネットワーク【再掲】	○	○	
イ 多様な人材の育成・活用				
95	観光ガイド事業【再掲】	○	○	

※総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略(令和2年度～令和5年度)に掲載されている事業。

※重点の欄は、令和4年度に文京区の重点施策として選定された事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1) 分野別基本方針① 区内まるごと周遊の促進

指標	現状値	目標値
文京区の他者推奨意向	84.1% (令和元年度)	85.0%

【分野別基本方針① 区内まるごと周遊の促進の状況】

観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出では、文京花の五大まつり等の実施及び復興等に要する経費への補助を行うことで、まつりの振興及び地域活力の復興を図ることができました。引き続き、文京花の五大まつり等の振興及び地域活力の復興等へつなげる経費等への補助を行うとともに、積極的な情報発信を行い、まつりへの誘客を促進することで、まつりの振興及び発展を図ります。

マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上では、新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたガイドツアーを令和3年度より段階的に再開し、令和4年度には予約ガイドツアーを再開しました。また、3年ぶりに新規ガイドの募集を行い、新たに8名の新規ガイドを登録しました。引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。

これらの取組を着実に進めることで、本区の多彩な観光資源を継承し、磨き上げるとともに、区内の観光資源を新たな目線で活用する取組を推進し、地域の魅力創出を図っていきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

(2)分野別基本方針② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有

指標	現状値 (令和元年度)	目標値	実績値 (令和4年度)
文京区観光協会のホームページの新規ユーザー	44,115 件	50,000 件	88,009 件 ※

【分野別基本方針② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有の状況】

観光情報の収集・発信力の充実と共有促進では、国内外の観光客数の回復もあり、来所人数や相談件数が増加傾向にある観光インフォメーションにおいて、広く本区の観光情報の発信を行いました。引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。

情報発信環境の整備では、観光ガイドマップを5か国語、グルメマップを3か国語で作成するなど、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しました。また、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組みました。引き続き、観光ガイドマップ等の多言語化・Web化を推進し、利便性の向上を図るとともに、観光ガイドマップのリニューアルを行うなど、情報発信力の強化に取り組みます。

これらの取組を着実に進めることで、だれもが、いつでも、どこでも手軽に必要な情報を入手できる環境を整えるとともに、区民等が本区の観光資源等に関する情報を共有し、自発的な発信を促す取組を推進し、観光情報の発信力の充実を図っていきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

※過去2年以内に新規アクセスしたユーザーの数値であるが、令和3年4月にサイトリニューアルを実施しているため、令和4年度分の数値については令和3年3月以前の重複ユーザーは除外されていない。

(3)分野別基本方針③ つながりから生まれる観光の推進

指標	現状値 (令和元年度)	目標値	実績値 (令和4年度)
協定等締結自治体との連携実績	57 件	70 件	88 件

【分野別基本方針③ つながりから生まれる観光の推進の状況】

他分野(スポーツ、文化芸術等)との融合では、例年実施している事業(文京ミュージズネットマップの作成、ミュージズフェスタの開催等)のほか、単年度事業として入館料助成キャンペーンを行い、2か月間で16,398件もの利用がありました。これに伴い、ミュージズネットマップ日本語版も作成した35,000部すべてが配布終了するなど、文の京ミュージズネットの区民認知度が大きく向上したと考えられます。令和5年度は、施設改修工事のためミュージズフェスタの開催を中止しますが、代替事業としてミュージズ施設をめぐるデジタルスタンプラリーを実施し、ミュージズフェスタの活動を盛り上げていきます。

国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力では、4年振りに対面での国際交流フェスタを実施し、前回(令和元年度)より来場者数が200人増加しました。また、国内交流自治体の物産店を実施するなど、国内の魅力発信も併せて行いました。令和5年度は、国際交流のみならず国内交流の魅力発信も一層充実させることで、双方の文化に触れてもらう機会を創出し、誘客促進や交流自治体の認知度向上へつなげていきます。

これらの取組を着実に進めることで、文化芸術など、他分野との関係性を深めるとともに、協定等締結自治体等との交流を促進し、様々な形での連携・協力による新しい「文の京」の観光を推進していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

(4)分野別基本方針④ 何度でも訪れたいくなるおもてなしの環境整備

指標	現状値	目標値
「だれもが観光に訪れたいくなるまちを支える仕組みをつくること」への満足度	区民：38.9% 事業参加者：76.0% (令和元年度)	区民：50.0% 事業参加者：81.0%

【分野別基本方針④ 何度でも訪れたいくなるおもてなしの環境整備の状況】

観光客の受入基盤整備では、観光ガイドマップを5か国語、グルメマップを3か国語で作成するなど、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しました。また、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組んでいます。引き続き、観光ガイドマップ等の多言語化・Web化を推進し、利便性の向上を図るとともに、観光ガイドマップのリニューアルを行うなど、情報発信力の強化に取り組めます。

多様な人材の育成・活用では、新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたガイドツアーを令和3年度より段階的に再開し、令和4年度には予約ガイドツアーを再開しました。また、3年ぶりに新規ガイドの募集を行い、新たに8名の新規ガイドを登録しました。引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。

これらの取組を着実に進めることで、だれもが安心して区内観光を楽しみながら、区民や訪れる方が本区に愛着を感じ、何度でも訪れたいくなるための環境づくりを推進していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① 区内まるごと周遊の促進 ア 観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出

4-①-ア 観光写真コンクール					
事業概要					
文京区観光協会において区内の名所・旧跡などの歴史文化遺産や花の五大まつりなどの風物詩、現代のまちな表情を広く紹介する観光写真コンクールを実施します。					
指標:観光写真コンクールの応募者数(人)、写真展の来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	700	715	730	745	760
実績(D)	736				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	令和4年度で第60回を迎え、区民を中心にたくさんの応募がありました。特にジュニア部門では、新たにジュニア向け写真教室を実施することで、参加者の増加につなげることができました。		新たな参加者の増加につながる取り組みを検討するとともに、観光PRポスターをはじめ様々な機会 で受賞作品を使用することで、観光PRへ繋げていきます。		

4-①-ア 花の五大まつり等助成					
事業概要					
文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりのPR及び実施に要する経費等の補助を行い、まつりの振興と発展を図ります。					
指標:文京花の五大まつり等の来場者数(万人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	155	170	170	170	170
実績(D)	155				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	文京花の五大まつり等の実施及び復興等に要する経費への補助を行うことで、まつりの振興及び地域活力の復興を図ることができました。		引き続き、文京花の五大まつり等の振興及び地域活力の復興等へつながる経費等への補助を行うとともに、積極的な情報発信を行い、まつりへの誘客を促進することで、まつりの振興及び発展を図ります。		

イ マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上

4-①-イ 観光ガイド事業					
事業概要					
区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成するとともに、まちあるきコースの開発や案内を行います。					
指標: 観光ガイドツアーの参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	300	350	400	450	500
実績(D)	323				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたガイドツアーを令和3年度より段階的に再開し、令和4年度には予約ガイドツアーを再開しました。また、3年ぶりに新規ガイドの募集を行い、新たに8名の新規ガイドを登録しました。		引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。		

(2)分野別基本方針② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有 ア 観光情報の収集・発信力の充実と共有促進

4-②-ア 観光インフォメーション					
事業概要					
シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報収集・提供や案内を行います。					
指標: 観光インフォメーションでの案内件数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,650	1,850	1,850	1,850	1,850
実績(D)	1,650				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	国内外の観光客数の回復もあり、来所人数や相談件数が増加傾向にある観光インフォメーションにおいて、広く本区の観光情報の発信を行いました。		引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。		

4-②-ア 観光ガイドマップ、グルメマップの作成・多言語化【再掲】					
事業概要					
区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドマップ」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。					
指標: 観光ガイドマップの作成部数(万部)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	6	7	7	7	7
実績(D)	6				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	観光ガイドマップを5か国語、グルメマップを3か国語で作成するなど、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しました。また、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組みました。		引き続き、観光ガイドマップ等の多言語化・Web化を推進し、利便性の向上を図るとともに、観光ガイドマップのリニューアルを行うなど、情報発信力の強化に取り組みます。		

イ 情報発信環境の整備

4-②-イ 観光インフォメーション【再掲】					
事業概要					
シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報収集・提供や案内を行います。					
指標: 観光インフォメーションでの案内件数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,650	1,850	1,850	1,850	1,850
実績(D)	1,650				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	国内外の観光客数の回復もあり、来所人数や相談件数が増加傾向にある観光インフォメーションにおいて、広く本区の観光情報の発信を行いました。		引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。		

4-②-イ 観光ガイドマップ、グルメマップの作成・多言語化					
事業概要					
区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドマップ」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。					
指標: 観光ガイドマップの作成部数(万部)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	6	7	7	7	7
実績(D)	6				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	観光ガイドマップを5か国語、グルメマップを3か国語で作成するなど、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しました。また、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組みました。		引き続き、観光ガイドマップ等の多言語化・Web化を推進し、利便性の向上を図るとともに、観光ガイドマップのリニューアルを行うなど、情報発信力の強化に取り組みます。		

(3)分野別基本方針③ つながりから生まれる観光の推進 ア 他分野(スポーツ、文化芸術等)との融合

4-③-ア 文の京ミュージアムネットワーク【再掲】		
事業概要		
区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京ミューズネット)として連携し、各施設の特色や個性を発信します。		
令和8年度に向けた目標(P)		
区と施設及び施設間の連携を深め、区の貴重な文化資源として積極的に周知していきます。		
	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	例年実施している事業(全体会議、文京ミューズネットマップの作成、ミューズフェスタの開催)のほか、単年度事業として入館料助成キャンペーンを行い、2か月間で16,398件もの利用がありました。これに伴いミューズネットマップ日本語版も作成した35,000部すべてが配布終了するなど、文の京ミューズネットの区民認知度が大きく向上したと考えられます。	令和5年度は施設改修工事のためミューズフェスタの開催を中止します。代替事業としてミューズ施設をめぐるデジタルスタンプラリーを実施し、ミューズフェスタの活動を盛り上げます。

4-③-ア 文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】					
事業概要					
区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。					
指標:文京博覧会(ぶんぱく)への来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	8,000	9,000	10,000	11,000	12,000
実績(D)	8,507				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について広く区内外に情報発信を行いました。		区内産業や伝統工芸等を文京区内外により広く知ってもらうため、積極的な情報発信を行っていく必要があります。		

イ 国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力

4-③-イ 友好都市交流フェスタ【再掲】					
事業概要					
外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて、国際交流、国内交流のそれぞれの魅力を体験するイベントを実施します。					
指標:友好都市交流フェスタの来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,300	1,350	1,400	1,450	1,500
実績(D)	1,300				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	4年振りに対面での国際交流フェスタを実施し、前回(令和元年度)より来場者数が200人増加しました。また、国内交流自治体の物産店を実施する等国内の魅力発信も併せて行いました。		国際交流のみならず、国内交流の魅力発信を充実させ、双方の文化に触れてもらうイベントへと規模を拡大します。そのため、より誘客でき、かつ、交流自治体の認知度向上へつなげる出展を検討し、内容の充実を図ります。		

4-③-イ 文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】					
事業概要					
区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。					
指標:文京博覧会(ぶんぱく)への来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	8,000	9,000	10,000	11,000	12,000
実績(D)	8,507				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について広く区内外に情報発信を行いました。		区内産業や伝統工芸等を文京区内外により広く知ってもらうため、積極的な情報発信を行っていく必要があります。		

**(4)分野別基本方針④ 何度でも訪れたいくなるおもてなしの環境整備
ア 観光客の受入基盤整備**

4-④-ア 観光ガイドマップ、グルメマップの作成・多言語化【再掲】					
事業概要					
区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドマップ」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。					
指標:観光ガイドマップの作成部数(万部)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	6	7	7	7	7
実績(D)	6				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	観光ガイドマップを5か国語、グルメマップを3か国語で作成するなど、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しました。また、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組みました。		引き続き、観光ガイドマップ等の多言語化・Web化を推進し、利便性の向上を図るとともに、観光ガイドマップのリニューアルを行うなど、情報発信力の強化に取り組みます。		

4-④-ア 文の京ミュージアムネットワーク【再掲】		
事業概要		
区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」（文京ミュージズネット）として連携し、各施設の特色や個性を発信します。		
令和8年度に向けた目標(P)		
区と施設及び施設間の連携を深め、区の貴重な文化資源として積極的に周知していきます。		
	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	<p>例年実施している事業（全体会議、文京ミュージズネットマップの作成、ミュージズフェスタの開催）のほか、単年度事業として入館料助成キャンペーンを行い、2か月間で16,398件もの利用がありました。これに伴いミュージズネットマップ日本語版も作成した35,000部すべてが配布終了するなど、文の京ミュージズネットの区民認知度が大きく向上したと考えられます。</p>	<p>令和5年度は施設改修工事のためミュージズフェスタの開催を中止します。代替事業としてミュージズ施設をめぐるデジタルスタンプラリーを実施し、ミュージズフェスタの活動を盛り上げます。</p>

イ 多様な人材の育成・活用

4-④-イ 観光ガイド事業【再掲】					
事業概要					
区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成するとともに、まちあるきコースの開発や案内を行います。					
指標: 観光ガイドの新規登録者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	10	-	10	-	10
実績(D)	8	-			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたガイドツアーを令和3年度より段階的に再開し、令和4年度には予約ガイドツアーを再開しました。また、3年ぶりに新規ガイドの募集を行い、新たに8名の新規ガイドを登録しました。</p>		<p>引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。</p>		

2. 主要事業一覧

分野別基本方針①国内交流自治体との交流促進と相互発展		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 国内交流自治体の魅力発信とPR の充実				
96	国内交流自治体食材購入費補助事業	○	○	
97	友好都市交流フェスタ【再掲】	○	○	
イ 国内交流自治体との交流の活性化				
98	交流自治体主催の区民向け事業への協力	○		
99	区事業における物産展等の出店	○		
ウ 横断的な交流事業の展開				
100	文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】	○		
101	「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】	○		
分野別基本方針②国際理解を育み定着に向けた機会づくり		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 海外都市との交流の活性化				
102	海外都市との交流の活性化	○	○	
103	ホームステイ生徒交換事業	○	○	
イ 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有				
104	生涯学習講座での国際理解推進	○		
105	友好都市交流フェスタ	○		
106	国際理解促進事業	○	○	
ウ 横断的な交流事業の展開				
107	国際理解促進事業【再掲】	○	○	
分野別基本方針③外国人が活躍できる環境づくり		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 多言語及びやさしい日本語を活用した情報発信の充実				
108	外国人の日常生活支援のための多言語化	○		
109	国際理解促進事業【再掲】	○	○	
イ 外国人の活躍できる場の提供支援				
110	区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	○		

※総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略(令和2年度～令和5年度)に掲載されている事業。

※重点の欄は、令和4年度に文京区の重点施策として選定された事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1) 分野別基本方針① 国内交流自治体との交流促進と相互発展

指標	現状値	目標値
国内交流自治体の認知度	18.5% (令和元年度)	25.0%

【分野別基本方針① 国内交流自治体との交流促進と相互発展の状況】

交流自治体の魅力発信とPRの充実では、国内交流自治体食材購入費補助事業における食めぐりスタンプラリー参加店舗が8店舗増加し、スタンプラリー応募件数も44件増加しました。また、スタンプラリー当選賞品を協定等締結自治体の特産品にリニューアルしたことで、区民が交流自治体を知る契機となり、文京区の交流自治体の認知度向上につなげることができました。引き続き交流自治体、区民及び参加事業者3者にメリットのある事業になるよう、当選商品の検討及びスタンプラリーの方法を検討していきます。また、事業の認知度の向上を図るだけでなく、協定締結等自治体の認知度向上にも寄与する周知を行います。

交流自治体との交流の活性化では、各イベントに交流自治体が物産展を出店し、誘客につなげることができ、併せて区民に国内交流自治体の魅力を広く発信し、周知することができました。物産展の出店を通じ、交流自治体との関係構築に寄与し、さらなら自治体同士の連携強化につなげることができています。今後も交流自治体の参加を促し、その地域の観光資源や物産を広くPRすることで、国内の魅力を区民に広く周知し、交流を継続するとともに、より自治体同士の関係を強固にし、さらに自治体間交流の促進につなげていきます。

横断的な交流事業文京博覧会では、区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について広く区内外に情報発信を行いました。次年度以降は、区内産業や伝統工芸等を文京区内外により広く知ってもらうため、積極的な情報発信を行っていく必要があります。

これらの取組を着実に進めることで、文京区及び国内交流自治体双方の魅力を発信するとともに、さらなる区民認知度を図り、国内交流自治体との交流促進と相互発展へとつなげていきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

(2)分野別基本方針② 国際理解を育み定着に向けた機会づくり

指標	現状値	目標値
外国人と交流している区民の割合	25.2% (令和元年度)	35.0%
海外の姉妹都市・友好都市の認知度	26.1% (令和元年度)	35.0%

【分野別基本方針② 国際理解を育み定着に向けた機会づくりの状況】

海外都市との交流の活性化では、姉妹都市のカイザースラウテルン市とのホームステイ交換生徒の受入れは新型コロナウイルス感染症の影響で延期しましたが、代替事業として、オンライン交流会を実施しました。コロナ禍の学校生活について意見交換をし、姉妹都市間の交流を継続することができました。今後は、ホームステイ生徒の受入れを再開し、対面での交流事業を実施し、段階的に対面での交流を再開します。また、令和6年度の派遣に向けて、次期交換生徒の募集をするとともに事業の検討を進めます。

国際理解に向けた情報の収集・発信・共有では、アカデミア講座において、年間を通じて幅広い分野の講座を提供が叶ったほか、アカデミアサポーターの協力により、充実した講座運営に繋がりました。最新的话题を的確に把握するとともに、生涯学習支援者区内大学と連携を図り、充実した講座内容を企画します。

また、4年振りに対面での国際交流フェスタを実施し、前回(令和元年度)より来場者数が200人増加しました。文化体験コーナーが特に好評であり、文化体験等を通じた異文化交流の機会とすることができました。次年度は、国際交流のみならず、国内交流の魅力発信を充実させ、双方の文化に触れてもらうイベントへと規模を拡大します。そのため、在住・在学外国人をはじめ新たな参加者を誘客でき、かつ、交流自治体の認知度向上へつながる出展を検討し、内容の充実を図ります。

区民の国際理解を育むためには、国際交流への関心を高めるための情報発信や異文化に触れる機会の創出が必要であり、区内関係団体と連携しながら、国際理解を育み定着に向けた機会づくりを継続します。

【アカデミー推進協議会の意見】

(3)分野別基本方針③ 外国人が活躍できる環境づくり

指標	現状値	目標値
外国人における文京区への愛着度	-	50.0%

【分野別基本方針③ 外国人が活躍できる環境づくりの状況】

多言語及びやさしい日本語を活用した情報発信の充実では、各課で外国人の日常生活支援のための多言語化を促進するために、全庁の翻訳希望文書を集約し、令和4年度は11課において、7言語、30文書を翻訳しました。更新を含め、最多の文書を翻訳し、各課で活用をしました。これまで8言語の翻訳をしましたが、多くの文書の翻訳は英語、中国語、韓国語に留まっています。今後、各課において多言語化の必要性を認識した際に機動的に対応できるように、体制を構築します。

また、国際理解促進事業として、やさしい日本語を活用した留学生との交流会を、Zoomを用いたオンラインでの開催をし、区民と留学生の交流する機会を提供することができました。参加者アンケートからオンラインの有効性もあるものの、対面実施のニーズがあることも確認しました。対面及びオンラインを活用したハイブリット型の連携事業を検討するとともに、区民ニーズを的確に把握し、難易度及び対象者を含めた講座内容の精査等を行い、参加者増加を図ります。

外国人の活躍できる場の提供支援では、「外国人のための専門家相談会」の共催をし、外国人にとって異国の地で慣れた言語で相談できる場所を提供することに一定の需要がありました。区の手続きの際にチラシを見たり、紹介を受けて知ったりという案件があり、共催の効果が見られました。区内在住外国人支援につながる後援等事業について、情報を積極的に発信していくとともに、関係団体との協働の在り方を検討していきます。

これらの取組を着実に進めることで、区内在住・在学外国人が、暮らしやすく、また、地域活動等に参加しやすい環境を整え、外国人が活躍できる環境づくりを促進します

【アカデミー推進協議会の意見】

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① 国内交流自治体との交流促進と相互発展 ア 国内交流自治体の魅力発信とPR の充実

5-①-ア 国内交流自治体食材購入費補助事業					
事業概要					
協定締結自治体と食を通じた交流の活性化を図る事業。区内飲食店が交流自治体の食材を利用し料理等を提供した場合、食材購入費の一部を補助します。料理提供期間に合わせ、食めぐりスタンプラリーを実施することで交流自治体の魅力を発信し、区民への周知を図ります。					
指標: 参加店舗数(件)/食めぐりスタンプラリー応募者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	16/254	16/260	17/270	17/275	18/280
実績(D)	16/254				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	食めぐりスタンプラリー参加店舗が8店舗増加し、スタンプラリー応募件数も44件増加しました。また、スタンプラリー当選賞品を協定等締結自治体の特産品にリニューアルしたことで、区民が交流自治体を知る契機となり、文京区の交流自治体の認知度向上につながることができました。		引き続き交流自治体、区民及び参加事業者3者にメリットのある事業になるよう、当選商品の検討及びスタンプラリーの方法を検討していきます。また、事業の認知度の向上を図るだけでなく、協定締結等自治体の認知度向上にも寄与する周知を行います。		

5-①-ア 友好都市交流フェスタ【再掲】					
事業概要					
外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて、国際交流、国内交流のそれぞれの魅力を体験するイベントを実施します。					
指標: 友好都市交流フェスタの来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,300	1,350	1,400	1,450	1,500
実績(D)	1,300				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	4年振りに対面での国際交流フェスタを実施し、前回(令和元年度)より来場者数が200人増加しました。また、国内交流自治体の物産店を実施する等国内の魅力発信も併せて行いました。文化体験コーナーが特に好評であり、文化体験等を通じた異文化交流の機会とすることができました。		国際交流のみならず、国内交流の魅力発信を充実させ、双方の文化に触れてもらうイベントへと規模を拡大します。そのため、在住・在学外国人をはじめ新たな参加者を誘客でき、かつ、交流自治体の認知度向上へつながらる出展を検討し、内容の充実を図ります。		

イ 国内交流自治体との交流の活性化

5-①-イ 交流自治体主催の区民向け事業への協力					
事業概要					
くまモンファン感謝祭、上天草フェアの後援、モリハチ祭りの共催などを行い、事業に協力します。					
指標:後援・共催事業数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1	3	3	3	3
実績(D)	0				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、各自治体と連携した後援等の事業の実施はありませんでした。		5年度以降、各自治体が事業が活発になることから、徐々に後援等の依頼の増加が見込まれます。依頼等があった場合は、事業趣旨の精査をし、後援等する際は、情報発信等に積極的に協力します。		

5-①-イ 区事業における物産展等の出店					
事業概要					
文京博覧会、花の5大まつり、藩校サミット、時代まつりへの交流自治体物産展の出店により、周知をします。					
指標:物産展等の出店日数(日)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	45	50	50	50	50
実績(D)	45				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	各イベントに交流自治体が物産展を出店し、誘客につなげることができ、併せて区民に国内交流自治体の魅力を広く発信し、周知することができました。 物産展の出店を通じ、交流自治体との関係構築に寄与し、さらなら自治体同士の連携強化につなげることができています。		今後も交流自治体の参加を促し、その地域の観光資源や物産を広くPRすることで、国内の魅力を区民に広く周知し、交流を継続するとともに、より自治体同士の関係を強固にし、さらに自治体間交流の促進につなげていきます。		

ウ 横断的な交流事業の展開

5-①-ウ 文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】					
事業概要					
区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。併せて交流自治体物産展の出店を行います。					
指標:文京博覧会(ぶんぱく)への来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	8,000	9,000	10,000	11,000	12,000
実績(D)	8,507				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について広く区内外に情報発信を行うことにより、文京区内外に広く周知することができました。		区内産業や伝統工芸等を文京区内外により広く知ってもらうため、積極的な情報発信を行っていきます。		

5-①-ウ「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】					
事業概要					
文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働（共催）により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。					
指標:事業参加者数の合計(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	374	498	623	623	623
実績(D)	228				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>コロナ禍のため一事業は中止を継続しましたが、他の事業は再開しました。</p> <p>コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値623人（終了事業の実績を除く）の6割である374人の参加を目標としましたが、例年500人近い参加者がある石見神楽公演の中止の影響もあり、達成率は6割でした。</p>		<p>令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。</p> <p>盛岡市と友好都市提携5周年を迎えるため、両自治体で互いの文化を発信する事業を開催し、交流を活発化させます。ミスさんさ派遣委託等の事業を開催して区民に盛岡市の文化に触れる機会を提供していきます。</p>		

(2)分野別基本方針② 国際理解を育み定着に向けた機会づくり
ア 海外都市との交流の活性化

5-②-ア 海外都市との交流の活性化					
事業概要					
これまで交流のなかった新たな都市も含めて、機会をとらえて積極的に海外都市との交流を行い、友好を深めるとともに、行政間の交流を区民に広げ、さらに活性化させるよう取り組みます。					
指標:訪問団の派遣等交流件数					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1	1	2	2	3
実績(D)	0				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	新型コロナウイルス感染の流行以降、海外都市との交流は中止しています。新たな交流都市の検討をするため、英語圏の視察を行う等、円滑な対面での交流が再開できるように、交流の在り方を検討しました。		姉妹都市等交流自治体とは、対面での交流の再開の検討を進めるとともに、オンラインを活用したハイブリッド型の交流の在り方を検討します。新たな都市との交流については、自治体だけではなく、教育機関等との交流等も行い、友好関係を構築します。		

5-②-ア ホームステイ生徒交換事業					
事業概要					
姉妹都市のカイザースラウテルン市と交流の一環として、隔年で中学生、高校生の派遣受け入れを実施しています。姉妹都市での生活体験を通じて、市民交流を図り、異文化理解を推進します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	4	4	4	4	4
実績(D)	0				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	交換生徒の受け入れは新型コロナウイルス感染症の影響で延期しましたが、代替事業として、オンライン交流会を実施しました(11人参加)。コロナ禍の学校生活について意見交換をし、姉妹都市間の交流を継続することができました。		ホームステイ生徒の受け入れを再開し、対面での交流事業を実施し、段階的に対面での交流を再開します。また、令和6年度の派遣に向けて、次期交換生徒の募集をするとともに事業の検討を進めます。		

イ 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有

5-②-イ 生涯学習講座での国際理解推進					
事業概要					
アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催することで、幅広い国際理解の機会を提供していきます。					
指標: 受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	535	550	600	650	650
実績(D)	485				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	年間を通じて幅広い分野の講座を提供が叶ったほか、アカデミアサポーターの協力により、充実した講座運営に繋がりました。		最新的话题を的確に把握するとともに、生涯学習支援者区内大学と連携を図り、充実した講座内容を企画します。		

5-②-イ 友好都市交流フェスタ					
事業概要					
外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて、国際交流、国内交流のそれぞれの魅力を体験するイベントを実施します。					
指標: 友好都市交流フェスタの来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,300	1,350	1,400	1,450	1,500
実績(D)	1,300				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	4年振りに対面での国際交流フェスタを実施し、前回(令和元年度)より来場者数が200人増加しました。また、国内交流自治体の物産店を実施する等国内の魅力発信も併せて行いました。 文化体験コーナーが特に好評であり、文化体験等を通じた異文化交流の機会とすることができました。		国際交流のみならず、国内交流の魅力発信を充実させ、双方の文化に触れてもらうイベントへと規模を拡大します。そのため、在住・在学外国人をはじめ新たな参加者を誘客でき、かつ、交流自治体の認知度向上へつなげる出展を検討し、内容の充実を図ります。		

5-②-イ 国際理解促進事業					
事業概要					
姉妹都市・友好都市に因んだ文化講座の開催及びやさしい日本語による交流会、区内関係団体との連携事業を実施します。					
指標：区内関係団体との連携事業数(件)/事業への参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	6/350	7/370	7/380	8/390	8/400
実績(D)	6/350				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>オンラインを用いた交流会を実施するとともに、対面での講座を再開することができました。しかし、交流事業内容及び実施状況によって参加者は年度によって大きく増減しています。</p> <p>参加者アンケートからオンラインの有効性もあるものの、対面実施のニーズがあることも確認しました。</p>		<p>対面及びオンラインを活用したハイブリット型の連携事業を検討するとともに、区民ニーズを的確に把握し、対象者含めた講座内容の精査等を行い、参加者増加を図ります。</p>		

ウ 横断的な交流事業の展開

5-②-ウ 国際理解促進事業【再掲】					
事業概要					
姉妹都市・友好都市に因んだ文化講座の開催及びやさしい日本語による交流会、区内関係団体との連携事業を実施します。					
指標：区内関係団体との連携事業数(件)/事業への参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	6/350	7/370	7/380	8/390	8/400
実績(D)	6/350				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>オンラインを用いた交流会を実施するとともに、対面での講座を再開することができました。しかし、交流事業内容及び実施状況によって参加者は年度によって大きく増減しています。</p> <p>参加者アンケートからオンラインの有効性もあるものの、対面実施のニーズがあることも確認しました。</p>		<p>対面及びオンラインを活用したハイブリット型の連携事業を検討するとともに、区民ニーズを的確に把握し、対象者含めた講座内容の精査等を行い、参加者増加を図ります。</p>		

(3)分野別基本方針③ 外国人が活躍できる環境づくり
ア 多言語及びやさしい日本語を活用した情報発信の充実

5-③-ア 外国人の日常生活支援のための多言語化					
事業概要					
外国人住民の日常生活に必要な行政文書の多言語化を進め、区窓口での手続きの効率化を図っています。					
指標:全庁調査により多言語化した文書数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	30	30	30	30	30
実績(D)	30				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	各課で外国人の日常生活支援のための多言語化を促進するために、全庁の翻訳希望文書を集約し、令和4年度は11課において、7言語、30文書を翻訳しました。更新を含め、最多の文書を翻訳し、各課で活用しました。		これまで8言語の翻訳をしましたが、多くの文書の翻訳は英語、中国語、韓国語に留まっています。今後、各課において多言語化の必要性を認識した際に機動的に対応できるように、体制を構築します。		

5-③-ア 国際理解促進事業【再掲】					
事業概要					
やさしい日本語を活用した留学生との交流会を開催					
指標:交流会への参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	30	30	30	30	30
実績(D)	31				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	やさしい日本語を活用した留学生との交流会を、Zoomを用いたオンラインでの開催をし、区民と留学生の交流する機会を提供することができました。参加者アンケートからオンラインの有効性もあるものの、対面実施のニーズがあることも確認しました。		対面及びオンラインを活用したハイブリット型の連携事業を検討するとともに、区民ニーズを的確に把握し、難易度及び対象者を含めた講座内容の精査等を行い、参加者増加を図ります。		

イ 外国人の活躍できる場の提供支援

5-③-イ 区内大学、ボランティア団体等との協働・連携					
事業概要					
「外国人のための専門家相談会」の共催をはじめ、区内の大学や団体の実施する事業を後援等することで、情報を広く発信していきます。					
指標：協働・連携した事業数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1	2	2	2	3
実績(D)	1				
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	外国人にとって異国の地で慣れた言語で相談できる場所を提供することに一定の需要がありました。区の手続きの際にチラシを見たり、紹介を受けて知ったりという案件があり、共催の効果が見られました。		区内在住外国人支援につながる後援等事業について、情報を積極的に発信していくとともに、関係団体との協働の在り方を検討していきます。		

第8章 事業実施状況調査の調査結果（別冊）

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
1 学習活動 ① いつでも、どこでも、たれでも学べる環境づくり ア 多様なニーズに応じた学習機会の充実(p.23)								
1	1	1-①-ア	文京アカデミア講座	区民の学習を支援するため、地域、文学、歴史・社会、自然科学、芸術、くらし、語学、健康・スポーツなど、バラエティに富んだ講座を提供します。	前期(5~7月) 31講座 559人(定員612人/応募者数1156人) 後期(10~12月) 33講座 711人(定員774人/応募者数1249人) 後期Ⅱ(1~3月) 17講座 376人(定員416人/応募者数599人)	前期(4~8月) 18講座 330人(定員653人/応募者数1122人) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、15講座中止、6講座を途中でオンラインに切り替え ※オンライン講座:10講座(上記、6講座別) 後期(9~12月) 37講座 682人(定員767人/応募者数1203人) ※オンライン講座:5講座 後期Ⅱ(1~3月) 14講座 240人(定員240人/応募者数587人)	年間を通じ、幅広い分野の講座の提供が叶ったほか、アカデミアサポーターの協力により、充実した講座運営に繋がりました。	アカデミー推進課
2	2	1-①-ア	文京いきいきアカデミア講座	高齢者を対象とした2年制講座。1年次は教養課程で共通科目を履修し、2年次の専門課程に進みます。専門課程は、共通科目と選択科目を受講し、所定の受講回数(単位)をもって卒業認定とします。	第8期1年次(教養課程) ①1学期 令和4年6月1日(水)~7月20日(水) 8回 ②2学期 令和4年10月5日(水)~12月14日(水) 8回 ③3学期 令和5年1月18日(水)~3月8日(水) 8回 受講者数:40名(定員40名・応募者数82名) 進級者数:37名	第7期2年次(専門課程) ○共通講座 5回(区内ミュージアム見学を中心とした講座) ○特別講座 5回(様々なテーマについての特別講義) ○選択科目 アカデミア講座から選択 修了者数:35名	年間を通じ、幅広い分野の講座の提供が叶ったほか、アカデミアサポーターの協力により、充実した講座運営に繋がりました。	アカデミー推進課
3		1-①-ア	企業等連携講座(メセナ講演会)	企業等が社会貢献活動の一環として実施するビジネスやマネジメントをはじめとした多様な講座の企画・提案を募り、協力・連携して講座(講演会)を開催します。	「バンダを守る意義とはなにか」 実施日:令和4年10月27日(木) 受講者数:31人(定員60人/応募者数36人) 会場:スカイホール 講師:日本バンダ協会 土井 利光	実績なし	高度かつ専門的な学習機会提供のため、アカデミア講座、学長講演会、資格取得キャリアアップ講座等、人材、キャンパスを活用した講座を実施しました。	アカデミー推進課
4		1-①-ア	生涯学習講座での国際理解推進	アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催することで、幅広い国際理解の機会を提供していきます。	前期(5~7月) 8講座 155人(定員170人/応募者数269人) 後期(10~12月) 10講座 228人(定員250人/339人) 後期Ⅱ(1~3月) 5講座 102人(定員115人/応募者数149人)	前期(4~8月) 14講座 136人(定員281人/応募者数459人) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、6講座中止、2講座を途中でオンラインに切り替え ※オンライン講座:2講座(上記、2講座別) 後期(9~12月) 10講座 190人(定員210名/応募者数404人) ※オンライン講座:4講座 後期Ⅱ(1~3月) 5講座 95人(定員95人/応募者数215人)	年間を通じ、幅広い分野の講座の提供が叶ったほか、アカデミアサポーターの協力により、充実した講座運営に繋がりました。	アカデミー推進課
5		1-①-ア	男女平等参画社会の実現に向けた学習機会の充実	男女平等参画社会の実現に向けた学習機会を提供します。	【ダイバーシティ推進担当】 ・雇用主研修会(共催事業) 580人(内区民43人) ・出前講座(駒本小) 60人(30×2クラス) 【男女平等センター事業】 ・文京区男女平等センターまつり 811人 ・プラスワンセミナー(計4回) 121人 ・区政を知る事業(計2回) 47人 ・家庭生活への参画支援事業(計2回) 47人 ・登録団体企画助成事業 52人 ・男女共同参画週間記念講演会 48人	【ダイバーシティ推進担当】 ・雇用主研修会(共催事業) 315人(内区民24人) 【男女平等センター事業】 ・文京区男女平等センターまつり 参加者463人 ・プラスワンセミナー 計3回 参加者67人 ・区政を知る事業 参加者 30人 ・家庭生活への参画支援事業 2回 参加者64人 ・登録団体企画助成事業 参加者 28人 ・男女共同参画週間記念講演会 参加者78人	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の通常開催が困難な中、規模の縮小やオンラインでの開催等により、大半の事業を継続実施し、仕事、家庭、文化などの様々な切り口で男女平等についての学習機会を提供することができました。 根強く残る固定的な性別役割意識の解消や男女平等に対する意識の醸成のため、継続的に学習の場を提供していく必要があります。 男女平等参画についての意識形成を図るため、幅広い世代に事業の周知が行き届くよう、広報やテーマ等の工夫を図る必要があります。	総務課
6		1-①-ア	生活技術を身につける学習機会の充実	豊かに安全で生活するための技術を身につけることのできる学習機会を充実します。	根津小学校で宿泊型避難所総合訓練「みんなで防災キャンプ」(参加者110人)、鶯籠町小学校で避難所総合訓練(参加者246人)、若台中学校で避難所総合訓練(台風により規模縮小)を実施しました。教育の森公園及び文京スポーツセンターで「防災フェスタ」(参加者2,619人)を開催しました。	避難所総合訓練を文京江戸川橋体育館において、規模を縮小して実施しました。(参加者計42人)(鶯籠町小学校、第三中学校、若台中学校、汐見小学校及び誠之小学校については、新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度へ延期)	新型コロナウイルス感染拡大のため、感染防止対策に配慮しながらイベントを開催しました。今後も感染拡大の状況を踏まえたイベント開催により、防災意識を高めていきます。	防災課
7		1-①-ア	職業に関する学習機会の充実	経営者や従業員が必要としている知識・技術の習得を図るため研修や講演会等を開催する他、従業員の新たな能力の開発を支援します。	中小企業向けセミナー 15回 中小企業向け講演会 2回 中小企業人材強化支援事業補助金(申請6件)	中小企業向けセミナー 17回 中小企業向け講演会 2回	区内の中小事業者向けにセミナーを開催し、経営に必要な知識の習得や技術の向上、従業員の新たな能力の開発を支援することができました。	経済課
8		1-①-ア	職業に関する学習機会の充実	区内での創業や再就職を目指す人に対し、実践的な知識・技術を学ぶ機会を提供します。	創業支援セミナーひとりで起業編(全5回、オンライン) 創業支援セミナー入門編(オンライン) 創業支援セミナー実践編(全5回、オンライン) 創業支援セミナーワンストップセミナー(オンライン) リカレント教育課程等受講料助成金(6件)	創業支援セミナーひとりで起業編(全5回、オンライン) 創業支援セミナー入門編(オンライン) 創業支援セミナー実践編(全5回、オンライン) 創業支援セミナーワンストップセミナー(オンライン) リカレント教育課程等受講料助成金(4件)	区内での創業や再就職に必要な知識・技術を学ぶ機会を提供することができました。	経済課
9		1-①-ア	生活技術を身につける学習機会の充実	安全で豊かに生活するための技術を身につけることのできる学習機会を充実します。	消費生活研修会 9回実施(うちオンデマンド 3回) ・消費生活推進員養成講座 8回実施 ・消費生活推進員フォローアップ講座 2回	消費生活研修会 9回実施(うちオンライン(Zoom)と会場のハイブリッド開催 2回) ・消費生活推進員養成講座 8回実施 ・消費生活推進員フォローアップ講座 2回	オンラインと会場のハイブリッド開催やオンデマンド開催など新しい手法で研修会を開催しました。今後も、より多くの学習機会を提供できるように、オンデマンド開催等を充実させていきます。	経済課(消費生活センター)
10		1-①-ア	生活技術を身につける学習機会の充実	子どもの生活技術向上を高める学習機会を提供します。	・夏休み子ども向け消費生活研修会 3回 ・夏休み子ども向け出前講座(児童館・育成室) 13回(うちリモート開催2回) ・金銭教育講座(小学生対象、5回(オンライン開催))	・夏休み子ども向け消費生活研修会 3回 ・子ども向け出前講座(児童館・育成室) 6回	登録消費者団体と連携し、子ども向け研修会及び出前講座を開催しました。 今後も団体と協働して、子どもが楽しく学ぶことができる講座を開催していきます。 令和4年度初めての試みとして、小学生を対象とした金銭教育のオンライン講座を開催しました。	経済課(消費生活センター)
11		1-①-ア	障害者とともに生きる社会をつくるための学習機会の設置	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供します。	各種障害者対象講座の開催(料理、体操、パソコン講座、陶芸等)	各種障害者対象講座の開催(料理、体操、パソコン教室、陶芸等)	各種講座の開催は、学習機会の提供のみならず、障害者のふれあいの場、交流の場となっています。	障害福祉課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
12		1-①-ア	文の京ハートフル工房(障害者施設商品販売会)における区内大学との地域連携	毎月1回開催されている文の京ハートフル工房(障害者施設商品販売会)で、区内大学学生との協働として販売会内でのイベント企画等を行います。学生は障害者と接する学びの機会となっています。	実績なし 貞静学園短期大学学生サークルによるランチタイムイベント出演 R2.2-R4.12まで休止・規模縮小 (R3-R4.12:施設改修工事に伴う区民ひろば定例即売会休止のため、R4はランチタイムイベントなし)	実績なし 貞静学園短期大学学生サークルによるランチタイムイベント出演 R2.2-R4.9まで休止・規模縮小 (R2:新型コロナウイルス感染症拡大防止による中止 R3-R4.9:施設改修工事に伴う区民ひろば定例即売会休止)	-	障害福祉課
13		1-①-ア	レッドリボン展	ギャラリーシビックでエイズ啓発物を展示します。	11月30日(水)10時～18時 12月1日(木)10時～15時 来場者数(2日間合計):635名 同時開催「知っておきたい感染症予防の豆知識」 協力:㈱オカモト、東洋大学社会学部社会福祉学科 展示内容:HIV啓発パネル・梅毒啓発パネル・性感染症予防啓発パネル・HIV検査、梅毒パネル(保健サービスセンター)・㈱オカモト展示・東洋大学ゼミアンケート集計結果	12月1日(水)10時～18時 12月2日(木)10時～15時 来場者数(2日間合計):502名 同時開催「知っておきたい感染症予防の豆知識」 協力:㈱オカモト 展示内容:HIV啓発パネル・性感染症予防啓発パネル・HPVワクチン、梅毒パネル・HIV検査パネル及びSTI検査との連動(保健サービスセンター)・㈱オカモト展示	今年度よりターゲット層の学生と事業が実施できませんでした。 会場装飾や令和4年度から開始した開催中のチラシ配布にて来場者数が前年を上回り、より多くの方々へ啓発活動が実施できました。 高齢の来場者より「孫(ターゲット層)に伝えたい」との意見が多く聞かれました。高齢者への啓発もターゲット層へ情報を届かせる1つの手段となることが推察できました。	予防対策課
14		1-①-ア	自転車実技講習会	自転車の利用・点検や整備について理解を深め、交通のさまり、約束等を守って安全な乗車ができるようになります。	計4回273名実施 小学3年生免許証配布枚数 1436枚	計5校467名実施 小学3年生免許証配布枚数 1748枚	自転車実技講習、DVD・リーフレット等を使った交通安全教室により、小学生3年生に対し自転車利用安全(ルール・マナー)の周知を図ることができました。	管理課
15		1-①-ア	自然散策会	自然の植物と親しみ、緑に対する関心を深めるとともに、自然保護に対する意識の高揚を図るため、自然散策会を開催します。	(1)秋(10/22)本郷給水所公苑～礪川公園 定員:20名、応募22名、参加者数17名 (2)冬(12/3)日比谷公園 定員:20名、応募28名、参加者数13名 (3)春(3/11)小石川植物園 定員:20名、応募51名、参加者数16名	(1)秋(12/4)江戸川公園～肥後細川庭園 定員:20名、応募32名、参加者数14名 (2)冬(2/5)日比谷公園 定員:20名、応募53名、参加者数12名 (3)春(3/12)本郷給水所公苑～礪川公園 定員:20名、応募32名、参加者数13名	参加者の方々から内容や開催場所について好評を得ており、毎年人気が高く多数の応募が見込まれます。 令和2年度から区外での開催も実施しています。	みどり公園課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
16		1-①-ア	植物講演会	みどりに関する知識の普及及び啓発を行うため、小学生を対象とした講演会を開催します。	7/24(日) 13:30~15:30 参加人数:予定30組(保護者含む52人) 当日28組(保護者含む51人) 開催地:文京シビックセンター4階(シルバーセンター)	新型コロナウイルス感染症の影響で中止	小学生の夏休み期間に実施されるため、多数の応募が見込まれます。 令和4年度は募集人数を若干増やしたが、実験等が目が見えないこともあるため、より多は難しいです。	みどり公園課
17		1-①-ア	苗木配付	みどりに関する知識の普及及び啓発を行うため、東京都苗木生産供給事業を活用し、文京区民を対象とした苗木配付事業を実施します。	10/15(土) 10:00~12:00 参加人数:定員175名(抽選)、参加者160名 開催場所:礪川公園	10/9(土) 10:00~12:00 参加人数:定員150名(抽選)、参加者137名 開催場所:礪川公園	配布については人気の高い樹種を選定して実施しています。 毎年多数の応募があり倍率も高いため、配布数を増やす事も検討しているが、当日の配布が先着順で会場から溢れる人数が来場してしまいかもなどの懸念事項があります。	みどり公園課
18		1-①-ア	親子環境教室	環境意識啓発を目的として「体験を通じて、考え、調べ、学び、行動する」という体験型環境学習の機会を提供します。	6回開催 定員:親子15組 参加人数:延べ73組150人 (平成3年度より事業開始)	6回開催 (オンライン開催4回、ワークシート2回) 定員:親子15組 参加人数:延べ88組176人	令和4年度は感染症拡大防止のため、定員を30組→15組にして通常開催しました。 毎年申込多数のため、次年度は定員を30組に戻して開催する予定です。	環境政策課
19		1-①-ア	文京ecoカレッジ 公開講座	区内で活動しているリサイクル団体の企画による公開講座を一般区民向けに行います。	令和4年12月16日(金)に、リサイクル団体と共催でプラスチックの基礎知識について学ぶ文京ecoカレッジ公開講座「毎日の生活に欠かせないプラスチックをもっと知ろう!」を区民センターにて実施しました。 対象:区内在住・在勤・在学者 定員:40名 参加者:27名 令和5年1月27日(金)に、文京ecoカレッジモノ・フォーラム「なぜ減らず?どう減らす?私たちが始める食品ロス削減」を区民センターにて実施しました。 対象:区内在住・在勤・在学者 定員:30名 参加者:25名 ・年中児から中学生を子育て中の区内在住・在勤者を主な対象として、講座・講演会を開催しました。 ・実施場所はシビックセンター地下1階レクリエーションホールほか、庁舎内の会議室 ①6月10日(51人) ②7月7日(17人+Zoom58人) ③8月8日(26人) ④9月6日(11人) ⑤10月6日(17人) ⑥11月6日(2人+Zoom21人) ⑦12月5日(45人)	令和3年12月10日(金)に、リサイクル団体と共催でボールのリサイクルの仕組みについて学ぶ文京ecoカレッジ公開講座「リサイクルの優等生 段ボールってすごい!」を区民センターにて実施しました。 対象:区内在住・在勤・在学者 定員:24名 参加者:34名 令和4年1月31日(月)に文京ecoカレッジモノ・フォーラム「地球にやさしい台所クッキングもったいない和菓子」をオンラインにて実施しました。 対象:区内在住・在勤・在学者 定員:15名 参加者:7名 ・年中児から中学生を子育て中の区内在住・在勤者を主な対象として、講座・講演会を開催しました。 ・実施場所はシビックセンター地下1階レクリエーションホールほか、庁舎内の会議室 ①6月11日(コロナにより中止) ②7月6日(29人) ③8月19日(21人) ④9月16日(コロナにより中止) ⑤10月8日(8人) ⑥11月8日(16人) ⑦12月7日(39人)	生活の中で身近なプラスチックごみの基礎知識を学ぶ講座を通して、プラスチックの3Rの取り組みの推進を図りました。	リサイクル清掃課
20		1-①-ア	文京ecoカレッジ モノ・フォーラム	モノ・プランの推進を目指しごみ減量への区民向けの普及啓発の一環として年1回フォーラムを開催します。	令和5年1月27日(金)に、文京ecoカレッジモノ・フォーラム「なぜ減らず?どう減らす?私たちが始める食品ロス削減」を区民センターにて実施しました。 対象:区内在住・在勤・在学者 定員:30名 参加者:25名 ・年中児から中学生を子育て中の区内在住・在勤者を主な対象として、講座・講演会を開催しました。 ・実施場所はシビックセンター地下1階レクリエーションホールほか、庁舎内の会議室 ①6月10日(51人) ②7月7日(17人+Zoom58人) ③8月8日(26人) ④9月6日(11人) ⑤10月6日(17人) ⑥11月6日(2人+Zoom21人) ⑦12月5日(45人)	令和4年1月31日(月)に文京ecoカレッジモノ・フォーラム「地球にやさしい台所クッキングもったいない和菓子」をオンラインにて実施しました。 対象:区内在住・在勤・在学者 定員:15名 参加者:7名 ・年中児から中学生を子育て中の区内在住・在勤者を主な対象として、講座・講演会を開催しました。 ・実施場所はシビックセンター地下1階レクリエーションホールほか、庁舎内の会議室 ①6月11日(コロナにより中止) ②7月6日(29人) ③8月19日(21人) ④9月16日(コロナにより中止) ⑤10月8日(8人) ⑥11月8日(16人) ⑦12月7日(39人)	講座を通して、身近でできる食品ロス削減の推進を図りました。	リサイクル清掃課
21		1-①-ア	家庭教育講座	家庭における教育力の向上のため、講座・講演会を開催します。	・年中児から中学生を子育て中の区内在住・在勤者を主な対象として、講座・講演会を開催しました。 ・実施場所はシビックセンター地下1階レクリエーションホールほか、庁舎内の会議室 ①6月10日(51人) ②7月7日(17人+Zoom58人) ③8月8日(26人) ④9月6日(11人) ⑤10月6日(17人) ⑥11月6日(2人+Zoom21人) ⑦12月5日(45人)	・年中児から中学生を子育て中の区内在住・在勤者を主な対象として、講座・講演会を開催しました。 ・実施場所はシビックセンター地下1階レクリエーションホールほか、庁舎内の会議室 ①6月11日(コロナにより中止) ②7月6日(29人) ③8月19日(21人) ④9月16日(コロナにより中止) ⑤10月8日(8人) ⑥11月8日(16人) ⑦12月7日(39人)	コロナの感染拡大で、講座自体の中止がありました。 参加をためらう保護者が多く、「いじめ」や「発達障害」については多くの参加者を得ました。 参加者アンケートを見ると、講座の評価は75%が良かったです。	教育総務課
22		1-①-ア	青少年委員による学校支援活動等	青少年委員会に、学校支援に深く関わりのある事業を委託することにより、地域とのつながりを深め、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進するとともに、青少年の健全育成を推進します。	6事業を青少年委員会へ委託しました。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、対面とZoom形式を併用して事業を行いました。 ・五者合同研修会(6月実施、講師:JACOT副理事長・事務局長 菅野 映氏) ・中学生サミット(6月・12月実施、各区立中学校生徒会役員が参加) ・SDGsを学ぶ事業(クリーンウォークに代わり令和4年度より新たに実施した事業。12月実施、延参加者39名) ・小学生向け事業(7月実施、参加者99名/2月実施、参加者46名) ・青少年委員会HPの更新 ・はたちのついで「文の恩返し」(1月実施。参加者24名)	6事業を青少年委員会へ委託しました。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、Zoomを活用したオンラインで開催できる事業を中心にを行いました。 ・五者合同研修会(6月実施、講師:元中教審委員・元杉並区立中学校PTA会長、生重幸恵氏) ・中学生サミット(6月・12月実施、各区立中学校生徒会役員が参加) ・クリーンウォーク(新型コロナウイルス感染症のため中止) ・小学生向け事業(7月実施、参加者53名/2月実施、参加者56名) ・青少年委員会HPの更新 ・はたちのついで「文の恩返し」(1月実施。参加者15名)	他校の児童や生徒の交流の場を提供しており、多くの事業において定員を超える参加の応募があります。令和3年度まで実施していたクリーンウォークは新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止となり、代替としてSDGsを学ぶ事業を行い、身近なSDGsを発見するきっかけとなっています。	教育総務課
23		1-①-ア	「Society5.0の教室」プロジェクト	児童・生徒に一人一台ずつ配備されたタブレット端末や、各教室に配置されているアクティブボードや電子黒板等ICT機器、通信ネットワークやクラウド環境を活用し、Society5.0時代の到来を見据えた、従来の指導方法にとらわれない新しい授業スタイルを創造する。	・「Society5.0の教室」推進委員会 年間 3回 ・「Society5.0の教室」通信 年間22回	・ハイブリッド授業研究委員会 年間 3回 ・「Society5.0の教室」通信 年間8回発行	各学校の情報教育担当の教員を対象とした委員会を開催することにより、授業におけるタブレット端末の効果的な活用場面の検討・実践及び実践事例の区内での共有を図ることができました。 教育指導課から実践事例を通信として発行することで、全教職員への実践力向上に寄与しました。	教育指導課
24		1-①-ア	幼児・児童・生徒を対象とした事業の充実	児童館において、遊びを通じた学習の機会となり、かつ異年齢との交流の機会となる、幼児・児童・生徒を対象とした事業を提供します。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、可能な範囲で児童館各種行事(工作、ビンゴ、卓球教室、季節行事等)を実施しました。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、可能な範囲で児童館各種行事(工作、ビンゴ、卓球教室、季節行事等)を実施しました。	遊びを通じた学習の機会となり、かつ、異年齢との交流の機会となる、幼児・児童・生徒を対象とした事業を提供しました。	児童青少年課
25		1-①-ア	文京区「家庭の日」啓発	毎月第2日曜日を文京区「家庭の日」と定め、家庭の意義を見直し、家族のふれあいや結びつきを深めるため、各種啓発事業を展開しています。	区立小学校へ家庭の日啓発として植物の種を配布しました。	区立小学校へ家庭の日啓発として植物の種を配布しました。	区立小学校全児童へ配付をしました。	児童青少年課
26		1-①-ア	科学教育事業の充実(子ども科学カレッジ)	区内大学等の研究者を講師として招き、小学校4年生~中学生を対象に、大学の高度な学術研究の成果を体験できる講座を開催します(全15回を予定)。	・子ども科学カレッジ 15講座 参加者 232名(対象:小学4年生から中学3年生まで)	・子ども科学カレッジ 11講座 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1講座中止 参加者 133名(対象:小学4年生から中学3年生まで)	感染症対策を講じた上で、優れた講師による講座や最新の科学技術に触れるよい機会となっています。今後は、中学生の参加者を増加させることが課題です。	教育センター
27		1-①-ア	教養を高める学習機会の充実	教養等に関する区民の要求に応える学習機会を充実するため、政治や選挙に関する教養講座を開催します。	区内における学校に対して、選挙出前授業・模擬選挙を6回実施	区内における学校に対して、選挙出前授業・模擬選挙を2回実施	模擬選挙を行った際のアンケート結果では将来投票に行くという割合が答えています。一方で、実施できていない学校があるため、引き続き区立中学校全校実施に向けた取組みを進めます。	選挙管理委員会

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
1 学習活動 ①いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり イ だれもが学びを実践できる支援の充実(p.24)								
28		1-①-イ	保育室の設置及び手話通訳者の配置	幼児を持つ親が学習活動に参加できるよう、講座・講演会等の開催時に保育室を設置します。障害者が講座・講演会等に参加できるよう、希望者に手話通訳者を配置します。	前期(5~7月) 手話対応:26講座 保育対応:0講座 後期(10~12月) 手話対応:22講座 保育対応:17講座 後期Ⅱ(1~3月) 手話講座:13講座 保育対応:10講座	前期(4~8月) 手話対応:25講座 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、14講座中止 保育対応:0講座 後期(9~12月) 手話対応:30講座 保育対応:0講座 後期Ⅱ(1~3月) 手話対応:12講座 保育対応:0講座	年間を通じ、幅広い分野の講座の提供が叶ったほか、アカデミアサポーターの協力により、充実した講座運営に繋がりました。	アカデミー推進課
29	3	1-①-イ	夜間・休日の講座開設	平日の昼間に講座を受講することが困難な方のために、平日夜間や休日にも講座を開設します。	前期(5~7月) 8座 145人(定員175/応募者数269人) 後期(10~12月) 9件 175人(定員244人/応募者数341人) 後期Ⅱ(1~3月) 2件 50人(定員50人/応募者数92人)	前期(4~8月) 5座 105人(定員100/応募者数196人) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、1講座中止、1講座途中でオンラインに切り替え ※1講座1講(上記、1講座とは別) 後期(9~12月) 9件 175人(定員200人/応募者数272人) 後期Ⅱ(1~3月) 3件 60人(定員60/応募者数166人)	文京アカデミア講座において27講座を平日の夜間や休日に実施し、アンケートで高い評価を得ることができました。	アカデミー推進課
30	4	1-①-イ	生涯学習の相談	区民がそれぞれのニーズや目的に応じて生涯学習に取組めるよう総合的に紹介を行います。	原則、毎週、水~金の午後を実施 相談件数 171件	原則、毎週、水~金の午後を実施 相談件数 155件	原則、週3回、生涯学習司による「生涯学習相談」を通年で実施し、広く相談を受け付けたほか、区内の生涯学習サークルの活動や情報も紹介しました。	アカデミー推進課
31		1-①-イ	学習関連情報の収集・提供	区が集約した行政機関学習関連情報に加え、生涯学習関連機関の情報も積極的に収集、一元化し、区民等に効果的に提供します。	行政機関や大学等から届いた公開講座等のポスターの掲示、チラシ配架をアカデミー施設及び図書館等で行いました。	行政機関や大学等から届いた公開講座等のポスターの掲示、チラシ配架をアカデミー施設及び図書館等で行いました。	地域アカデミー等の施設で掲示することで区民に広く周知することができました。	アカデミー推進課
32		1-①-イ	大学等の生涯学習情報の収集	大学の公開講座、社会人入学などに関する情報を収集し、区民等に提供します。また、高校の公開講座の情報も収集します。	公益財団法人文京アカデミー広報誌「スクエア」に掲載	公益財団法人文京アカデミー広報誌「スクエア」に掲載	各大学で実施される、区民等も参加できる公開講座・セミナー等の情報を掲載したことで、大学の持つ高度かつ専門知識を広く区民・地域への発信に繋がりました。	アカデミー推進課
33		1-①-イ	文京アカデミア講座案内、(公財)文京アカデミーHPによる講座・講演会案内及び申込受付	生涯学習講座の受講者募集に合わせ、講座案内、区報、(公財)文京アカデミー広報紙などの活字メディアのほか、(公財)文京アカデミーHP内に講座案内を掲載。申込は、はがきのほか、インターネットからも受け付けます。	アカデミア講座WEB申し込み 前期(5~7月) 31講座 818件(はがき申込338件) 後期(10~12月) 33講座 916件(はがき申込335件) 後期Ⅱ(1~3月) 17講座 435件(はがき申込164件)	アカデミア講座WEB申込 前期(4~8月) 18講座 664件(はがき申込458件) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、15講座中止、6講座を途中でオンラインに切り替え ※オンライン講座:10講座(上記、6講座別) 後期(9~12月) 37講座 819件(はがき申込384件) ※オンライン講座:5講座 後期Ⅱ(1~3月) 14講座 423件(はがき申込164件)	ホームページとSNSの効果的な活用と合わせ、各種パソコン講座の実施により他、句実スキルが身についたことで、WEB申込の増加につながりました。	アカデミー推進課
34		1-①-イ	CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。マルチビジョンやSNSを活用し、今後も広く視聴していただくよう努めます。	広報課
35		1-①-イ	区報の発行	区報により生涯学習関連情報を提供します。	4月10日 140,000部 1回 4月25日~3月25日 138,000部 22回 計年23回 1月1日号 67,500部 年1回	4月10日~4月25日 140,200部 2回 5月10日 142,500部 1回 5月25日 139,500部 1回 6月10日~8月25日 137,200部 6回 9月10日~9月25日 136,200部 2回 10月10日~11月25日 136,700部 4回 12月10日~3月25日 136,200部 7回 計年23回 1月1日号 70,000部 年1回	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報課
36		1-①-イ	ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努めます。	広報課
37		1-①-イ	生活情報誌の発行	わたしの便利帳により生涯学習関連情報を提供します。	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(令和2年度発行)	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(令和2年度発行)	区民に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報課
38		1-①-イ	外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳を発行します(4カ国語併記 日本語・英語・中国語・ハンガール)。	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハンガール・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハンガール・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	4カ国語(日本語・英語・ハンガール・中国語)を併記しており、外国の方に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報課
39		1-①-イ	「区報ぶんきょう」の多言語化	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信します。(英語・中国語・ハンガールを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハンガールを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハンガールを含む10言語に対応)	区報を10言語で読むことができ拡大機能表示や音声読み上げ機能があり、広く区政情報をお知らせすることができます。	広報課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
40		1-①-イ	講座等での保育室の設置	子育て中の保護者が積極的に参加できるよう保育室を設置します。	・女性再就職支援セミナー&相談会(受入人数1人) ・文京SOGIに於ける映画会 受入人数1人 ・DVへの気付き・つなげる支援事業 全3回 受入人数15人	実績なし	新型コロナウイルス感染症感染防止のため、オンライン事業に変更したことで保育が不要になった事業がありました。 区民の方の参加を募る講座やセミナー等は、原則として保育の受け入れを準備し周知することで、子育て世帯の参加を促進していく必要があります。	総務課
41		1-①-イ	講座等での手話通訳者の設置	聴覚障害のある方が講座等に参加できるよう、手話通訳者を配置します。	・文京SOGIに於ける映画会 手話通訳者3人	・国際女性デーシンポジウム 手話通訳者3人	聴覚障害のある方が事業に気軽に参加できるよう、引き続き手話通訳者の講座等についての周知を行います。 オンライン事業における手話通訳者の設置は課題があるため、実施については検討が必要です。	総務課
42		1-①-イ	ボランティア・市民活動についての情報提供・相談	ボランティア・市民活動についての情報収集を行い、活動に関する相談、ボランティアコーディネートを行います。	相談件数 781件	相談件数 687件	コロナ禍において、ボランティア活動者のモチベーション維持と活動の停滞を防ぐため、自宅でできるボランティア活動など新規開拓を行いました。	福祉政策課
43		1-①-イ	地域学校協働本部事業	地域住民等が学校教育に対する支援活動を行い、子どもたちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性の育成、地域社会全体の教育力の向上を図ります。	平成20年度より開始。令和4年度現在、区立小学校18校、中学校10校に設置。 各本部に置かれた地域コーディネーターのコーディネートにより、地域の方々が、校外学習の支援、図書ボランティア、職場体験受け入れ先調整などを行っています。 平成28年度から開始した学習支援ボランティア事業は15校で実施しています。	平成20年度より開始。令和3年度現在、区立小学校17校、中学校8校に設置。 各本部に置かれた地域コーディネーターのコーディネートにより、地域の方々が、校外学習の支援、図書ボランティア、職場体験受け入れ先調整などを行っています。 平成28年度から開始した学習支援ボランティア事業は15校で実施しています。	学習支援ボランティア事業は、少人数での学習支援により子どもたちの学力向上、学習の習慣づけになっています。 地域コーディネーター及び学習支援ボランティアが不足している学校もあるため、より幅広い人材確保が必要です。	教育総務課
44		1-①-イ	地域資料の充実	区史や古地図等の地域資料を用いた調査・研究に資するため、資料の収集・提供を行うほか、資料を活用した特集展示などを行います。また、貴重な資料を長期的に保存し、幅広い利用者に提供するため、資料のデジタル化を進め、ホームページでの閲覧環境を充実させます。	森鷗外没後100年記念事業として、資料の特集展示やブックリストの作成、鷗外とゆかりの文人のイラスト入りの葉の配布、ピピリオバトルや朗読会等に取り組みました。 樋口一葉生誕150年にちなみ、浪曲会の開催、資料の特集展示等、図書館資料を活用しての情報発信を行いました。 文の京デジタル文庫に、郷土資料及び行政資料9点を追加しました。(資料総数784点)	徳田秋聲生誕150年などの特集展示を行いました。 文の京デジタル文庫に、郷土資料及び行政資料13点を追加しました。(資料総数775点)	森鷗外没後100年、樋口一葉生誕150年を記念した事業に取り組み、図書館資料を活用した情報発信を行うとともに、利用促進を図りました。 文の京デジタル文庫に、古地図、大正期の小石川植物園の図版、人口統計資料など、9点の郷土資料及び行政資料を追加しました。	真砂中央図書館
45		1-①-イ	図書館のインターネット環境の整備	図書館資料の検索等、利用者が多様な情報にアクセスし、必要な情報が収集できるよう、インターネット端末を設置するとともに、公衆無線LANサービスを提供します。	・区立図書館におけるインターネット端末の設置数 19台 ・インターネット端末の利用件数(延べ) 11,740件	・区立図書館におけるインターネット端末の設置数 19台 ・インターネット端末の利用件数(延べ) 8,000件	令和4年度においては通常開館となったこともあり、インターネット端末の利用件数は増えました。	真砂中央図書館
46		1-①-イ	図書館ホームページの充実	利用者の利便性の向上を図るとともに、子ども・中高生向けページや電子書籍のページなど、様々な世代や利用目的に応じた情報発信を行い、読書活動を推進します。	・ホームページ(トップページ)アクセス数(延べ) 3,823,581件 ・インターネットによる予約件数(延べ) 1,523,222件	・ホームページ(トップページ)アクセス数(延べ) 4,273,863件 ・インターネットによる予約件数(延べ) 1,603,732件	利用者が常に新しい情報にアクセスできるよう、各図書館の開館状況や行事・特集展示など、情報の更新を随時行い、ホームページの充実を図りました。	真砂中央図書館
47	5	1-①-イ	電子図書館機能の充実	電子書籍やオーディオブックといった電子媒体資料や、デジタル化した地域資料を提供することにより、図書館に来館することが困難な方も含め、様々な利用者の読書活動を推進します。	・電子書籍 貸出数: 28,120点 ・オーディオブック 閲覧数: 5,316点 ・デジタル地域資料 所蔵点数: 784点(130タイトル)	・電子書籍 貸出数: 28,793点 ・オーディオブック 閲覧数: 5,389点 ・デジタル地域資料 所蔵点数: 775点(123タイトル)	電子書籍については、資料の特性や利用動向を考慮した選定を行い、提供しました。 文の京デジタル文庫に、大正期の小石川植物園の図版、人口統計資料など、郷土資料及び行政資料を追加しました。	真砂中央図書館

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
1 学習活動 ①いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり ウ 身近な学習環境の充実(p.24)								
48	6	1-①-ウ	視聴覚資料等の貸出	学習や地域活動に必要な視聴覚学習資料を地域の幼稚園、小・中学校、社会教育登録団体、個人等に貸出しを行います。	貸出件数:200件 16ミリフィルム 41件 ビデオ(VHS) 3件 DVD 156件	貸出件数:102件 16ミリフィルム 26件 ビデオ(VHS) 0件 DVD 76件	各団体等に対し、広く貸出に対応したほか、ニーズに合わせて新規に資料を購入しました。また、視聴覚ライブラリー目録の改訂版を発行しました。	アカデミー推進課
49		1-①-ウ	「文の京」施設予約ねっとシステム	利用者サービス及び操作性向上の機能を持った予約ネットシステムの活用により、施設利用者へのさらなる利便性の向上を図ります。	令和4年8月より学校施設30施設において施設予約システムが導入しました。	旧システムから新システムへの再構築を行い、令和4年1月に新システムの運用を開始しました。	学校施設におけるシステムの導入により、システム全体で利用可能な施設が75施設となり、利用者が選択可能な施設数が大幅に増加しました。	区民課
50	7	1-①-ウ	文京e-ラーニング	外出困難な人や時間に制約のある人などを対象に、時間や場所に関係なく各種講座等を受講できるように、インターネットを活用した講座を配信します。	公開番組数:27番組 視聴件数:6,649件	公開番組数:45番組 視聴件数:8,844件	新たに、特別公開講座を含めて27番組収録・配信したほか、これまでに実施した講座も継続して配信し、ライフスタイルに応じた視聴環境の提供につなげました。	アカデミー推進課
51		1-①-ウ	校外施設の区民利用	児童・生徒の心身の健全な育成を図るとともに、区民の健康及び余暇活動を促進することを目的として設置されているハケ岳高原学園について、区民利用者数の増加を図ります。	・一般開放の利用者数 23組 487名 ・少人数利用の利用者数(自主事業) 10組 52名	改修工事期間のため実績はなし	改修工事を経てトイレや浴室等の設備が新しくなり、利用者に好評でした。 指定管理者が自主事業として、少人数利用を開始したことにより、区民の施設利用の幅が増えました。	学務課
52		1-①-ウ	学校施設の活用	区立小・中学校の屋内運動場・格技室・教室・校庭を地域の団体等に開放します。	令和4年8月よりシステム導入。 導入後の利用者および件数 利用者数:126,882人(小学校:69,846 中学校:58,836) 利用件数:6,437件(小学校:3,309 中学校:3,128)	システム未実装のため実績なし	例年、小・中学校合わせて1万件前後の利用があり、地域住民の身近なスポーツ・生涯学習の活動の場として定着しています。令和4年度のシステム導入により、地域の幅広い団体への学校開放をすることができました。	学務課
53	8	1-①-ウ	電子図書館機能の充実	電子書籍やオーディオブックといった電子媒体資料や、デジタル化した地域資料を提供することにより、図書館に来館することが困難な方も含め、様々な利用者の読書活動を推進します。	・電子書籍 貸出数: 28,120点 ・オーディオブック 閲覧数: 5,316点 ・デジタル地域資料 所蔵点数: 784点(130タイトル)	・電子書籍 貸出数: 28,793点 ・オーディオブック 閲覧数: 5,389点 ・デジタル地域資料 所蔵点数: 775点(123タイトル)	電子書籍については、資料の特性や利用動向を考慮した選定を行い、提供しました。 文の京デジタル文庫に、大正期の小石川植物園の図版、人口統計資料など、郷土資料及び行政資料を追加しました。	真砂中央図書館

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
1 学習活動 ①いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり エ 地域の学習拠点としての図書館づくり(p.25)								
54	9	1-①-エ	図書館サービスの充実	図書館資料やレファレンスサービス等の充実を図るほか、各種行事や資料の特集展示などを行い、図書館の利用促進と区民の読書活動の推進を図ります。	・図書館資料 貸出数：3,846,252点 ・レファレンス件数 2,133件 ・行事実績 映画会：38回 講演会・講座等：55回 コンサート・展示会等：23回 乳幼児向け行事：181回 幼児・小学生向け行事：328回 子ども会(人形劇等)：58回 子ども映画会：23回	・図書館資料 貸出数：4,089,846点 ・レファレンス件数 1,743件 ・行事実績 映画会：19回 講演会・講座等：7回 コンサート・展示会等：13回 乳幼児向け行事：86回 幼児・小学生向け行事：142回 子ども会(人形劇等)：22回 子ども映画会：12回 (参考) ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、令和3年4月12日から9月30日まで、開館時間を短縮し、運営しました。 ・行事については、年間を通じ、中止または人数制限等を設けて実施しました。	図書館資料の充実を図るとともに、時節に応じた特集展示を区立図書館全体で年間1,200回実施しました。 森鷗外没後100年、樋口一葉生誕150年記念事業を含む様々な行事にも取り組み、区民の読書活動の推進を図りました。	真砂中央図書館
55		1-①-エ	地域資料の充実	区史や古地図等の地域資料を用いた調査・研究に資するため、資料の収集・提供を行うほか、資料を活用した特集展示などを行います。また、貴重な資料を長期的に保存し、幅広い利用者に提供するため、資料のデジタル化を進め、ホームページでの閲覧環境を充実させます。	森鷗外没後100年記念事業として、資料の特集展示やブックリストの作成、鷗外とゆかりの文人のイラスト入りの葉の配布、ピリオパトルや朗読会等に取り組みしました。 樋口一葉生誕150年にちなみ、浪曲会の開催、資料の特集展示等、図書館資料を活用しての情報発信を行いました。 文の京デジタル文庫に、郷土資料及び行政資料9点を追加しました。(資料総数784点)	徳田秋聲生誕150年などの特集展示を行いました。 文の京デジタル文庫に、郷土資料及び行政資料13点を追加しました。(資料総数775点)	森鷗外没後100年、樋口一葉生誕150年を記念した事業に取り組み、図書館資料を活用した情報発信を行うとともに、利用促進を図りました。 文の京デジタル文庫に、古地図、大正期の小石川植物園の図版、人口統計資料など、9点の郷土資料及び行政資料を追加しました。	真砂中央図書館
56		1-①-エ	図書館のインターネット環境の整備	図書館資料の検索等、利用者が多様な情報にアクセスし、必要な情報が収集できるよう、インターネット端末を設置するとともに、公衆無線LANサービスを提供します。	・区立図書館におけるインターネット端末の設置数 19台 ・インターネット端末の利用件数(延べ) 11,740件	・区立図書館におけるインターネット端末の設置数 19台 ・インターネット端末の利用件数(延べ) 8,000件 (参考) ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、令和3年4月12日から9月30日まで、開館時間を短縮し、運営しました。	令和4年度においては通常開館となったこともあり、インターネット端末の利用件数は増えました。	真砂中央図書館
57		1-①-エ	図書館ホームページの充実	利用者の利便性の向上を図るとともに、子ども・中高生向けページや電子書籍のページなど、様々な世代や利用目的に応じた情報発信を行い、読書活動を推進します。	・ホームページ(トップページ)アクセス数(延べ) 3,823,581件 ・インターネットによる予約件数(延べ) 1,523,222件	・ホームページ(トップページ)アクセス数(延べ) 4,273,863件 ・インターネットによる予約件数(延べ) 1,603,732件	・利用者が常に新しい情報にアクセスできるよう、各図書館の開館状況や行事・特集展示など、情報の更新を随時行い、ホームページの充実を図りました。	真砂中央図書館
58		1-①-エ	大学との連携による図書館サービスの充実	大学や学生との連携により、行事等の充実を図ります。	・大学生の図書館ボランティアによる児童行事 真砂中央図書館：1回 目白台図書館：12回 千石図書館：4回	(参考) ・新型コロナ感染症の影響により、実績なし。	区内大学地域連携担当者会議において、大学生ボランティアの図書館イベントへの参加要請を行い、各大学にボランティア募集のポスターの掲示を依頼したことにより、申込が増加しました。	真砂中央図書館
59	10	1-①-エ	子どもの読書活動の推進	子どもたちが生涯にわたり読書習慣を身につけられるよう、発達段階に応じた行事や読書支援を行います。また、保護者への啓発や地域団体等との連携により、子どもの読書環境の整備に取り組みます。	・児童資料 貸出数：1,252,301冊 ・行事実績 乳幼児向け行事：181回 幼児・小学生向け行事：328回 子ども会(人形劇等)：58回 子ども映画会：23回 ・地域連携及び地域支援の実績 小学校、幼稚園、保育園、育成室等へ団体貸出数：1,060回(50,076冊) 出張おはなし会：159回	・児童資料 貸出数：1,338,414冊 ・行事実績 乳幼児向け行事：86回 幼児・小学生向け行事：142回 子ども会(人形劇等)：22回 子ども映画会：12回 ・地域連携及び地域支援の実績 小学校、幼稚園、保育園、育成室等への団体貸出数：639回(26,314冊) 出張おはなし会：26回 (参考) ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、令和3年4月12日から9月30日まで、開館時間を短縮し、運営しました。 ・行事については、年間を通じ、中止または人数制限等を設けて実施しました。	「子ども読書活動推進計画」に基づく読書環境の整備と読書活動の充実を図るため、ブックリストの作成や、図書の実験、保護者や子どもへの啓発を行い、区立図書館の利用促進を図りました。 読み聞かせやおはなし会などの行事を実施し、親子や子どもが本に親しむ機会を提供しました。	真砂中央図書館
60		1-①-エ	大学連携による附属図書館の区民開放	区内大学附属図書館の区民開放により、区民の学習活動を支援します。	・区民開放対象大学：6大学 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、各大学が学外利用者の受入を中止したため、利用登録の受付を中止しました。	・区民開放対象大学：6大学 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、各大学が学外利用者の受入を中止したため、利用登録の受付を中止しました。	区民開放の再開について、各大学の方針等を調査した上で、調整を行いました。 令和5年度から、順次再開の方向で進めています。	真砂中央図書館

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
61		1-①-エ	外国語資料の充実	外国語資料の収集や利用案内の多言語化等により、日本語を母国語としない利用者へのサービス向上を図ります。	・外国語図書 貸出数：4,459冊 新規受入れ冊数：533冊 ・外国語絵本 貸出数：12,426冊 新規受入れ冊数：144冊 ・英語による読み聞かせ行事実績 11回	・外国語図書 貸出数：4,885冊 新規受入れ冊数：598冊 ・外国語絵本 貸出数：12,394冊 新規受入れ冊数：122冊 ・英語による読み聞かせ行事実績 2回	多様な言語の資料の収集に努め、外国語絵本においては、文京区おすすめブックリスト掲載の絵本を中心に、アジア圏の言語で書かれた絵本を購入し、提供しました。	真砂中央図書館
1 学習活動 ② 学び続けるための活動の支援 ア 区民の主体的な学習活動の支援(p.26)								
62	11	1-②-ア	資格取得キャリアアップ講座	区民の資格取得やキャリアアップを支援するため、区内大学と連携し、大学で開講する講座を区民が受講する際に一部補助を行い、区民の資格取得やキャリアアップを支援します。	前期(5~11月) 5講座 8人(定員50人) 後期(9~1月) 2講座 23人(定員20人) (1講座中止)	前期(4~11月) 6講座 9人(定員60人) 後期(9~2月) 8講座 27人(定員80人)	平時から連携している区内大学による資格取得に直結した講座により、能力の習熟に繋がりました。	アカデミー推進課
	12	1-②-ア	社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、その団体の施設利用を支援します。	アカデミー施設利用者数：102,057人(内訳) アカデミー文京：33,408人 地域アカデミー：68,649人	アカデミー施設利用者数：62,053人(内訳) アカデミー文京：15,659人 地域アカデミー：46,394人	多くの社会教育関係団体よりアカデミー施設の利用があり、学習活動を通じた交流ができる場を提供することで、区民の主体的な活動を支援することができました。	アカデミー推進課
	13	1-②-ア	社会教育関係団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。	登録団体数 756件(内訳) 一般生涯学習活動団体 383件 スポーツ・野外活動団体 373件	登録団体数 914件(内訳) 一般生涯学習活動団体 475件 スポーツ・野外活動団体 439件	登録団体名簿の関連施設への配架及びホームページへの掲載により、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動の促進につながりました。また、3年に一度の更新を実施し、活動している団体をより正確に把握することができました。	アカデミー推進課 スポーツ振興課
	64	1-②-ア	文京区生涯学習サークル連絡会の支援	文京区生涯学習サークル連絡会によって実施される公開講座、合同学習会、史跡・施設見学会等の各種自主学習活動への支援を行います。	①代表者会議【実施日】5/19 ②合同学習会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ③公開講座【実施日】11/17 ④バス見学会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	①代表者会議【実施日】11/30 ②合同学習会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ③公開講座【実施日】 一般区民向け：3/3 サークル連絡会会員向け：3/10 ④バス見学会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	多くのサークル連絡会の会員にご参加いただくことができました。特に、講師の先生をお招きして開催した公開講座へは、68名の方に参加していただき、参加者アンケートでは、8割以上の方から「よかった」との感想をいただきました。	アカデミー推進課
	65	1-②-ア	サークル活動の広報	アカデミー文京・地域アカデミー等において、各団体の活動内容を記載した社会教育関係団体名簿の閲覧ができます。	各施設等で閲覧できる社会教育関係団体名簿について、随時登録内容の変更を受け付けており、月に一度名簿に変更内容を追加しています。更に、令和4年度は登録団体の一斉更新を行い、より最新の活動内容に更新しました。また、生涯学習相談ほか、会員募集や展示会周知など、サークル活動の支援・紹介チラシ等を配架・掲出しました。	各施設等で閲覧できる社会教育関係団体名簿について、随時登録内容の変更を受け付けており、月に一度変更内容を追加しています。また、生涯学習相談ほか、会員募集や展示会周知など、サークル活動の支援・紹介チラシ等を配架・掲出しました。	名簿を各施設に配架、ホームページに掲載することで、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動につなげることができました。更に、各施設窓口で活動の支援や紹介をすることにより、生涯学習活動の活性や参加機会の提供等ができました。	アカデミー推進課
	66	1-②-ア	男女平等センター資料コーナーの充実	関係機関との連携によって、男女平等参画に関する情報や資料を収集し提供します。	蔵書 図書7,212冊、新聞1紙、雑誌15誌、ビデオ・DVD等166本	蔵書 図書7,143冊、新聞1紙、雑誌15誌、ビデオ・DVD等166本	実施事業のテーマや講師の著書、利用者の要望、関係機関・団体からの情報提供などを参考にし、男女平等参画に関する資料等の充実を図っています。令和4年度は、69冊の図書購入を行いました。	総務課
	67	1-②-ア	登録消費者団体との連携	必要とされる消費生活の情報提供を行い、消費者団体の活動促進を図ります。	・登録消費者団体 6団体 ・定例会開催(偶数月)6回(うち書面開催1回) ・消費者団体を講師とした、子ども向け講座(夏休み期間3回)、子ども向け出前講座(夏休み期間13回、うち2回リモート開催)、消費生活展手づくり体験コーナー(4団体延6回)を実施	・登録消費者団体 7団体 ・定例会開催(偶数月)6回(うち書面開催回) ・消費者団体を講師とした、子ども向け講座(3回)、子ども向け出前講座(6回)、消費生活展手づくり体験コーナー(5団体、ビデオ上映延10回及び作成キットの配布)を実施	定例会において、消費者団体に対して情報提供を行いました。夏休みの子どもの学習機会としての研修会、出前講座は、毎回多くの参加者がありました。3年ぶりの通常開催となった消費生活展会場での手づくり体験講座も好評で多くの参加がありました。引き続き、団体との連携を図り、団体活動の促進を図ります。	経済課(消費生活センター)
	68	1-②-ア	とびだせ！消費者きょういく	区内各施設へ消費生活センターが向向き、若者や高齢者の消費者被害防止のための講義や相談を受け付けます。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業見合わせ	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業見合わせ	感染症拡大防止のため、事業を中断していました。今後は、消費生活出前講座と統合し、より多くの機会を得るために、区内施設への働きかけや、各種イベント会場に向いて事業を行います。	経済課(消費生活センター)
	69	1-②-ア	ボランティア・市民活動についての情報提供・相談	ボランティア・市民活動についての情報収集を行い、活動に関する相談、ボランティアコーディネーターを行います。	相談件数 781件	相談件数 687件	コロナ禍において、ボランティア活動者のモチベーション維持と活動の停滞を防ぐため、自宅でできるボランティア活動など新規開拓を行いました。	福祉政策課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
70		1-②-ア	団体への講師派遣制度の実施	団体の自主的な学習を促進するため、学習団体等が合同で講習会等を行う場合に講師を派遣します。	○東京富士クラブ1回	なし	生活習慣病予防に関する知識の提供、地域資源の周知等を行う機会として実施しました。	保健サービスセンター
1 学習活動 ② 学び続けるための活動の支援 イ 活動の成果を披露できる場の充実(p.27)								
71	14	1-②-イ	生涯学習フェア	文京アカデミア講座や区内大学生生涯学習センターの紹介、講座受講相談を実施し、区民に対し生涯学習活動への参加を促す機会をつくとともに、区内サークルの活動紹介や体験コーナー、ステージでの活動発表等を行うことにより、学習成果披露の場や区民同士の交流の機会を提供します。	開催日：令和5年2月28日(火)・3月1日(水)来場者数：590人 開催場所：ギャラリーシビック、アートサロン、小ホール 参加団体：展示部門11団体、発表部門14団体 展示：303人 発表：287人	開催日：令和4年3月8日(火)・3月9日(水) 開催場所：ギャラリーシビック、アートサロン 来場者数：367人 参加団体：展示部門11団体 来場者数：367人 ※小ホール改修のため発表なし	アカデミア講座や区内大学生生涯学習センター、区内で活動する生涯学習サークルの活動紹介のほか、ステージ発表等により、区民の学びを表現する場を設けることで、学習意欲の向上を図りました。	アカデミー推進課
	15	1-②-イ	体験教室ウィーク	地域におけるコミュニティの育成と生涯学習活動の支援を目的として、各地域アカデミーで活動する生涯学習団体を区民に紹介するとともに、生涯学習団体の活動に区民が参加する機会を創出し、団体活動を支援します。	47団体の参加があった。	35団体の参加があった。	体験教室ウィークは年2回開催するが、コロナ禍による参加団体の低減が予想された中、想定以上の団体の参加がありました。 なお、アカデミー溝島の1回目は、開催期間が改修工事と重なり、止む無く中止となりました。	アカデミー推進課
	16	1-②-イ	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。	文化事業系の事業への参加者及び来場者の合計：29,990人	-	例年開催している事業のうち、伝統芸能の2大会及び津和野市と共同主催の石見神楽公演が中止となりましたが、他は定数減などの対策をとりながら予定通り実施しました。 単年度事業だった文の京ミュージアムネットワーク入館料助成キャンペーンは2か月間に16,398件もの利用があり、大きな反響をよみました。 また、障害者の芸術活動を支援する展示を民間団体と共同主催で開催しました。	アカデミー推進課
72		1-②-イ	いきいきシニアの集い	高齢者が地域社会や家庭等で幅広く培った、豊かな経験や技術・知識を活かし、作品展示などを通じて、他世代との交流を図るとともに高齢者の生きがいの推進を図ります。	いきいきシニアの集い 令和4年11月19日～20日実施 参加人数(2日間総合計)：3,225人	いきいきシニアの集い 令和3年11月27日～28日実施 参加人数(2日間総合計)：1,975人 ※新型コロナウイルスの影響により、規模を縮小して実施した。(美演コーナーや学生ボランティア受け入れを実施しなかった。)	感染症対策として、来場者の検温や手指消毒、連絡先の提出等を行い2日間開催しました。高齢者やその子世代など、多世代の来場がありました。発表の場を設けることで高齢者の作品づくりへの達成感につながり、高齢者の生きがい向上を図ることができました。	高齢福祉課
73		1-②-イ	「敬老の日施設開放」	高齢者の生活が健康で明るいものとなることを願って、福祉センター利用者と職員が一緒に「敬老の日」を祝います。 内容は、敬老の日に高齢者自身が演芸大会で歌・踊り・手品等の特技を披露し合い、お茶会を催します。	「敬老会」参加(*視聴覚室で開催) 延べ人数77人[シニア750人、一般+出演者27人]	「敬老会」参加(*視聴覚室+リモート会場で開催) 延べ人数58人[シニア750人、一般+出演者8人]	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底して開催しました。受付を視聴覚室前に設置し、誘導する職員を配置して、来場者にはマスクの着用を呼びかけています。番号札も渡し人数のカウントを行いました。 職員による恒例となったダンスや、ゲストによるコーラス、落語。インストラクターによる脳活ゲーム&脳活ダンス、椅子に座った状態での上半身を使ったダンス的な体操に会場の全員が参加され盛り上がりしました。 引き出物を恒例の蒸しパンからディニッシュ系のパンに変更した点も参加者から好評でした。	高齢福祉課(福祉センター)
74		1-②-イ	福祉センター祭り	福祉センターを利用している高齢者、障がい者等が制作した作品の展示等を通じて、地域社会との交流を図ります。また福祉センターを利用する自主的サークルの活動発表の場を提供します。	令和4年11月5日(土)6日(日) 来場者(延べ)1775人 ボランティア(延べ)24人[学生13、その他11] イベント等参加人数(二日間延べ総合計)：1,799人	*新型コロナウイルス感染症により、祭りの目的が達成できないため中止。	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底して開催。 感染状況等を考慮し、飲食関係の模擬店を自粛しましたが、3密を避けての作品展(障害者からシニアまで)、ゲームコーナーを設け、キッズからシニアまでの多世代が交流することができました。	高齢福祉課(福祉センター)
75		1-②-イ	世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための交流の場をつくります(作品展の実施)。	令和4年12月3日(土)～5日(月)実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数 2,318人。	令和3年12月4日(土)～6日(月)実施。 作品展。 入場者数 1,875人。 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し開催)	障害者に対する理解と認識を深め、また障害のある人もない人もともにふれあう交流の場となり、活気のある作品展を開催することができました。	障害福祉課
76		1-②-イ	世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	活動成果や施設の紹介、利用者と地域住民との交流を図ります(福祉作業所一歩いっほ祭り)。	新型コロナウイルス感染拡大のため中止	新型コロナウイルス感染拡大のため中止	-	障害福祉課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
77		1-②-イ	世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流機会の提供(本郷福祉センター)	本郷福祉センター利用者の日常活動での成果の発表等を通じて地域との交流を図ります(本郷福祉センターほんわか祭り)。	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	-	障害福祉課
78		1-②-イ	障害者とともに生きる社会をつくるための学習機会の設置	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供します(作品展の実施)。	令和4年12月3日(土)～5日(月)実施。作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。入場者数 2,318人。	令和3年12月4日(土)～6日(月)実施。作品展。入場者数 1,875人。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し開催)	障害者に対する理解と認識を深め、また障害のある人もない人もともにふれあう交流の場となり、活気のある作品展を開催することができました。	障害福祉課
79		1-②-イ	ステージ・エコ	リサイクル事業のひとつとして、区民ひろばでフリーマーケットを開催し、ゲスト団体のブースを併せて展開します。	各種資源回収及びフードドライブ(未利用食品の回収)、陶磁器製食器類の頒布を計5回実施しました。来場者数は令和4年5月13日(金)は104名、7月9日(土)は182名、9月10日(土)は144名、11月23日(水・祝)は340名、令和5年2月10日(金)は92名。	令和3年7月10日(土)、11月6日(土)、令和4年2月4日(金)に各種資源回収及びフードドライブ(未利用食品の回収)、陶磁器製食器類の頒布を実施。来場者は7月が139名、11月が319名、2月が124名、5月14日(金)及び9月17日(金)に実施を予定していた本事業は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け、中止としました。	多くの方が資源を持参され、2R推進の啓発を行うことができました。	リサイクル清掃課
80		1-②-イ	文京エコ・リサイクルフェア	地球環境に配慮した資源循環型社会の構築を目指すため3R推進月間に合わせて、リサイクル・環境団体の活動の成果を紹介し地域住民との交流を図ります。	令和4年11月23日(水・祝)にシビックセンター内にて開催しました。15団体が出展し、約600名が来場しました。	令和3年11月5日(金)及び6日(土)にシビックセンター内にて開催した。15団体が出展し、約750名が来場しました。	パネル展示とおもちゃ修理を通じて、地球環境に配慮した資源循環型社会の構築について啓発しました。	リサイクル清掃課
1 学習活動 ② 学び続けるための活動の支援 ウ 学びを通じた交流・仲間づくりの推進(p.27)								
81	17	1-②-ウ	ふれあいサロン	地域活動センターにおいて、幅広い年代の区民が参加する各種イベントや様々な教室を開催し、生きがいづくりや区民間の交流の支援、地域のさらなる活性化を目指します。	スマートフォン教室、スマホアプリ教室、ボードレス交流会等 46事業実施	スマートフォン教室、囲碁入門講等 21事業実施	地域人材を活用したサロンの開催などにより、住民の相互交流の場を提供することができました。	区民課
82		1-②-ウ	交流館における交流事業の充実	世代間を越えて、広く区民同士が交流を図れるよう、交流館において、様々な交流事業を実施します。	軽体操教室、フラワーアレンジメント教室、スマホ相談教室、落語会等	軽体操教室、フラワーアレンジメント教室、ママとベビーのふれあい教室、着付け教室等	指定管理者により区民同士の交流、多世代交流となる交流事業を多く実施しています。	区民課
83		1-②-ウ	各種サークル等の育成	区民の自主的な学習活動を促進するため、各種サークルの支援を行います。	・グループ活動助成 2回	・グループ活動助成 1回	感染症拡大防止のために事業を控えていた団体が活動を再開していると考えられます。今後は、より幅広く助成制度の周知を行っていく必要があります、	経済課(消費生活センター)
84		1-②-ウ	ボランティア活動基盤づくり	ボランティア活動が円滑に行えるよう、ボランティア保険に関する案内や資機材の整備を行います。 ◎ボランティア活動室・機材の貸出し 印刷機、紙折り機、点字プリンター ◎ボランティア保険の加入受付	◎どっとファミコム登録団体数 169団体 ◎ボランティア保険の加入受付 2,748人	◎どっとファミコム登録団体数 165団体 ◎ボランティア保険の加入受付 2,318人	活動者の間接的な支援を行うことにより、活動の活性化をサポートしました。	福祉政策課
85		1-②-ウ	ボランティアの交流・協働への支援	ボランティア・市民活動団体の交流を図り、活動しやすい環境をつくる。また、多様な協働を支援し、区内のボランティア活動がより活発化するよう働きかけます。	文京つながるメッセ 1回開催	文京つながるメッセ 1回開催	多様な主体が関わるイベントとして、文京つながるメッセが定期的に開催されています。	福祉政策課
86		1-②-ウ	いきいきシニアの集い	高齢者が地域社会や家庭等で幅広く培った、豊かな経験や技術・知識を活かし、作品展示などを通じて、他世代との交流を図るとともに高齢者の生きがいの推進を図ります。	いきいきシニアの集い 令和4年11月19日～20日実施 参加人数(2日間総合計):3,225人	いきいきシニアの集い 令和3年11月27日～28日実施 参加人数(2日間総合計):1,975人 ※新型コロナウイルスの影響により、規模を縮小して実施した。(実演コーナーや学生ボランティア受け入れを実施しなかった。)	感染症対策として、来場者の検温や手指消毒、連絡先の提出等を行い2日間開催しました。高齢者やその子世代など、多世代の来場がありました。発表の場を設けることで高齢者の作品づくりへの達成感につながり、高齢者の生きがい向上を図ることができました。	高齢福祉課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
87		1-②-ウ	文京区家族介護支援事業	認知症の本人やその家族等の介護者を対象に、認知症家族交流会、介護者教室等を実施します。また、認知症の本人やその家族、地域住民、介護事業者など、誰もが集い、話せる場として認知症カフェを実施します。 ※認知症家族交流会、介護者教室、認知症カフェのいずれも区内の高齢者あんしん相談センターへの委託による実施	①認知症家族交流会 開催数:8回 参加者数:70人 ②認知症介護者教室 開催数:8回 参加者数:138人 ③認知症カフェ 開催数:22回 参加者数:255人	①認知症家族交流会 開催数:8回 参加者数:68人 ②認知症介護者教室 開催数:8回 参加者数:113人 ③認知症カフェ 開催数:22回 参加者数:222人	認知症本人やその家族等の孤立や不安感に寄り添い、介護に係る情報交換や地域における交流の場を提供できました。	高齢福祉課
88		1-②-ウ	世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	活動成果や施設の紹介、利用者や地域住民との交流を図ります(福祉作業所一歩いっば祭り)。	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	-	障害福祉課
89		1-②-ウ	世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流機会の提供(本郷福祉センター)	本郷福祉センター利用者の日常活動での成果の発表等を通じて地域との交流を図ります(本郷福祉センターほんわか祭り)。	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	-	障害福祉課
90		1-②-ウ	文京エコリサイクルフェア	地球環境に配慮した資源循環型社会の構築を目指すため3R推進月間に合わせて、リサイクル・環境団体の活動の成果を紹介し地域住民との交流を図ります。	令和4年11月23日(水・祝)にシビックセンター内にて開催しました。15団体が出展し、約600名が来場しました。	令和3年11月5日(金)及び6日(土)にシビックセンター内にて開催しました。15団体が出展し、約750名が来場しました。	パネル展示とおもちゃ修理を通じて、地球環境に配慮した資源循環型社会の構築について啓発しました。	リサイクル清掃課
1 学習活動 ③ 学びの循環による地域づくり ア 地域の学びを促進する人材育成の推進(p.28)								
91	18	1-③-ア	人材育成のための講座	区や公益財団等と協働して事業を行う人材を育成するため、「文の京生涯学習司」、「文の京地域文化インタープリター」「文京アカデミアサポーター」の3つの養成講座を実施します。	2講座実施 受講者数:41人 文の京生涯学習司養成講座 実施期間:令和4年10月31日(月)~12月22日(木) 18:50~20:30(全12回) 実施会場:文京学院大学本郷キャンパス 受講者数:24人(定員24人/応募者数31人) 文京アカデミアサポーター養成講座 実施期間:令和4年7月4日(月)・7日(木)・11日(月)・14日(木)14:00~16:00(全4回) 実施会場:アカデミー文京 学習室・レクリエーションホール・アトリエ 受講者数:17人(定員15人/応募者数18人)	2講座実施 受講者数:41人 文の京インタープリター養成講座 実施期間:令和3年10月2日(土)~令和4年2月26日(土)13:30~15:30(全14回) 実施会場:跡見学園女子大学文京キャンパスほか 受講者数:33人(定員30人/応募者数40人) 文京アカデミアサポーター養成講座 実施期間:令和4年2月15日(火)・18日(金)・22日(火)・25日(金)14:00~16:00(全4回) 3月の後期Ⅱアカデミア講座従事(1回) 実施会場:アカデミー文京 学習室・レクリエーションホール・アトリエ 受講者数:17人(定員15人/応募者数17人)	区内大学、及び生涯学習司の会の協力を得て、それぞれ「文の京生涯学習司養成講座(隔年)」「サポーター養成講座」を実施し、地域人材の掘り起こしと新たな認定者の確保に繋がりました。	アカデミー推進課
92	19	1-③-ア	学習支援者スキルアップ講座	財団と協働して事業を行う「文京アカデミアサポーター」「文の京生涯学習司」「文の京地域文化インタープリター」などの生涯学習支援者を対象としたスキルアップ講座を実施し、より多角的な活動が行える技能等を学習する機会を提供します。	2講座実施 受講者数:46人 パソコンのセキュリティについて 実施日時:令和4年9月29日(木)14:00~15:00 実施会場:アカデミー文京 学習室会場 講師:株式会社富士通ラーニングメディア・スタッフ 受講者数:28人(応募者数30人) 文京アカデミア講座を企画しよう 開催日時:令和5年1月25日(水)、2月1日(水)・8日(水)・22日(水)18:30~20:30 実施会場:アカデミー文京 学習室 講師:文京アカデミア生涯学習司の会会員 受講者数:18人(定員20人/応募者数18人)	2講座実施 受講者数:46人 普通救命講習 実施日時:令和3年7月13日(火)9:30~12:30 13:30~16:30 7月14日(水)13:30~16:30 7月15日(木)9:30~12:30 13:30~16:30 5日程のうちいずれか 実施会場:アカデミー文京 レクリエーションホール 講師:公益財団法人東京防災救急協会 職員 受講者数:16人(定員各回15人/応募者数17人) 新たな文京区アカデミー推進計画について:31人 実施日時:令和4年3月25日(金)14:00~16:00 実施会場:アカデミー文京 学習室 講師:日本女子大学教授 田中雅文 受講者数:31人(応募者数32人)	より生涯学習支援活動に欠かせなくなりつつあるパソコン講座など、支援者のニーズを踏まえた講座や、支援者の企画運営する講座を実施し、効果的なスキルアップに繋がりました。	アカデミー推進課
93		1-③-ア	社会福祉士相談援助技術現場実習	社会福祉士の資格を取得する為の実習生の受入れを行います。 毎年8月下旬~10月上旬までの期間で計180時間	新型コロナウイルスの影響により中止	新型コロナウイルスの影響により中止	-	福祉政策課
94		1-③-ア	ボランティアの育成	ボランティアに関する理解を深めボランティア活動への参加を促進します。 また、専門的な知識を持ったボランティアを育成します。	なつぽら参加者 141名(延べ人数) 手話講習会修了者数 75名	なつぽら参加者 101名 手話講習会修了者数 83名	コロナ禍においても、できる形での活動促進を図ることができました。	福祉政策課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
95		1-③-ア	傾聴ボランティア講習会	傾聴の技術を学び、施設などで傾聴ボランティア活動を行うことを目的としたボランティア養成講座を開催します。	傾聴ボランティア講習会参加者 16名	開催中止	傾聴スキルを活かして、さまざまなボランティア活動で活躍できるベースの講習会として開催しました。	福祉政策課
96		1-③-ア	認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識と理解を持って、地域や職場で認知症の本人やその家族を手助けするサポーターを養成します。 ※対象・・・区民・学校(小・中・高など)・区内企業	区民:243人 学校:349人 企業:173人 合計:765人	区民:161人 学校:311人 企業:175人 合計:647人	認知症に関する正しい知識と理解の普及啓発を行うとともに、地域で認知症の本人やその家族の見守り等を行うサポーターを養成しました。	高齢福祉課
97		1-③-ア	ボランティアの育成	ボランティアに関する理解を深めボランティア活動への参加を促進します。 また、専門的な知識を持ったボランティアを育成します。	5月、7月、11月、1月、3月の計5回(7月は2回分を1日で実施)、文京区登録手話通訳者27名に対し専門研修を実施した。	5月、7月、9月、11月、1月、3月の計6回、文京区登録手話通訳者26名に対し専門研修を実施した。	専門的な知識を持ったボランティアを育成することができました。	障害福祉課
98		1-③-ア	子育てサポーター認定制度	地域における子育て支援の担い手を育成するため、全国共通の子育て支援員制度と文京区独自のカリキュラムで構成する子育てサポーター認定制度を実施します。子育てサポーターに認定された方は、社会福祉協議会がファミリー・サポート・センター事業を拡充して実施する訪問型保育事業の担い手として活動します。 今回、子育てサポーター認定制度における子育て支援員研修について、区内大学との事業連携により実施します。	○ベーシックサポーター認定研修 研修実施回数 2日×2回 (貞静学園短期大学) ○スタンダードサポーター認定研修 研修実施回数 4日×2回 (1・2日目:貞静学園短期大学) (3・4日目:全国保育サービス協会) ○居場所サポーター認定研修 研修実施回数 1日×1回 (子育てひろば全国連絡協議会)	○ベーシックサポーター認定研修 研修実施回数 2日×1回 (貞静学園短期大学) ○スタンダードサポーター認定研修 研修実施回数 4日×1回 (1・2日目:貞静学園短期大学) (3・4日目:全国保育サービス協会) ○居場所サポーター認定研修 研修実施回数 1日×0回 (子育てひろば全国連絡協議会)	ベーシックサポーター認定研修では計28名を、スタンダードサポーター認定研修では計35名を認定しました。 また、居場所サポーター認定研修では、計26名を認定しました。 コロナ禍における研修の中止に伴い、認定者の減少が続きましたが、令和4年度は区内大学や社会福祉協議会等の各団体と協力し、新型コロナウイルス感染症対策を講じて、計画どおり研修を実施できました。 今後も関係団体と協力し、計画的な研修の実施に努め、地域における子育て支援の担い手の確保・育成に取り組んでいきます。	子育て支援課
99		1-③-ア	環境ライフ講座	地域における環境保全の必要性を学び、自ら環境保全の意識啓発に取り組み活動する人材を育成することを目的とした講座を開催します。	1講座全7回開催 定員:15人 参加人数:15人(うち修了生13人)、延べ81人 (平成12年度より事業開始)	1講座全7回開催(うちオンライン開催4回) 定員:15人 参加人数:15人(うち修了生11人)、延べ76人	自ら環境保全の意識啓発に取り組み活動する人材の育成に寄与することができました。 次年度は、自ら環境保全の意識啓発に取り組み、情報発信が行える人材を育成するため、発信力向上に関する知識や情報を提供します。	環境政策課
100		1-③-ア	文京ecoカレッジ リサイクル推進サポーター養成講座	廃棄物を減らし資源循環型社会の構築を目指すため、地域でのリサイクル推進活動及び区のリサイクル事業への区民参画を進め、3Rの推進の実践につながる人材の育成及び活用を図るための「リサイクル推進サポーター」を養成します。	令和4年5～6月計4回新規サポーター登録予定者を対象にサポーター養成講座を開講しました。参加者は16名。 (内1名既存サポーター)	令和3年5月～6月計2回既存サポーター35名を対象にスキルアップ講座を開講しました。参加者は8名。	講座の受講生は、3Rの推進、ごみ減量に関心の高い方が集まり、参加者15名に新規サポーターとして登録いただきました。今後も新規サポーターの養成と既存のサポーターのスキルアップを継続して実施し、一層3R推進活動に取り組んでいきます。	リサイクル清掃課
101		1-③-ア	PTA育成(PTA研修会)	PTAを育成するため、学習の場として、また、PTA相互の交流を図るため、研修会を開催します。	【広報研修会実施日(参加人数)】zoom開催 4月18日(32名)	【広報研修会実施日(参加人数)】zoom開催 4月20日(55名)	PTA広報誌作成の実践講座であり、初めて役員になったPTAに好評でした。開催時期が早いとの声があるため次回は開催時期を遅くしたい考えです。	教育総務課
102		1-③-ア	PTA育成(PTA連合会主催事業の支援)	PTA連合会事業を共催または支援することにより、PTAを育成します。PTA相互の連携強化、家庭教育力の向上を図ります。	①区立中学校PTA連合会スポーツフェスティバル ②区立小学校PTA連合会バレーボール大会 ③区立小学校PTA連合会卓球大会 ④区立小学校PTA連合会バスケットボール大会	①区立中学校PTA連合会スポーツフェスティバル(コロナにより中止) ②区立小学校PTA連合会バレーボール大会(コロナにより中止) ③区立小学校PTA連合会卓球大会(コロナにより中止) ④区立小学校PTA連合会バスケットボール大会(コロナにより中止)	コロナの感染対策を行いながら、時間を短くしてイベントを行った。PTA会員同士が交流出来る良い機会となりました。	教育総務課
103		1-③-ア	PTA育成(親子ふれあい教室)	PTAが実施する親子のふれあいを深めるための事業を支援し、経費の一部を負担します。	対象:区立幼稚園、小学校、中学校 全40校園	対象:区立幼稚園、小学校、中学校 全40校園	コロナの感染拡大が抑えられる兆しが見え始め、PTA活動が少しずつ始まりを見せてきました。	教育総務課
104		1-③-ア	文京区青少年の社会参加推進事業補助金	区内で非営利活動を行う団体(NPO等)が実施する、青少年の社会参加を推進する事業に対して、経費の一部を補助します。これにより、当該事業の充実を図り、青少年が主体的に社会と関わることができる機会や場を提供し、青少年の社会参加を推進し、青少年の自立を促進することを目的とします。	2団体の各事業に対し経費の一部を補助しました。	2団体の各事業に対し経費の一部を補助しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全ての事業が中止となりました。	雪遊びやチャレンジウォーク等の事業補助によって、青少年が社会と関わり交流する機会を生み出すことができました。	児童青少年課
105		1-③-ア	文京区青少年健全育成会活動支援	青少年の健全育成のため活動している文京区青少年健全育成会(9地区)を支援します。	全地区(9地区)において、ほぼコロナ禍前と同程度の事業を実施しました。	全地区(9地区)において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業を中止または縮小して実施しました。	新型コロナウイルス感染症の影響により停滞している育成会活動を後押しするために、追加補助(1地区200,000円まで)を行い、活動支援を図りました。	児童青少年課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
1 学習活動 ③ 学びの循環による地域づくり イ 人材活用の仕組みの構築 (p.29)								
106	20	1-③-イ	区民プロデュース講座	区民の学習成果を活かし、地域に根差した生涯学習を推進するため、個人・NPO等の団体が企画する講座を公募して実施します。	前期(5~6月) 5講座 70人(定員70人/応募者数118人) 後期(10~12月) 6講座 70人(定員86人/応募者数271人) 後期Ⅱ(1~3月) 4講座 46人(定員46人/応募者数136人)	前期(5~7月) 2講座 20人(定員45人/応募者数133人) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、2講座中止 後期(10~11月) 5講座 65人(定員75人/応募者数157人) 後期Ⅱ(1~3月) 5講座 72人(定員72人/応募者数128人)	アカデミア講座や区内大学生涯学習センター、区内で活動する生涯学習サークルの活動紹介のほか、ステージ発表等により、区民の学びを表現する場を設けることで、学習意欲の向上を図りました。	アカデミー推進課
107		1-③-イ	区民プロデュース講座の企画支援	区民プロデュース講座企画者の負担を軽減し、企画を支援するための取り組みを実施します。	原則、毎週、水~金の午後に実施 相談件数 171件 (うち区民プロデュース企画相談・受付78件)	原則、毎週、水~金の午後に実施 相談件数:155件 (うち区民プロデュース企画相談・受付63件) (一部期間、窓口を休止しWEB対応)	生涯学習司による手厚い相談体制により、地域の人材から広く提案され、特色ある講座の開講に繋がりました。	アカデミー推進課
108	21	1-③-イ	各種講座・展示会の企画への起用	インタープリターや生涯学習司等の活躍を支援し、区の文化事業に活かしていく事業(企画展等)を展開していきます。	実施事業数:29件	実施事業数:31件	アカデミア講座の選定のほか、イベント・公開講座の開催等、生涯学習支援者の協力を得て、多様なニーズに対し区民目線から質の高い学習機会を提供できました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
1 学習活動 ③ 学びの循環による地域づくり イ 人材活用の仕組みの構築 (p.29)								
109		1-③-ウ	大学プロデュース特別公開講座(学長講演会)	大学の持つ高度で専門的な学習機能や人材を活用した事業として、大学プロデュース特別公開講座(大学学長の講演会)を実施します。	樋口一葉生誕150年記念 「女子教育の時代を生きる 一跡見花溪と樋口一葉」 実施日:令和4年9月10日(土) 受講者数:86人(定員200名/応募者数94人) 会場:跡見学園女子大学	「人生百年時代の住まいの選択」 実施日:令和3年6月19日(土) 受講者数:55人(定員100人/応募者数124人) 新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン配信	高度かつ専門的な学習機会提供のため、アカデミア講座、学長講演会、資格取得キャリアアップ講座等、人材、キャンパスを活用した講座を実施しました。	アカデミー推進課
110		1-③-ウ	地域に関する講座	文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミアの中で地域に関する講座を実施し、文京区の歴史・文化・自然を学び、地域文化を考えるための学習機会を提供します。	前期(5~7月)2講座 35人(定員35人/応募者数84人) 後期(10~12月)3講座 55人(定員64人/応募者数129人) 後期Ⅱ(1~3月)1講座 20人(定員20人/応募者数35人)	前期(4~8月)1講座 20人(1講座中止)(定員40人/応募者数103人) 後期(9~12月)2講座 39人(定員40人/応募者数115人) 後期Ⅱ(1~3月)1講座 20人(定員20人/応募者数50人)	生涯学習支援者等の協力を得て、幅広い分野の人材による、地域に関する講座を提供しました。	アカデミー推進課
111		1-③-ウ	大学連携による各種事業	区民のニーズにあった生涯学習機会を提供するため、大学と連携した事業を展開します。	受講者数:974件 アカデミア講座:29講座 584人(定員701人/応募者数847人) 夏休み子どもアカデミア:8講座 143人(定員168人/応募者数1248人) 文の京・最先端生命科学講座 3講座 161人(定員160人/応募者数217人) 学長懇談会 86人(定員200名/応募者数94人)	受講者数:815件 アカデミア講座:32講座 502人(定員617人/応募者数807人) 新型コロナウイルス留守感染症の影響により、4講座中止、1講座途中からオンラインに切り替え オンライン4講座(上記、1講座は別) 夏休み子どもアカデミア:7講座 127人(定員132人/応募者数1734人) 文の京・最先端生命科学講座 3講座 131人(定員230人/応募者数201人) 新型コロナウイルス感染症のため、オンライン開催 学長懇談会 55人(定員100名/応募者数124人) 新型コロナウイルス感染症のため、オンライン開催	高度かつ専門的な学習機会提供のため、アカデミア講座、学長講演会、資格取得キャリアアップ講座等、人材、キャンパスを活用した講座を実施しました。	アカデミー推進課
112		1-③-ウ	区内大学学長懇談会の実施	区内大学学長懇談会を開催し、区と大学との連携の強化を図ります。	実施日:令和4年12月12日(月)14:30~16:00 参加大学:区内18大学 テーマ:「大学におけるDXの推進状況について」 ※新型コロナウイルス感染症防止のため、会食なし・ハイブリット形式で開催	実施日:令和4年1月24日(月)10:30~12:00 参加大学:区内19大学 テーマ:「大学における温室効果ガス排出削減について」 ※新型コロナウイルス感染症防止のため、会食なしでオンライン開催	オンラインでも対面でもご参加いただけるハイブリット形式で開催し、区内18大学とDXの推進状況についての意見交換ができました。	アカデミー推進課
113		1-③-ウ	区内大学等との連携の拡大	区民にとって大学を文化的資産ととらえ、区と大学が相互に協力することで、文化・教育の学びの場としての賑わいを図り、文京区の魅力を高め、地域社会の活性化を目指します。	相互協力協定締結大学 区内16大学 区内大学との連携事業数 4年度108件(うち4件はコロナの影響により中止又は延期)	相互協力協定締結大学 区内16大学 区内大学との連携事業数 3年度90件(うち24件はコロナの影響により中止)	感染状況の緩和に伴い、令和3年度より連携事業数が18件増加しました。 幅広い分野の事業で大学との連携・協働ができています。	アカデミー推進課
114		1-③-ウ	大学の人材の起用	大学プロデュース講座・大学プロデュース特別公開講座(学長講演会)を充実させることで区内大学の人材を講師等として起用します。	受講者数:974件 アカデミア講座:29講座 584人(定員701人/応募者数847人) 夏休み子どもアカデミア:8講座 143人(定員168人/応募者数1248人) 文の京・最先端生命科学講座 3講座 161人(定員160人/応募者数217人) 学長懇談会 86人(定員200名/応募者数94人)	受講者数:815件 アカデミア講座:32講座 502人(定員617人/応募者数807人) 新型コロナウイルス留守感染症の影響により、4講座中止、1講座途中からオンラインに切り替え オンライン4講座(上記、1講座は別) 夏休み子どもアカデミア:7講座 127人(定員132人/応募者数1734人) 文の京・最先端生命科学講座 3講座 131人(定員230人/応募者数201人) 新型コロナウイルス感染症のため、オンライン開催 学長懇談会 55人(定員100名/応募者数124人) 新型コロナウイルス感染症のため、オンライン開催	高度かつ専門的な学習機会提供のため、アカデミア講座、学長講演会、資格取得キャリアアップ講座等、人材、キャンパスを活用した講座を実施しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
115	23	1-③-U	文京お届け講座	区民の自主的な学習活動を支援するとともに、区の職員が地域の団体の要望に応じて講師として職務に関する話をする事で、職員の意識改革と住民との協働関係の醸成を図ります。	計18件、参加者計455名 【実施日・講座名】 6月6日「文京ふるさと歴史館について」関連講座 6月21日「文京区の観光振興について」 7月4日「文京ふるさと歴史館について」関連講座(2) 7月7日「介護保険制度について」関連講座 9月9日「わたしたちと都税」 9月11日「地球温暖化対策について」 10月3日「文京ふるさと歴史館について」関連講座 10月19日「健康に関すること」 10月30日「文京区の防災対策」 12月6日「文京ふるさと歴史館について」関連講座 12月11日「文京ふるさと歴史館について」関連講座 2月10日「障害者の就労について」 2月18日「文京ふるさと歴史館について」関連講座 2月24日「えほんがすき！ー読み聞かせの手引きー」 3月14日 湯島総合センター(文京福祉センター・湯島)建て替えについて 3月15日「エイズ感染症を正しく知っておこう」 3月21日 旧元町小学校と元町公園との一体化事業について 3月25日 文京区の運動施設はどの様に運営されているか	計7件、参加者計254名 【実施日・講座名】 9月24日「介護予防の必要性」 11月11日「文京ふるさと歴史館について」 11月25日「文京ふるさと歴史館について」 12月1日「文京ふるさと歴史館について」 12月18日「文京ふるさと歴史館について」関連講座 2月4日「えほんがすき！ー読み聞かせの手引きー」 2月16日「食品ロス削減・ゴミと資源の分け方出し方講座」	区民の自主的な学習活動を支援し、区の施策等への理解を促進することができました。	アカデミー推進課
116	24	1-③-U	「文京学」講座	文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミア講座の中で地域に関する講座を実施し、文京区の歴史・文化・自然を学び、地域文化を考えるための学習機会を提供します。	前期(5~7月)2講座 35人(定員35人/応募者数84人) 後期(10~12月)3講座 55人(定員64人/応募者数129人) 後期II(1~3月)1講座 20人(定員20人/応募者数35人)	前期(4~8月)1講座 20人(1講座中止)(定員40人/応募者数103人) 後期(9~12月)2講座 39人(定員40人/応募者数115人) 後期II(1~3月)1講座 20人(定員20人/応募者数50人)	生涯学習支援者等の協力を得て、幅広い分野の人材による、地域に関する講座を提供しました。	アカデミー推進課
117		1-③-U	地域に関する学習機会の充実	町会の発行する地域広報紙によって地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供します。	地域広報紙発行補助28団体	地域広報紙発行補助23団体	町会・自治会が発行する地域広報紙は地域活動の様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっています。	区民課
118		1-③-U	お茶大こども園フォーラム	平成28年4月に開設した区立保育所型認定こども園の運営を、お茶の水女子大学に委託しており、こども園の運営を通じた研究成果の還元として、お茶の水女子大学、附属幼稚園、いずみナーサリー及び区立お茶の水女子大学こども園の4つの組織が連携した研究成果を「お茶の水女子大学 保育マネジメント・ブックレットvol1」、「お茶大発子育て応援BOOKのびのび子育て」の2冊にまとめました。	運営業務委託を行い、全年齢(0~5歳児)計93人を受け入れました。また、こども園の運営を通じた研究成果の還元として、「こどもフォーラム」をオンラインにより開催しました。お茶の水女子大学、附属幼稚園、いずみナーサリー及び区立お茶の水女子大学こども園の4つの組織が連携した研究成果を「お茶の水女子大学 保育マネジメント・ブックレットvol1」、「お茶大発子育て応援BOOKのびのび子育て」の2冊にまとめました。	運営業務委託を行い、全年齢(0~5歳児)計93人を受け入れました。また、こども園の運営を通じた研究成果の還元として開催されてきたお茶大こども園フォーラムについて、「より広く、より深く、様々な観点で『こども』をめぐる学び合いや語り合いの機会」を提案するため、令和3年度から「こどもフォーラム」と名称を変え、オンラインにより開催しました。	「こどもフォーラム」は、毎回、区内の公私立保育園・幼稚園関係者はもちろんのこと、日本中の保育者や研究者が数多く参加し、好評を得ています。また、お茶の水女子大学内にある3園が連携して実践した研究成果を冊子にまとめ、広く保育施設や保護者に配布を行っています。	幼児保育課
119		1-③-U	木のクイズラリー教育の森公園	教育の森公園とその周辺にある複数の樹木を、地図を頼りにまわり、クイズに答えながらシールを集めてもらいます。全てのシールを集めた児童には記念品をプレゼントします。	11/20(日) 10:00~15:00 参加人数:定員150組(うち児童179人)、参加者101組(うち児童131人) 開催場所:東京大学(本郷キャンパス)	11/20(土) 10:00~14:00 参加人数:定員130組(うち児童190人)、参加者74組(うち児童94人) 開催場所:教育の森公園・占春園	毎年人気が高く多数の応募があり、定着した事業となっています。 令和4年度は、3年ぶりに東大本郷キャンパスで開催しました。	みどり公園課
120		1-③-U	社会科副読本の作成及び購入(地域についての学習の推進)	地域の歴史や伝統・文化を理解するための社会科副読本(小学校「わたしたちの文京区」「わたしたちの東京」、中学校「わがまち文京」)を作成・購入します。	ふるさと学習副読本の作成(デジタル版も含む) 小学校版「わたしたちの文京区」の改訂 小学校版「わたしたちの文京区 指導の手引き」の改訂 「わたしたちの東京都」購入 「わがまち文京」中学校版の改訂	ふるさと学習副読本の作成(デジタル版も含む) 小学校版「わたしたちの文京区」の改訂 小学校版「わたしたちの文京区 指導の手引き」の改訂 「わたしたちの東京都」購入 「わがまち文京」中学校版の改訂	文京区内の身近な地域のことを児童・生徒の発達段階に即して作成することで、地域のことをより深く理解することにつながることができました。	教育指導課
121		1-③-U	東京大学総合研究博物館スクール・モバイル・ミュージアム(地域大学等連携事業)	平成29年度からは地域大学等連携事業として、東京大学総合研究博物館の研究成果を教育センターで展示し、トークイベント等を実施します。	年間2テーマの展示を行い、トークイベントを10回実施しました。 小中学生986名、大人4,095名の来場がありました。	年間2テーマの展示を行い、トークイベントを8回実施しました。 小中学生569名、大人1,970名の来場がありました。	東京大学総合研究博物館と連携し、最先端の科学技術研究の成果を子ども達に還元することができています。	教育センター
122		1-③-U	大学連携による附属図書館の区民開放	区内大学附属図書館の区民開放により、区民の学習活動を支援します。	・区民開放対象大学:6大学 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、各大学が学外利用者の受入を中止したため、利用登録の受付を中止しました。	・区民開放対象大学:6大学 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、各大学が学外利用者の受入を中止したため、利用登録の受付を中止しました。	区民開放の再開について、各大学の方針等を調査した上で、調整を行いました。 令和5年度から、順次再開の方向で進めています。	真砂中央図書館

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充 ア スポーツの楽しさを知る機会の創出 (p.35)								
123	25	2-①-ア	初心者向けスポーツ教室	区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。	(1) 初心者合気道教室 実施回数: 6回 会場: 文京総合体育館 対象: 小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 118人 主催: スポーツ施設指定管理者 (2) 初心者アーチェリー教室 実施回数: 6回 会場: 文京総合体育館 対象: 高校生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 93人 主催: スポーツ施設指定管理者 (3) 初心者弓道教室 実施回数: 6回 会場: 文京スポーツセンター 対象: 高校生～65歳の区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 160人	(1) 初心者合気道教室 実施回数: 6回 会場: 文京総合体育館 対象: 小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 117人 (2) 初心者アーチェリー教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、事業中止 (3) 初心者弓道教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、事業中止	個人で簡単に始めることができないスポーツについて、初心者でも気軽に体験できる機会を作ることができました。	スポーツ振興課
124		2-①-ア	小・中学生向けスポーツ教室	子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、水泳、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。	(1) ジュニアローラー教室 実施日: 8月2日(火)、8月3日(水) 会場: 東京ドームローラースケートアリーナ 対象: 小中学生 参加者数: 46人 主管: 文京区ローラースポーツ連盟 (2) ジュニアサッカー教室 実施日: 12月10日(土) 会場: 小石川運動場 対象: 小学3～6年生 参加者数: 112人 主管: 少年サッカー連盟、JFA	(1) ジュニアローラー教室 実施日: 3月30日(水)、3月31日(木) 会場: 東京ドームローラースケートアリーナ 対象: 小中学生 参加者数: 45人 主管: 文京区ローラースポーツ連盟 (2) ジュニアサッカー教室 実施日: 12月11日(土) 会場: 小石川運動場 対象: 小学3～6年生 参加者数: 103人 主管: 少年サッカー連盟、JFA	普段あまり接することができないスポーツを体験する機会を作ることができました。また、地域のスポーツ団体・講師と密に連携し、初心者でも気軽に楽しむことのできる教室にすることができ、両教室ともアンケートで大変満足・満足と回答した割合は98%を超えていました。	スポーツ振興課
125		2-①-ア	親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催します。	(1) 小学生ボール投げ&走り方教室 実施日: 4月17日(日)、4月24日(日) 5月14日(日)、5月21日(日) 会場: 文京総合体育館 対象: 小学1～4年生親子 参加者数: 211人 主管: ジャイアンツアカデミー (2) タグラグビー教室 実施日: 6月4日(土) 会場: 目白台運動公園 対象: 4歳以上、小学1～3年生とその保護者 参加者数: 102人 主管: トタワエルブリッツ (3) 親子ボウリング教室 実施日: 8月27日(土)、9月3日(土) 会場: 東京ドームボウリングセンター 対象: 小学生の親子 参加者数: 22人 主管: 文京区ボウリング連盟 (4) ヨネックスと学ぶ親子テニスイベント 実施日: 9月17日(土) 会場: 文京総合体育館 対象: 小学1～4年生の親子 参加者数: 72人 主管: ヨネックス (5) アルバルク東京による初めてのバスケットボール教室 実施日: 10月8日(土) 会場: 文京総合体育館 対象: 4歳以上、小学1～3年生の親子 参加者数: 30人 主管: アルバルク東京 (6) フライイングディスク教室 実施日: 11月27日(日) 会場: 小石川運動場 対象: 4歳以上 参加者数: 85人	(1) 小学生ボール投げ&走り方教室 実施日: 4月17日(日)、4月24日(土) 5月コースは新型コロナウイルス感染症の影響により中止 会場: 文京総合体育館 対象: 小学1～2年生親子 参加者数: 159人 主管: ジャイアンツアカデミー (2) タグラグビー教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (3) 親子ボウリング教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (4) ヨネックスと学ぶ親子テニスイベント 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (5) アルバルク東京による初めてのバスケットボール教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (6) フライイングディスク教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	親子で気軽に楽しくスポーツをすることができた機会を創出することができました。また、令和3年度は小学生ボール投げ&走り方教室4月コースしかできなかったが、その他教室をリスタートすることができました。	スポーツ振興課
126		2-①-ア	スポーツの日事業	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、スポーツの日事業を開催します。	(1) スポーツ施設無料開放 実施日: 令和4年10月10日(月) 会場: 区内スポーツ施設(8か所) 対象: 区内在住・在勤・在学者 参加者数: 屋内・体育館…3,528人、屋外運動場…684人 主催: スポーツ施設指定管理者	(1) スポーツ施設無料開放 実施日: 令和3年11月3日(木) 会場: 区内スポーツ施設(8か所) 対象: 区内在住・在勤・在学者 参加者数: 屋内・体育館…4,152人、屋外運動場…1,260人 主催: スポーツ施設指定管理者	区民の近隣における「お出かけ」や「体を動かしたい」というニーズに応え、好評でした。 ただ、令和4年度は実施日が雨天であったため、参加者数に影響が生じました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
127	26	2-①-ア	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。	(1) スポーツ交流ひろば 年間開放日数: 1,385日 会場: 区立小中学校18校 対象: 区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 23,878人	(1) スポーツ交流ひろば 年間開放日数: 687日 会場: 区立小中学校18校 対象: 区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 11,199人	令和4年度は、予定どおりの日数を開放できたことで、令和3年度と比較して開放日数及び利用者人数が倍近く増加し、地域の身近なスポーツ活動の場に資することができました。	スポーツ振興課
128		2-①-ア	各種区民スポーツ大会等の開催	区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会の場として、各種区民スポーツ大会を開催します。	区民大会参加者数: 延 5,694人 都民大会派遣人数: 延 231人 スポーツ少年団交流事業: 中止	区民大会参加者数: 延 3,539人 都民大会派遣人数: 延 6人 スポーツ少年団交流事業: 中止	各種区民スポーツ大会を開催し、区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会の場を増やすことができました。	スポーツ振興課
129		2-①-ア	アウトドアスポーツ事業	東京近郊での軽登山やウォーキングなどの自然のなかで楽しめるスポーツ事業を実施します。	(1) ファミリーハイキング教室 新型コロナウイルス感染症に鑑み、代替として区内文豪ゆかりの地を巡るウォーキングイベントを実施。 実施日: 6月5日(日) 会場: 区内文豪ゆかりの地 対象: 小学生以上 参加者数: 64名 主管: 文京区スポーツ推進委員会 (2) ふんきょうウォーキング教室 実施日: 11月3日(木・祝) 会場: 森鷗外ゆかりの地(文京区・台東区) 対象: 小学生以上 参加者数: 65名 主管: 文京区スポーツ推進委員会	(1) ファミリーハイキング教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (2) ふんきょうウォーキング教室 実施日: 11月13日(日) 会場: 区内スポーツゆかりの地 対象: 小学生以上 参加者数: 45名 主管: 文京区スポーツ推進委員会	気軽かつ手軽に参加できるため、普段スポーツに馴染みがない人に対し、運動を身近に感じてもらえるきっかけになりました。	スポーツ振興課
130		2-①-ア	シニア向けスポーツ教室	水泳や体操などの種目や運動など、シニア世代がスポーツを楽しむことのできる教室を実施します。	(1) 高齢者水泳+健康体操教室: 延べ396人 (2) シニア健康体操教室: 延べ712人 (3) 高齢者水中ウォーキング教室: 延べ1,339人	(1) 高齢者水泳+健康体操教室: 延べ107人 (2) シニア健康体操教室: 延べ307人 (3) 高齢者水中ウォーキング教室: 延べ278人	人気の高い高齢者水中ウォーキング教室など、気軽に参加できる教室として、高齢者の健康づくりの場を提供することができました。	スポーツ振興課
131		2-①-ア	着衣泳講習会	海水浴や川遊びなど夏のレジャーシーズンを前に、水の事故に遭遇した際の自己対処法を学ぶため、着衣泳教室を実施します。	(1) 着衣泳講習会 実施日: 7月10日(日) 会場: 文京総合体育館 対象: 小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数: 25人 主催: スポーツ施設指定管理者	(1) 着衣泳講習会 実施日: 12月28日(火) 会場: 文京総合体育館 対象: 小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数: 20人 主催: スポーツ施設指定管理者	水中での事故に対する知識や簡易救助法などの技術を習得してもらうことで、水辺の安全教育の一環に資することができました。	スポーツ振興課
132		2-①-ア	障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、東京都障害者総合スポーツセンターの協力のもと、個人での利用をサポートする事業を行います。	(1) おでかけスポーツ 実施日数: 12日(体操・トレーニング)、6日(水泳) 会場: 文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象: 肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 111人(体操・トレーニング)、12人(水泳) 主催: スポーツ施設指定管理者	(1) おでかけスポーツ 実施日数: 12日(体操・トレーニング)、6日(水泳) 会場: 文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象: 肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 39人(体操・トレーニング)、10人(水泳) 主催: スポーツ施設指定管理者	障害の有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境整備を推進することができました。	スポーツ振興課
133		2-①-ア	まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業	子どもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設(六義公園運動場及び後楽公園少年野球場)を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供します。 1 あおぞらすくすく広場 →施設の無料開放。(個人向け、園庭のない保育園等向け) 2 親子すくすく教室 →未就学児とその保護者向けのスポーツ教室 3 園児すくすくプログラム →園庭のない保育園等を対象として、後楽公園少年野球場にてスポーツプログラムを実施する。	(1) あおぞらすくすく広場 実施日数: 68日 会場: 六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象: 未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数: 延 3,680人 主催: スポーツ施設指定管理者 (2) 親子すくすく教室 実施日数: 22日 会場: 後楽公園少年野球場 対象: 満3歳以上の未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数: 延 236人 (3) 園児すくすく教室 実施回数: 35回(1日に複数回実施あり) 会場: 六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象: 園庭のない保育園等(参加園児の年齢制限は3歳以上) 参加者数: 延 645人	(1) あおぞらすくすく広場 実施日数: 37日 会場: 六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象: 未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数: 延 2,346人 主催: スポーツ施設指定管理者 (2) 親子すくすく教室 実施日数: 22日 会場: 後楽公園少年野球場 対象: 満3歳以上の未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数: 延 261人 (3) 園児すくすく教室 実施回数: 18回(1日に複数回実施あり) 会場: 六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象: 園庭のない保育園等(参加園児の年齢制限は3歳以上) 参加者数: 延 508人	屋外スポーツ施設について、空きの多い時間帯を有効活用しながら、未就学児童の外遊びの機会を提供することができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
134		2-①-ア	スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ推進委員への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施します。	<p>1 委託事業</p> <p>(1) ファミリーハイキング教室 129(1)に記載</p> <p>(2) ふんきょうウォーキング教室 129(2)に記載</p> <p>(3) ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月5日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:193人 主管:文京区スポーツ推進委員会</p> <p>ニュースポーツ教室 実施日11月6日(日) 会場:駒本小学校体育館 参加者数:50人</p> <p>(4) この指とまれクラブ 実施日:5月29日(日)、9月25日(日)、10月23日(日)、11月27日(日)、12月25日(日)、1月22日(日)、2月26日(日) 会場:教育の森公園 対象:幼児・小学生 参加者数:369人 主管:文京区スポーツ推進委員会</p> <p>(5) 広報 年2回広報誌を発行 2 共催事業 (1) スキー教室 事業共催協定書に基づき、区は経費の一部を負担</p> <p>3 研修 (1) 指導者講習会(普通救命講習) 5月28日(土)</p>	<p>1 委託事業</p> <p>(1) ファミリーハイキング教室 129(1)に記載</p> <p>(2) ふんきょうウォーキング教室 129(2)に記載</p> <p>(3) ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月6日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:120人 主管:文京区スポーツ推進委員会</p> <p>(4) この指とまれクラブ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 主管:文京区スポーツ推進委員会</p> <p>(5) 広報 年2回広報誌を発行 2 共催事業 (1) スキー教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>3 研修 (1) 指導者講習会(普通救命講習) 6月26日(土) (2) 実技講習会(ポッチャ審判勉強会)1月20日(木) (3) 広域地区別研修会(2フロ合同研修会) 11月27日(土)</p>	<p>(1)は代替イベントを実施したが、それ以外の事業についてはコロナ禍前とほぼ同規模でリスタートすることができました。</p> <p>また、この指とまれクラブについては、区内のリゾート&スポーツ専門学校の学生の協力を得ながら運営することができました。</p>	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充 イ ユニバーサルスポーツの普及振興(p.36)								
135	27	2-①-イ	ニュースポーツ教室・大会	障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるドッチビーやポッチャ等の各種ニュースポーツ教室や大会を実施します。	(3) ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月5日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:193人 主管:文京区スポーツ推進委員会 ニュースポーツ教室 実施日11月6日(日) 会場:駒本小学校体育館 参加者数:50人	(3) ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月6日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:120人 主管:文京区スポーツ推進委員会	ニュースポーツ大会では昨年よりも73人参加者が増えました。小学生、障害者、高齢者等多様な参加者が大会にい参加し、誰もが楽しく参加できるイベントが実施できました。	スポーツ振興課
136		2-①-イ	スポ・レクひろば	知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通じて、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供します。	(1) スポ・レクひろば 開催数:12回+3回(打合せ) 対象:高校生以上で区内に在住・在勤・在学する愛の手帳を取得した者 場所:文京総合体育館、区民センター 参加者数:245人 内容:フライングディスク、風船バレー等の軽スポーツ及びレクリエーション (2) 4区合同レクリエーション 新型コロナウイルスに鑑み、4区が一方所に集まるのを止め、ビデオの交換による交流を実施しました。	(1) スポ・レクひろば 開催数:4回+2回(打合せ) 対象:高校生以上で区内に在住・在勤・在学する愛の手帳を取得した者 場所:文京総合体育館、区民センター 参加者数:96人 内容:フライングディスク、風船バレー等の軽スポーツ及びレクリエーション (2) 4区合同レクリエーション 新型コロナウイルスに鑑み、4区が一方所に集まるのを止め、ビデオの交換による交流を実施しました。	参加者が大幅に昨年度を上回り、レクリエーション・スポーツをきっかけとした仲間づくりや社会参画の促進につながりました。 また、区内のリゾート&スポーツ専門学校の学生がボランティアとして参加し、参加者と交流を深めることができました。	スポーツ振興課
137	28	2-①-イ	障害者スポーツ体験教室	障害の有無に関わらず、気軽にスポーツ活動に参加できる機会として、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。	(1) インクルーシブサッカーフェスタ 実施日:11月12日(土) 会場:小石川運動場 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:28人 主管:東京ヴェルディ (2) ユニバーサルスポーツフェスタ 実施日: 会場:文京スポーツセンター 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:58人 主管:東京ヴェルディ (3) ポッチャプースの出演 ①あじさいまつり 実施日:6月11日(土) 会場:白山神社 参加者数:245人 ②下町まつり 実施日:10月15日(土) 会場:根津神社 参加者数:393人 ③菊まつり 実施日:11月6日(日) 会場:湯島天満宮 参加者数:120人 ④梅まつり 実施日:2月18日(土) 会場:湯島天満宮 参加者数:225人 (4)スポ育 実施校:17校	(1) ユニバーサルスポーツフェスタ 実施日:10月31日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:26人 主管:東京ヴェルディ (2) ポッチャプースの出演 菊まつり 実施日:11月7日(日) 会場:湯島天満宮 参加者数:580人	ユニバーサルスポーツフェスタについては、参加者が前年度よりも大きく上回りました。 周知用のチラシには音声コードをつけ、障害の有無に関わらず参加できる旨を明記し、当日は健常者も障害者も一緒に体験ができました。	スポーツ振興課
138		2-①-イ	障害者スポーツ指導員資格取得の支援	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行います。	4区合同初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 日程:令和5年3月4日(土)、5日(日)、11日(土)、19日(日) 会場:荒川総合スポーツセンター 4階会議室、1階小体育室 対象:文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の18歳以上の方 内容:(公財)日本バラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員資格を取得するための養成講習会 主催:文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区(令和4年度幹事区:荒川区) 受講料:無料(テキスト代も無料)※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は5名申込み、4名資格を取得	4区合同初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 日程:令和4年2月23日(水・祝)・27日(日)・3月5日(土)・12日(土) 会場:台東リバーサイドスポーツセンター体育館(台東区今戸1-1-10) 対象:文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の18歳以上の方 内容:(公財)日本バラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員資格を取得するための養成講習会 主催:文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区(令和3年度幹事区:台東区) 受講料:無料(テキスト代も無料)※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は5名申込み、5名資格を取得	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得する支援ができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
139		2-①-イ	障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、東京都障害者総合スポーツセンターの協力のもと、個人での利用をサポートする事業を行います。	(1) おでかけスポーツ 実施日数: 12日(体操・トレーニング)、6日(水泳) 会場: 文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象: 肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 111人(体操・トレーニング)、12人(水泳) 主催: スポーツ施設指定管理者	(1) おでかけスポーツ 実施日数: 12日(体操・トレーニング)、6日(水泳) 会場: 文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象: 肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 39人(体操・トレーニング)、10人(水泳) 主催: スポーツ施設指定管理者	障害の有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境整備を推進することができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充 ウ スポーツ観戦の場と機会の拡充 (p.36)								
140		2-①-ウ	スポーツ・パブリックビューイング	区民ひろばやシビックホールなどで、ワールドカップやオリンピック・パラリンピックなどのパブリックビューイングを開催し、皆で観戦する楽しさを共有します。	サッカーワールドカップカタール2022パブリックビューイング (1) ドイツ戦 日時: 11月23日(水・祝) 会場: シアターGロッソ 対象: 区内在住・在勤・在学者 参加者数: 170人 主管: JFA (2) コスタリカ戦 日時: 11月27日(日) 会場: JFAハウス 対象: 区内在住・在勤・在学者 参加者数: 38人 主管: JFA	実績なし	令和3年度は東京2020大会コミュニティライブサイトが中止になったが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施することができ、参加者が大会の感動と興奮を共有することができました。	スポーツ振興課
141		2-①-ウ	読売巨人軍との協定に基づく事業の実施	読売巨人軍との協定に基づき、観戦事業のほか、選手との触れ合いの場や走り方・投げ方教室等の各種事業を展開します。	(1) 2022読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日: 9月10日(土) 会場: 東京ドーム 対象: 小中学生の親子 参加者数: 50人 主管: 読売巨人軍 (2) 小学生ボール投げ&走り方教室 125(1)記載	(1) 2021読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 新型コロナウイルスの影響により中止 (2) 小学生ボール投げ&走り方教室 125(1)記載	観戦事業については小規模ながらも再開することができました。小学生ボール投げ&走り方教室については前年が4月コースしか実施できなかったが、1回当たりの参加者数を減らし、全体の回数を増加させることで、多くの参加者に体験してもらうことができました。	スポーツ振興課
142		2-①-ウ	文京LBLEディース支援事業	地域の大学や企業との連携により設立した女子サッカーチーム「文京LBLEディース」の活動を支援し、区民等が身近なチームの試合観戦を通じて、地域で応援できる環境を整えます。	ホームページ等で活動の紹介を行っています。	ホームページ等で活動の紹介を行っています。	ホームページ等のアップデートを行い、より多くの区民が応援する動機付けを行いました。	スポーツ振興課
143		2-①-ウ	日本サッカー協会との協定に基づく事業の実施	スポーツをより身近なものとするため、日本サッカー協会との協定に基づき、サッカー教室等をはじめ、各種事業を展開します。	(1) ジュニアサッカー教室 実施日: 12月10日(土) 会場: 小石川運動場 対象: 小学3~6年生 参加者数: 112人 主管: 少年サッカー連盟、JFA (2) サッカーワールドカップカタール2022パブリックビューイング 【ドイツ戦】 日時: 11月23日(水・祝) 会場: シアターGロッソ 対象: 区内在住・在勤・在学者 参加者数: 170人 主管: JFA 【コスタリカ戦】 日時: 11月27日(日) 会場: JFAハウス 対象: 区内在住・在勤・在学者 参加者数: 38人 主管: JFA	ジュニアサッカー教室 実施日: 12月11日(土) 会場: 小石川運動場 対象: 小学3~6年生 参加者数: 103人 主管: 少年サッカー連盟、JFA	初心者から経験者まで広く参加者を募集し、サッカーを通してスポーツを身近に感じる機会を提供することができました。	スポーツ振興課
144		2-①-ウ	講道館との協力に基づく事業の実施	講道館との協力により、スポーツに触れる機会を拡大するため、講習会等、各種事業を展開します。	実績なし	実績なし	実績なし	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
145	29	2-①-ウ	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	区内に拠点をもつスポーツ団体等との協力・連携により、スポーツ体験教室や大会等を実施します。	<p>1 読売巨人軍 141に記載</p> <p>2 CLUB LB & BRB (1) 親子フットサル教室 会場工事のため実績なし (2) TOKYO UNITED CUP 6チーム参加、全日程実施(6日間) 場所:小石川運動場 対象:中学生のサッカーチーム</p> <p>3 トヨタ自動車 (1) タグラグビー教室 125(2)記載 (2) アンテロープスによるバスケクリニック 実施日:6月12日(日)、10月2日(日) 会場:文京総合体育館 対象:区内ミニバスチームに所属する小学3~6年生 参加者数:69人、62人 主管:トヨタ自動車アンテロープス</p> <p>4 日本サッカー協会 143に記載 5 文化シャッター 125(6)に記載 6 トヨタアルバルク東京 (1) アルバルク東京による初めてのバスケットボール教室 125(5)に記載 (2) アルバルク東京試合応援ツアー 実施日:2月4日(土)、2月5日(日) 会場:代々木第一体育館 対象:区内在住、在学の小・中・高校生とその家族 参加者数:558人 7 ヨネックス</p>	<p>1 読売巨人軍 141に記載</p> <p>2 CLUB LB & BRB (1) 親子フットサル教室 実施日:11月27日(土)、12月4日(土) 会場:江戸川橋体育館 対象:区内在住・在勤・在学者を含む4歳から小学3年生までの親子 参加者数:140人 (2) TOKYO UNITED CUP 6チーム参加、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部日程中止</p> <p>3 トヨタ自動車 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>4 日本サッカー協会 143に記載</p> <p>5 文化シャッター 125(6)に記載</p> <p>6 トヨタアルバルク東京 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>7 ヨネックス 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>	多様な協働団体と、様々な競技で教室やイベント等を再開・実施でき、幅広い区民の興味・関心に加え、「見る」「見る」スポーツを推進することができました。	スポーツ振興課
146		2-①-ウ	パラリンピアンと楽しむ障害者スポーツ事業	パラリンピアンを招き、ポッチャなどのだれもが楽しむことのできるスポーツ体験事業を開催します。	<p>(1) パラリンピック難民選手交流会 6月17日(金)、東京2020大会パラリンピック難民選手団のイブラヒム・アルフセイン選手が窪町小学校を訪問し、児童と交流しました。 (2) ユニバーサルスポーツフェスタ 137(1)記載にて、パラトライアスロンの木村順平選手を招聘しました。</p>	<p>(1) パラリンピック難民選手団オンライン交流会 9月3日(金)、パラリンピック難民選手団のホストタウンとして、区内小学校と難民パラリンピアンでオンライン交流会を実施しました。 (2) ユニバーサルスポーツフェスタ 137(1)記載にて、パラトライアスロンの木村順平選手を招聘しました。</p>	令和3年度は、難民選手団とオンラインでの交流しかなかったが、対面で交流をすることができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充 エ スポーツボランティア等の活動支援(p.37)								
147	30	2-①-エ	スポーツボランティア情報の発信	スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信します。	ホームページ等の発信にとどまらず、各種イベント等でスポーツボランティアの情報を発信しました。	ホームページ等で情報発信を行いました。	令和4年度は各種イベントが再開したので、対面での情報発信をすることができました。	スポーツ振興課
148		2-①-エ	スポーツボランティアの養成	地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進するため、「支えるスポーツ」の担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣します。	登録者数: 121人 活動回数: 18回 派遣者数: 延べ86人	登録者数: 107人 活動回数: 9回 派遣者数: 延べ58名	オリンピック・パラリンピック関連の部署、事業がなくなったにもかかわらず、活動回数が倍に増え、かつ多様な従事内容を提供することができました。	スポーツ振興課
149		2-①-エ	障害者スポーツ指導員資格取得の支援	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行います。	4区合同初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 日程: 令和5年3月4日(土)、5日(日)、11日(土)、19日(日) 会場: 荒川総合スポーツセンター 4階会議室、1階小体育室 対象: 文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の18歳以上の方 内容: (公財)日本パラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員資格を取得するための養成講習会 主催: 文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区(令和4年度幹事区: 荒川区) 受講料: 無料(テキスト代も無料)※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は5名申込み、4名資格を取得	4区合同初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 日程: 令和4年2月23日(水・祝)・27日(日)・3月5日(土)・12日(土) 会場: 台東リバーサイドスポーツセンター体育館(台東区今戸1-1-10) 対象: 文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の18歳以上の方 内容: (公財)日本パラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員資格を取得するための養成講習会 主催: 文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区(令和3年度幹事区: 台東区) 受講料: 無料(テキスト代も無料)※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は5名申込み、5名資格を取得	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得する支援ができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり ア 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備(p.38)								
150		2-②-ア	一般向けスポーツ教室	幅広い年齢層の区民の健康・体力づくりを推進するため、各種スポーツやレクリエーション教室を開催します。	(1)アクアエクササイズ教室 24回実施、延人数:893人 会場:総合体育館 (2)元気ニコニコ教室 48回実施、延人数:3,231人 会場:江戸川橋体育館	(1)アクアエクササイズ教室 23回実施、延人数:576人 会場:総合体育館 (2)元気ニコニコ教室 44回実施、延人数:1,623人 会場:江戸川橋体育館	幅広い年齢層に対して各種スポーツ教室を開催し、区民の健康・体力づくりの増進を支援できました。	スポーツ振興課
151		2-②-ア	スポーツ施設の整備と活用促進	区立スポーツ施設の快適な環境への整備をはじめ、区立学校施設等の活用による、スポーツ活動の場の整備を進めていきます。	竹早テニスコート人工芝張替工事及び給排水設備等工事を完了しました。	文京江戸川橋体育館外壁及び屋上防水改修工事、竹早テニスコート管理棟改修工事、後楽公園少年野球場グラウンドの人工芝整備工事を完了しました。	利用者にとって、快適且つ安心してスポーツ施設を利用してもらえるように、必要な整備を実施しました。	スポーツ振興課
152		2-②-ア	スポーツの日事業	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、スポーツの日事業を開催します。	(1)スポーツ施設無料開放 実施日:令和4年10月10日(月) 会場:区内スポーツ施設(8か所) 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:屋内・体育館…3,528人、屋外運動場…684人 主催:スポーツ施設指定管理者	(1)スポーツ施設無料開放 実施日:令和3年11月3日(水) 会場:区内スポーツ施設(8か所) 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:屋内・体育館…4,152人、屋外運動場…1,260人 主催:スポーツ施設指定管理者	区民の近場における「お出かけ」や「体を動かしたい」というニーズに応え、好評でした。 ただ、令和4年度は実施日が雨天であったため、参加者数に影響が生じました。	スポーツ振興課
153	31	2-②-ア	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。	(1)スポーツ交流ひろば 年間開放日数:1,385日 会場:区立小中学校18校 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 23,878人	(1)スポーツ交流ひろば 年間開放日数:687日 会場:区立小中学校18校 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 11,199人	令和4年度は、予定どおりの日数を開放できたことで、令和3年度と比較して開放日数及び利用者人数が倍近く増加し、地域の身近なスポーツ活動の場に資することができました。	スポーツ振興課
154		2-②-ア	障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、東京都障害者総合スポーツセンターの協力のもと、個人での利用をサポートする事業を行います。	(1)おでかけスポーツ 実施日数:12日(体操・トレーニング)、6日(水泳) 会場:文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象:肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 111人(体操・トレーニング)、12人(水泳) 主催:スポーツ施設指定管理者	(1)おでかけスポーツ 実施日数:12日(体操・トレーニング)、6日(水泳) 会場:文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象:肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 39人(体操・トレーニング)、10人(水泳) 主催:スポーツ施設指定管理者	障害の有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境整備を推進することができました。	スポーツ振興課
155	32	2-②-ア	まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業	子どもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設(六義公園運動場及び後楽公園少年野球場)を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供します。 1 あおぞらすくすく広場 一施設の無料開放。(個人向け、園庭のない保育園等向け) 2 親子すくすく教室 一未就学児とその保護者向けのスポーツ教室 3 園児すくすくプログラム 一園庭のない保育園等を対象として、後楽公園少年野球場にてスポーツプログラムを実施する。	(1)あおぞらすくすく広場 実施日数:68日 会場:六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象:未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数:延 3,680人 主催:スポーツ施設指定管理者 (2)親子すくすく教室 実施日数:22日 会場:後楽公園少年野球場 対象:満3歳以上の未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数:延 236人 (3)園児すくすく教室 実施回数:35回(1日に複数回実施あり) 会場:六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象:園庭のない保育園等(参加園児の年齢制限は3歳以上) 参加者数:延 645人	(1)あおぞらすくすく広場 実施日数:37日 会場:六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象:未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数:延 2,346人 主催:スポーツ施設指定管理者 (2)親子すくすく教室 実施日数:22日 会場:後楽公園少年野球場 対象:満3歳以上の未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数:延 261人 (3)園児すくすく教室 実施回数:18回(1日に複数回実施あり) 会場:六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象:園庭のない保育園等(参加園児の年齢制限は3歳以上) 参加者数:延 508人	屋外スポーツ施設について、空きの多い時間帯を有効活用しながら、未就学児童の外遊びの機会を提供することができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり イ スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備(p.39)								
156	33	2-②-イ	スポーツ交流ひろば通信の発行	スポーツ交流ひろばの指導者に向け、スポーツ振興に関する情報等を発信します。	月1回の発行 ・開放日程の予定調査、事務連絡、用品購入調査など	月1回の発行 ・開放日程の予定調査、事務連絡、用品購入調査など	「スポーツ交流ひろば通信」を通じて、必要な情報等を区、区立小中学校及び連絡指導員が共有することで、円滑な事業運営ができています。	スポーツ振興課
157		2-②-イ	地域スポーツ情報の提供	地域スポーツを普及・振興するため、地域スポーツ情報を提供します。	事業実施時の様子などをホームページやSNS等で発信しました。	事業実施時の様子などをホームページやSNS等で発信しました。	区が主催している事業、支援している事業を周知することにより、区民が身近な場所でスポーツ事業が行われていることを知るきっかけになりました。	スポーツ振興課
158		2-②-イ	各種メディアとの連携推進	区の魅力的なスポーツ事業等の取り組みを報道機関等をはじめ各種メディアにリリリースし、広く内外へ発信します。	実績なし	実績なし	実績なし	スポーツ振興課
159	34	2-②-イ	スポーツボランティア情報の発信	スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信します。	ホームページ等の発信にとどまらず、各種イベント等でスポーツボランティアの情報を発信しました。	ホームページ等で情報発信を行いました。	令和4年度は各種イベントが再開したので、対面の情報発信をすることができました。	スポーツ振興課
160		2-②-イ	CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。マルチビジョンやSNSを活用し、今後も広く視聴していただくよう努めます。	広報課
161		2-②-イ	区報の発行	区報により生涯学習関連情報を提供します。	4月10日 140,000部 1回 4月25日～3月25日 138,000部 22回 計年23回 1月1日号 67,500部 年1回	4月10日～4月25日 140,200部 2回 5月10日 142,500部 1回 5月25日 139,500部 1回 6月10日～8月25日 137,200部 6回 9月10日～9月25日 136,200部 2回 10月10日～11月25日 136,700部 4回 12月10日～3月25日 136,200部 7回 計年23回 1月1日号 70,000部 年1回	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報課
162		2-②-イ	ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努めます。	広報課
163		2-②-イ	生活情報誌の発行	わたしの便利帳により生涯学習関連情報を提供します。	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(令和2年度発行)	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(令和2年度発行)	区民に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報課
164		2-②-イ	外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳を発行します(4か国語併記 日本語・英語・中国語・ハンガール)。	外国語版生活便利帳の発行(4か国語併記 日本語・英語・ハンガール・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	外国語版生活便利帳の発行(4か国語併記 日本語・英語・ハンガール・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	4か国語(日本語・英語・ハンガール・中国語)を併記しており、外国の方に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報課
165		2-②-イ	「区報ぶんきょう」の多言語化	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信します。(英語・中国語・ハンガールを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハンガールを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハンガールを含む10言語に対応)	区報を10言語で読むことができ拡大機能表示や音声読み上げ機能があり、広く区政情報をお知らせすることができます。	広報課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり ウ スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開(p.40)								
166		2-②-ウ	社会教育関係団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。	登録団体数 756件 (内訳) 一般生涯学習活動団体 383件 スポーツ・野外活動団体 373件	登録団体数 914件 (内訳) 一般生涯学習活動団体 475件 スポーツ・野外活動団体 439件	登録団体名簿の関連施設への配架及びホームページへの掲載により、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動の促進につながりました。また、3年に一度の更新を実施し、活動している団体をより正確に把握することができました。	アカデミー推進課 スポーツ振興課
167	35	2-②-ウ	地域スポーツ団体の支援・育成	地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成します。	・区民大会：31/33大家実施 ・REスタート補助金：申請11団体	・区民大会：18/33大家実施	地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催の補助に努めました。	スポーツ振興課
168	36	2-②-ウ	個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス	水泳、卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ビーチボール、合気道、弓道、アーチェリー、柔道、剣道、ミニテニスなどの種目について、指導員を配置し、個人向けにスポーツ施設を開放します。	(1)スポーツ施設一般公開 参加人数：7,490人(文京総合体育館)、10,609人(文京スポーツセンター)、4,895人(江戸川橋体育館)	(1)スポーツ施設一般公開 参加人数：6,530人(文京総合体育館)、6,251人(文京スポーツセンター)、4,717人(江戸川橋体育館)	スポーツセンター、総合体育館及び江戸川橋体育館で実施し、多くの区民等にスポーツする機会を提供することができました。	スポーツ振興課
169		2-②-ウ	文京区表彰要綱に基づく顕彰事業	スポーツの分野で、全国規模又は東京都の競技大会等において、優秀な成績や優れた功績があった区内の選手・団体に対し、表彰します。	実績なし	文京区立第一中学校出身のウルフ・アロン選手が、東京2020オリンピック競技大会において金メダル等を獲得したため、表彰をしました。	実績なし	スポーツ振興課
170		2-②-ウ	スポーツ指導者地域派遣	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援します。	○派遣件数： ・スポーツ推進委員会：57単位 ・スポーツリーダー：28単位 ※派遣回数：1団体につき年間4単位(1単位2～3時間程度)	○派遣件数： ・スポーツ推進委員会：8単位 ・スポーツリーダー：12単位 ※派遣回数：1団体につき年間4単位(1単位2～3時間程度)	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援しました。実施件数も昨年に比べ増加しました。	スポーツ振興課
171	37	2-②-ウ	スポーツの日事業	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、スポーツの日事業を開催します。	(1)スポーツ施設無料開放 実施日：令和4年10月10日(月) 会場：区内スポーツ施設(8か所) 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：屋内・体育館…3,528人、屋外運動場…684人 主催：スポーツ施設指定管理者	(1)スポーツ施設無料開放 実施日：令和3年11月3日(水) 会場：区内スポーツ施設(8か所) 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：屋内・体育館…4,152人、屋外運動場…1,260人 主催：スポーツ施設指定管理者	区民の近場における「お出かけ」や「体を動かしたい」というニーズに応え、好評でした。ただ、令和4年度は実施日が雨天であったため、参加者数に影響が生じました。	スポーツ振興課
172		2-②-ウ	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。	(1)スポーツ交流ひろば 年間開放日数：1,385日 会場：区立小中学校18校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延 23,878人	(1)スポーツ交流ひろば 年間開放日数：687日 会場：区立小中学校18校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延 11,199人	令和4年度は、予定どおりの日数を開放できたことで、令和3年度と比較して開放日数及び利用者人数が倍近く増加し、地域の身近なスポーツ活動の場に資することができました。	スポーツ振興課
173		2-②-ウ	各種区民スポーツ大会等の開催	区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会の場として、各種区民スポーツ大会を開催します。	区民大会参加者数：延 5,694人 都民大会派遣人数：延 231人 スポーツ少年団交流事業：中止	区民大会参加者数：延 3,539人 都民大会派遣人数：延 6人 スポーツ少年団交流事業：中止	各種区民スポーツ大会を開催し、区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会の場を増やすことができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
174		2-②-ウ	スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ推進委員への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施します。	<p>1 委託事業</p> <p>(1) ファミリーハイキング教室 129(1)に記載 (2) ふんきょうウォーキング教室 129(2)に記載 (3) ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月5日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:193人 主管:文京区スポーツ推進委員会 ニュースポーツ教室 実施日11月6日(日) 会場:駒本小学校体育館 参加者数:50人 (4) この指とまれクラブ 実施日:5月29日(日)、9月25日(日)、10月23日(日)、11月27日(日)、12月25日(日)、1月22日(日)、2月26日(日) 会場:教育の森公園 対象:幼児・小学生 参加者数:369人 主管:文京区スポーツ推進委員会 (5) 広報 年2回広報誌を発行 2 共催事業 (1) スキー教室 事業共催協定書に基づき、区は経費の一部を負担 3 研修 (1) 指導者講習会(普通救命講習) 5月28日(土)</p>	<p>1 委託事業</p> <p>(1) ファミリーハイキング教室 129(1)に記載 (2) ふんきょうウォーキング教室 129(2)に記載 (3) ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月6日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:120人 主管:文京区スポーツ推進委員会 (4) この指とまれクラブ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 主管:文京区スポーツ推進委員会 (5) 広報 年2回広報誌を発行 2 共催事業 (1) スキー教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 3 研修 (1) 指導者講習会(普通救命講習) 6月26日(土) (2) 実技講習会(ポッチャ審判勉強会)1月20日(木) (3) 広域地区別研修会(2フロ合同研修会) 11月27日(土)</p>	(1)は代替イベントを実施したが、それ以外の事業についてはコロナ禍前とほぼ同規模でリスタートすることができました。また、この指とまれクラブについては、区内のリゾート&スポーツ専門学校の学生の協力を得ながら運営することができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり エ スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化 (p.40)								
175		2-②-エ	スポーツ推進委員・スポーツリーダー等の委嘱	地域の生涯スポーツ・レクリエーション等の普及・振興及び区民の自主的なスポーツ活動を支援するため、スポーツ推進委員やスポーツリーダー等を委嘱します。	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:57単位 ・スポーツリーダー:28単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~3時間程度)	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:8単位 ・スポーツリーダー:12単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~3時間程度)	経験豊富なスポーツ推進委員とスポーツリーダーが長年委嘱されるのに加え、新規の委員とリーダーが加わることで交流が活発になり、幅広く事業を展開しています。	スポーツ振興課
176	38	2-②-エ	スポーツ指導者の育成	スポーツ指導者の資質向上を図るため、スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ交流ひろばの指導員等を対象に各種研修会を実施します。	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:57単位 ・スポーツリーダー:28単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~3時間程度)	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:8単位 ・スポーツリーダー:12単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~3時間程度)	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援しました。実施件数も昨年に比べ増加しました。	スポーツ振興課
177		2-②-エ	スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ推進委員への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施します。	1 委託事業 (1) ファミリーハイキング教室 129(1)に記載 (2) ぶんきょうウォーキング教室 129(2)に記載 (3) ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月5日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:193人 主管:文京区スポーツ推進委員会 ニュースポーツ教室 実施日11月6日(日) 会場:駒本小学校体育館 参加者数:50人 (4) この指とまれクラブ 実施日:5月29日(日)、9月25日(日)、10月23日(日)、11月27日(日)、12月25日(日)、1月22日(日)、2月26日(日) 会場:教育の森公園 対象:幼児・小学生 参加者数:369人 主管:文京区スポーツ推進委員会 (5) 広報 年2回広報誌を発行 2 共催事業 (1) スキー教室 事業共催協定書に基づき、区は経費の一部を負担 3 研修 (1) 指導者講習会(普通救命講習) 5月28日(土)	1 委託事業 (1) ファミリーハイキング教室 129(1)に記載 (2) ぶんきょうウォーキング教室 129(2)に記載 (3) ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月6日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:120人 主管:文京区スポーツ推進委員会 (4) この指とまれクラブ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 主管:文京区スポーツ推進委員会 (5) 広報 年2回広報誌を発行 2 共催事業 (1) スキー教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 3 研修 (1) 指導者講習会(普通救命講習) 6月26日(土) (2) 実技講習会(ポッチャ審判勉強会)1月20日(木) (3) 広域地区別研修会(2プロ合同研修会) 11月27日(土)	(1)は代替イベントを実施したが、それ以外の事業についてはコロナ禍前とほぼ同規模でスタートすることができました。また、この指とまれクラブについては、区内のリゾート&スポーツ専門学校の学生の協力を得ながら運営することができました。	スポーツ振興課
178		2-②-エ	介護予防ボランティア指導者等養成事業	身近な地域において介護予防を推進するため、文の京介護予防体操や転倒骨折予防体操の指導及び普及啓発を行う区民ボランティアを養成するとともに、高齢者等の社会参加の場を推進を図っています。	養成講習及び研修会参加者数 ①文の京介護予防体操推進リーダー養成:67人 ②転倒骨折予防ボランティア指導員養成:20人	養成講習及び研修会参加者数 ①文の京介護予防体操推進リーダー養成:73人 ②転倒骨折予防ボランティア指導員養成:21人	各体操の地域会場運営や自主グループ指導に必要な知識と技術を提供する講習会を実施し、効果測定(終了試験)に合格した方を活動先に配置しました。 指導の標準化及び情報交換のため、フォロー講習や連絡会を実施しました。	高齢福祉課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり オ 心身の健康づくり(p.41)								
179	39	2-②-オ	小・中学生向けスポーツ教室	子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、水泳、スキー、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。	(1) ジュニアローラー教室 実施日: 8月2日(火)、8月3日(水) 会場: 東京ドームローラースケートアリーナ 対象: 小中学生 参加者数: 46人 主管: 文京区ローラースポーツ連盟 (2) ジュニアサッカー教室 実施日: 12月10日(土) 会場: 小石川運動場 対象: 小学3~6年生 参加者数: 112人 主管: 少年サッカー連盟、JFA	(1) ジュニアローラー教室 実施日: 3月30日(水)、3月31日(木) 会場: 東京ドームローラースケートアリーナ 対象: 小中学生 参加者数: 45人 主管: 文京区ローラースポーツ連盟 (2) ジュニアサッカー教室 実施日: 12月11日(土) 会場: 小石川運動場 対象: 小学3~6年生 参加者数: 103人 主管: 少年サッカー連盟、JFA	普段あまり接することができないスポーツを体験する機会を作ることができました。また、地域のスポーツ団体・講師と密に連携し、初心者でも気軽に楽しむことのできる教室にすることができ、両教室ともアンケートで大変満足・満足と回答した割合は98%を超えています。	スポーツ振興課
180	40	2-②-オ	親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催します。	(1) 小学生ボール投げ&走り方教室 実施日: 4月17日(日)、4月24日(日) 5月14日(日)、5月21日(日) 会場: 文京総合体育館 対象: 小学1~4年生親子 参加者数: 211人 主管: ジャイアンツアカデミー (2) タグラグビー教室 実施日: 6月4日(土) 会場: 目白台運動公園 対象: 4歳以上、小学1~3年生とその保護者 参加者数: 102人 主管: トヨタヴェルブリッツ (3) 親子ボウリング教室 実施日: 8月27日(土)、9月3日(土) 会場: 東京ドームボウリングセンター 対象: 小学生の親子 参加者数: 22人 主管: 文京区ボウリング連盟 (4) ヨネックスと学ぶ親子テニスイベント 実施日: 9月17日(土) 会場: 文京総合体育館 対象: 小学1~4年生の親子 参加者数: 72人 主管: ヨネックス (5) アルバルク東京による初めてのバスケットボール教室 実施日: 10月8日(土) 会場: 文京総合体育館 対象: 4歳以上、小学1~3年生の親子 参加者数: 30人 主管: アルバルク東京 (6) コスモスダンス教室	(1) 小学生ボール投げ&走り方教室 実施日: 4月17日(土)、4月24日(土) 5月コースは新型コロナウイルス感染症の影響により中止 会場: 文京総合体育館 対象: 小学1~2年生親子 参加者数: 159人 主管: ジャイアンツアカデミー (2) タグラグビー教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (3) 親子ボウリング教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (4) ヨネックスと学ぶ親子テニスイベント 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (5) アルバルク東京による初めてのバスケットボール教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (6) フライングディスク教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	親子で気軽に楽しくスポーツをすることができた機会を創出することができました。また、令和3年度は小学生ボール投げ&走り方教室4月コースしかできなかったが、その他教室をリスタートすることができました。	スポーツ振興課
181	41	2-②-オ	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。	(1) スポーツ交流ひろば 年間開放日数: 1,385日 会場: 区立小中学校18校 対象: 区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 23,878人	(1) スポーツ交流ひろば 年間開放日数: 687日 会場: 区立小中学校18校 対象: 区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 11,199人	令和4年度は、予定どおりの日数を開放できたことで、令和3年度と比較して開放日数及び利用者人数が倍近く増加し、地域の身近なスポーツ活動の場に資することができました。	スポーツ振興課
182		2-②-オ	シニア向けスポーツ教室	水泳や体操などの種目や運動など、シニア世代がスポーツを楽しむことのできる教室を実施します。	(1) 高齢者水泳+健康体操教室: 延べ396人 (2) シニア健康体操教室: 延べ712人 (3) 高齢者水中ウォーキング教室: 延べ1,339人	(1) 高齢者水泳+健康体操教室: 延べ107人 (2) シニア健康体操教室: 延べ307人 (3) 高齢者水中ウォーキング教室: 延べ278人	人気の高い高齢者水中ウォーキング教室など、気軽に参加できる教室として、高齢者の健康づくりの場を提供することができました。	スポーツ振興課
183		2-②-オ	着衣泳講習会	海水浴や川遊びなど夏のレジャーシーズンを前に、水の事故に遭遇した際の自己対処法を学ぶため、着衣泳教室を実施します。	(1) 着衣泳講習会 実施日: 7月10日(日) 会場: 文京総合体育館 対象: 小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数: 25人 主催: スポーツ施設指定管理者	(1) 着衣泳講習会 実施日: 12月28日(火) 会場: 文京総合体育館 対象: 小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数: 20人 主催: スポーツ施設指定管理者	水中での事故に対する知識や簡易救助法などの技術を習得してもらうことで、水辺の安全教育の一環に資することができました。	スポーツ振興課
184		2-②-オ	障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、東京都障害者総合スポーツセンターの協力のもと、個人での利用をサポートする事業を行います。	(1) おでかけスポーツ 実施日数: 12日(体操・トレーニング)、6日(水泳) 会場: 文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象: 肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 111人(体操・トレーニング)、12人(水泳) 主催: スポーツ施設指定管理者	(1) おでかけスポーツ 実施日数: 12日(体操・トレーニング)、6日(水泳) 会場: 文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象: 肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 39人(体操・トレーニング)、10人(水泳) 主催: スポーツ施設指定管理者	障害の有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツを楽しむことのできる環境整備を推進することができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
185		2-②-オ	介護予防普及啓発事業	高齢者が閉じこもりや要介護状態になることを予防するため、地域の身近な施設で文の京介護予防体操や転倒骨折予防教室等各種教室を実施しています。また、介護予防に関する知識とその重要性を理解してもらうため、講演会等を実施しています。	事業参加者数、実施回数 ①介護予防教室:2,379人、2181回 ②介護予防講演会:163人、2回 ③出前講座:23人、2回 介護予防展:546人、1回	事業参加者数、実施回数 ①介護予防教室:1,206人、2,024回 ②介護予防講演会:95人、2回 ③出前講座:73人、4回 ④介護予防展:436人、1回	感染予防対策を徹底して各種事業を実施し、元気で自立した生活を送るために必要な知識の普及啓発を行うとともに、取組の機会を提供しました。	高齢福祉課
186		2-②-オ	短期集中予防サービス	健康質問調査票(基本チェックリスト)により生活機能の低下がみられる高齢者を対象に要介護状態になることを予防するため、専門職による体操や講義等を行うプログラム事業を実施します。	事業参加者数、実施回数 ①複合型プログラム事業:162人、838回 ②訪問型プログラム事業:1名、6回	事業参加者数、実施回数 ①複合型プログラム事業:154人、759回 ②訪問型プログラム事業:0名、0回	開催時は十分は感染症対策を行い、運動をメインに栄養と口腔を合わせた複合型プログラムを短期間に集中して実施して生活機能の維持・向上を図りました。	高齢福祉課
187		2-②-オ	からだコンディショニング事業(福祉センター江戸川橋・湯島)	高齢者の心肺機能や運動機能の低下を防止、要介護及び要支援状態になることを予防するための健康維持事業を行います。 ※「すこやか体操」(音羽)「心もからだもいきいき体操」(湯島分館)の後継事業(平成28年度より)	高齢者の食事(栄養・嚥下等)や健康維持に資する体操を実施しました。 【江戸川橋・湯島共通】(48回実施/48回予定) 1クール12回程度×年4クール実施 【年間延べ参加人数】 江戸川橋 660人・湯島 537人	高齢者の食事(栄養・嚥下等)や健康維持に資する体操を実施しました。 【江戸川橋・湯島共通】(47回実施/48回予定) 1クール12回程度×年4クール実施 【年間延べ参加人数】 江戸川橋 583人・湯島 508人	理学療法士を講師に招いたり、各回テーマを変え実施しました。この体操から、定期的にある自主事業の体操に参加をつなげることができました。	高齢福祉課(福祉センター)
188		2-②-オ	スポーツ活動への参加機会の充実	区民の健康維持・増進のため、スポーツやレクリエーションに関する機会を提供します。	心身障害者・児通所施設合同運動会 令和4年10月1日(土)開催 区内6施設 参加者数 244人 参加大学: 貞静学園短期大学	実績なし (新型コロナウイルス感染症拡大防止による中止)	3年ぶりの開催となったため参加者、職員、ボランティア等が一体となり、活気ある行事にすることができました。また、学生にとっては、障害者と接する学びの機会となっています。	障害福祉課
189		2-②-オ	健康・体力づくりのための事業の充実(公害保健福祉・予防事業)	区民の健康・体力づくりを支援するための事業を実施します。	・ぜん息児水泳教室 5～6月(前期)、9～10月(後期) 前期:20名参加(定員25名) 後期:15名参加(定員25名) ・呼吸器健康講座 7月29日、11月16日、12月16日(全3回) 7月:21名参加(定員30名) 11月:20名参加(定員30名) 12月:28名参加(定員30名) ・水泳奨励事業 通年 参加延人数274名	・ぜん息児水泳教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・呼吸器健康講座 2月18日(オンライン開催) 4名参加(定員30名) ・水泳奨励事業 通年 参加延人数218名	昨年度は事業自体が縮小や中止をよぎなくしていたが、今年度は中止等なく開催することができました。 高齢者向けの施策はオンラインではなく、対面での開催の方が集まりやすいと感じました。 令和2,3年度と新型コロナウイルスの影響による中止期間があったため、改めて事業の存在を広く再周知していく必要があると感じました。 事業を実施するにあたって、受付での検温やパーテーションの設置、ソーシャルディスタンスを確保した会場設営等、感染症対策を十分に講じるよう工夫しました。	予防対策課
190		2-②-オ	健康教育	区民の健康の保持・増進を図るため、生活習慣病予防等の講演会を開催します。	○精神保健講演会 1回 ○健康教育講演会 2回 ○生活習慣病予防教室 5回 ○健康スキルアップ教室 36回 ○ウォーキング教室 31回 ○個別運動相談 6回	○精神保健講演会 1回 ○健康教育講演会 2回 ○生活習慣病予防教室 1回 ○個別運動相談 19回	こころの健康づくり、生活習慣病予防、運動のきっかけ作りと運動習慣の継続等を目的として実施しました。 新型コロナウイルス感染症の流行状況をふまえ、定員の縮小等、感染拡大防止に留意して実施するとともに、集合形式の教室の代替として啓発動画の作成・放映を行いました。	保健サービスセンター
191		2-②-オ	健康・体力づくりのための事業の充実	区民の健康・体力づくりを支援するため、広く区民を対象にした講演会等を行います。	・文京区学校保健会特別講演(平成5年度～) タイトル:『子どものお口は大丈夫?』～むし歯は減ったが、歯ぐきが心配～ 実施時期:令和4年11月 文京区民チャンネル(文京区内CATV/YouTube)『文の京セレクション』で放送、動画配信	・文京区学校保健会特別講演(平成5年度～) タイトル:『コロナと子どものメンタルヘルス』～子どもアドボカシーの視点から～ 実施時期:令和3年11月 文京区民チャンネル(文京区内CATV/YouTube)『文の京セレクション』で放送、動画配信	いつでもどこでもだれでも視聴可能な動画配信で実施し、好評でした。	学務課
192		2-②-オ	健康・体力増進事業	体力アップトレーナーや体力向上アドバイザー等の授業支援人材を学校に派遣します。また、区内大学や医療機関と連携した外部講師によるがんに関する出前授業を実施します。	・体力アップトレーナーの派遣 全小学校 各校週1日 ・体力向上アドバイザーの派遣 小学校18校 各校年2回 ・体力向上イベント 年3回 ・テクニカルトレーナーの派遣 中学校3校 各校年50時間 ・外部講師によるがんに関する出前授業 小学校11校 中学校10校 各校年1回	・体力アップトレーナーの派遣 全小学校 各校週1日 ・体力向上アドバイザーの派遣 小学校18校 各校年2回 ・体力向上イベント 年2回 ・テクニカルトレーナーの派遣 中学校3校 各校年50時間 ・外部講師によるがんに関する出前授業 小学校14校 中学校10校 各校年1回	外部の人材等を活用することで学校での体育の授業やがん教育の充実につながりました。 テクニカルトレーナーについては、令和5年度から事業を拡充して、全中学校に派遣します。	教育センター

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ③ スポーツの力を活用した地域づくり ア スポーツを通じた仲間づくりと地域づくり(p.42)								
193	42	2-③-ア	親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催します。	(1) 小学生ボール投げ&走り方教室 実施日:4月17日(日)、4月24日(日)、5月14日(日)、5月21日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学1~4年生親子 参加者数:211人 主管:ジャイアンツアカデミー (2) タグラグビー教室 実施日:6月4日(土) 会場:目白台運動公園 対象:4歳以上、小学1~3年生とその保護者 参加者数:102人 主管:トヨタウェルブリッツ (3) 親子ボウリング教室 実施日:8月27日(土)、9月3日(土) 会場:東京ドームボウリングセンター 対象:小学生の親子 参加者数:22人 主管:文京区ボウリング連盟 (4) ヨネックスと学ぶ親子テニ体験会 実施日:9月17日(土) 会場:文京総合体育館 対象:小学1~4年生の親子 参加者数:72人 主管:ヨネックス (5) アルパルク東京による初めてのバスケットボール教室 実施日:10月8日(土) 会場:文京総合体育館 対象:4歳以上、小学1~3年生の親子 参加者数:30人 主管:アルパルク東京	(1) 小学生ボール投げ&走り方教室 実施日:4月17日(土)、4月24日(土) 5月コースは新型コロナウイルス感染症の影響により中止 会場:文京総合体育館 対象:小学1~2年生親子 参加者数:159人 主管:ジャイアンツアカデミー (2) タグラグビー教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (3) 親子ボウリング教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (4) ヨネックスと学ぶ親子テニ体験会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (5) アルパルク東京による初めてのバスケットボール教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (6) フライングディスク教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	親子で気軽に楽しくスポーツをすることができる機会を創出することができました。 また、令和3年度は小学生ボール投げ&走り方教室4月コースしかできませんでしたが、その他教室をリスタートすることができました。	スポーツ振興課
194		2-③-ア	アウトドアスポーツ事業	東京近郊での軽登山やノルディックウォーキングなどの自然のなかで楽しめるスポーツ事業を実施します。	(1) ファミリーハイキング教室 新型コロナウイルス感染症に鑑み、代替として区内文豪ゆかりの地を巡るウォーキングイベントを実施。 実施日:6月5日(日) 会場:区内文豪ゆかりの地 対象:小学生以上 参加者数:64名 主管:文京区スポーツ推進委員会 (2) ぶんきょうウォーキング教室 実施日:11月3日(木・祝) 会場:森鷗外ゆかりの地(文京区・台東区) 対象:小学生以上 参加者数:65名 主管:文京区スポーツ推進委員会	(1) ファミリーハイキング教室 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (2) ぶんきょうウォーキング教室 実施日:11月13日(日) 会場:区内スポーツゆかりの地 対象:小学生以上 参加者数:45名 主管:文京区スポーツ推進委員会	気軽かつ手軽に参加できるため、普段スポーツに馴染みがない人に対し、運動を身近に感じてもらえるきっかけになりました。	スポーツ振興課
195	43	2-③-ア	スポ・レクひろば	知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通じて、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供します。	(1) スポ・レクひろば 開催数:12回+3回(打合せ) 対象:高校生以上で区内に在住・在勤・在学する愛の手帳を取得した者 場所:文京総合体育館、区民センター 参加者数:245人 内容:フライングディスク、風船バレー等の軽スポーツ及びレクリエーション (2) 4区合同レクリエーション 新型コロナウイルスに鑑み、4区が一カ所に集まるのを止め、ビデオの交換による交流を実施しました。	(1) スポ・レクひろば 開催数:4回+2回(打合せ) 対象:高校生以上で区内に在住・在勤・在学する愛の手帳を取得した者 場所:文京総合体育館、区民センター 参加者数:96人 内容:フライングディスク、風船バレー等の軽スポーツ及びレクリエーション (2) 4区合同レクリエーション 新型コロナウイルスに鑑み、4区が一カ所に集まるのを止め、ビデオの交換による交流を実施しました。	参加者が大幅に昨年度を上回り、レクリエーション・スポーツをきっかけとした仲間づくりや社会参画の促進につながりました。また、区内のリゾート&スポーツ専門学校の学生がボランティアとして参加し、参加者と交流を深めることができました。	スポーツ振興課
196		2-③-ア	児童館合同卓球大会	スポーツを通じて各児童館の交流を図ります。	児童館卓球交流会 令和5年3月30日(木)開催	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。	新型コロナウイルス感染症の影響で卓球活動ができなかった児童館においては、卓球に触れる機会とし、卓球の練習が可能であった児童館においては、児童館を利用する児童の相互交友や親睦を深めることができました。	児童青少年課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ③ スポーツの力を活用した地域づくり イ プロスポーツ団体等との連携・協働 (p.43)								
197		2-③-イ	スポーツ・パブリックビューイング	区民ひろばやシビックホールなどで、ワールドカップやオリンピック・パラリンピックなどのパブリックビューイングを開催し、皆で観戦する楽しさを共有します。	サッカーワールドカップカタール2022パブリックビューイング (1) ドイツ戦 日時:11月23日(水・祝) 会場:シアターGロッソ 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:170人 主管:JFA (2) コスタリカ戦 日時:11月27日(日) 会場:JFAハウス 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:38人 主管:JFA	実績なし	令和3年度は東京2020大会コミュニティライブサイトが中止になったが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施することができ、参加者が大会の感動と興奮を共有することができました。	スポーツ振興課
198		2-③-イ	読売巨人軍との協定に基づく事業の実施	読売巨人軍との協定に基づき、観戦事業のほか、選手との触れ合いの場や走り方・投げ方教室等の各種事業を展開します。	(1) 2022読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日:9月10日(土) 会場:東京ドーム 対象:小中学生の親子 参加者数:50人 主管:読売巨人軍 (2) 小学生ボール投げ&走り方教室 125(1)記載	(1) 2021読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 新型コロナウイルスの影響により中止 (2) 小学生ボール投げ&走り方教室 125(1)記載	観戦事業については小規模ながらも再開することができました。小学生ボール投げ&走り方教室については前年が4月コースしか実施できなかったが、1回当たりの参加者数を減らし、全体の回数を増加させることで、多くの参加者に体験してもらうことができました。	スポーツ振興課
199		2-③-イ	日本サッカー協会との協定に基づく事業の実施	スポーツをより身近なものとするため、日本サッカー協会との協定に基づき、サッカー教室等をはじめ、各種事業を展開します。	(1) ジュニアサッカー教室 実施日:12月10日(土) 会場:小石川運動場 対象:小学3~6年生 参加者数:112人 主管:少年サッカー連盟、JFA (2) サッカーワールドカップカタール2022パブリックビューイング 【ドイツ戦】 日時:11月23日(水・祝) 会場:シアターGロッソ 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:170人 主管:JFA 【コスタリカ戦】 日時:11月27日(日) 会場:JFAハウス 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:38人 主管:JFA	ジュニアサッカー教室 実施日:12月11日(土) 会場:小石川運動場 対象:小学3~6年生 参加者数:103人 主管:少年サッカー連盟、JFA	初心者から経験者まで広く参加者を募集し、サッカーを通してスポーツを身近に感じる機会を提供することができました。	スポーツ振興課
200	44	2-③-イ	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	区内に拠点をもつスポーツ団体等との協力・連携により、スポーツ体験教室や大会等を実施します。	1 読売巨人軍 141に記載 2 CLUB LB & BRB (1) 親子フットサル教室 会場工事のため実績なし (2) TOKYO UNITED CUP 6チーム参加、全日程実施(6日間) 場所:小石川運動場 対象:中学生のサッカーチーム 3 トヨタ自動車 (1) タグラグビー教室 125(2)記載 (2) アンテロープスによるバスケクリニック 実施日:6月12日(日)、10月2日(日) 会場:文京総合体育館 対象:区内ミニバスチームに所属する小学3~6年生 参加者数:69人、62人 主管:トヨタ自動車アンテロープス 4 日本サッカー協会 143に記載 5 文化シャッター 125(6)に記載 6 トヨタアルバルク東京 (1) アルバルク東京による初めてのバスケットボール教室 125(5)に記載 (2) アルバルク東京試合応援ツアー 実施日:2月4日(土)、2月5日(日) 会場:代々木第一体育館 対象:区内在住、在学の小・中・高校生とその家族 参加者数:558人 7 ヨネックス	1 読売巨人軍 141に記載 2 CLUB LB & BRB (1) 親子フットサル教室 実施日:11月27日(土)、12月4日(土) 会場:江戸川橋体育館 対象:区内在住・在勤・在学者を含む4歳から小学3年生までの親子 参加者数:140人 (2) TOKYO UNITED CUP 6チーム参加、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部日程中止 3 トヨタ自動車 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 4 日本サッカー協会 143に記載 5 文化シャッター 125(6)に記載 6 トヨタアルバルク東京 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 7 ヨネックス 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	多様な協働団体と、様々な競技で教室やイベント等を再開・実施でき、幅広い区民の興味・関心に加え、「見る」「見る」スポーツを推進することができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ③ スポーツの力を活用した地域づくり ウ 東京2020大会におけるレガシーの継承と活用(p.44)								
201		2-③-ウ	スポーツ指導者派遣	自主的なスポーツ活動を行う区民の団体等へスポーツ指導者を派遣し、スポーツの競技力を向上させます。	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:57単位 ・スポーツリーダー:28単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~3時間程度)	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:8単位 ・スポーツリーダー:12単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~3時間程度)	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援しました。実施件数も昨年より比べ増加しました。	スポーツ振興課
202		2-③-ウ	自治体交流ジュニアサッカー大会	スポーツ祭東京2013で、少年サッカーを開催した自治体等に協力を呼びかけ、各自治体と競技団体の協力により、各区の代表チームによるサッカー大会を開催し、広域的な交流をします。	文京区少年サッカー連盟主催で「第9回自治体交流ジュニアサッカー大会」東京U-10チャンピオンシップ～スポーツ祭東京2013記念～を実施し、区は共催の承認を行った。	実績なし	実施主体が文京区少年サッカー連盟であることにより、事業の自主性が高まり、区市間の選手の交流が一層深まるように事業が発展しています。	スポーツ振興課
203		2-③-ウ	カイザーセラウテルン市長杯文京区少年サッカー大会	姉妹都市提携のカイザーセラウテルン市(ドイツ)が2006年のワールドカップドイツ大会で開催都市となったことを記念し、平成16年より大会を実施しています。	日程: 1・2年生の部 12月4日(日)、12月11日(日) 3・5年生の部 1月8日(日)、1月9日(月・祝) 4・6年生の部 2月11日(土・祝)、2月19日(日) 参加チーム: 小学1年生9チーム 小学2年生10チーム 小学3年生9チーム 小学4年生10チーム 小学5年生7チーム 小学6年生6チーム	日程: 1・2年生の部 12月5日(日)、12月12日(日) 3・5年生の部 1月9日(日)、1月10日(月・祝) 4・6年生の部 2月11日(金・祝)、2月20日(日) 参加チーム: 小学1年生9チーム 小学2年生8チーム 小学3年生9チーム 小学4年生6チーム 小学5年生4チーム 小学6年生4チーム ※新型コロナウイルス感染症の影響により、4・6年生の一部日程が中止	参加者数が増え、より多くの選手が交流を図ることができました。また、サッカーを通して、姉妹都市であるカイザーセラウテルン市に思いを馳せることで国際交流意識への喚起を行いました。	スポーツ振興課
204		2-③-ウ	ニュースポーツ教室・大会	障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるドッチビーやポッチャ等の各種ニュースポーツ教室や大会を実施します。	(3) ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月5日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:193人 主管:文京区スポーツ推進委員会 ニュースポーツ教室 実施日11月6日(日) 会場:駒本小学校体育館 参加者数:50人	(3) ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月6日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:120人 主管:文京区スポーツ推進委員会	ニュースポーツ大会では昨年よりも73人参加者が増えました。小学生、障害者、高齢者等多様な参加者が大会に申し込み、誰もが楽しく参加できるイベントが実施できました。	スポーツ振興課
205	45	2-③-ウ	障害者スポーツ体験教室	障害の有無に関わらず、気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。	(1) インクルーシブサッカーフェスタ 実施日:11月12日(土) 会場:小石川運動場 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:28人 主管:東京ヴェルディ (2) ユニバーサルスポーツフェスタ 実施日: 会場:文京スポーツセンター 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:58人 主管:東京ヴェルディ (3) ポッチャプースの出展 ①あじさいまつり 実施日:6月11日(土) 会場:白山神社 参加者数:245人 ②下町まつり 実施日:10月15日(土) 会場:根津神社 参加者数:393人 ③菊まつり 実施日:11月6日(日) 会場:湯島天満宮 参加者数:120人 ④梅まつり 実施日:2月18日(土) 会場:湯島天満宮 参加者数:225人 (4)スポ育 実施校:17校	(1) ユニバーサルスポーツフェスタ 実施日:10月31日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:26人 主管:東京ヴェルディ (2) ポッチャプースの出展 菊まつり 実施日:11月7日(日) 会場:湯島天満宮 参加者数:580人	ユニバーサルスポーツフェスタについては、参加者が前年度よりも大きく上回りました。周知用のチラシには音声コードをつけ、障害の有無に関わらず参加できる旨を明記し、当日は健常者も障害者も一緒に体験ができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
206		2-③-ウ	障害者スポーツ指導員資格取得の支援	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行います。	4区合同初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 日程:令和5年3月4日(土)、5日(日)、11日(土)、19日(日) 会場:荒川総合スポーツセンター 4階会議室、1階小体育室 対象:文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の18歳以上の方 内容:(公財)日本バラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員資格を取得するための養成講習会 主催:文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区(令和4年度幹事区:荒川区) 受講料:無料(テキスト代も無料)※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は5名申込み、4名資格を取得	4区合同初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 日程:令和4年2月23日(水・祝)・27日(日)・3月5日(土)・12日(土) 会場:台東リバーサイドスポーツセンター体育館(台東区今戸1-1-10) 対象:文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の18歳以上の方 内容:(公財)日本バラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員資格を取得するための養成講習会 主催:文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区(令和3年度幹事区:台東区) 受講料:無料(テキスト代も無料)※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は5名申込み、5名資格を取得	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得する支援ができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ③ スポーツの力を活用した地域づくり エ 人材・組織(町会・地域クラブ)との連携・協働(p.45)								
207		2-③-エ	地域スポーツクラブの育成	地域のスポーツクラブを育成・支援するとともに、新たな地域スポーツクラブの可能性を探ります。	実績なし	実績なし	実績なし	スポーツ振興課
208		2-③-エ	文京LBLEディース支援事業	地域の大学や企業との連携により設立した女子サッカーチーム「文京LBLEディース」の活動を支援し、区民等が身近なチームの試合観戦を通じて、地域で応援できる環境を整えます。	ホームページ等で活動の紹介を行っています。	ホームページ等で活動の紹介を行っています。	ホームページ等のアップデートを行い、より多くの区民が応援する動機付けを行いました。	スポーツ振興課
209	46	2-③-エ	地域スポーツ団体の支援・育成	地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成します。	・区民大会:31/33大会実施 ・REスタート補助金:申請11団体	・区民大会:18/33大会実施	地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催の補助に努めました。	スポーツ振興課
210	47	2-③-エ	スポーツ指導者地域派遣	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援します。	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:57単位 ・スポーツリーダー:28単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~3時間程度)	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:8単位 ・スポーツリーダー:12単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~3時間程度)	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援しました。実施件数も昨年に比べ増加しました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ③ スポーツの力を活用した地域づくり オ スポーツの魅力を感じ取る機会の充実(p.45)								
211	48	2-③-オ	初心者向けスポーツ教室	区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。	(1) 初心者合気道教室 実施回数: 6回 会場: 文京総合体育館 対象: 小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 118人 主催: スポーツ施設指定管理者 (2) 初心者アーチェリー教室 実施回数: 6回 会場: 文京総合体育館 対象: 高校生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 93人 主催: スポーツ施設指定管理者 (3) 初心者弓道教室 実施回数: 6回 会場: 文京スポーツセンター 対象: 高校生～65歳の区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 160人	(1) 初心者合気道教室 実施回数: 6回 会場: 文京総合体育館 対象: 小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数: 延 117人 (2) 初心者アーチェリー教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、事業中止 (3) 初心者弓道教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、事業中止	個人で簡単に始めることができないスポーツについて、初心者でも気軽に体験できる機会を作ることができました。	スポーツ振興課
212	49	2-③-オ	小・中学生向けスポーツ教室	子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、水泳、スキー、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。	(1) ジュニアローラー教室 実施日: 8月2日(火)、8月3日(水) 会場: 東京ドームローラースケートアリーナ 対象: 小中学生 参加者数: 46人 主管: 文京区ローラースポーツ連盟 (2) ジュニアサッカー教室 実施日: 12月10日(土) 会場: 小石川運動場 対象: 小学3～6年生 参加者数: 112人 主管: 少年サッカー連盟、JFA	(1) ジュニアローラー教室 実施日: 3月30日(水)、3月31日(木) 会場: 東京ドームローラースケートアリーナ 対象: 小中学生 参加者数: 45人 主管: 文京区ローラースポーツ連盟 (2) ジュニアサッカー教室 実施日: 12月11日(土) 会場: 小石川運動場 対象: 小学3～6年生 参加者数: 103人 主管: 少年サッカー連盟、JFA	普段あまり接することができないスポーツを体験する機会を作ることができました。また、地域のスポーツ団体・講師と密に連携し、初心者でも気軽に楽しむことのできる教室にすることができ、両教室ともアンケートで大変満足・満足と回答した割合は98%を超えています。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
3 文化芸術 ① だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】ア だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実(p.50)								
213	50	3-①-ア	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。	文化事業系の事業への参加者及び来場者の合計: 29,990人	-	例年開催している事業のうち、伝統芸能の2大会及び津和野市と共同主催の石見神楽公演が中止となりましたが、他は定数減などの対策をとりながら予定通り実施しました。 単年度事業だった文の京ミュージアムネットワーク入館料助成キャンペーンは2か月間に16,398件もの利用があり、大きな反響をよびました。 また、障害者の芸術活動を支援する展示を民間団体と共同主催で開催しました。	アカデミー推進課
214	51	3-①-ア	事業提携楽団によるコンサート	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結び、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウインド・オーケストラの協力により文化・芸術の振興を図ります。	・東京フィルハーモニー交響楽団 「響きの森クラシック・シリーズ」 シビックホール休館のため事業休止 ・シエナ・ウインド・オーケストラ 「BUNKYO SIENA POPS 2023 わが青春のポップラーミュージック! Part.4」 開催: 令和5年2月11日開催 来場: 988人	・改修工事によるシビックホール休館のため事業休止	令和4年度は年度の途中までシビックホールが休館していたため、シエナ・ウインド・オーケストラによるコンサートのみ開催しました。新型コロナウイルスによる入場制限はなくなったが、休館によりシリーズ公演が休止したことが影響したと考えています。	アカデミー推進課
215		3-①-ア	カレッジコンサート	教育機関が集中している文京区の特徴を活かし、区内の音楽文化の充実・発展や学生間の交流を目的に、区内の大学及び専門学校の音楽クラブ・サークル等によるコンサートを実施します。	・改修工事によるシビックホール休館のため事業休止	・改修工事によるシビックホール休館のため事業休止	・改修工事によるシビックホール休館のため事業休止	アカデミー推進課
216		3-①-ア	まるキャンマーケット	文京区をまるごとキャンパスに見立て、区内各所において、様々な人々が文化芸術を見て、聴いて、体験できる様々なイベントを実施します。	実績なし	実績なし	コロナ禍の影響で、令和2年度以降事業を中止しています。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
3 文化芸術 ① だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】イ 多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供(p.51)								
217	52	3-①-イ	小・中学生のための出前コンサート	子どもたちが身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、区及び(公財)文京アカデミーが事業提携する団体による区立小中学校への出前コンサートを行います。	・東京フィルハーモニー交響楽団出前コンサート 令和4年10月5日 誠之小学校 令和4年10月24日 小日向台町小学校 ・シエナ・ウインド・オーケストラ 令和4年6月28日 第三中学校 令和4年6月29日 音羽中学校	・東京フィルハーモニー交響楽団出前コンサート 令和3年10月5日 柳町小学校 令和3年12月1日 汐見小学校 ・シエナ・ウインド・オーケストラ 令和4年6月28日 第三中学校 令和4年6月29日 音羽中学校	アーティストおよび開催校の理解・協力により新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、予定通り開催しました。プロのアーティストによる生演奏を初めて鑑賞する児童・生徒もあり、高い評価を得ました。	アカデミー推進課
218	53	3-①-イ	文の京コミュニティコンサート	文京ミュージズネット等、区内文化施設において、施設の雰囲気や特長を活かしたミニ・コンサートを行い、音楽等を気軽に楽しむ機会を提供します。	・森鷗外記念館 令和4年7月9日 ・小石川後楽園酒徳亭 令和5年1月20日	・和敬塾本館 令和4年1月26日 * 新型コロナウイルス感染症対応のため中止 ・宇宙ミュージアムTeNoQ 令和4年3月21日	アーティストおよび実施会場の理解・協力により、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で予定通り開催しました。区民にとって身近な施設においてプロのアーティストの演奏を気軽に楽しむ機会を提供することができました。	アカデミー推進課
219		3-①-イ	「アートウォール・シビック」への作品展示	若手芸術家の育成を図るため、シビックセンターの壁面を利用して平面美術作品の展示を行い、同時に区民が身近に芸術に触れる機会とします。	参加団体数 12団体 出品者数 110人 出品点数 564点	参加団体数 10団体 出品者数 74人 出品点数 322点	令和4年度は12団体から申し込みがあり、毎月作品を展示しました。森鷗外没後100年記念事業デザイン展やはゆたゆは氏による展示「どこに行こうか? ~47都道府県イラスト展」などは外部からも取材や問い合わせを受けるなど、反響がありました。	アカデミー推進課
220	54	3-①-イ	朗読コンテスト	文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。	平成24年度から年1回開催しています。今年度は森鷗外没後100年記念事業として鷗外の作品を課題としました。録音審査応募者:256人、本選:11月13日 出場者:17人 観覧者:113人 会場:跡見学園女子大学プロッサムホール CATV収録・放映 観覧者席の間を空ける等の感染症対策を行いました。	文京区ゆかりの文学者のうち、令和4年度に没後100年を迎える森鷗外と交友関係にあった芥川龍之介、伊藤左千夫、田山花袋、永井荷風、夏目漱石、樋口葉の作品を課題としました。録音審査応募者:253人、本選:11月14日 出場者:16人 観覧者:107人 会場:跡見学園女子大学プロッサムホール CATV収録・放映 観覧者席の間を空ける等の感染症対策を行いました。	森鷗外没後100年記念事業として、当日会場のロビーで森鷗外の紹介展示を行いました。広い地域及び年齢層からの応募がありました。	アカデミー推進課
221	55	3-①-イ	シビックコンサート	クラシック・ポップス・ジャズなどの名曲を、管弦楽アンサンブルや声楽にのせて区内の大学及び専門学校生等がお届けするランチタイムコンサートを実施します。	シビックセンター改修工事により、会場である「区民ひろば」が使用不可のため事業を休止しました。	シビックセンター改修工事により、会場である「区民ひろば」が使用不可のため事業を休止しました。	シビックセンター改修工事により、会場である「区民ひろば」が使用不可のため事業を休止しました。	アカデミー推進課
222		3-①-イ	新・観潮楼歌会	森鷗外を中心に多くの文人たちが集い、交流した「観潮楼歌会」にちなみ、幅広い文化・芸術体験事業を展開します。	・朗読会 「舞姫」をよむ ・令和4年10月23日 参加36名 定員30名 応募42名	・モリキネ落語「三遊亭のらっ好と兼太郎」 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	字幕を使った朗読が立体的な効果を生み、参加者の満足度の高い事業となりました。	アカデミー推進課
223		3-①-イ	文学散歩	観潮楼跡地以外での広域な鷗外縁の地を巡り、その功績を改めて感じる事業を実施します。	「文学散歩」 明治の青春が交差した街路 団子坂～谷中・上野の丘へ(荒天のため座学へ変更) 5月21日(参加13名 定員15人 応募37名)	・倉本幸弘先生の文学散歩 3月23日(三か25名、定員30名、応募46名)	雨天のため「鷗外講座」に内容を変更しました。参加者の満足度は高かったものの、代替企画の事前告知や準備が課題となりました。	アカデミー推進課
224	56	3-①-イ	夜能動画配信事業	公益社団法人宝生会による有料動画配信を利用し、区民が能楽動画を観賞できるようにすることで、コロナ禍における文化施策の一つとして、自宅等にいながら宝生流の能楽を観賞し、区の有する貴重な文化資源に触れる機会を創出します。	応募数 876人 当選者数 876人	-	9月から12月の4月連続で募集を行いました。1公演あたり約220人の申し込みがありました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
3 文化芸術 ① だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】ウ 活動につながる契機としての鑑賞機会の提供(p.51)								
225	57	3-①-ウ	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。	文化事業系の事業への参加者及び来場者の合計: 29,990人	-	例年開催している事業のうち、伝統芸能の2大会及び津和野市と共同主催の石見神楽公演が中止となりましたが、他は定数減などの対策をとりながら予定通り実施しました。 単年度事業だった文の京ミュージアムネットワーク入館料助成キャンペーンは2か月間に16,398件もの利用があり、大きな反響をよびました。 また、障害者の芸術活動を支援する展示を民間団体と共同主催で開催しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
3 文化芸術 ② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】 ア 文化芸術活動を楽しむことのできる機会の充実(p.52)								
226	58	3-②-ア	かるたの街文京を発信!	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。	関係団体との相互協力協定締結 大会主催(親職型)1件 大会共催(参加型)1件 講師派遣 3件 ラッピングバスの走行 1件 教室共催 1件(4日間)	講師派遣 1件 ラッピングバスの走行 1件	一般社団法人全日本かるた協会と相互協力協定を提携し、かるたの街文京をPRする事業を多数展開しました。 競技かるた選手最上位の男性・名人と女性・クイーンによる大会を行い、様子を解説付きでライブ配信(動画)しました。 人気漫画「ちはやふる」とのコラボレーション事業を行い、ラッピングバスやチラシ、記念グッズ作成に利用しました。 その他学校への講師派遣、大学生を対象にした大会や子ども教室を共催しました。	アカデミー推進課
227		3-②-ア	文の京ワークショップ	「現代の観潮楼=交流サロン」として、森鷗外を中心テーマに幅広い利用者をひきつける多彩な事業を展開します。持続的な集客を図るとともに森鷗外や「文の京」を広く発信します。	・文の京ワークショップ ふみの日イベント 4回実施 4月23日「ベルリン記念館へエアメールを書こう」15名 6月23日「七夕に願いを込めて」4名 7月23日「ポストカードプレゼント」151名 12月23日「なつかしの年賀状を作ろう」10名	・文の京ワークショップ ふみの日イベント 4月23日「折手紙をつくろう」4名 6月23日「七夕に願いを込めて」4名 10月23日「鷗外からの手紙」(おみくじ)15名 11月23日「倉本幸弘先生の朗読会2」23名 12月23日「なつかしの年賀状を作ろう」11名 1月23日「古切手を使って絵手紙を書こう」8名 2月23日「手紙にまつわるブックフェア」 3月23日「倉本幸弘先生の朗読会」23名 【以下は中止】 5月23日「こだわりの文房具で手紙を書いてみよう」 7月23日「オリンピックパラリンピック応援メッセージを書こう」 8月23日「ベルリン森鷗外記念館へエアメールを書こう」 9月23日「倉本幸弘先生の鷗外朗読会1」	体験型のイベントが定着しつつあり、好評です。	アカデミー推進課
228		3-②-ア	鷗外講座	森鷗外の生涯や作品について、多角的に分かりやすく紹介・解説します。	・鷗外講座(没後100年記念版2講座) 「鷗外というひと—鷗外の生涯を1日で学ぶ」 8月27日 参加者31名 定員20名 応募115名 「鷗外の詩歌を語る」 9月10日 参加者29名 定員30名 応募91名	・鷗外講座応用編「鷗外宛書簡から学ぶ」 6月19日第1回、第2回 7月3日第3回、第4回 7月18日第5回、第6回 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	没後100年記念事業でもあったため、通常の基礎・応用から離れた特別編としました。どちらも募集人数を大幅に超える応募があり、記念年への関心の高さが伺えました。	アカデミー推進課
229	59	3-②-ア	記念日イベント	森鷗外に関する記念日に講演会、イベント、来館者サービスを行い鷗外に関して親しみを持って取り組みを行います。	・鷗外忌 早朝開館・延長開館 9~20時(通常10~18時) 7月9日(早朝9名、延長17名) ・鷗外忌7月9日 区民無料デー 参加者163名 ・鷗外忌特別講演会7月16日 「五足の靴に見る即興詩人の影響—鷗外を仰ぎ見る人々」 参加31名 募集30名 応募180名 ・開館記念日11月1日観覧者ポストカードプレゼント 参加者68人 ・開館記念日講演会11月12日「鷗外先生とわたし updated-ベルリンで考えたこと」 参加35名 定員30 応募92名 ・鷗外誕生日記念事業 無料観覧日1月19日 429名	・鷗外忌 早朝開館 7月9日 9時~ 2名 ・鷗外忌しおりプレゼント 7月9日 81名 ・鷗外忌記念講演会 7月17日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・開館記念日 ポストカードプレゼント 11月1日 51名 ・開館記念日講演会 11月1日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・鷗外誕生日記念事業 無料観覧日 1月19日 239名	記念年の広報効果もあり、各イベントとも参加者多数、観覧者増へ貢献しました。	アカデミー推進課
230		3-②-ア	朗読会	鷗外作品の魅力、朗読という形で訴求するプログラムを展開します。	・朗読会 「高瀬舟」をよむ ・令和4年11月23日 参加34名 定員30名 応募71名	・朗読会森鷗外「安井夫人」森志げ「旅帰」を読む 2月27日 参加30名、募集30名、応募49名	照明等の演出効果もあり好評でありました。	アカデミー推進課
231		3-②-ア	まるキャンマーケット	文京区をまるごとキャンパスに見立て、区内各所において、様々な人々が文化芸術を見て、聴いて、体験できる様々なイベントを実施します。	実績なし	実績なし	コロナ禍の影響で、令和2年度以降事業を中止しています。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
232	60	3-②-ア	朗読コンテンツ	文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテンツを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。	平成24年度から年1回開催しています。今年度は森鷗外没後100年記念事業として闘外の作品を課題としました。録音審査応募者:256人、本選:11月13日 出場者:17人 観覧者:113人 会場:跡見学園女子大学プロッサムホール CATV収録・放映 観覧者席の間を空ける等の感染症対策を行いました。	文京区ゆかりの文学者のうち、令和4年度に没後100年を迎える森鷗外と交友関係にあった芥川龍之介、伊藤左千夫、田山花袋、永井荷風、夏目漱石、樋口一葉の作品を課題としました。録音審査応募者:253人、本選:11月14日 出場者:16人 観覧者:107人 会場:跡見学園女子大学プロッサムホール CATV収録・放映 観覧者席の間を空ける等の感染症対策を行いました。	森鷗外没後100年記念事業として、当日会場のロビーで森鷗外の紹介展示を行いました。広い地域及び年齢層からの応募がありました。	アカデミー推進課
3 文化芸術 ② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】 イ 市民団体等の活動に対する支援の充実(p.53)								
233	61	3-②-イ	社会教育関係団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。	登録団体数 756件 (内訳) 一般生涯学習活動団体 383件 スポーツ・野外活動団体 373件	登録団体数 914件 (内訳) 一般生涯学習活動団体 475件 スポーツ・野外活動団体 439件	登録団体名簿の関連施設への配架及びホームページへの掲載により、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動の促進につながりました。また、3年に一度の更新を実施し、活動している団体をより正確に把握することができました。	アカデミー推進課 スポーツ振興課
3 文化芸術 ② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】 ウ 文化芸術活動の場の提供(p.53)								
234	62	3-②-ウ	舞台芸術創造事業(大ホール)	区民を対象にオペラ等の公演を目標とする講習会を実施し、優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。	応募数 761人 当選者数 189人 参加者数 129人	中止	コロナ禍の影響で定員を半減して参加者を募集したところ、倍率が4倍になりました。体験内容も感染症対策に配慮して一部変更し、安全性を確保しました。	アカデミー推進課
235	63	3-②-ウ	舞台芸術創造事業(小ホール)	区民を対象に演劇等の舞台技術を学ぶ機会を提供し、活動を通じて優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。	ワークショップ:7月~12月 参加者:7人 公演:区民とつくる演劇 発表公演「わたくしゴト」令和4年12月3日開催	ワークショップ:2月~3月 参加者:12人 成果発表会:つくって・演じる! 文の京の演劇学校成果発表会 令和4年3月6日開催	令和4年度は、5カ月のワークショップを通して、参加者のエピソードを舞台化し、参加者自身が演じる形での公演を開催しました。自らのエピソードを自らが演じたことで、参加者はより大きな満足感が得られました。	アカデミー推進課
236		3-②-ウ	カレッジコンサート	教育機関が集中している文京区の特徴を活かし、区内の音楽文化の充実・発展や学生間の交流を目的に、区内の大学及び専門学校の音楽クラブ・サークル等によるコンサートを実施します。	・改修工事によるシビックホール休館のため事業休止	・改修工事によるシビックホール休館のため事業休止	・改修工事によるシビックホール休館のため事業休止	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
3 文化芸術 ③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】ア 次代を担う層が文化芸術への関心を持つきっかけとなる機会の充実(p.54)								
237		3-③-ア	I don't know(能)…NO(能)problem! ~みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト」~	公益社団法人宝生会と連携し、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施します。	応募数 761人 当選者数 189人 参加者数 129人	中止	コロナ禍の影響で定員を半減して参加者を募集したところ、倍率が4倍になりました。体験内容も感染症対策に配慮して一部変更し、安全性を確保しました。	アカデミー推進課
238	64	3-③-ア	親子向けコンサート	幼少期から保護者等と一緒に生の音楽等に触れる機会を提供します。	・「フルーツの国のおんがくパーティー」 令和4年12月24日・25日開催 ・「東京フィル 親子で楽しむはじめてのオーケストラ」ホール休館のため事業休止	・改修工事によるシビックホール休館のため事業休止	令和4年度は、年度途中までシビックホールが休館のため、「フルーツの国のおんがくパーティー」のみ開催しました。自主制作による公演であり、観客から高い評価を得ました。	アカデミー推進課
239		3-③-ア	小・中学生のための歴史教室	夏休み期間中にクイズイベントなどを実施し、参加することを契機として、歴史・文化についての興味や文京区への愛着を深めてもらいます。	「ブントを探せ！展示室をスミからスミまで探検しよう」というテーマで7月16日から8月23日まで行いました。感染症対策として、クイズの問題を複数回用意し、展示室内の1か所に参加者が集まらないようにするなどの工夫を行った結果、参加者が342人となりました。	空調設備改修に伴う工事及び感染症対策として、文京ふるさと歴史館のホームページでクイズを公開しました。ホームページアクセス数のカウントはできませんでした。	クイズを解いてもらうことで、多くの小中学生に展示物を注意深く見て知識が増える機会を提供できました。	アカデミー推進課
240	65	3-③-ア	観客参加型公演	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結び、太鼓芸能集団鼓童の協力により、観客参加型の交流公演とワークショップを実施します。	・文京シビックに“鼓童”がやってくる！ 「親子で楽しむ太鼓ワークショップ」・「文京交流公演2023」 令和5年3月21日開催	・改修工事によるシビックホール休館のため事業休止	公演前に「親子で楽しむ太鼓ワークショップ」を開催し、17人の親子が参加しました。例年、公演の中でも「太鼓演奏体験」を行ってきたが、令和4年度は新型コロナウイルスの影響により「太鼓演奏体験」の実施は見送りました。リニューアルした小ホールにて、多くの親子が鼓童の公演を鑑賞しました。	アカデミー推進課
241		3-③-ア	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(筆道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟刺詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民楽鑑賞会を実施します。	文化事業系の事業への参加者及び来場者の合計 29,990人	-	例年開催している事業のうち、伝統芸能の2大会及び津和野市と共同主催の石見神楽公演が中止となりましたが、他は定数減などの対策をとりながら予定通り実施しました。 単年度事業だった文の京ミュージアムネットワーク入館料助成キャンペーンは2か月間に16,398件もの利用があり、大きな反響をよびました。 また、障害者の芸術活動を支援する展示を民間団体と共同主催で開催しました。	アカデミー推進課
242	66	3-③-ア	かるたの街文京を発信！	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。	関係団体との相互協力協定締結 大会主催(観戦型)1件 大会共催(参加型)1件 講師派遣 3件 ラッピングバスの走行 1件 教室共催 1件(4日間)	講師派遣 1件 ラッピングバスの走行 1件	一般社団法人全日本かるた協会と相互協力協定を提携し、かるたの街文京をPRする事業を多数展開しました。 競技かるた選手最上位の男性・名人と女性・クイーンによる大会を行い、様子を解説付きでライブ配信(動画)しました。 人気漫画「ちはやふる」とのコラボレーション事業を行い、ラッピングバスやチラシ、記念グッズ作成に利用しました。 その他学校への講師派遣、大学生を対象にした大会や子ども教室を共催しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
3 文化芸術 ③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】 イ 文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成(p.55)								
243	67	3-③-イ	子ども俳句大会	区内中学校在学学生を対象に、日本の伝統的 文化のひとつである俳句を通じて自然や四季、 日本語の美しさ、俳句の楽しさを体験します。	中学生俳句大会 募集期間:10月25日(火)～11月18日(金) 投句:818句	中学生俳句大会 募集期間:10月25日(月)～11月19日(金) 投句:733句	全入選句(特選10句・入選20句)について財団 ホームページ及び歌壇・俳壇作品集に掲載したと ともに、特選に選ばれた10句は、財団広報誌スクエア 及び区報ぶんきょうにも掲載しました。	アカデミー推進課
244		3-③-イ	吹奏楽アンサンブルコンテスト	・公募したアンサンブル団体の演奏に、シエナ ・ウインド・オーケストラ団員が講評・表彰等を行 います。プロの講評を受け、演奏技術向上につ なげます。	・改修工事によるシビックホール休館のため事業休止	・改修工事によるシビックホール休館のため事業休止	・改修工事によるシビックホール休館のため事業休 止	アカデミー推進課
245	68	3-③-イ	楽器演奏指導	区立中学校吹奏楽部員の演奏技術向上及び 文化芸術への関心を高めるため、事業提携を 結ぶシエナ・ウインド・オーケストラ団員による楽 器演奏指導を行います。	令和4年7月6日～7月25日 区立中学校10校計29回実施 ※受講予定生徒の都合により1回中止	令和3年7月5日～7月27日 区立中学校9校計26回実施 ※新型コロナウイルス感染拡大のため、1校3回、1校1回 中止	全ての区立中学校においてシエナ・ウインド・オー ケストラ団員による吹奏楽部員を対象とした個別 演奏指導を予定したが、受講予定生徒の都合により 1回中止となりました。その他については、新型コロ ナウイルス感染対策を講じた上で実施し、高い評価 を得ました。	アカデミー推進課
246	69	3-③-イ	文京ふるさと歴史館収蔵品展	文京区の歴史や文化に関することをテーマに 設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的 に掘り下げた館蔵資料を中心とした収蔵品展を 開催します。	館蔵の寄贈資料をもとに、区内に住んだ精神学者とそ の交友関係を描いた「杉田直樹と仲間たち 文三・潤一郎・ 茂吉」を開催しました。 会期 2月11日～3月19日 入館者数 1,537人	開館30周年記念事業として館蔵資料をもとに、小石川地 域の名所に関する絵画、書籍、絵画などを紹介しました。 会期 6月19日～7月25日(空調施設改修工事に伴い通常 の開催時期と異なる) 入館者数 1,558人	テーマとなる人物を知らなくても興味深い展示で あったという感想が多く、地域に魅力を感じる人が多 かったという成果が得られました。	アカデミー推進課
247	70	3-③-イ	文化・芸術に親しむ発表会、大会等 の実施	文京区秋の文化祭(筆道展、茶会、書道展、 絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、 吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企 画展、区民能楽鑑賞会を実施します。	文化事業系の事業への参加者及び来場者の合計 29,990人	-	例年開催している事業のうち、伝統芸能の2大会 及び津和野市と共同主催の石見神楽公演が中止と なりましたが、他は定数減などの対策をとりながら予 定通り実施しました。 単年度事業だった文の京ミュージアムネットワーク 入館料助成キャンペーンは2か月間に16,398件もの 利用があり、大きな反響をよびました。 また、障害者の芸術活動を支援する展示を民間団 体と共同主催で開催しました。	アカデミー推進課
248	71	3-③-イ	I don't know(能)…NO(能)problem! ～みんなで親しむ「能(Noh)プロジェ クト」～	公益社団法人宝生会と連携し、子どもたち にも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を 交えたプログラムで実施します。	応募数 761人 当選者数 189人 参加者数 129人	中止	コロナ禍の影響で定員を半減して参加者を募集し たところ、倍率が4倍になりました。 体験内容も感染症対策に配慮して一部変更し、安 全性を確保しました。	アカデミー推進課
249		3-③-イ	技能名匠認定事業	ものづくりに携わっている技術者の社会的評 価を高め、伝統技術、技法の維持向上と技術習 得意欲の促進を図ります。技術者の地位向上と 後継者を確保することにより、区内産業の振興 及び発展を図ります。	技能名匠認定者 2名	技能名匠認定者 1名	技術者の地位向上と後継者を確保することにより、 区内産業の振興及び発展を図るため、文京区技能 名匠者として認定することができました。	経済課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
3 文化芸術 ③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の継承(p.55)								
250		3-③-1ウ	文の京地域文化インタープリターの活動支援	地域文化の価値を理解するために必要な知識や技術を習得した文京区の文化資源の案内役を養成します。また、インタープリターの活動を支援します。	隔年実施のため実績なし	文の京地域文化インタープリター養成講座 実施期間:令和3年10月2日(土)～令和4年2月26日(土) 13:30～15:30 (全14回) 実施会場:跡見学園女子大学文京キャンパスほか 受講者数:33人(定員30人/応募者数40人) 認定者数:23人	区内大学の協力を得て、隔年で「文の京インタープリター養成講座」実施し、地域人材の掘り起こしと新たな認定者の確保に努めています。	アカデミー推進課
251	72	3-③-1ウ	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟刺詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。	文化事業系の事業への参加者及び来場者の合計: 29,990人	-	例年開催している事業のうち、伝統芸能の2大会及び津和野市と共同主催の石見神楽公演が中止となりましたが、他は定数減などの対策をとりながら予定通り実施しました。 単年度事業だった文の京ミュージアムネットワーク入館料助成キャンペーンは2か月間に16,398件もの利用があり、大きな反響をよみました。 また、障害者の芸術活動を支援する展示を民間団体と共同主催で開催しました。	アカデミー推進課
252	73	3-③-1ウ	かるたの街文京を発信!	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。	関係団体との相互協力協定締結 大会主催(観戦型)1件 大会共催(参加型)1件 講師派遣 3件 ラッピングバスの走行 1件 教室共催 1件(4日間)	講師派遣 1件 ラッピングバスの走行 1件	一般社団法人全日本かるた協会と相互協力協定を提携し、かるたの街文京をPRする事業を多数展開しました。 競技かるた選手最上位の男性・名人と女性・クイーンによる大会を行い、様子を解説付きでライブ配信(動画)しました。 人気漫画「ちはやふる」とのコラボレーション事業を行い、ラッピングバスやチラシ、記念グッズ作成に利用しました。 その他学校への講師派遣、大学生を対象にした大会や子ども教室を実施しました。	アカデミー推進課
253		3-③-1ウ	I don't know(能)…NO(能)problem! ~みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト」~	公益社団法人宝生会と連携し、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施します。	応募数 761人 当選者数 189人 参加者数 129人	中止	コロナ禍の影響で定員を半減して参加者を募集したところ、倍率が4倍になりました。 体験内容も感染症対策に配慮して一部変更し、安全性を確保しました。	アカデミー推進課
254	74	3-③-1ウ	吹奏楽アンサンブルコンテスト	公募したアンサンブル団体の演奏に、シエナ・ウインド・オーケストラ団員が講師・表彰を行います。プロの講評を受け、演奏技術向上につなげます。	・改修工事によるシビックホール休館のため事業休止	・改修工事によるシビックホール休館のため事業休止	・改修工事によるシビックホール休館のため事業休止	アカデミー推進課
255		3-③-1ウ	楽器演奏指導	区立中学校吹奏楽部員の演奏技術向上及び文化芸術への関心を高めるため、事業提携を結ぶシエナ・ウインド・オーケストラ団員による楽器演奏指導を行います。	・令和4年7月6日～7月25日 区立中学校10校計29回実施 ※受講予定生徒の都合により1回中止	・令和3年7月5日～7月27日 区立中学校9校計26回実施 ※新型コロナウイルス感染拡大のため、1校3回、1校1回中止	令和4年度、全ての区立中学校吹奏楽部にてシエナ・ウインド・オーケストラ団員による個別演奏指導を予定したが、受講予定生徒の都合により1回中止となりました。その他については、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施し、高い評価を得ました。	アカデミー推進課
256		3-③-1ウ	シビックコンサート	クラシック・ポップス・ジャズなどの名曲を、管弦楽アンサンブルや声楽にのせて区内の大学及び専門学校生等がお届けするランチタイムコンサートを実施します。	シビックセンター改修工事により、会場である「区民ひろば」が使用不可のため事業を休止しました。	シビックセンター改修工事により、会場である「区民ひろば」が使用不可のため事業を休止しました。	シビックセンター改修工事により、会場である「区民ひろば」が使用不可のため事業を休止しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
3 文化芸術 ④ 地域の資源を活かしたまちづくりの推進 ア 文化資源を活用した事業の推進 (p.56)								
257	75	3-④-ア	「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。	盛岡市 啄木学級 参加者106人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 参加者52人 金沢市 かなざわ講座 参加者70人 百万石まつりへの参加(行列、盆正月) 氷室の水贈呈 津和野町 石見神楽公演 中止	盛岡市 啄木学級 参加者76人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 中止 金沢市 かなざわ講座 参加者55人 氷室の水贈呈 津和野町 石見神楽公演 中止 その他 鷗外ゆかりの地 芸能サミット	一事業以外のすべての事業を再開しました。さんさ踊り体験ワークショップは3年ぶりの開催となり、10才未満から80代まで幅広い世代の方にご参加いただきました。	アカデミー推進課
258		3-④-ア	コンピューターによる館内閲覧システム	文京ふるさと歴史館の館内閲覧システムにより、本区の豊富な文化遺産の情報を発信し、区民や研究者の調査・研究活動に資することを目指します。	新型コロナウイルス感染防止のため館内での閲覧中止	新型コロナウイルス感染防止のため館内での閲覧中止	館内での閲覧は中止しましたが、コンテンツ改修(毎年度の定点観測画像の取り込みなど)は行いました。	アカデミー推進課
259		3-④-ア	夜能動画配信事業	公益社団法人宝生会による有料動画配信を利用し、区民が能楽動画を観賞できるようにすることで、コロナ禍における文化施策の一つとして、自宅等にいながらも宝生流の能楽を観賞し、区の有する貴重な文化資源に触れる機会を創出します。	応募数 876人 当選者数 876人	-	9月から12月の4月連続で募集を行いました。1公演あたり約220人の申し込みがありました。	アカデミー推進課
260		3-④-ア	かるたの街文京を発信!	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。	関係団体との相互協力協定締結 大会主催(観戦型)1件 大会共催(参加型)1件 講師派遣 3件 ラッピングバスの走行 1件 教室共催 1件(4日間)	講師派遣 1件 ラッピングバスの走行 1件	一般社団法人全日本かるた協会と相互協力協定を提携し、かるたの街文京をPRする事業を多数展開しました。 競技かるた選手最上位の男性・名人と女性・クイーンによる大会を行い、様子を解説付きでライブ配信(動画)しました。 人気漫画「ちはやふる」とのコラボレーション事業を行い、ラッピングバスやチラシ、記念グッズ作成に利用しました。 その他学校への講師派遣、大学生を対象にした大会や子ども教室を共催しました。	アカデミー推進課
261		3-④-ア	I don't know(能)…NO(能)problem! ~みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト」~	公益社団法人宝生会と連携し、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施します。	応募数 761人 当選者数 189人 参加者数 129人	中止	コロナ禍の影響で定員を半減して参加者を募集したところ、倍率が4倍になりました。 体験内容も感染症対策に配慮して一部変更し、安全性を確保しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
3 文化芸術 ④ 地域の資源を活かしたまちづくりの推進 イ 特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信(p.57)								
262		3-④-イ	文京ミュージズフェスタ	区内にある博物館・美術館・庭園など36施設を結ぶ「文の京ミュージアムネットワーク」の合同イベント。各施設が持つ文化的資産や歴史的資産を紹介しします。	開催期間 1日 参加施設数 27施設 来場者数 延べ404人	開催期間 3日 参加施設数 26施設 来場者数 延べ370人	コロナ禍で掲示のみの展示が続いていましたが、令和4年度は体験コーナーも設けた従来の形式で開催しました。 1日で404人の方にご来場いただきました。	アカデミー推進課
263		3-④-イ	紙媒体による情報提供	区報や指定管理者の発行する情報紙により、文化芸術関連情報を提供します。	・文京アカデミー広報紙「スクエア」 発行:年12回 100,000部発行 新聞折込および区内拠点配布	・文京アカデミー広報紙「スクエア」 発行:年12回 100,000部発行 新聞折込および区内拠点配布	・新聞折込および区内拠点にて配布し、文化芸術および生涯学習関連等の情報を提供している。	アカデミー推進課
264		3-④-イ	史跡めぐり	地域の歴史・文化財をガイドの解説を聞きながら歩いて実見することにより、文京区の歴史・文化の普及・啓発を図ります。文京ふるさと歴史館友の会との協働事業として行います。	①10/20 徳川ゆかりの地を訪ねて参加22人 ②11/17 森鷗外没後100年記念事業鷗外の足跡を訪ねて一坂道を巡る一参加15人 ③12/7 小石川植物園の周辺を歩く参加21人	①6/30 治五郎さんぼ〜嘉納治五郎ゆかりの史跡をたどる〜参加15人 ②2/25 『八景十境の世界』千駄木・太田ヶ原界隈を巡る参加24人 ③3/23 早春の日光御成道歩き〜追分一里塚から西ヶ原一里塚まで〜参加25人	感染症対策により、定員を50人から30人にして行いました。文京ふるさと歴史館友の会のガイドは参加者アンケートで好評であり、地域を紹介することで文京区への親しみを深める成果が得られました。	アカデミー推進課
265	76	3-④-イ	文京ゆかりの文化人顕彰事業	文京区に足跡を残した文化人を顕彰し、多様な文化的資源の継承、発掘及び情報発信を進めます。年度ごとに生涯没後などの記念の年にあたる文化人を中心に、朗読コンテスト、講演会等の顕彰事業を実施します。	朗読コンテスト(跡見学園女子大学主管) 応募総数256人 本選出場17人 本選11/13 跡見学園女子大学プロッサムホール 課題作家:森鷗外 観覧者数113人 歴史講演会「一葉作品にみる明治の出版と挿絵」 講師 出口智之氏(東京大学大学院総合文化研究科准教授) 1/22 区民センター 87人 史跡めぐり9/29「本郷・西片の樋口一葉が暮らした風景をたどる」参加21人	朗読コンテスト(跡見学園女子大学主管) 応募総数253人 本選出場16人 本選11/14 跡見学園女子大学プロッサムホール 課題作家:「鷗外の交友圏」芥川龍之介、伊藤左千夫、田山花袋、永井荷風、夏目漱石、樋口一葉 観覧者数107人 歴史講演会「金田一京助の仕事と文京区」 講師 金田一秀穂氏(金田一京助令孫・杏林大学教授) 12/12 区民センター 76人 史跡めぐり12/2「文化人ゆかりの地 本郷界隈を巡る」参加23人	どの事業も一定数の参加者があり、また、アンケートの結果も好評という成果が得られました。関係団体と協力し、参加者が文京区に興味を持てるように事業を継続します。	アカデミー推進課
266	77	3-④-イ	文京ふるさと歴史館特別展	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた特別展を開催します。	区内の国名勝及び史跡として文化財指定された東京大学大学院理学系研究科附属植物園の歴史や文化を取り上げる「小石川植物園異聞 白山御殿跡いま・むかし」を開催しました。 会期 10月29日～12月11日 入館者数 2,344人 講演会 「小石川植物園の植物学研究」 講師 川北篤氏(小石川植物園長) 12/4 区民センター参加者91人	開館30周年記念事業として指定文化財である巻物「太田備牧駒籠別荘八景十境詩画卷」を紹介する「完全公開 巻物 八景十境 ぶんきょうの指定文化財」を開催しました。 会期 2月5日～3月21日(空調施設改修工事に伴い通常の開催時期と異なる) 入館者数 3,121人 ほか、令和2年度特別展として準備しましたが感染症対策として中止した「コンドル博士と岩崎家四代ー101年目の和魂と洋才ー」を企画展として4月3日から4月24日まで行いました。入館者数802人	今後とも、文京区の歴史や文化について様々な視点から掘り下げた展示を行います。内容に興味を覚えて満足を感じる回答の割合が多くなるよう、引き続き資料の研究や展示に尽力します。	アカデミー推進課
267	78	3-④-イ	森鷗外記念館特別展・コレクション企画	森鷗外の作品や人生に関連することをテーマに、資料収集、調査研究した成果を、特別展及び館蔵品を中心としたコレクション企画として実施します。	「写真の中の鷗外」 1月9日～4月17日(95日間)観覧者5397名 「読み継がれる鷗外」 4月23日～7月31日(94日間)観覧者6760名 「鷗外の東京の住まい」 8月5日～10月16日(69日間)観覧者4993名 「鷗外遺産」 10月22日～1月29日(87日間)観覧者4133名 「水沫集」 2月3日～4月2日(54日間)観覧者2681名	「観潮楼の逸品」 4月3日～9月12日(123日間)観覧者2872名 「生涯110年没後30年 森類」 9月17日～12月27日(99日間)観覧者4154名 「写真の中の鷗外」 1月9日～4月17日(95日間)4200名※3/31まで	没後100年事業と連携し、鷗外作品や記念館の周知ができた。	アカデミー推進課
268		3-④-イ	フィルムライブラリー	映像資料を収集・保存し、調査研究や鑑賞会を行います。	新規購入本数:12本(DVD) 資料所蔵状況:2,547本 16ミリフィルム:935本 ビデオ(VHS):1,288本 DVD:324本	新規購入本数:18本(DVD) 資料所蔵状況:2,531本 16ミリフィルム:935本 ビデオ(VHS):1,288本 DVD:308本	各団体等に対し、広く貸出に対応したほか、ニーズに合わせて新規に資料を購入しました。また、視聴覚ライブラリー目録の改訂版を発行しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
269		3-④-イ	まち歩きワークショップ	区、大学、CATV等が連携し、区民参加による名所発見と共有のためのワークショップを行います。	みんなの名所ものがたり エピソード活用編 ワークショップ 3/19 参加者数4名 礪川地域活動センター	みんなの名所ものがたり まちを写す・未来を選ぶ よみとる・えらびとる 文京・音羽編 WEBによる場所の価値及びものがたりの収集 2/10～2/28 投稿者数6名 集まった情報12 ワークショップ 3/13 アカデミー音羽 参加者数5名	東京大学との協働事業として平成28年度から実施し、東京大学のホームページでアーカイブとして公開しています。参加者が地域の良いところを発表・共有するという成果が得られました。	アカデミー推進課
270	79	3-④-イ	文の京ミュージアムネットワーク	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京ミュージアムネット)として連携し、各施設の特色や個性を発信します。	全体会議 文京ミュージアムネットマップの作成 文京ミュージアムフェスタの開催 文の京ミュージアムネットワーク入館料助成キャンペーンの実施(2か月間)	全体会議 文京ミュージアムネットマップの作成 ミュージアムフェスタの開催	例年実施している事業(全体会議、文京ミュージアムネットマップの作成、ミュージアムフェスタの開催)のほか、単年度事業として入館料助成キャンペーンを行い、2か月間で16,398件もの利用がありました。これに伴いミュージアムネットマップ日本語版も作成した35,000部すべてが配布終了するなど、文の京ミュージアムネットの認知度向上に寄与したと考えられます。	アカデミー推進課
271		3-④-イ	文京ふるさと歴史館だより・年報の発行	文京の歴史・文化に関する情報や、歴史館の事業、調査研究成果等について周知します。	文京ふるさと歴史館だより(年1回発行) 第29号 令和4年 6月24日発行 年報第25号 令和3年度(令和4年9月30日発行)	文京ふるさと歴史館だより(年1回発行) 第28号 令和3年5月27日発行(開館30周年記念号) 年報第24号 令和2年度(令和3年9月30日発行)	区内施設、関係機関、来館者などに事業の周知ができました。	アカデミー推進課
272		3-④-イ	森鷗外記念館ニュース・年報の発行	森鷗外や文学に関する情報、記念館の事業、調査研究成果等について周知します。	森鷗外記念館ニュース(年4回発行) No.39号 令和4年 6月 No.40号 令和4年 9月 No.41号 令和4年 12月 No.42号 令和5年 3月 年報第10号 令和3年度(令和4年8月31日発行)	森鷗外記念館ニュース(年4回発行) No.35号 令和3年 6月 No.36号 令和3年 9月 No.37号 令和3年 12月 No.38号 令和4年 3月 年報第9号 令和2年度(令和4年7月20日発行)	区内施設、関係機関、来館者などに事業の周知ができました。	アカデミー推進課
273		3-④-イ	CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。マルチビジョンやSNSを活用し、今後も広く視聴していただくよう努めます。	広報課
274		3-④-イ	区報の発行	区報により生涯学習関連情報を提供します。	4月10日 140,000部 1回 4月25日～3月25日 138,000部 22回 計年23回 1月1日号 67,500部 年1回	4月10日～4月25日 140,200部 2回 5月10日 142,500部 1回 5月25日 139,500部 1回 6月10日～8月25日 137,200部 6回 9月10日～9月25日 136,200部 2回 10月10日～11月25日 136,700部 4回 12月10日～3月25日 136,200部 7回 計年23回 1月1日号 70,000部 年1回	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報課
275		3-④-イ	ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努めます。	広報課
276		3-④-イ	生活情報誌の発行	わたしの便利帳により生涯学習関連情報を提供します。	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(令和2年度発行)	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(令和2年度発行)	区民に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
277		3-④-イ	外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳を発行します(4カ国語併記 日本語・英語・中国語・ハングル)。	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	4カ国語(日本語・英語・ハングル・中国語)を併記しており、外国の方に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報課
278		3-④-イ	「区報ぶんきょう」の多言語化	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信します。(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を10言語で読むことができ拡大機能表示や音声読み上げ機能があり、広く区政情報をお知らせすることができます。	広報課
279		3-④-イ	地域に関する学習機会の充実	町会の発行する地域広報紙によって地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供します。	地域広報紙発行補助28団体	地域広報紙発行補助23団体	町会・自治会が発行する地域広報紙は地域活動の様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっています。	区民課
280		3-③-イ	「来て見て体験」文京の伝統工芸	伝統工芸品の魅力をものづくりに関心のある区民や国内外からの観光客等に発信するため、販売、実演、体験ができるイベントを定期的に実施します。	月2回、年24回開催 会場:不忍通りふれあい館 体験参加人数:494人	月2回、年24回開催 (感染症対策により、1月・3月分のみ開催。3月分はオンライン開催)	ものづくりに関心のある区民や国内外の観光客の集客と伝統工芸の魅力発信をすることができました。 また、周知の方法等を工夫し、コロナ禍以前よりも体験の参加人数を増加させることができました。	経済課
281		3-④-イ	技能名匠認定事業	ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統技術、技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図ります。技術者の地位向上と後継者を確保することにより、区内産業の振興及び発展を図ります。	技能名匠認定者 2名	技能名匠認定者 1名	技術者の地位向上と後継者を確保することにより、区内産業の振興及び発展を図るため、文京区技能名匠者として認定することができました。	経済課
282		3-④-イ	まち並みウォッチング	坂、緑、史跡など文京区の景観特性に着目しながら講師と一緒にまち歩きを行い、景観形成の視点を学びます。	実施日:令和4年4月21日(木) 参加者数:30人(25組) 応募者:44名(38組) コース:湯島・本郷界隈	新型コロナウイルス感染拡大のため中止	感染予防対策を講じたうえで、文京区の景観を学びながらまち歩きする機会を提供でき、参加者から好評でした。 今後はリピーターの参加者も多い中、コースや内容がマンネリ化しないよう工夫していく必要があります。	住環境課
283		3-④-イ	文の京景観賞	区内の景観を形成している建築物等や景観づくりに貢献している活動、また、児童が撮影した景観に係る写真を公募し、優れたものを表彰します。	募集期間:6月27日～8月19日 ・都市景観部門 受賞数:1件 応募数:36件 ・景観づくり活動部門 受賞数:1件 応募数:3件 ・子ども景観写真部門 受賞数:2件 応募数:12件	募集期間:6月25日～8月20日 ・都市景観部門 受賞数:1件 応募数:38件 ・景観づくり活動部門 受賞数:1件 応募数:1件 ・子ども景観写真部門 受賞数:2件 応募数:5件	文京区の魅力をPRすることができました。 事業の認知度を高め、応募数を増やすため、より効果的な周知方法を検討する必要があります。	住環境課
284		3-④-イ	指定文化財等の保護・保存と管理	文化遺産等の維持・保全と活用のため①～③を行います。 ①国・都・区指定文化財を保護するためにその修理事業に対して補助金を交付するとともに区指定文化財に対して奨励金を交付します。 ②区内の文化財を調査・記録し、保護に努めます。 ③区内の文化財を広く周知するとともに、文化財に対する理解と認識をうながすため、文化財・坂道標示板の維持管理及び新設、文化財講演会・考古学教室等の事業を行います。	①補助金の交付申請:11件 8,538千円 奨励金の交付申請:73件 1,250千円 ②区指定文化財に対し、次年度補助金申請の有無を確認するため事業計画を送付:34件 ③文化財・坂道標示板:新設1基、再設置1基、補修5基	①補助金の交付申請:10件 5,369千円 奨励金の交付申請:72件 1,240千円 ②区指定文化財に対し、次年度補助金申請の有無を確認するため事業計画を送付:34件 ③文化財・坂道標示板:補修2基	①補助金の交付申請があったところに対しては、補助金の支払いを行いました。奨励金の交付申請があったところに対しては、奨励金の支払いを行いました。 ②事業計画を送付したところ、4件の補助金申請の希望がありました。 ③文化財標示板を1基新設し、1基再設置しました。老朽化している文化財及び坂道標示板については補修を行いました。	教育総務課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
3 文化芸術 ④ 地域の資源を活かしたまちづくりの推進 ウ 地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進 (p.58)								
285	80	3-④-ウ	文京ふるさと歴史館友の会の支援	文京ふるさと歴史館友の会の自主的な活動を支援し、地域の現状や歴史・文化を知るための学習機会の充実を図ります。協働による事業の実施や「文京まち案内」ボランティアガイドの活動支援を行います。	月1回の友の会役員会に同席し、情報共有を行いました。区の事業(史跡めぐり)への協力を受けました。また、まち案内を希望する団体とガイドとの連絡を行いました。	月1回の友の会役員会に同席し、情報共有を行いました。区の事業(史跡めぐり)への協力を受けました。また、まち案内を希望する団体とガイドとの連絡を行いました。	友の会の活動が円滑に行われ、会員数が増えるように引き続き支援を行います。	アカデミー推進課
286		3-④-ウ	文京ふるさと歴史館常設展示解説ボランティア	解説ボランティアを養成し、来館者への案内を行うことにより、文京区の歴史・文化の普及を図ります。ガイドのスキルアップを支援します。	感染症対策として休止	感染症対策として休止	休止中、館の情報を送付しました。令和5年度中の再開に向けて準備を行います。	アカデミー推進課
287		3-④-ウ	森鷗外記念館解説ボランティア	解説ボランティアを養成し、自主的な活動を促進します。新たな活動を企画し、活動のブラッシュアップとともに、文京区の文学館としての機能強化を図ります。	毎週土日と祝日にボランティアによる解説を1日2回、実施していたが感染症拡大防止策の為、休止しました。	毎週土日と祝日にボランティアによる解説を1日2回、実施していたが感染症拡大防止策の為、休止しました。	休止中も館報、イベント案内を送るなどコミュニケーションをとり、再開に備えることができました。	アカデミー推進課
288		3-④-ウ	文の京ゆかりの文人支援事業	文京ゆかりの文人を顕彰し、もって地域と文化の振興を図るため、地域の民間団体等が行う事業の運営を補助します。	文京緑の文人支援事業補助金交付実績:1件(補助事業:令和4年度文京一葉忌)	文京緑の文人支援事業補助金交付実績:1件(補助事業:令和3年度文京一葉忌(いちようになろう!))	文京ゆかりの文人である「樋口一葉」の命日に行われる「文京一葉忌」へ補助金を交付し、文人顕彰に向けた事業を支援しています。	アカデミー推進課
289		3-④-ウ	かるたの街文京を発信!	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。	関係団体との相互協力協定締結 大会主催(観戦型)1件 大会共催(参加型)1件 講師派遣 3件 ラッピングバスの走行 1件 教室共催 1件(4日間)	講師派遣 1件 ラッピングバスの走行 1件	一般社団法人全日本かるたの協会と相互協力協定を提携し、かるたの街文京をPRする事業を多数展開しました。 競技かるた選手最上位の男性・名人と女性・クイーンによる大会を行い、様子を解説付きでライブ配信(動画)しました。 人気漫画「ちはやふる」とのコラボレーション事業を行い、ラッピングバスやチラシ、記念グッズ作成に利用しました。 その他学校への講師派遣、大学生を対象にした大会や子ども教室を共催しました。	アカデミー推進課
290		3-④-ウ	I don't know(能)…NO(能)problem! ~みんなて親しむ「能(Noh)プロジェクト」~	公益社団法人宝生会と連携し、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施します。	応募数 761人 当選者数 189人 参加者数 129人	中止	コロナ禍の影響で定員を半減して参加者を募集したところ、倍率が4倍になりました。 体験内容も感染症対策に配慮して一部変更し、安全性を確保しました。	アカデミー推進課
291	81	3-④-ウ	「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。	盛岡市 啄木学級 参加者106人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 参加者52人 金沢市 かなざわ講座 参加者70人 百万石まつりへの参加(行列、盆正月) 氷室の水贈呈 津和野町 石見神楽公演 中止 その他 鷗外ゆかりの地 芸能サミット	盛岡市 啄木学級 参加者76人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 中止 金沢市 かなざわ講座 参加者55人 氷室の水贈呈 津和野町 石見神楽公演 中止 その他 鷗外ゆかりの地 芸能サミット	一事業以外のすべての事業を再開しました。 さんさ踊り体験ワークショップは3年ぶりの開催となり、10才未満から80代まで幅広い世代の方にご参加いただきました。	アカデミー推進課
292		3-④-ウ	まち歩きワークショップ	区、大学、CATV等が連携し、区民参加による名所発見と共有のためのワークショップを行います。	みんなの名所ものがたり エピソード活用編 ワークショップ 3/19 参加者数4名 礪川地域活動センター	みんなの名所ものがたり まちを写す・未来を選ぶ よみとる・えらびとる 文京・音羽編 WEBによる場所の価値及びものがたりの収集 2/10~2/28 投稿者数6名 集まった情報12 ワークショップ 3/13 アカデミー音羽 参加者数5名	東京大学との協働事業として平成28年度から実施し、東京大学のホームページでアーカイブとして公開しています。参加者が地域の良いところを発表・共有するという成果が得られました。	アカデミー推進課
293		3-④-ウ	地域に関する学習機会の充実	町会の発行する地域広報紙によって地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供します。	地域広報紙発行補助28団体	地域広報紙発行補助23団体	町会・自治会が発行する地域広報紙は地域活動の様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっている。	区民課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
4 観光 ① 区内まるごと周遊の促進 ア 観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出 (p.64)								
294		4-①-ア	歴史的建造物の活用	歴史的建造物(文京区登録有形文化財)であり、樋口一葉にもゆかりのある旧伊勢屋質店について、所有者である跡見学園女子大学と協働して、建物内部の公開事業を行います。あわせて周辺の観光・まちあるき情報などを提供します。	・旧伊勢屋質店公開事業 年間公開日数:61日 来館者数:1,452人 ※樋口一葉生誕150周年記念展示の実施(11/23(水・祝)～11/27(日))	・旧伊勢屋質店公開事業 年間公開日数:54日 来館者数:993人	令和4年度は感染状況の緩和や記念展示の実施を行った効果により、大幅に来館者数が増加しました。 所有者である跡見学園女子大学の学生もパンフレットの制作等に参画し、大学連携の促進にも資する事業となっています。	アカデミー推進課
295	82	4-①-ア	観光写真コンクール	文京区観光協会において区内の名所・旧跡などの歴史文化遺産や花の五大まつりなどの風物詩、現代のまちの表情を広く紹介する観光写真コンクールを実施します。	・観光写真コンクール応募者数:161名(作品:491点) ・写真展来場者数:575名	・観光写真コンクール応募者数:145名(作品:456点) ・写真展来場者数:523名	令和4年度で60回を迎え、毎年区民の方を中心にたくさんのご応募をいただいています。 本コンクールの受賞作品については、観光PRポスターを始めとする本区の様々な観光PRの機会で使用しています。	アカデミー推進課
296		4-①-ア	石川啄木終焉の地歌碑・顕彰室設置・運営	文京区ゆかりの文人(歌人)である石川啄木を顕彰するため、その終焉の地である小石川五丁目に啄木の歌碑及び顕彰室を設置・運営します。	・顕彰室年間来場者数:1,380名	・顕彰室年間来場者数:1,301名	年末年始を除き年間通して開館し、啄木の足跡、とりわけ文京区との関わりを中心に写真等で紹介しています。	アカデミー推進課
297		4-①-ア	展望ラウンジ観光拠点化事業	文京シビックセンター25階展望ラウンジという区の魅力的な施設の新たな活用方法を見出し、観光スポットとしてのプレゼンスを向上することを目的としたイベント等を実施します。	・工事のため閉鎖	・工事のため閉鎖	令和2年度より、新型コロナウイルス感染症及び工事等の影響により閉鎖をしています。	アカデミー推進課
298		4-①-ア	文の京ゆかりの文人銘菓	平成24年度に「森鷗外生誕150周年記念事業」として区内の菓子店に文京区ゆかりの文人にちなんだお菓子を創作していただき、文京区の文人銘菓として販売しています。	・リーフレットの内容を、文京グルメマップと統合し、日本語50,000部制作し、観光施設等で配布を行いました。また、日本語・英語・中国語のWeb版を制作しました。	・文人銘菓を紹介するリーフレットを3,000部制作し、観光施設等で配布を行いました。	令和4年度より文京グルメマップにリーフレットの内容を統合したことで、配布部数の増加、多言語版での案内が可能となり、より広範囲に本事業の情報を発信できるようになりました。	アカデミー推進課
299	83	4-①-ア	花の五大まつり等助成	文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりのPR及び実施に要する経費等の補助を行い、まつりの振興と発展を図ります。	・花の五大まつり等助成実績:7件(つつじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり) ・まつり復興事業補助金交付実績:4件(つつじ/あじさい/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり)	・花の五大まつり等助成実績:4件(あじさい/菊/梅/さくら) ・まつり復興事業補助金交付実績:2件(菊/梅)	新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度より中止又は規模縮小となっていたまつりの復興を支援するために、まつり復興事業補助金を新設し、五大まつり等の実行委員会へ交付をしています。	アカデミー推進課
300		4-①-ア	SNSによる写真投稿キャンペーン	TwitterやInstagramに区内の魅力が詰まった写真を投稿してもらいます。観光写真コンクールと同時開催することにより、若年層等の関心を高め、新たな参加者の獲得につなげます。	・キャンペーン投稿数:79件	・キャンペーン投稿数:169件	令和4年度は投稿テーマを絞ったことにより投稿数が減少しました。 観光写真コンクールより応募ハードルが低く、だれでも簡単に応募できるため、新たな参加者の獲得につながっています。	アカデミー推進課
301		4-①-ア	文京区観光土産品開発事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域活力の復興を図るため、区民参画による観光土産品をつくり、文京区の新たな魅力を創出・発信します。	令和3年度に募集したアイデアを元に、商品化に向けた取組を実施し、商品完成・販売開始につなげました。 ・ネーミング投票 期間:9月1日～9月30日 応募数:634件	商品開発のアイデア等を区民等より募集しました。 ・キーワード募集 期間:7月1日～7月31日 応募数:1,869件 ・アイデアコンテスト 期間:9月1日～10月31日 応募数:617件 ・アイデア投票 期間:1月11日～2月13日 応募数:950件	「みんなでつくる」を合言葉に、商品開発の過程で区民が応募できる機会を複数回設けるとともに、進捗を随時SNS等で発信することで、区民参画による気運醸成に努めました。 完成した商品は、花の五大まつりをテーマにした石けん、区内の観光施設等で販売を行っています。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
4 観光 ① 区内まるごと周遊の促進 イ マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上 (p.65)								
302	84	4-①-イ	観光ガイド事業	区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成するとともに、まちあるきコースの開発や案内を行います。	・観光ガイドツアー参加者数:323名 ・新規観光ガイド登録者数:8名	・観光ガイドツアー参加者数:22名	新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度よりガイドツアーを中止していましたが、令和3年度より段階的にツアーを再開しました。なお、中止期間中はWeb研修等によりガイド養成に努めました。令和4年度には3年ぶりに新規ガイドの募集を行い、新たに8名の新規ガイドを登録しました。	アカデミー推進課
303		4-①-イ	コミュニティバス「Bーぐる」運行事業	コミュニティバスを運行し、区民等の利便性向上や地域の魅力・活力を引き出します。	令和4年度利用客数 千駄木・駒込ルート:454,041人(前年度比:+14%) 目白台・小日向ルート:421,515人(前年度比:+16%) 本郷・湯島ルート:149,300人(前年度比:+156%)	令和3年度利用客数 千駄木・駒込ルート:399,926人 目白台・小日向ルート:361,922人 本郷・湯島ルート:58,342人※9/30運行開始	【令和3年度】 千駄木・駒込ルートにおいて、日本医大病院への乗り入れを開始しました。また、9月から第三路線となる本郷・湯島ルートの運行を開始しました。 【令和4年度】 バスの利便性向上や利用促進策の計画のため、各路線の利用状況を把握することを目的とした利用実態調査を実施しました。	区民課
304		4-①-イ	肥後細川庭園周辺地域の魅力創出事業	観光拠点施設として、近隣の文化・観光施設等と連携し、目白台・関口地域の観光客誘致を図り、地域の活性化に寄与するため、歴史性のある肥後細川庭園及び松聲閣の魅力や情報を発信するとともに、地域周遊事業を企画します。	指定管理者自主事業「目白台”涼”さんぽ ～Cool Mejirodai～」(実施期間) 令和4年8月13日(土)から9月25日(日)まで (場所) 肥後細川庭園 松聲閣 (内容) ①周遊企画「涼さんぽ」で写真を撮ろう！(クリアファイルプレゼント) ②永青文庫との相互割引コラボレーション ③SNSでハッシュタグ(ポストカードプレゼント)(協力) 永青文庫、目白台運動公園、日本気象協会	指定管理者自主事業「目白台”涼”さんぽ ～Cool Mejirodai～」(実施期間) 令和3年7月22日(木祝)から9月20日(日)まで (場所) 肥後細川庭園 松聲閣 (内容) ①周遊企画「涼さんぽ」で写真を撮ろう！(クリアファイルプレゼント) ②永青文庫との相互割引コラボレーション ③SNSでハッシュタグ(ポストカードプレゼント)(協力) 新宿区、永青文庫、目白台運動公園、日本気象協会	豊かな緑と水を湛える目白台の夏季の魅力PRすべく、周辺施設と連携し、周遊機会を創出することができました。また、日本気象協会「熱中症ゼロプロジェクト」と連携を図り、熱中症予防の普及啓発活動に努めました。	みどり公園課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
4 観光 ② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有 ア 観光情報の収集・発信力の充実と共有促進 (p.66)								
305	85	4-②-ア	観光インフォメーション	シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報収集・提供や案内を行います。	・観光インフォメーション来所人数: 8,952人 ・観光情報等問い合わせ件数: 1,650件	・観光インフォメーション来所人数: 6,721人 ・観光情報等問い合わせ件数: 1,011件	令和4年度は観光客数が徐々に戻ってくる中で、観光インフォメーションへの来所人数・問い合わせ件数も増加しました。	アカデミー推進課
306		4-②-ア	フィルムコミッション事業	映像製作者を誘致し、ロケーション撮影を行うことで、メディアを活用した区の情報発信を行い知名度の向上を図るとともに、ロケ地見学などの観光客を誘致し観光振興を図ります。	・撮影受入件数: 1件	・撮影受入件数: 1件	撮影依頼の多かった展望ラウンジが閉鎖していた影響もあり、撮影受入件数が少なくなっています。	アカデミー推進課
307		4-②-ア	観光情報の一元化	文京区観光協会のホームページの掲載コンテンツの充実を図るとともにSNSの運用を促進し、観光情報発信におけるプラットフォームとしての基盤を整備します。	リニューアルしたホームページやSNS(Twitter・LINE)による積極的な情報発信に努めました。	観光協会のホームページをリニューアルしました。	観光協会ホームページは、リニューアル時に特集記事や推奨観光ルート等を追加し、掲載コンテンツの充実が図られました。 SNSでの情報発信を積極的に行うことで、より迅速に様々な観光情報を発信しています。特にLINEについては、情報発信後のイベント等への参加数が増えている傾向のため、今後も積極的な活用を図ります。	アカデミー推進課
308		4-②-ア	Googleマイビジネス整備事業	Googleの検索画面で表示される区内観光施設情報を充実させ検索の優位性を向上させることにより、本区の情報が多くの人の目に触れる機会を増やし、誘客につなげます。	観光ガイドマップ掲載施設を対象としたGoogleビジネスプロフィールの操作等研修会を実施しました。	Google検索画面で表示される情報の充実を図り、検索の優位性を高めるために、Googleビジネスプロフィール(旧: Googleマイビジネス)の整備を行いました。 また、観光地を巡る推奨ルートをGoogleマイマップ上で作成し、観光協会HPへの掲載を行いました。 ・Googleビジネスプロフィール整備施設数: 30件 ・Googleマイマップ作成ルート数: 7件	インバウンド観光客の利用頻度も高いGoogleでの情報が充実したことで、国内外へ本区の魅力を広く発信することができるようになりました。 当初区と観光協会等で整備した情報の管理者権限を各施設に移管し、かつ操作等研修を実施することで、各施設が自走できるような仕組みを整えました。	アカデミー推進課
309	86	4-②-ア	観光ガイドマップ、グルメマップの作成・多言語化	区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドマップ」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。	・観光ガイドマップ: 日本語: 50,000部/英語: 2,000部/中国語(簡): 500部/中国語(繁): 500部/韓国語: 500部 ・グルメマップ: 日本語: 20,000部/日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載 ※2023-2025版としてリニューアルを実施	・観光ガイドマップ: 日本語: 50,000部/英語: 2,000部/中国語(簡): 500部/中国語(繁): 500部/韓国語: 500部 ・グルメマップ: 日本語: 20,000部/日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載	観光ガイドマップは5か国語、グルメマップは3か国語で制作し、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しています。 東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組んでいます。	アカデミー推進課
310		4-②-ア	インバウンド対策事業	新型コロナウイルス感染症で影響を受けたインバウンドの回復を見据え、旅マエ・旅ナカ・旅アトのいつでも入手可能な情報発信に取り組みとともに、外国人観光客のニーズを捉えた事業を実施し、来訪や誘客につなげます。	「留学生人材を活用した旅マエ情報発信事業」を新たに実施し、観光情報発信リポーターとして登録した留学生が独自の視点で見た区内観光施設等の情報を、海外向けのニュースレター等を活用し旅マエ情報として発信しました。	新型コロナウイルス感染症の影響による海外観光客入国制限等があったため、本事業を中止しました。	入国制限が緩和されインバウンド回復期に向かう中で、来訪・誘客促進のための事業実施について、検討する必要があります。	アカデミー推進課
311		4-②-ア	CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。マルチビジョンやSNSを活用し、今後も広く視聴していただくよう努めます。	広報課
312		4-②-ア	区報の発行	区報により生涯学習関連情報を提供します。	4月10日 140,000部 1回 4月25日～3月25日 138,000部 22回 計年23回 1月1日号 67,500部 年1回	4月10日～4月25日 140,200部 2回 5月10日 142,500部 1回 5月25日 139,500部 1回 6月10日～8月25日 137,200部 6回 9月10日～9月25日 136,200部 2回 10月10日～11月25日 136,700部 4回 12月10日～3月25日 136,200部 7回 計年23回 1月1日号 70,000部 年1回	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報課
313		4-②-ア	ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努めます。	広報課
314		4-②-ア	「区報ぶんきょう」の多言語化	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信します。(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を10言語で読むことができ拡大機能表示や音声読み上げ機能があり、広く区政情報をお知らせすることができます。	広報課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
4 観光 ② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有 イ 情報発信環境の整備 (p.67)								
315	87	4-②-イ	観光インフォメーション	シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報収集・提供や案内を行います。	・観光インフォメーション来所人数: 8,952人 ・観光情報等問い合わせ件数: 1,650件	・観光インフォメーション来所人数: 6,721人 ・観光情報等問い合わせ件数: 1,011件	令和4年度は観光客数が徐々に戻ってくる中で、観光インフォメーションへの来所人数・問い合わせ件数も増加しました。	アカデミー推進課
316		4-②-イ	観光情報の一元化	文京区観光協会のホームページの掲載コンテンツの充実を図るとともにSNSの運用を促進し、観光情報発信におけるプラットフォームとしての基盤を整備します。	リニューアルしたホームページやSNS(Twitter・LINE)による積極的な情報発信に努めました。	観光協会のホームページをリニューアルしました。	観光協会ホームページは、リニューアル時に特集記事や推奨観光ルート等を追加し、掲載コンテンツの充実が図られました。 SNSでの情報発信を積極的に行うことで、より迅速に様々な観光情報を発信しています。特にLINEについては、情報発信後のイベント等への参加数が増えている傾向のため、今後も積極的な活用を図ります。	アカデミー推進課
317		4-②-イ	Googleマイビジネス整備事業	Googleの検索画面で表示される区内観光施設情報を充実させ検索の優位性を向上させることにより、本区の情報が多くの人の目に触れる機会を増やし、誘客につなげます。	観光ガイドマップ掲載施設を対象としたGoogleビジネスプロフィールの操作等研修会を実施しました。	Google検索画面で表示される情報の充実を図り、検索の優位性を高めるために、Googleビジネスプロフィール(旧: Googleマイビジネス)の整備を行いました。 また、観光地を巡る推奨ルートをGoogleマイマップ上で作成し、観光協会HPへの掲載を行いました。 ・Googleビジネスプロフィール整備施設数: 30件 ・Googleマイマップ作成ルート数: 7件	インバウンド観光客の利用頻度も高いGoogleでの情報が充実したことで、国内外へ本区の魅力を広く発信することができるようになりました。 当初区と観光協会で整備した情報の管理者権限を各施設に移管し、かつ操作等研修を実施することで、各施設が自走できるような仕組みを整えました。	アカデミー推進課
318	88	4-②-イ	観光ガイドマップ、グルメマップの作成・多言語化	区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドマップ」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。	・観光ガイドマップ: 日本語: 50,000部/英語: 2,000部/中国語(簡): 500部/中国語(繁): 500部/韓国語: 500部 ・グルメマップ: 日本語: 20,000部/日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載 ※2023-2025版としてリニューアルを実施	・観光ガイドマップ: 日本語: 50,000部/英語: 2,000部/中国語(簡): 500部/中国語(繁): 500部/韓国語: 500部 ・グルメマップ: 日本語: 20,000部/日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載	観光ガイドマップは5か国語、グルメマップは3か国語で制作し、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しています。 東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組んでいます。	アカデミー推進課
319		4-②-イ	CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セクション」「文京インフォメーション」ほか	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セクション」「文京インフォメーション」ほか	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。マルチビジョンやSNSを活用し、今後も広く視聴していただくよう努めます。	広報課
320		4-②-イ	ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努めます。	広報課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
4 観光 ③ つながりから生まれる観光の推進 ア 他分野(スポーツ、文化芸術等)との融合(p.68)								
321		4-③-ア	文京ミュージックフェスタ	区内にある博物館・美術館・庭園など36施設を結ぶ「文の京ミュージアムネットワーク」の合同イベント。各施設が持つ文化的資産や歴史的資産を紹介します。	開催期間 1日 参加施設数 27施設 来場者数 延べ404人	開催期間 3日 参加施設数 26施設 来場者数 延べ370人	コロナ禍で掲示のみの展示が続いていましたが、令和4年度は体験コーナーも設けた従来の形式で開催しました。 1日で404人の方にご来場いただきました。	アカデミー推進課
322	89	4-③-ア	文の京ミュージアムネットワーク	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京ミュージックネット)として連携し、各施設の特色や個性を発信します。	全体会議 文京ミュージックネットマップの作成 文京ミュージックフェスタの開催 文の京ミュージアムネットワーク入館料助成キャンペーンの実施(2か月間)	全体会議 文京ミュージックネットマップの作成 ミュージックフェスタの開催	例年実施している事業(全体会議、文京ミュージックネットマップの作成、ミュージックフェスタの開催)のほか、単年度事業として入館料助成キャンペーンを行い、2か月間で16,398件もの利用がありました。これに伴いミュージックネットマップ日本語版も作成した35,000部すべてが配布終了するなど、文の京ミュージックネットの認知度向上に寄与したと考えられます。	アカデミー推進課
323		4-③-ア	「来て見て体験」文京の伝統工芸	伝統工芸品の魅力をものづくりに関心のある区民や国内外からの観光客等に発信するため、販売、実演、体験ができるイベントを定期的実施します。	月2回、年24回開催 会場：不忍通りふれあい館 体験参加人数：494人	月2回、年24回開催 (感染症対策により、1月・3月分のみ開催。3月分はオンライン開催)	ものづくりに関心のある区民や国内外の観光客の集客と伝統工芸の魅力発信をすることができました。また、周知の方法等を工夫し、コロナ禍以前よりも体験の参加人数を増加させることができました。	経済課
324	90	4-③-ア	文京博覧会(ぶんぱく)	区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。	令和5年1月27日～28日開催 会場：区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン、シビックホール小ホール 7大学 お茶の水女子大学、順天堂大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、中央大学 来場者数：8,507人	新型コロナウイルスの影響で中止(文京ソコチカラサイトに特設サイト開設)	区内の中小企業や産業団体等による展示、実演、研究発表、物販などを行い、区内産業を広く区内外に情報発信することができました。	経済課
325		4-③-ア	自転車シェアリング事業	自転車シェアリング事業(一定の地域内に複数設置されたサイクルポートにおいて、専用の自転車を自由に貸出・返却できるネットワーク型自転車共有システム)	令和2年4月より本格実施を行っています。 令和4年度は利便性の向上の観点から複数事業者と協定を締結しました。	令和4年3月31日時点での文京区における会員登録数は47,186人 R3年度年間利用回数は711,035回 サイクルポート数71箇所	複数事業者との協定締結など、シェアサイクルの利便性向上を図りました。 今後も更なる利便性向上に向け、ポートの設置等検討していきます。	管理課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
4 観光 ③ つながりから生まれる観光の推進 イ 国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力(p.68)								
326		4-③-イ	花の五大まつり等助成	文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりのPR及び実施に要する経費等の補助を行い、まつりの振興と発展を図ります。	・花の五大まつり等助成実績:7件(つじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり) ・まつり復興事業補助金交付実績:4件(つじ/あじさい/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり)	・花の五大まつり等助成実績:4件(あじさい/菊/梅/さくら) ・まつり復興事業補助金交付実績:2件(菊/梅)	新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度より中止又は規模縮小となっていたまつりの復興を支援するために、まつり復興事業補助金を新設し、五大まつり等の実行委員会へ交付をしています。	アカデミー推進課
327		4-③-イ	国内交流自治体食材購入費補助事業	協定締結自治体と食を通じた交流の活性化を図る事業。区内飲食店が交流自治体の食材を利用し料理等を提供した場合、食材購入費の一部を補助します。料理提供期間に合わせ、食めぐりスタンプラリーを実施することで交流自治体の魅力を発信し、区民への周知を図ります。	【国内交流自治体食材購入費補助事業】 事業開始:平成31年度 チラシ発行数:800部 (交付申請受付期間:令和4年6月10日～7月15日) 料理提供期間:令和4年10月1日～12月31日 ・申請件数 12店舗 ・交付決定数 12店舗 ・支払実績(1店舗辞退) 16店舗 1,015,000円 【食めぐりスタンプラリー】令和4年10月1日～12月31日 事業開始:令和2年度 パンフレット発行数:11,000部(うち1,000部増刷) ・スタンプラリー参加店舗数 20店舗 ・スタンプラリー応募件数(重複含む) 254件 ・当選者数 64名	【国内交流自治体食材購入費補助事業】 チラシ発行数:800部 (交付申請受付期間:令和3年6月10日～7月16日) 料理提供期間:令和3年10月1日～12月31日 ・申請件数 12店舗 ・交付決定数 12店舗 ・支払実績 12店舗 934,000円 【食めぐりスタンプラリー】令和3年10月1日～12月31日 パンフレット発行数:8,000部 ・スタンプラリー参加店舗数 12店舗 ・スタンプラリー応募件数(重複含む) 210件 ・当選者数 62名	スタンプラリー参加店舗の増加により、応募件数の増加につなげることができ、区民からも好評でした。スタンプラリー当選賞品を協定等締結自治体の特産品にリニューアルしたことによって、協定等締結自治体を広く周知することができました。	アカデミー推進課
328		4-③-イ	区事業における物産展等の出店	文京博覧会、花の5大まつりへの交流自治体物産展の出店により、周知をします。	文京博覧会 9自治体×2日 あじさいまつり 2自治体×2日 梅まつり 6自治体×2日 朝顔まつり 2自治体×2日 根津・千駄木下町まつり 3自治体×2日 春日忌 1自治体×1日 ～熊本・新宿・文京～ 紅葉と楽しむ物産&観光PRフェア in 肥後細川庭園 3自治体×1日 国際交流フェスタ 10自治体×1日	梅まつり 6自治体 2日間 1自治体 3日間	新型コロナウイルス感染症の影響で中止または規模縮小していましたが、令和4年度では従来の形で物産展を展示し、交流自治体の魅力を広く区民へ周知することができました。	アカデミー推進課
329	91	4-③-イ	国際交流フェスタ	外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通して友好交流及び相互理解を推進する事業を実施します。	令和5年3月11日開催 事業開始:平成21年度 チラシ・ポスター発行数:8,360部 ・来場者数 1,300人 ・出展団体数(物産・ステージパフォーマンス含む) 36団体	チラシ・ポスター発行数:6,280部 ・ページ総閲覧数(令和3年11月1日～令和4年2月28日) 6,680pv ※新型コロナウイルスの影響より、WEB開催	4年ぶりの対面開催となり、内容を国内交流の要素も含めた大幅リニューアルを行ったことで、来場者数も平成30年度と比較し増加しました。(平成30年度来場者数1,100人)	アカデミー推進課
330	92	4-③-イ	文京博覧会(ふんぱく)	区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。	令和5年1月27日～28日開催 会場:区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン、シビックホール小ホール 7大学 お茶の水女子大学、順天堂大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、中央大学 来場者数:8,507人	新型コロナウイルスの影響で中止(文京ソコチカラサイト上に特設サイト開設)	区内の中小企業や産業界等による展示、実演、研究発表、物販などを行い、区内産業を広く区内外に情報発信することができました。	経済課
331		4-③-イ	文京区観光土産品開発事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域活力の復興を図るため、区民参画による観光土産品をつくり、文京区の新たな魅力を創出・発信します。	令和3年度に募集したアイデアを元に、商品化に向けた取組を実施し、商品完成・販売開始につなげました。 ・ネーミング投票 期間:9月1日～9月30日 応募数:634件	商品開発のアイデア等を区民等より募集しました。 ・キーワード募集 期間:7月1日～7月31日 応募数:1,869件 ・アイデアコンテスト 期間:9月1日～10月31日 応募数:617件 ・アイデア投票 期間:1月11日～2月13日 応募数:950件	「みんなで作る」を合言葉に、商品開発の過程で区民が応募できる機会を複数回設けるとともに、進捗を随時SNS等で発信することで、区民参画による気運醸成に努めました。完成した商品は、花の五大まつりをテーマにした石けん、区内の観光施設等で販売を行っています。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
4 観光 ④ 何度でも訪れたくなるおもてなしの環境整備 ア 観光客の受入基盤整備 (p.69)								
	93	4-④-ア	観光ガイドマップ、グルメマップの作成・多言語化	区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドマップ」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。	・観光ガイドマップ：日本語：50,000部/英語：2,000部/中国語(簡)：500部/中国語(繁)：500部/韓国語：500部 ・グルメマップ：日本語：20,000部/日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載 ※2023-2025版としてリニューアルを実施	・観光ガイドマップ：日本語：50,000部/英語：2,000部/中国語(簡)：500部/中国語(繁)：500部/韓国語：500部 ・グルメマップ：日本語：20,000部/日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載	観光ガイドマップは5か国語、グルメマップは3か国語で制作し、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しています。 東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組んでいます。	アカデミー推進課
	94	4-④-ア	文の京ミュージアムネットワーク	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京ミュージアムネット)として連携し、各施設の特色や個性を発信します。	全体会議 文京ミュージアムネットマップの作成 文京ミュージアムフェスタの開催 文の京ミュージアムネットワーク入館料助成キャンペーンの実施(2か月間)	全体会議 文京ミュージアムネットマップの作成 ミュージアムフェスタの開催	例年実施している事業(全体会議、文京ミュージアムネットマップの作成、ミュージアムフェスタの開催)のほか、単年度事業として入館料助成キャンペーンを行い、2か月間で16,398件もの利用がありました。これに伴いミュージアムネットマップ日本語版も作成した35,000部すべてが配布終了するなど、文の京ミュージアムネットの認知度向上に寄与したと考えられます。	アカデミー推進課
	332	4-④-ア	観光協会振興助成	文京区観光協会の事業経費等の補助を行い、観光振興の発展と地域の活性化を図ります。	観光協会が実施する観光PR事業等に対して、事業費補助や必要な助言等を行いました。	観光協会が実施する観光PR事業等に対して、事業費補助や必要な助言等を行いました。	本区の観光振興のより一層の発展のため、引き続き観光協会が積極的に事業実施を行うために必要な補助等を行います。	アカデミー推進課
	333	4-④-ア	無料公衆無線LANの整備	国内外の観光客や施設利用者へ文京区の情報を発信するとともに、災害時の情報提供や区民サービス向上につながる通信手段として、文京区内に無料公衆無線LANを整備します。	・大塚地域活動センター移設	・シビックセンター5F区民会議室 ・シビックセンター3F健康センター ・コミュニティバス「Bーぐる」の新規路線分 ・保健サービスセンター本郷支所 ・福祉センター湯島 ・福祉センター江戸川橋	観光客や施設利用者が手軽にインターネット接続ができ、文京区の情報発信や利便性の向上へつながりました。	情報政策課
	334	4-④-ア	コミュニティバス「Bーぐる」運行事業	コミュニティバスを運行し、区民等の利便性向上や地域の魅力・活力を引き出します。	令和4年度利用客数 千駄木・駒込ルート：454,041人(前年度比：+14%) 目白台・小日向ルート：421,515人(前年度比：+16%) 本郷・湯島ルート：149,300人(前年度比：+156%)	令和3年度利用客数 千駄木・駒込ルート：399,926人 目白台・小日向ルート：361,922人 本郷・湯島ルート：58,342人※9/30運行開始	【令和3年度】 千駄木・駒込ルートにおいて、日本医大病院への乗り入れを開始しました。また、9月から第三路線となる本郷・湯島ルートの運行を開始しました。 【令和4年度】 バスの利便性向上や利用促進策の計画のため、各路線の利用状況を把握することを目的とした利用実態調査を実施しました。	区民課
	335	4-④-ア	バリアフリー基本構想の推進	高齢者、障害者や外国人観光客等が安全・快適に過ごせるよう、道路、公共施設、スポーツ施設等のバリアフリーを進めるため、文京区バリアフリー基本構想を推進します。	地区別計画に基づく特定事業の進捗状況を確認し、完了した主な特定事業等の現地確認、推進協議会での意見交換等を行い、令和5年3月に中間評価をとりまとめました。	地区別計画に基づく特定事業の進捗状況を確認し、完了した主な特定事業等の現地確認等を行いました。	特定事業の着手・完了事業数は、年々増加傾向にあります。(令和3年度末時点)	都市計画課
	336	4-④-ア	自転車シェアリング事業	自転車シェアリング事業(一定の地域内に複数設置されたサイクルポートにおいて、専用の自転車を自由に貸出・返却できるネットワーク型自転車共有システム)	令和2年4月より本格実施を行っています。 令和4年度は利便性の向上の観点から複数事業者と協定を締結しました。	令和4年3月31日時点での文京区における 会員登録数は47,186人 R3年度年間利用回数は711,035回 サイクルポート数71箇所	複数事業者との協定締結など、シェアサイクルの利便性向上を図りました。 今後も更なる利便性向上に向け、ポートの設置等検討していきます。	管理課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
4 観光 ④ 何度でも訪れたくなるおもてなしの環境整備 イ 多様な人材の育成・活用(p.70)								
337		4-④-イ	インバウンド対策事業	新型コロナウイルス感染症で影響を受けたインバウンドの回復を見据え、旅マエ・旅ナカ・旅アトのいつでも入手可能な情報発信に取り組むとともに、外国人観光客のニーズを捉えた事業を実施し、来訪や誘客につなげます。	「留学生人材を活用した旅マエ情報発信事業」を新たに実施し、観光情報発信リポーターとして登録した留学生が独自の視点で見た区内観光施設等の情報を、海外向けのニュースレター等を活用し旅マエ情報として発信しました。	新型コロナウイルス感染症の影響による海外観光客入国制限等があったため、本事業を中止しました。	入国制限が緩和されインバウンド回復期に向かう中で、来訪・誘客促進のための事業実施について、検討する必要があります。	アカデミー推進課
338	95	4-④-イ	観光ガイド事業	区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成するとともに、まちあるきコースの開発や案内を行います。	・観光ガイドツアー参加者数:323名 ・新規観光ガイド登録者数:8名	・観光ガイドツアー参加者数:22名	新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度よりガイドツアーを中止していましたが、令和3年度より段階的にツアーを再開しました。なお、中止期間中はWeb研修等によりガイド養成に努めました。令和4年度には3年ぶりに新規ガイドの募集を行い、新たに8名の新規ガイドを登録しました。	アカデミー推進課
339		4-④-イ	花の五大まつり等助成	文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりのPR及び実施に要する経費等の補助を行い、まつりの振興と発展を図ります。	・花の五大まつり等助成実績:7件(つつじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり) ・まつり復興事業補助金交付実績:4件(つつじ/あじさい/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり)	・花の五大まつり等助成実績:4件(あじさい/菊/梅/さくら) ・まつり復興事業補助金交付実績:2件(菊/梅)	新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度より中止又は規模縮小となっていたまつりの復興を支援するために、まつり復興事業補助金を新設し、五大まつり等の実行委員会へ交付をしています。	アカデミー推進課
340		4-④-イ	英語観光ガイド	区内の庭園、寺社、文化施設等を英語観光ボランティアガイドが外国人の方に英語で案内をして、区の歴史や魅力を紹介します。	・開催件数 8回 ・開催場所 小石川後樂園、湯島エリア、護国寺 ・合計参加人数 47人	・開催件数 3回 ・開催場所 小石川後樂園、小石川植物園・播磨坂、湯島エリア ・合計参加人数 24人	令和3年度と比較し、約2倍の外国人の参加がありました。区内在住の外国人に、広く区の歴史や魅力を伝える機会となりました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
5 国内・国際交流 ① 国内交流自治体との交流促進と相互発展 ア 交流自治体の魅力発信とPRの充実 (p.76)								
341	96	5-①-ア	国内交流自治体食材購入費補助事業	協定締結自治体と食を通じた交流の活性化を図る事業。区内飲食店が交流自治体の食材を利用し料理等を提供した場合、食材購入費の一部を補助します。料理提供期間に合わせ、食めぐりスタンプラリーを実施することで交流自治体の魅力を発信し、区民への周知を図ります。	【国内交流自治体食材購入費補助事業】 事業開始：平成31年度 チラシ発行数：800部 (交付申請受付期間：令和4年6月10日～7月15日) 料理提供期間：令和4年10月1日～12月31日 ・申請件数 18店舗 ・交付決定数 17店舗 ・支払実績(1店舗辞退) 16店舗 1,015,000円 【食めぐりスタンプラリー】令和4年10月1日～12月31日 事業開始：令和2年度 パンフレット発行数：11,000部(うち1,000部増刷) ・スタンプラリー参加店舗数 20店舗 ・スタンプラリー応募件数(重複含む) 254件 ・当選者数	【国内交流自治体食材購入費補助事業】 チラシ発行数：800部 (交付申請受付期間：令和3年6月10日～7月16日) 料理提供期間：令和3年10月1日～12月31日 ・申請件数 12店舗 ・交付決定数 12店舗 ・支払実績 12店舗 934,000円 【食めぐりスタンプラリー】令和3年10月1日～12月31日 パンフレット発行数：8,000部 ・スタンプラリー参加店舗数 12店舗 ・スタンプラリー応募件数(重複含む) 210件 ・当選者数 62名	スタンプラリー参加店舗の増加により、応募件数の増加につなげることができ、区民からも好評でした。スタンプラリー当選賞品を協定等締結自治体の特産品にリニューアルしたことによって、協定等締結自治体を広く周知することができました。	アカデミー推進課
	97	5-①-ア	国際交流フェスタ	外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通して友好交流及び相互理解を推進する事業を実施します。	令和5年3月11日開催 事業開始：平成21年度 チラシ・ポスター発行数：8,360部 ・来場者数 1,300人 ・出展団体数(物産・ステージパフォーマンス含む) 36団体	チラシ・ポスター発行数：6,280部 ・ページ総閲覧数(令和3年11月1日～令和4年2月28日) 6,680pv ※新型コロナウイルスの影響より、WEB開催	4年ぶりの対面開催となり、内容を国内交流の要素も含めた大幅リニューアルを行ったことで、来場者数も平成30年度と比較し増加しました。(平成30年度来場者数1,100人)	アカデミー推進課
342		5-①-ア	交流自治体主催の区民向け事業への協力	つわのでキャンプ、くまモンファン感謝祭、上天草フェアの後援、モリハチ祭りの共催などを行い、事業に協力します。	実績なし	くまモンファン感謝祭2021 Youtubeくまモン公式チャンネルにて配信(令和3年5月27日～令和4年2月11日)	4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、各自体と連携した後援等の事業の実施はありませんでした。 5年度以降、各自体事が事業が活発になることから、徐々に後援等の依頼の増加が見込まれます。	アカデミー推進課
343		5-①-ア	区事業における物産展等の出店	文京博覧会、花の5大まつりへの交流自治体物産展の出店により、周知をします。	文京博覧会 9自治体×2日 あじさいまつり 2自治体×2日 梅まつり 6自治体×2日 朝顔まつり 2自治体×2日 根津・千駄木下町まつり 3自治体×2日 春日忌 1自治体×1日 ～熊本・新宿・文京～ 紅葉と楽しむ物産&観光PRフェア in 肥後細川庭園 3自治体×1日 国際交流フェスタ 10自治体×1日	梅まつり 6自治体 2日間 1自治体 3日間	新型コロナウイルス感染症の影響で中止または規模縮小していましたが、令和4年度では従来の形で物産展を展示し、交流自治体の魅力を広く区民へ周知することができました。	アカデミー推進課
344		5-①-ア	防災フェスタ協力	防災フェスタに交流自治体PRブースを設置します。	防災フェスタ(参加者2,619人)に新潟県南魚沼市の食品製造業者、島根県津和野町の東京事務所がそれぞれブースを設置してPRを行いました。	防災フェスタは中止しました。	新型コロナウイルス感染拡大のため、PRブースの設置を見送った自治体もありました。感染拡大の状況を踏まえて、引続きPRブースの設置を通じた交流を図っていきます。	防災課
345		5-①-ア	文京博覧会(ぶんぱく)	区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。	令和5年1月27日～28日開催 会場：区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン、シビックホール小ホール 7大学 お茶の水女子大学、順天堂大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、中央大学 来場者数：8,507人	新型コロナウイルスの影響で中止(文京ソコチカラサイト上にて特設サイト開設)	区内の中小企業や産業団体等による展示、実演、研究発表、物販などを行い、区内産業を広く区内外に情報発信することができました。	経済課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
5 国内・国際交流 ① 国内交流自治体との交流促進と相互発展 イ 交流自治体との交流の活性化(p.78)								
346		5-①-イ	全国各自治体主催事業への周知協力	日帰りバスツアー等の周知に協力します。	実績なし	実績なし	新型コロナウイルス感染症の影響で、各自治体事業規模を縮小しており、実績がありません。	アカデミー推進課
347		5-①-イ	交流自治体との文化交流	交流自治体の伝統文化を区民に紹介する事業。かなざわ講座(金沢市)、啄木学級(盛岡市)、石見神楽(津和野町)等の主催・共催	盛岡市 啄木学級 参加者106人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 参加者52人 金沢市 かなざわ講座 参加者70人 百万石まつりへの参加(行列、盆正月) 氷室の水贈呈 津和野町 石見神楽公演 中止	盛岡市 啄木学級 参加者76人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 中止 金沢市 かなざわ講座 参加者55人 氷室の水贈呈 津和野町 石見神楽公演 中止 その他 鶴外ゆかりの地 芸能サミット	新型コロナウイルス感染症の影響で中止または規模縮小していましたが、令和4年度では従来の形で物産展を展示し、交流自治体の魅力を広く区民へ周知することができました。	アカデミー推進課
348		5-①-イ	国内交流自治体食材購入費補助事業	協定締結自治体と食を通じた交流の活性化を図る事業。区内飲食店が交流自治体の食材を利用し料理等を提供した場合、食材購入費の一部を補助します。料理提供期間に合わせ、食めぐりスタンプラリーを実施することで交流自治体の魅力を発信し、区民への周知を図ります。	【国内交流自治体食材購入費補助事業】 事業開始:平成31年度 チラシ発行数:800部 (交付申請受付期間:令和4年6月10日~7月15日) 料理提供期間:令和4年10月1日~12月31日 ・申請件数 12店舗 ・交付決定数 12店舗 ・支払実績(1店舗辞退) 12店舗 934,000円 【食めぐりスタンプラリー】令和4年10月1日~12月31日 事業開始:令和2年度 パンフレット発行数:11,000部(うち1,000部増刷) ・スタンプラリー参加店舗数 20店舗 ・スタンプラリー応募件数(重複含む) 254件 ・当選者数 64名	【国内交流自治体食材購入費補助事業】 チラシ発行数:800部 (交付申請受付期間:令和3年6月10日~7月16日) 料理提供期間:令和3年10月1日~12月31日 ・申請件数 12店舗 ・交付決定数 12店舗 ・支払実績 12店舗 934,000円 【食めぐりスタンプラリー】令和3年10月1日~12月31日 パンフレット発行数:8,000部 ・スタンプラリー参加店舗数 12店舗 ・スタンプラリー応募件数(重複含む) 210件 ・当選者数 62名	スタンプラリー参加店舗の増加により、応募件数の増加につなげることができ、区民からも好評でした。スタンプラリー当選賞品を協定等締結自治体の特産品にリニューアルしたことによって、協定等締結自治体を広く周知することができました。	アカデミー推進課
349	98	5-①-イ	交流自治体主催の区民向け事業への協力	くまモンファン感謝祭、上天草フェアの後援、モリハチ祭りの共催などを行い、事業に協力します。	実績なし	くまモンファン感謝祭2021 Youtubeくまモン公式チャンネルにて配信(令和3年5月27日~令和4年2月11日)	4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、各自治体と連携した後援等の事業の実施はありませんでした。5年度以降、各自治体が事業が活発になることから、徐々に後援等の依頼の増加が見込まれます。	アカデミー推進課
350	99	5-①-イ	区事業における物産展等の出店	文京博覧会、花の5大まつりへの交流自治体物産展の出店により、周知を図ります。	文京博覧会 9自治体×2日 あじさいまつり 2自治体×2日 梅まつり 6自治体×2日 朝顔まつり 2自治体×2日 根津・千駄木下町まつり 3自治体×2日 春日忌 1自治体×1日 ~熊本・新宿・文京~ 紅葉と楽しむ物産&観光PRフェア in 肥後細川庭園 3自治体×1日 国際交流フェスタ 10自治体×1日	梅まつり 6自治体 2日間 1自治体 3日間	新型コロナウイルス感染症の影響で中止または規模縮小していましたが、令和4年度では従来の形で物産展を展示し、交流自治体の魅力を広く区民へ周知することができました。	アカデミー推進課
351		5-①-イ	宿泊施設事業及び山村体験宿泊施設の運営	区民の健康増進と福祉の向上を図るため、区民が一般料金より低廉な宿泊料金で利用できる宿泊施設と各種サービス条件等について協定を締結しています。 やまびこ荘の運営を湯之谷薬師スキー場管理組合に運営を委託し、山村体験宿泊施設として、区民に都会では得られない人や自然とのふれあいの機会を提供しています。	協定宿泊施設については、魚沼市内の宿泊施設1施設及び箱根の宿泊施設1施設と協定を解消し、11施設から9施設となりました。 やまびこ荘については、物価高騰に伴う光熱費・食材費の値上がりに対応するため、価格高騰分について補助金を交付しました。 山村体験交流事業については、やまびこ荘主催事業13回、魚沼市観光協会主催事業7回の計20回開催となりました。	協定宿泊施設については、魚沼市内の宿泊施設1施設が閉館となり、12施設から11施設となりました。 やまびこ荘については、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い減少した宿泊料の補填となる補助金を交付しました。 山村体験交流事業については、やまびこ荘主催事業6回、魚沼市観光協会主催事業3回の計9回開催となりました。	新型コロナウイルス感染症の流行により例年の宿泊実績から宿泊者数が減少しています。遠のいた客足を戻すため、より一層の広報強化が課題となります。	区民課
352		5-①-イ	魚沼移動教室	区立小学校6年生の移動教室を魚沼市とその周辺で実施します。	区立小学校全20校にて6月から10月にかけて実施。	実施なし	相互協力協定を締結している新潟県魚沼市の文化等について区立小学校の小学生が実感を持って学ぶことができました。	学務課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
5 国内・国際交流 ① 国内交流自治体との交流促進と相互発展 ウ 横断的な交流事業の展開 (p.79)								
	100	4-③-ア	文京博覧会 (ぶんぱく)	区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。	令和5年1月27日～28日開催 会場：区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン、シビックホール小ホール 7大学 お茶の水女子大学、順天堂大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、中央大学 来場者数：8,507人	新型コロナウイルスの影響で中止(文京ソコチカラサイト上に特設サイト開設)	区内の中小企業や産業団体等による展示、実演、研究発表、物販などを行い、区内産業を広く区内外に情報発信することができました。	経済課
	101	3-④-ア	「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。	盛岡市 啄木学級 参加者106人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 参加者52人 金沢市 かなざわ講座 参加者70人 百万石まつりへの参加(行列、盆正月) 氷室の水贈呈 津和野町 石見神楽公演 中止	盛岡市 啄木学級 参加者76人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 中止 金沢市 かなざわ講座 参加者55人 氷室の水贈呈 津和野町 石見神楽公演 中止 その他 鶴外ゆかりの地 芸能サミット	一事業以外のすべての事業を再開しました。さんさ踊り体験ワークショップは3年ぶりの開催となり、10才未満から80代まで幅広い世代の方にご参加いただきました。	アカデミー推進課
	353	5-①-ウ	国内交流・連携事業補助事業	住民同士の交流の活性化を目的とし、区内で活動する地域団体等が交流事業を行う際の費用の一部を補助します。	申請期間：令和4年4月25日～5月31日 事業実施期間：令和4年6月14日～令和5年2月28日 申請件数：6件 交付決定数：5団体(不交付決定数：1団体) 交付実績数：4団体 (新型コロナウイルス感染症拡大により、1団体事業中止のため交付取消) ポスター・チラシ発行数：620部	申請期間：令和3年5月10日～6月30日 事業実施期間：令和4年7月19日～令和4年2月28日 申請件数：2件 交付決定数：2団体 交付実績数：0団体 (新型コロナウイルス感染症拡大により、2団体とも事業中止のため交付取消) ポスター・チラシ発行数：800部	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、事業中止がやむを得ない状況となったものの、令和4年度は感染状況が落ち着き始めたことから、申請団体数の増加となりました。今後は感染状況が収束に向かうことにより、申請団体数の増加となる見込みです。	アカデミー推進課
	354	5-①-ウ	防災フェスタ協力	防災フェスタに交流自治体PRブースを設置します。	防災フェスタ(参加者2,619人)に新潟県南魚沼市の食品製造業者、島根県津和野町の東京事務所がそれぞれブースを設置してPRを行いました。	防災フェスタは中止しました。	新型コロナウイルス感染症拡大のため、PRブースの設置を見送った自治体もありました。感染拡大の状況を踏まえて、引続きPRブースの設置を通じた交流を図っていきます。	防災課
	355	5-①-ウ	学校給食における食材・料理提供	交流自治体のメニュー(羊煮)や食材(みかん)を提供し、あわせて交流自治体の紹介を行います。	・9月～12月の給食で、日本三大羊煮(津和野町、大洲市、中山町)の中から1つを全校で1回実施し、3地域からは1校ずつ里芋の提供を受けました。 ・12月～2月の「交流自治体の旅」給食では、金沢市の五郎島金時を購入(810kg)し、加賀野菜を使用した給食を全校で1回実施しました。	実施なし	地域の特色や、郷土料理への理解が深まりました。	学務課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
5 国内・国際交流 ② 国際理解を育み定着に向けた機会づくり ア 海外都市との交流の活性化(p.80)								
356		5-②-ア	姉妹都市等との交流	姉妹都市のカイザースラウテルン市(ドイツ)や友好都市のベイオウル区(トルコ)北京市通州区(中国)と公式訪問団の派遣・受入をはじめ、様々な交流を通じて区民の国際理解を促進しています。	実績なし	【北京市通州区】 ・絵画交流事業 参加生徒数 文京区25人、通州区23人	新型コロナウイルス感染の流行以降、海外都市との直接の交流は中止しています。対面ではない新たな交流の在り方を検討し、実施しています。	アカデミー推進課
357	102	5-②-ア	海外都市との交流の活性化	これまで交流のなかった新たな都市も含めて、機会をとらえて積極的に海外都市との交流を行い、友好を深めるとともに、行政間の交流を区民にも広げ、さらに活性化させるよう取り組みます。	実績なし	【北京市通州区】 ・絵画交流事業 参加生徒数 文京区25人、通州区23人	新型コロナウイルス感染の流行以降、海外都市との直接の交流は中止しています。新たな交流都市の検討をするため、英語圏の視察を行う等、円滑な対面での交流が再開できるように、交流の在り方を検討しました。	アカデミー推進課
358	103	5-②-ア	ホームステイ生徒交換事業	姉妹都市のカイザースラウテルン市と交流の一環として、隔年で中学生、高校生の派遣受け入れを実施しています。姉妹都市での生活体験を通じて、市民交流を図り、異文化理解を推進します。	・文京区姉妹都市オンライン青少年交流会 第1回 開催日:9月10日(土) 参加生徒人数: 日本生徒 11人 カイザースラウテルン市生徒 5人	・第19回文京区ホームステイ生徒交換事業(受入) 新型コロナウイルス感染症拡大のため受入は中止。代替事業として、カイザースラウテルン市生徒とリモートで交流するオンライン交流会を開催しました。	新型コロナウイルスの影響で海外との往来に制約があるなか、インターネット環境を利用して姉妹都市カイザースラウテルン市の青少年と交流し、活発な意見交換を行うことが出来ました。	アカデミー推進課
359		5-②-ア	国際交流フェスタ	外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて友好交流及び相互理解を推進する事業を実施します。	令和5年3月11日開催 事業開始:平成21年度 チラシ・ポスター発行数:8,360部 ・来場者数 1,300人 ・出展団体数(物産・ステージパフォーマンス含む) 36団体	チラシ・ポスター発行数:6,280部 ・ページ総閲覧数(令和3年11月1日~令和4年2月28日) 6,680pv ※新型コロナウイルスの影響より、WEB開催	4年ぶりの対面開催となり、内容を国内交流の要素も含めた大幅リニューアルを行ったことで、来場者数も平成30年度と比較し増加しました。(平成30年度来場者数1,100人)	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
5 国内・国際交流 ② 国際理解を育み定着に向けた機会づくり イ 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有 (p.81)								
360	104	5-②-イ	生涯学習講座での国際理解推進	アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催することで、幅広い国際理解の機会を提供していきます。	前期(5~7月)8講座 155人(定員170人/応募者数269人) 後期(10~12月)10講座 228人(定員250人/339人) 後期Ⅱ(1~3月)5講座 102人(定員115人/応募者数149人)	前期(4~8月)14講座 136人(定員281人/応募者数459人) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、6講座中止、2講座を途中でオンラインに切り替え ※オンライン講座:2講座(上記、2講座別) 後期(9~12月)10講座 190人(定員210名/応募者数404人) ※オンライン講座:4講座 後期Ⅱ(1~3月)5講座 95人(定員95人/応募者数215人)	年間を通じ、幅広い分野の講座の提供が叶ったほか、アカデミアサポーターの協力により、充実した講座運営に繋がりました。	アカデミー推進課
361	105	5-②-イ	国際交流フェスタ	外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて友好交流及び相互理解を推進する事業を実施します。	令和5年3月11日開催 事業開始:平成21年度 チラシ・ポスター発行数:8,360部 ・来場者数 1,300人 ・出展団体数(物産・ステージパフォーマンス含む) 36団体	チラシ・ポスター発行数:6,280部 ・ページ総閲覧数(令和3年11月1日~令和4年2月28日) 6,680pv ※新型コロナウイルスの影響より、WEB開催	4年ぶりの対面開催となり、内容を国内交流の要素も含めた大規模リニューアルを行ったことで、来場者数も平成30年度と比較し増加しました。(平成30年度来場者数1,100人)	アカデミー推進課
362		5-②-イ	英語観光ガイド	区内の庭園、寺社、文化施設等を英語観光ボランティアガイドが外国人の方に英語で案内をして、区の歴史や魅力を紹介します。	・開催件数 8回 ・開催場所 小石川後樂園、湯島エリア、護国寺 ・合計参加人数 47人	・開催件数 3回 ・開催場所 小石川後樂園、小石川植物園・播磨坂、湯島エリア ・合計参加人数 24人	令和3年度と比較し、約2倍の外国人の参加がありました。区内在住の外国人に、広く区の歴史や魅力を伝える機会となりました。	アカデミー推進課
363	106	5-②-イ	国際理解促進事業	外国人が地域との連携を高め、日本文化への理解を深める事業や地域の行事や団体と連携して、区民と外国人が交流することで国際理解を促進します。 中国文化「変面」・やさしい日本語交流会、能楽鑑賞、英語落語等	・やさしい日本語で留学生とオンライン交流会 開催日:7月23日(土) 開催方式:オンライン(Zoom) 参加人数:29人 ・能楽鑑賞会(外国人枠) 開催日:令和5年1月22日(日) 開催方式:対面 参加人数:20人 ・ベナン共和国講座 開催日:10月15日(土) 開催方式:対面 参加人数:51人 ・中国伝統芸能セミナー~変面芸術の世界~ 開催日:11月19日(土) 開催方式:対面 参加人数:77人 ・ドイツ文化講座全4回 開催日:6月26日(日)、8月28日(日)、10月30日(日)、12月4日(日) 開催方式:対面 合計参加人数:162人	・やさしい日本語で留学生とオンライン交流会 開催日:12月18日(土) 開催方式:オンライン(Zoom) 参加人数:31人 ・能楽鑑賞会(外国人枠) 開催日:令和4年1月23日(日) 開催方式:対面 参加人数:13人 ・ベナン共和国講座 開催日:令和4年3月5日(土) 開催方式:対面 参加人数:27人 ・中国伝統芸能セミナー~黄梅劇・変面~ 開催日:令和4年3月12日(土) 開催方式:対面 参加人数:51人 ・海外都市交流展 開催期間:7月13日(火)~7月16日(金) 開催方式:対面 参加人数:685人	新型コロナウイルスの影響を受けた令和3年度と比較し、多くの講座で参加人数が増加しました。姉妹都市、友好都市に関係のある講座の開講によって、各国の文化や歴史、伝統を広く周知することが出来ました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
5 国内・国際交流 ② 国際理解を育み定着に向けた機会づくり ウ 横断的な交流事業の展開(p.82)								
364	107	5-②-ウ	国際理解促進事業	外国人が地域との連携を高め、日本文化への理解を深める事業や地域の行事や団体と連携して、区民と外国人が交流することで国際理解を促進します。 中国文化「変面」、やさしい日本語交流会、能楽鑑賞、英語落語等	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい日本語で留学生とオンライン交流会 開催日:7月23日(土) 開催方式:オンライン(Zoom) 参加人数:29人 ・能楽鑑賞会(外国人枠) 開催日:令和5年1月22日(日) 開催方式:対面 参加人数:20人 ・ベナン共和国講座 開催日:10月15日(土) 開催方式:対面 参加人数:51人 ・中国伝統芸能セミナー～変面芸術の世界～ 開催日:11月19日(土) 開催方式:対面 参加人数:77人 ・ドイツ文化講座全4回 開催日:6月26日(日)、8月28日(日)、10月30日(日)、12月4日(日) 開催方式:対面 参加人数:162人 	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい日本語で留学生とオンライン交流会 開催日:12月18日(土) 開催方式:オンライン(Zoom) 参加人数:31人 ・能楽鑑賞会(外国人枠) 開催日:令和4年1月23日(日) 開催方式:対面 参加人数:13人 ・ベナン共和国講座 開催日:令和4年3月5日(土) 開催方式:対面 参加人数:27人 ・中国伝統芸能セミナー～黄梅劇・変面～ 開催日:令和4年3月12日(土) 開催方式:対面 参加人数:51人 ・海外都市交流展 開催期間:7月13日(火)～7月16日(金) 開催方式:対面 参加人数:685人 	新型コロナウイルスの影響を受けた令和3年度と比較し、多くの講座で参加人数が増加しました。姉妹都市、友好都市に関係のある講座の開講によって、各国の文化や歴史、伝統を広く周知することが出来ました。	アカデミー推進課
365		5-②-ウ	国際理解教育の推進	全区立小・中学校の全学年にALT(外国語指導助手)を派遣して、進展する国際化に対応する教育を行います。	ALTは全小中学校に派遣をしています。年間で延べ小学校では3499時間、中学校では741時間、ALTを派遣しました。	ALTは全小中学校に派遣をしています。年間で延べ小学校では3522時間、中学校では735時間、ALTを派遣しました。	児童・生徒が外国人との会話や外国の文化等に触れる機会を増やし、英語を積極的に使おうとする態度を育成することができました。	教育指導課
366		5-②-ウ	日本語指導員の派遣	英語圏以外の、日本語指導が必要な児童、生徒に母国語の日本語指導員を派遣しています。	児童52名、生徒28名に対し、延べ80人の児童生徒へ日本語指導員を派遣し指導を行いました。	児童22名、生徒6名に対し、延べ28人の児童生徒へ日本語指導員を派遣し指導を行いました。	日本語指導が必要な児童、生徒に母国語の日本語指導員を派遣することで、学校生活への適応を支援することができました。	教育指導課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
5 国内・国際交流 ③ 外国人が活躍できる環境づくり ア 多言語及びやさしい日本語を活用した情報発信の充実(p.83)								
367		5-③-ア	区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	「外国人のための専門家相談会」の共催をはじめ、区内の大学や団体の実施する事業を後援等することで、情報を広く発信していきます。	・外国人のための専門家相談会(共催) 開催日:9月4日(日) 開催方式:対面、オンライン 参加人数:7人 相談件数:9件	実績なし	外国人にとって異国の地で慣れた言語で相談できる場所を提供することに一定の需要がありました。4人は文京区在住者で、区の手続きの際にチラシを見たり、紹介を受けたりして知ったという案件があり、共催の効果があったと考えられます。	アカデミー推進課
368	108	5-③-ア	外国人の日常生活支援のための多言語化	外国人住民の日常生活に必要な行政文書の多言語化を進め、区窓口での手続きの効率化を図っています。	・行政文書の多言語化 翻訳文書数:30 翻訳言語:英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、ベトナム語、ネパール語、ミャンマー語 ・外国人のための専門家相談会(共催) 開催日:9月4日(日) 開催方式:対面、オンライン 参加人数:7人 相談件数:9件	・行政文書の多言語化 翻訳文書数:14 翻訳言語:英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語	翻訳文書数及び言語が増加しているため、庁内でも需要が高まっており、合計8言語の翻訳を行いました。今まで英語及び中国語の翻訳が多かったが、その他言語も増えてきており、今後更に需要が増えるものと考えられます。	アカデミー推進課
	109	5-③-ア	国際理解促進事業	外国人が地域との連携を高め、日本文化への理解を深める事業や地域の行事や団体と連携して、区民と外国人が交流することで国際理解を促進します。 中国文化「変面」・やさしい日本語交流会、能楽鑑賞、英語落語等	・やさしい日本語で留学生とオンライン交流会 開催日:7月23日(土) 開催方式:オンライン(Zoom) 参加人数:29人 ・能楽鑑賞会(外国人枠) 開催日:令和5年1月22日(日) 開催方式:対面 参加人数:20人 ・ベナン共和国講座 開催日:10月15日(土) 開催方式:対面 参加人数:51人 ・中国伝統芸能セミナー～変面芸術の世界～ 開催日:11月19日(土) 開催方式:対面 参加人数:77人 ・ドイツ文化講座全4回 開催日:6月26日(日)、8月28日(日)、10月30日(日)、12月4日(日) 開催方式:対面 合計参加人数:162人	・やさしい日本語で留学生とオンライン交流会 開催日:12月18日(土) 開催方式:オンライン(Zoom) 参加人数:31人 ・能楽鑑賞会(外国人枠) 開催日:令和4年1月23日(日) 開催方式:対面 参加人数:13人 ・ベナン共和国講座 開催日:令和4年3月5日(土) 開催方式:対面 参加人数:27人 ・中国伝統芸能セミナー～黄梅劇・変面～ 開催日:令和4年3月12日(土) 開催方式:対面 参加人数:51人 ・海外都市交流展 開催期間:7月13日(火)～7月16日(金) 開催方式:対面 参加人数:685人	新型コロナウイルスの影響を受けた令和3年度と比較し、多くの講座で参加人数が増加しました。姉妹都市、友好都市に関係のある講座の開催によって、各国の文化や歴史、伝統を広く周知することが出来ました。	アカデミー推進課
369		5-③-ア	観光リーフレット作成	区内観光施設及び名所・旧跡を紹介する日本語版及び外国語版のリーフレットを作成し、積極的に観光客を誘致します。	・観光ガイドマップ:日本語:50,000部/英語:2,000部/中国語(簡):500部/中国語(繁):500部/韓国語:500部 ・グルメマップ:日本語:20,000部/日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載 ※2023-2025版としてリニューアルを実施	・観光ガイドマップ:日本語:50,000部/英語:2,000部/中国語(簡):500部/中国語(繁):500部/韓国語:500部 ・グルメマップ:日本語:20,000部/日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載	観光ガイドマップは5か国語、グルメマップは3か国語で制作し、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しています。 東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組んでいます。	アカデミー推進課
370		5-③-ア	配布物の多言語化(スポーツ振興課)	スポーツセンター及び総合体育館のトレーニングルームとプールの利用案内を英訳した英語版を配布します。	スポーツセンター及び総合体育館で、外国人の施設利用に資するため、利用案内を配架しています。	スポーツセンター及び総合体育館で、外国人の施設利用に資するため、利用案内を配架しています。	区内在住・在勤・在学の外国人に、スポーツ施設の利用を推進することができています。	スポーツ振興課
371		5-③-ア	文京区紹介映像及び文京区公式PR動画 多言語版の公開	文京区紹介映像「ようこそ文の京へ」約12分及び文京区公式PR動画「文京区～つながりが見つかるまち～」10分。英語、中国語、ハンガール版を作成し、ホームページでも公開しています。	継続してホームページでの公開を行っています。	継続してホームページでの公開を行っています。	国内外からの来訪者に対し、文京区を知っていただくツールとなっています。	広報課
372		5-③-ア	通訳クラウドサービス活用による外国人相談等	区民相談員が行政情報センターにてタブレット端末での通訳クラウドサービスを活用して、外国人相談を行います。	通訳タブレット、ポケトークを設置し外国人相談に活用しています。また、他課に貸出もしており外国人対応に利用しています。	通訳タブレット、ポケトークを設置し外国人相談に活用しています。また、他課に貸出もしており外国人対応に利用しています。	R4年度は外国人相談件数は32件、ポケトーク等他課への貸出し件数は50件でした。	広報課
373		5-③-ア	わかりやすいホームページの構築	インターネットによる情報提供の一層の充実を図るとともに、自動翻訳機能を使った多言語での情報提供を行います。	英語、韓国語、中国語(繁体字・簡体字)の4言語に対応	英語、韓国語、中国語(繁体字・簡体字)の4言語に対応	月間で約1,900～2,000件程度の閲覧数があり、外国人の方にも区の情報を提供できています。	広報課
374		5-③-ア	「区報ぶんきょう」の多言語化	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信します。(英語・中国語・ハンガールを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハンガールを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハンガールを含む10言語に対応)	区報を10言語で読むことができ拡大機能表示や音声読み上げ機能があり、広く区政情報をお知らせすることができます。	広報課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
375		5-③-ア	外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳を発行します(4カ国語併記 日本語・英語・中国語・ハングル)。	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	4カ国語(日本語・英語・ハングル・中国語)を併記しており、外国の方に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報課
376		5-③-ア	防災対策での多言語対応	避難所プレート、防災啓発パンフレット及びハザードマップ、防災情報一斉通知アプリ等の多言語化や災害時専門ボランティアの通訳ボランティアの登録推進等により、防災対策における多言語対応を進めます。	防災ガイドの外国語版の掲載内容を更新し、区ホームページで周知を行いました。多言語対応の防災ポータル及び防災アプリについて、周知チラシを作成して普及啓発活動を行いました。外国人避難者等に対応するため、各避難所に、翻訳アプリを搭載したタブレットを配備しました。	防災ガイドや各種ハザードマップの外国語版の掲載内容を更新し、区ホームページ等で周知するとともに、窓口等で配布を行いました。多言語対応の防災ポータル及び防災アプリをリリースし、区ホームページ等で周知を行いました。	防災啓発パンフレットや各種ハザードマップの配布等により、外国人避難者への災害時における行動や、日常備蓄等の自助に関する考え方の啓発が行えました。	防災課
377		5-③-ア	わかりやすいまちの表示	案内標識やコミュニティバス「B-ぐる」、区有施設における多言語表記を進めます。	令和5年4月版B-ぐるのマップの英語版を5,000部作成し、配布しました。	令和4年4月版B-ぐるのマップの英語版を5,000部作成し、配布しました。	令和3年9月に運行を開始した本郷・湯島ルートに対応した英語版マップを作成し、配布しました。	区民課
378		5-③-ア	資料の多言語化	在住外国人の方が窓口でスムーズに手続きができるよう、窓口案内システム、国保制度・年金制度の案内チラシ、出産育児一時金等の給付申請案内チラシ、前年中の所得状況申告書を多言語対応するとともに、窓口対応の際に通訳タブレット等を活用し相談に応じています。	・窓口案内システム 令和3年度に引き続き、窓口案内システムで、来庁の目的を英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語の4言語でも選択でき、呼び出し音声も選択した言語での呼び出しができるよう対応しました。 ・国保便利帳の外国語翻訳 令和5年度版にタイ語とミャンマー語を追加しました。	・窓口案内システム 窓口案内システムで、来庁の目的を英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語の4言語でも選択でき、呼び出し音声も選択した言語での呼び出しができるよう対応しました。 ・国保便利帳の外国語翻訳 便利帳を抜粋し英語、中国語(簡体字・繁体字)韓国語、ベトナム語、ネパール語を翻訳しました。	窓口案内システム、通訳タブレットの活用により、受付から窓口対応までスムーズに対応することができました。	国保年金課
379		5-③-ア	外国語版母子手帳の配布	英語、ハングル、中国語、タイ語、タガログ語、ポルトガル語、インドネシア語、スペイン語、ベトナム語、ネパール語の10カ国語の母子手帳を配布します。	外国語版母子手帳の配布 英語17、中国語16、ネパール語5、ベトナム語4、ポルトガル語1、インドネシア語1 計44冊	外国語版母子手帳の配布 英語17、中国語5 計22冊	外国語版を配布することにより、区内在住の外国人の妊婦や乳幼児の健康管理などに役立っています。	健康推進課
380		5-③-ア	看板の多言語化	外国人向けに駐輪場の利用方法及び放置自転車禁止区域の案内を行うため、看板の多言語化を行います。	実績なし	実績なし	放置自転車禁止区域の看板については、既に多言語化を行っています。 今後は駐輪場の利用方法等について多言語対応を行います。	管理課
381		5-③-ア	わかりやすいまちの表示	案内標識やコミュニティバス「B-ぐる」、区有施設における多言語表記を進めます。	令和5年4月版B-ぐるのマップの英語版を5,000部作成し、配布しました。	令和4年4月版B-ぐるのマップの英語版を5,000部作成し、配布しました。	令和3年9月に運行を開始した本郷・湯島ルートに対応した英語版マップを作成し、配布しました。	区民課
382		5-③-ア	配布物の多言語化(リサイクル清掃課)	「ごみと資源の分け方・出し方」の英語版、中国語版、ハングル版を作成して配布します。	令和4年度は、中国語版が多く出ており、印刷した分の在庫はなくなりました。コロナが落ち着いてきてから特に外国語版の配布も多くなっています。	令和3年度において印刷したものは在庫がほとんどなく、どの言語も1年間で配布しました。 年度によって言語は変わるが、年々部数を増やしています。	窓口にも海外の方や大家さんが外国語版を求めてくることがあり、ごみの分別を周知することに役立っています。 外国語版があることの周知がまだ足りない部分もあるので、周知の面においても力を入れていきたいです。	リサイクル清掃課
383		5-③-ア	外国語資料の充実	外国語資料の収集や利用案内の多言語化等により、日本語を母国語としない利用者へのサービス向上を図ります。	・外国語図書 貸出数: 4,459冊 新規受入れ冊数: 533冊 ・外国語絵本 貸出数: 12,426冊 新規受入れ冊数: 144冊 ・英語による読み聞かせ行事実績 11回	・外国語図書 貸出数: 4,885冊 新規受入れ冊数: 598冊 ・外国語絵本 貸出数: 12,394冊 新規受入れ冊数: 122冊 ・英語による読み聞かせ行事実績 2回	多様な言語の資料の購入に努め、外国語絵本においては、文京区おすすめブックリスト掲載の絵本を中心に、アジア圏の言語で書かれた絵本を購入し、提供しました。	真砂中央図書館

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和4年度実績	(参考)令和3年度実績	成果等	担当課
5 国内・国際交流 ③ 外国人が活躍できる環境づくり イ 外国人の活躍できる場の提供支援 (p.84)								
384		5-③-イ	生涯学習講座での国際理解推進	アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催することで、幅広い国際理解の機会を提供していきます。	前期 (5~7月) 8講座 155人(定員170人/応募者数269人) 後期 (10~12月) 10講座 228人(定員250人/339人) 後期Ⅱ (1~3月) 5講座 102人(定員115人/応募者数149人)	前期 (4~8月) 14講座 136人(定員281人/応募者数459人) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、6講座中止、2講座を途中でオンラインに切り替え ※オンライン講座:2講座(上記、2講座別) 後期 (9~12月) 10講座 190人(定員210名/応募者数404人) ※オンライン講座:4講座 後期Ⅱ (1~3月) 5講座 95人(定員95人/応募者数215人)	年間を通じ、幅広い分野の講座の提供が叶ったほか、アカデミアサポーターの協力により、充実した講座運営に繋がりました。	アカデミー推進課
385	110	5-③-イ	区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	「外国人のための専門家相談会」の共催をはじめ、区内の大学や団体の実施する事業を後援等することで、情報を広く発信していきます。	・外国人のための専門家相談会(共催) 開催日:9月4日(日) 開催方式:対面、オンライン 相談件数:9件	実績なし	外国人にとって異国の地で慣れた言語で相談できる場所を提供することに一定の需要がありました。4人は文京区在住者で、区の手続きの際にチラシを見たり、紹介を受けて知ったという案件があり、共催の効果があつたと感じます。	アカデミー推進課